

JSSI

The Japan Society of Seismic Isolation

一般社団法人 日本免震構造協会

# MENSHIN

The Japan Society of Seismic Isolation

NO. 79

2013. 2

# 一般社団法人日本免震構造協会出版物のご案内

2013年1月31日

タイトル	内 容	発行年月	会員価格
			非会員価格
会誌「MENSIN」	免震建築・技術に関わる情報誌、免震建築紹介、免震建築訪問記、設計例、部材の性能、免震関連技術等 【A4版・約90頁】	年4回発行 2月、5月、 8月、11月	¥2,500 ¥3,000
免震部材標準品リスト 《改訂版》—2009—	大臣認定された免震部材で、免震建築物の設計に必要な部材ごとの性能基準値を一覧表にまとめたもの（CD-ROM付き） 【A4版・760頁】	2009年11月	¥3,500 ¥4,000
免震建物の維持管理基準 《改訂版》—2012—	免震建物では、地震時の変位が免震層に集中することから、免震層・免震部材を中心とした通常点検・定期点検など、免震建物維持管理のための点検要領などを定めた協会の基準（ユーザーズマニュアル付） 【A4版・29頁】	2012年10月	¥500 ¥1,000
設計・施工に役立つ問題事例 と推奨事例一点検業務から 見た免震建物—	免震建物の点検時に発見される設計や施工に起因する不具合事例について、推奨事例も含めて解説。チェック編と解説編から構成。建築計画、構造計画、配管・配線計画、施工計画、免震部材、維持管理について解説。 【A4版・20頁】	2007年8月	¥500 ¥1,000
社会環境部会活動報告書 （免震建物と地震リスク、環境問題、 地震防災）	最近の免震構造を巡るトピックスとして、免震建物と地震リスク、環境問題、地震防災における免震建物の有効性の3テーマを取り上げた活動報告書。 【A4版・101頁】	2007年12月	¥2,000 ¥2,500
積層ゴムの限界性能とすべり・ 転がり支承の摩擦特性の現状	積層ゴムアイソレーターの限界性能、すべり・転がり支承の摩擦特性に関する実データを集積し調査結果をまとめたもの 【A4版・46頁】	2003年8月	¥1,500
パッシブ制振構造設計・ 施工マニュアル 《第2版 第2刷》—2005—	わが国で唯一のパッシブ制振構造専門の設計・施工マニュアル 摩擦ダンパーも加わり第1版をさらに分かり易く改訂 【A4版・515頁】	2007年7月	¥5,000
JSSI 時刻歴応答解析による 免震建築物の設計基準・ 同マニュアル及び設計例《改訂版》	時刻歴応答解析法により免震建築物の耐震安全性を検証する際の設計マニュアル 【A4版・206頁】	2010年3月	¥2,000 ¥2,500
免震建築物の 耐震性能評価表示指針 及び性能評価例	免震建築物の地震に対する性能を時刻歴応答解析法により評価する具体的な方法を示すもので、性能評価例付き 【A4版・225頁】	2005年11月	¥2,000 ¥2,500
免震建物の建築・設備標準 —2009—	免震建物の建築や設備の設計に関する標準を示すもの 【A4版・87頁】	2009年12月	¥1,000 ¥1,500
免震部材の接合部・取付け 躯体の設計指針	免震部材の接合部や取付け躯体の設計をする際のガイドライン 【A4版・48頁】	2009年7月	¥1,000 ¥1,500
第6回技術報告会梗概集	技術委員会（免震設計・応答制御・免震部材・施工・耐火火部会等）の2009年～2011年の活動報告書 【A4版・214頁】	2012年5月	¥2,500 ¥3,000
免震建物の耐火設計ガイドブック	免震建物の耐火設計・免震装置の構成材料の温度特性・装置の耐火性・耐火被覆方法等に関する実務書 【A4版・185頁】	2012年3月	¥2,000 ¥3,000
免震建築物の耐風設計指針	高層建築物や塔状比の大きな建築物への免震構造適用の増加に伴い必要性が高まってきた免震構造の耐風設計指針・解説と関連技術情報を整備 【A4版・151頁】	2012年9月	¥2,000 ¥3,000
免震のすすめ	これから建物を建てようとする方々向けに大地震から人命・財産・日常生活を守る免震建物を分かり易く解説、メリット・装置の役割・コストと性能などを記したカラーパンフレット 【A4版・3ツ折】	2005年8月	30部まで無料 （31部以上 ご相談）
ユーザーズマニュアル	免震建物を使用または所有されている方への注意点をまとめたカラーパンフレット 【A4版・2ツ折】	2007年10月	30部まで無料 （31部以上 1部 ¥50）
地震から建物を守る免震 【和文、英文版】	免震建築の普及のため一般向けに免震構造を説明したカラーパンフレット 【A5版・6頁】	2009年9月	30部まで無料 （31部以上 1部 ¥100）
大地震に備える ～免震構造の魅力～ 【日本語・DVD】	免震建築の普及のため建築主向けに免震構造を分かり易く解説したもの 【DVD 約9分】	2005年8月	¥2,000 ¥2,500 ※Academy ¥1,500
大地震に備える ～免震構造の魅力～ 【英語・DVD】	【ナレーション・字幕/英語】 免震建築の普及のため建築主向けに免震構造を分かり易く解説したもの 【DVD 約9分】	2006年11月	¥1,500 ¥2,000 ※Academy ¥1,000

## 協会編集書籍のご案内(他社出版)

タイトル	内 容	発行年月	会員価格
			非会員価格
免震構造 一部材の基本から設計・施工まで—	免震構造に携わる実務者必携の書。部材の基礎知識から免震構造の設計、免震層の施工、維持管理に関する実践的知識までを系統的に、かつ、平易に解説 【B5版・310頁】	2010年12月	¥4,700 ¥5,250
免震構造施工標準 —2009—	免震構造の施工に関する標準を示すもので免震部建築施工管理技術者必携のもの 【A4版・110頁】	2009年8月	¥2,100 ¥2,500
考え方・進め方免震建築	建築家、建築構造技術者など免震建築の関係者対象の技術書。 Q&A方式で、免震建築全般にわたり、免震の基本から計画・設計・施工・維持管理など幅広く解説 【A5版・200頁】	2005年5月	¥2,600 ¥2,940
免震建築物の技術基準解説及び 計算例とその解説 【日本建築センター】	「免震告示（免震建物の構造方法に関する安全に必要な技術的基準（平成12年建設省告示第2009号）」に関する解説書 【A4版・216頁】	2001年5月*1	¥3,500 ¥4,000
免震建築物の技術基準解説及び 計算例とその解説（戸建て免震 住宅） 【日本建築センター】	主に戸建て免震住宅に関して平成16年国土交通省告示第1160号により改正された「免震告示」の解説書 【A4版・195頁】	2006年2月*1	¥3,550 ¥4,100
耐震改修ガイドライン 【日本建築防災協会】	既存の主としてRC造建築の免震構法・制震構法を用いて耐震改修する際の手引書 【A4版・129頁】	2006年6月*2	¥3,800 ¥4,500

\*1 協会の販売は2006年5月～

\*2 協会の販売は2006年10月～

# 目次

巻頭言	柔らかな頭と免震 明星大学 教授	立道 郁生	1
	新年のご挨拶 日本免震構造協会 会長	西川 孝夫	3
免震建築紹介	ザ・パークハウス晴海タワーズ クロノレジデンス 三菱地所設計	木村 正人 堀田 祐介	4
	中野セントラルパーク イースト 戸田建設	渡邊 秀仁 市村 敦史 今泉 祐樹	9
	製粉ミュージアム本館(免震レトロフィット) 清水建設	貞広 修 有田 康正 坂中 玲子	13
制振建築紹介	連結制震構造を採用したサウスゲートビルディング 西日本旅客鉄道 ジェイアール西日本コンサルタンツ 安井建築設計事務所	保田 秀樹 松本 孝弘	17
		尼崎 隆 越野 栄悦 秋田 智	
免震建築訪問記⑧②	「知の拠点」あいち産業科学技術総合センター 日本設計 清水建設 CERA建築構造設計 竹中工務店	人見 泰義 猿田 正明 世良 信次 浜辺 千佐子	21
シリーズ	「制振部材紹介①⑨」リング摩擦ダンパー 日本発条・飛鳥建設		26
東北地方太平洋沖地震関連	2011年東北地方太平洋沖地震における免震建物居住者へのアンケート調査 個別の免震建物に着目した居住者アンケート調査の分析 普及委員会 教育普及部会		27 33
技術委員会報告-1	「免震部材の接合部・取付け躯体の設計指針(第2版)」の改定概要 設計小委員会		36
技術委員会報告-2	「非線形粘性ダンパーを付加した免震層の簡便な地震応答予測法」の概要 設計支援ソフト小委員会		41
講習会報告	「免震建築物の耐風設計指針」解説講習会 日建設計	田中 賢嗣	47
性能評価(評定)業務			49
国内の免震建物一覧表			50
委員会の動き	■運営委員会 ■技術委員会 ■普及委員会 ■国際委員会 ■資格制度委員会 ■維持管理委員会 ■原子力関係施設免震構造委員会 ■委員会活動報告(2012.10.1~2012.12.31)		82
会員動向	■新入会員 ■入会のご案内・入会申込書(会員) ■免震普及会規約・入会申込書 ■会員登録内容変更届		87
インフォメーション	■行事予定表 ■講師の御礼 ■平成24年度免震部建築施工管理技術者更新報告 ■平成24年度免震建物点検技術者更新報告 ■2013年 新年賀詞交歓会報告 ■会誌「MENSIN」広告掲載のご案内 ■寄付・寄贈		94
編集後記			110

# CONTENTS

Preface		
<b>Flexible Thinking and Seismic Isolation</b> Ikuo TATEMICHl	Professor of Meisei University	1
<b>New Year's Greeting</b> Takao NISHIKAWA	President, JSSI	3
Highlight		
<b>The Parkhouse Harumi Towers Krono Residence</b> Masato KIMURA Yusuke HOTTA	Mitsubishi Jisho Sekkei Inc.	4
<b>Nakano Central Park East</b> Hidehito WATANABE Atsushi ICHIMURA Yuki IMAIZUMI	TODA Corp.	9
<b>Nisshin Milling Museum "Seismic Isolation Retrofit"</b> Osamu SADAHIRO Kousei ARITA Reiko SAKANAKA	Shimizu Corp.	13
Highlight (Response Control)		
<b>South Gate Building Adopted the Structural System by Connecting Two High-rise Building with Viscous Dampers</b> Takashi AMASAKI Eietsu KOSHINO Hideki YASUDA Takahiro MATSUMOTO Satoshi AKITA	West Japan Railway Company JR West Japan Consultants Company Yasui Architects & Engineers, Inc.	17
Visiting Report-⑧②		
<b>Knowledge Hub, Aichi Center for Industry and Science Technology</b> Yasuyoshi HITOMI Masaaki SARUTA Shinji SERA Chisako HAMABE	NIHON SEKKEI, Inc. Shimizu Corp. CERA Architecture Design Office Takenaka Corp.	21
Series "Qualified Response Control Device" - ①⑨		
<b>Friction Damper Using Ring Springs</b>	NHK SPRING Co., Ltd. and Tobishima Corp.	26
Report of the 2011 off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake		
<b>The Survey of Questionnaires to Residents in Seismically Isolated Buildings during the 2011 off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake</b>		27
<b>The Survey of Questionnaires to Residents in An Individual Seismically Isolated Building during the 2011 off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake</b>	Education Sub Committee, Diffusion Committee	33
Report of Technology Committee-1,2		
<b>The Outline of "Recommendation for the Design of Isolater Connections and Frame to Install (Revised Edition)"</b>	Design Sub Committee	36
<b>Summary of "Peak Response Easy Prediction Method of Isolated Building with Non-linear Viscous Dampers"</b>	Software Aided Design Sub Committee	41
Report of Lecture		
<b>Seminar on "Guidelines for Wind-resistant Design of Base-isolated Buildings"</b> Satoshi TANAKA	Nikken Sekkei Ltd.	47
Reports of the Performance Evaluations		49
List of Seismic Isolated Buildings in Japan		50
Committees and their Activity Reports		82
○Steering ○Technology ○Diffusion ○Internationalization ○Licensed Administrative ○Maintenance Management ○NPPF ○Activity Report of the Committees(2012.10.1~2012.12.31)		
Brief News of Members		87
○New Members ○Application Guide & Form ○Rules of Propagation Members & Application Form ○Modification Form		
Information		94
○Annual Schedule ○Acknowledgement of the Lecturer ○Renewal of Licensed Administrative Engineer for Construction of Seismic Isolation Portion in 2012 ○Renewal of Licensed Administrative Engineer for Maintenance Management of Seismically Isolated Buildings in 2012 ○New year's greetings in 2013 ○Advertisement Carrying ○Contributions		
Postscript		110

# 柔らかな頭と免震



明星大学 教授

立道 郁生

思いつくままの自省を込めての拙文であることをおことわりしたい。

## 初めて見る免震が3次元免震

2012年9月末に、当大学の学生11名ばかりを連れて、免震建物「知粹館」を見学させてもらった。(株)構造計画研究所殿のご厚意により実現した見学会で、学生に実に親切に説明をしていただき感謝している。ご存じのように、この建物は2012年日本免震構造協会賞、技術賞（特別賞）を受賞している。

免震ピット内のメカニクな、ある意味オタクな装置群を見て多くの学生は目を輝かせて感動していたが、ふと私が思ったことは、「この子たちにとって、これが免震構造の原体験となるんだな」ということだった。つまりいきなりスマートフォンの世界だ。学生は先入観がほとんどないので、感想文を書かせてみると、そのチャレンジ精神に素直に感動し、3次元免震装置をそのまま受けとめ、その技術の進展を切に願っている。

私は学生のまだ「柔らかな頭」をうらやましく思う。私などはこの建物を見るまでは3次元免震の技術的、コスト的困難さが頭の隅にあって、思考停止してしまっていた。協会賞の選評に「誰かが最初に壁を破らなければ新しい技術は進展しない」とあるが、その通りで、受賞者の頭の柔らかさと、しつこさに感銘を受けた次第である。

## 軽い屋根をなぜ免震に

同じく2003年に作品賞を受賞した山口県立きららスポーツ交流公園多目的ドームは、現在のところ空間構造物として唯一の受賞となっている。筆者はかつていくつかのドーム設計に関わり、また専門領域も近いので若干思うところを述べたい。

空間構造に限らず建築構造物に応答制御デバイス

を用いたのは、おそらく1964年の「国立代々木競技場第一体育館」が世界で初めてである。しかし、その次に空間構造の応答制御例が現れるのは1993年以降で、積層ゴムの空間構造への適用となると2000年以降と新しい。表1に免震デバイスを用いた空間構造物の実施例を示す。

なぜ、空間構造の構造設計者たちは軽量の屋根構造に免震構造を取り入れようとしたのだろうか。しかも基礎免震ではなく屋根支承部に。ドームなどの空間構造物では、水平入力による鉛直振動成分の励起が知られている。また大面積の屋根のもたらす下部構造への温度応力の影響は想像以上に大きい。このため、屋根支承部の条件（ピンカローラーかなど）は、常にトレードオフの条件下での頭の痛い問題であった。おそらく頭を柔らかくして考えた時、積層ゴムがひらめいたのだと想像される。筆者も「きらら元気ドーム」を見学した時に、積層ゴムを随分高いところに置いたなと思ったことや、その時の屋根の状態に従ってやや変形していた積層ゴムをみて、「合理的なローラー支承だな」と感じたことを思い出した。

## 新しい免震デバイスを考えること

おそらく、協会賞の技術賞（特に特別賞）は、新しい発想、すなわち柔らかな頭に対して授与されているのではないかと想像しているが、2008年の「ゲージ振り子の原理に基づく新しい転がり型免震装置の開発（東京大学川口健一教授）」もその一つであろう。これは従来転がり免震で必要とされた椀形の曲面加工を不要とするアイデアであった。

同じようにユニークなアイデアで、かつて私が相当驚いたのは川口衛法政大学名誉教授が発案した「パドル免震」である。免震の発展史に興味がある方は、1932年に岡隆一により提案、その後実

用化された転動振子の原理を利用した基礎免震をご存知だと思う。下端が大きな球面になった免震柱を設け、その上端を球形状のピン継ぎ手とするものである。

パドル免震は、この加工が難しい球面によるロッキング運動を、平面材による直交成分に分解し柱の上下端に分担させようというメカニズムである(図1)。ユニークな特徴の一つとして免震周期をパドルの曲率と柱の長さの組み合わせで決定できることがある。逆にいうと建築計画上の免震層の高さを自由に設定できる可能性がある(図2)。パドル免震が発案された2000年ころ、ある学会で小さな電動模型を川口先生が披露され、それを東京工業大学の和田章先生がうれしそうに見ておられたことを思い出す。その後、縁あってこの免震システムの開発のお手伝いをしているが、頭が固くしつこさが足りない自分に反省しきりである。

### 子供の頭の柔らかさ

2013年は日本免震構造協会創立20周年にあたる。さまざまな記念事業が予定されているが、前回の創立15周年の際には、「子ども絵画コンクール」が実施された。テーマは「地震災害のない未来、2050年のこんな家、こんなまちなみ、こんな暮らし」で、全国の小中学生から69作品の応募があった。筆者はコンペ部会委員長としてこの絵画コンクールを企画したが、応募作品を見て感じたことは、やはり子供の頭の柔らかさだった。

最優秀賞は小学三年生の「じしゃくの家」という作品である(図3)。磁石同士の反発力を利用することはリアモーターカーでも実用化されつつあるが、免震への利用となると大人はいろいろ知っているから、あまりまじめに考えようとしなない。この作品のすごいところは、しつこく考えて、免震が必要とする復元力のメカニズムも側方の磁石で解決しているところだと思う。さらに大切な自動車にも免震が!

### 革新的なアイデアは柔らかな頭から

こんなことをつらつらと考えていたとき、2012年11月9日の朝日新聞夕刊「人・脈・記」で東京大学名誉教授、宇佐美龍夫先生の言葉を見つけた。曰く「先入観は排除すべきである。いかなる分野でも、先入観があると、それにそぐわないものは無意識に排除され、一方では何を見ても裏打ちするものに見

えてくる。」

積層ゴムをはじめとする流通している免震デバイスやシステムは、それぞれ当時の先入観を排した、柔らかい頭から生み出されたものだと思う。でも次世代は? 私たちは思考停止に陥ることなく、しつこく、柔らかく考え続ける必要がある。

日本免震構造協会には、免震・制振に関して「違う道を走る人」のアイデアも、これまでと変わらず丹念に拾い上げ、光を当てていただきたいと思います。

表1 免震デバイスを用いた空間構造の事例

竣工年	建物名称	デバイス	制御対象
2000	さいたまスーパーアリーナ (さいたま市)	積層ゴム	地震
2000	アタチュルク国際空港・ターミナルビル (トルコ)	FPS	地震
2000	サンフランシスコ国際空港・新国際線ターミナルビル (米国サンフランシスコ)	FPS	地震
2001	きらら元気ドーム (山口県山口市)	積層ゴム	地震
2002	京都アクアリーナ (京都市右京区)	積層ゴム	地震・風
2002	シーホークス・フットボールスタジアム (米国シアトル)	FPS	地震
2003	ひらかドーム (青森県平川市)	積層ゴム	地震
2002	宿遷市体育館 (中国宿遷市)	積層ゴム	地震
2003	ピース&フレンドシップスタジアム (アテネギリシャ)		地震
2004	上海国際サーキット場・プレスセンター建物 (中国上海)	すべり支承+積層ゴム	地震・温度

FPSはfriction-pendulum™ isolator



図1 パドル免震柱

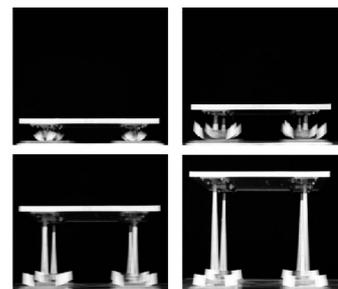


図2 いずれも同一周期



図3 創立15周年絵画コンクール最優秀作品

# 新年のご挨拶



日本免震構造協会 会長

西川 孝夫

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様方にはお健やかな新年をお迎えになられたことをお慶び申し上げます。

昨年12月末に政権交代がありました。3年半続いた民主党政権から自民党政権に戻りました。円ドル相場も一気に80円台後半とひと月もしないうちに10円近くも円安相場になり、輸出産業が一息つき、閉塞状態に陥っていた日本全体の経済状況も好転するものと期待されています。一方で一昨年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震からの復興は未だ不十分なままです。多くの方々が元の生活に戻れない状況が続いています。自民党政権は「復興と防災」を公約のトップに挙げていますが、経済成長とあわせて是非早急な結果を期待したいものです。さらに昨年12月8日には笹子トンネルで天井版の落下事故が発生しそれに巻き込まれた方々が亡くなるという悲惨な事故が発生しました。1960年代から高度経済成長期に作られた橋梁、トンネル、高速道路など社会インフラの経年劣化とそれに伴う構造安全性低下の見直し、特に耐震安全性の見直しが急がれています。また建築関係では、3.11地震以来巨大地震に伴う長周期地震動で高層ビルが大揺れした経験に基づき、特に超高層ビルの耐震安全性、居住性が見直しが行われるようになり、すでにいくつかのビルでは制震補強の計画、実施がなされており、その流れは加速するものと思います。

我々協会はこの地震後「東北地方太平洋沖地震に対する応答制御建築物調査委員会」を発足させ、免震構造、制震構造の地震時挙動について調査、検討を行い、昨年の1月に最終報告会を行いました。この地震によるこれら応答制御建物に被害は報告されていないこと、免震構造の建物は想定通りの挙動をしたこと、特に病院、防災センター等は地震時に十分その機能を発揮したことなどを報告しました。しかし、ダンパー等の免震部材に今まであまり考えていなかった損傷が一部生じたこと、さらに隣接構造物との間を結ぶエキスパンションジョイントに多くの損傷が生じたことなどを踏まえて、協会として解決すべき喫緊の研究テーマとしてこれらの問題を取り上げ研究を継続して参りました。その成果は今年の2月末に報告会を開催し、報告する予定です。

一方非制震の高層建築では長周期地震動により、かなりの大振幅で揺れ、非構造部材に多大な被害が出た例もありますが、制震構造の高層建物では確実に応答低減効果のあることが確認されました。制震構造の有効性が定量的に証明されたといえるでしょう。しかし、今後制震装置を組み

込んだ高層建築においても非構造部材の設計をどうするかが課題だろうと思います。

政府が政権公約に地震防災を取り上げるほど、我が国は大変な地震国であり地震に対する危険に常にさらされていると言えます。特に発生の危険度が迫っていると言われており、東海、東南海・南海地震が発生した場合には数万人の死者が出るとの予測があります。地震防災対策、とりわけ構造物の耐震安全性の向上は急務です。地震に有効であると期待の高い応答制御建物ですが、さらに巨大地震発生時に予想される長周期地震動に対する対策は充分検討する必要があると考えています。今回の地震で明らかとなった免震構造におけるダンパー損傷の原因と対策、ダンパーの多数回の繰り返しに対する性能など当協会では技術的問題解決に鋭意取り組んでいます。この他に、火災に対する免震部材の性能維持の問題等未解決な面も残っていますので、引き続き検討中であります。また、昨年度には応答制御建物の耐風設計指針を発行し、多くの実務者に参考とされています。

幸い会員諸氏のご尽力のおかげで免震・制震構造の発展は比較的順調です。共同住宅、病院、公共建築等への適用は着実に増えています。協会の会員数（2013年1月7日現在）は、第一種正会員92社、第二種正会員214名、賛助会員85社、特別会員7団体、免震普及会会員95名と順調に推移しています。さらに当協会でも実施している資格制度、免震部建築施工管理技術者試験への応募、点検技術者試験への応募も順調で、免震部建築施工管理技術者の有資格者は3527名、点検技術者の有資格者は1318名に達しています。ここ数年コンスタントに受験者が集まり、当協会が目的とする健全な免震構造物の普及に貢献して頂いています。さらに当協会の行っている免震建物に対する性能評価業務も順調です。

今年度は協会の設立20周年にあたります。それを記念して創立20周年記念事業を行うことを企画しています。3月中にその全容を発表できると思います。これらの活動は当協会に参加される会員の皆様の積極的な御協力、御参画あって実のなるものですので、皆様の絶大なるご支援とご協力をお願いいたします。この20年間の間に免震構造は一般の方々にもかなり理解していただけるようになってきたと思っています。さらに健全な免震・制震構造の普及に努めてまいります。

最後になりましたが、建築界とりわけ免震・制震構造にかかわるすべての皆様にとって、今年が明るい一年となりますよう心から祈念いたします。

# ザ・パークハウス晴海タワーズ クロノレジデンス



木村 正人  
三菱地所設計



堀田 祐介  
同

## 1 はじめに

材料の高強度化に伴い、従前と比較してRC造建物についても規模の大きな建物の設計が可能となっている。一方、近年頻発する大きな地震に対する備えとして、高さが150mを超えるような超高層建物についても免震構造を望む声が高まっている。この規模の建物へ免震構造を採用する場合に考慮すべき点として、建物の総重量が大きいこと、建物の周期が長くなることから免震効果が十分発揮できる工夫が必要なこと、風荷重が大きくなることから特に免震層への影響を検討する必要があること、などが考えられる。ここでは上記の例として防災面の強化に取り組んで計画が進められた集合住宅における構造計画について紹介する。



図1 外観パース

## 2 建物概要

建設地は都心と臨海部の間に位置した晴海運河に面した土地区画整理事業の地区計画内に位置しており、護岸などが新築され、銀座・新橋等既存の業務商業地区に近接した開発地区である。ここに従来よりもハード、ソフト両面について防災対策を強化すると共に、2009年に施行された「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」の認定基準に基づく超高層免震マンションが計画された。

建物名称：ザ・パークハウス晴海タワーズ  
クロノレジデンス

建設地：東京都中央区晴海2丁目

建築主：三菱地所レジデンス株式会社

設計監理：株式会社三菱地所設計

施工者：鹿島建設株式会社

主要用途：共同住宅

建物規模：地下2階 地上49階 塔屋2階

最高高さ：174.15m

建築面積：約5,000m<sup>2</sup>

延床面積：約100,000m<sup>2</sup>

## 3 構造概要

地上階の平面形状は基準階において約58m×41mの整形な長方形となっている。建物の中央部にはボイド部分があり、下層階には機械式立体駐車場を配置している。その廻りに厚さ500～200mmの連層耐震壁を口の字（約22.5m×16.4m）に配置し、建物の水平剛性を確保している。

基準階の階高は3.3mである。また軒高に対する塔状比は長辺約2.8、短辺約3.9となっている。

使用材料はコンクリートについては、Fc36～

Fc80を使用し、鉄筋については下層階の柱主筋にSD590を採用している。

構造形式は1階床梁下に免震層を設けた基礎免震構造であり、各柱下に鉛入り積層ゴム支承を配置している。大きさは1600～1400mmの角型と、直径1500～1400mmの丸型である。エントランスの平屋部分は、径300及び350φの低摩擦型の弾性滑り支承を配置している。また、オイルダンパーを短辺長辺方向にそれぞれ6基配置している。免震建物側と免震ピット等の外部側との間の有効クリアランス量は800mm以上である。

免震装置上の1階床梁はせい約3.0～4.3m、幅1.0～2.8mの高い剛性と耐力を持つ梁とし、地震時の連層壁直下に生じる引抜力等を周辺の免震支承に分散させる。

下部構造については、杭は場所打ち拡底鉄筋コンクリート杭とし、超高層直下の杭は軸径φ2500であるが、コア廻りの杭は拡頭拡底杭としている。拡底部はφ4400、杭頭部はφ3000まで拡頭している。

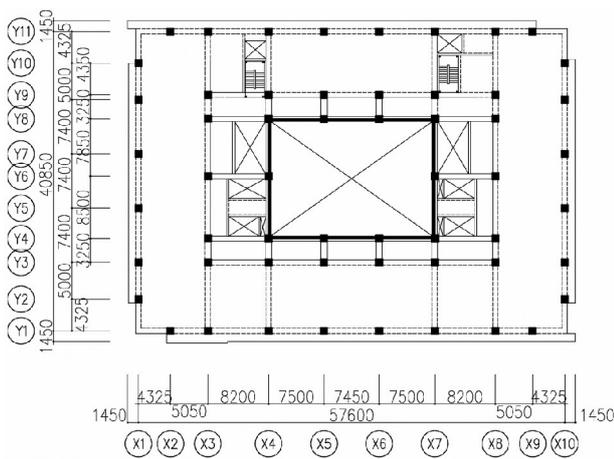


図2 基準階伏図

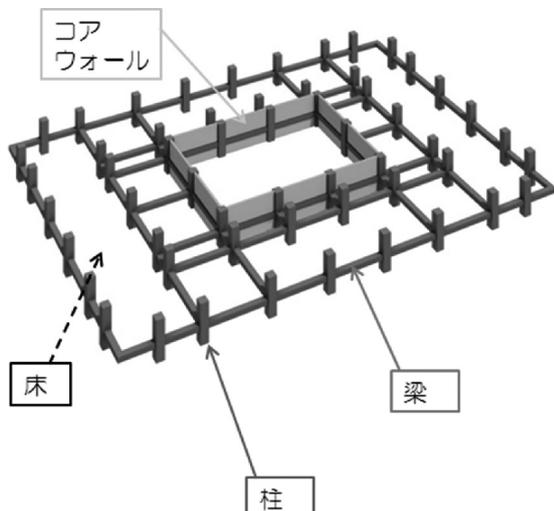


図3 架構イメージ図

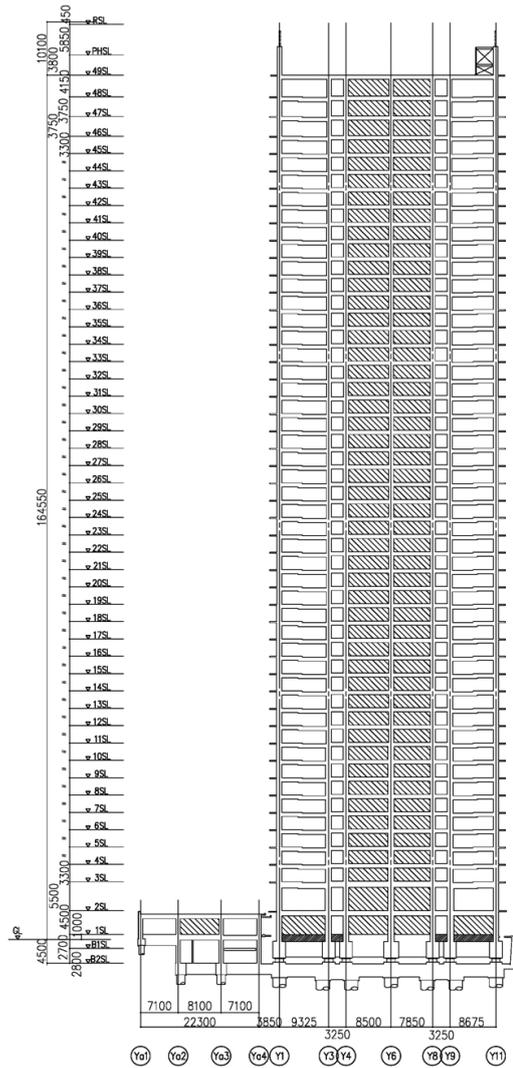
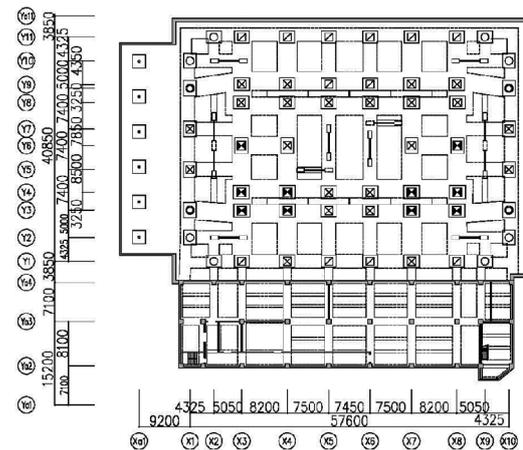


図4 軸組図



免震装置		
記号	種別	基数
○	LRB1400φ	8
□	LRB1400□	4
⊙	LRB1500φ	12
⊠	LRB1500□	22
⊠	LRB1600□	16
○	SSR30φ	2
●	SSR35φ	4
		Σ 62
—	オイルダンパー	12

図5 免震装置配置図

## 4 地震応答解析の概要

耐震目標性能を表1に示す。設計用入力地震動は告示波3波（神戸、八戸、乱數位相）及び観測波3波（エルセントロ、タフト、八戸）についてはレベル1、レベル2それぞれ定義し、またレベル2として関東地震を想定地震としたサイト波を作成した。図6に模擬地震動の応答スペクトルを示す。

表1 耐震性能目標

荷重・外力	目標性能・判定	備考
レベル1	<ul style="list-style-type: none"> <li>応答層間変形角<math>\leq 1/400</math></li> <li>最大応答せん断力<math>\leq</math>一次設計用せん断力</li> <li>積層ゴム支承の最大せん断歪み<math>\leq 100\%</math>（安定変形以内）</li> <li>積層ゴム支承の最大水平変位<math>\leq 28\text{cm}</math></li> </ul>	損傷防止
一次設計用せん断力(QD)	<ul style="list-style-type: none"> <li><math>C_0=0.067</math></li> <li>部材応力<math>&lt;</math>許容応力度</li> </ul>	QD レベル2 (標準剛性) 応答値包絡
レベル2	<ul style="list-style-type: none"> <li>応答層間変形角<math>&lt; 1/200</math></li> <li>最大応答せん断力<math>\leq</math>弾性限耐力</li> <li>層の最大応答塑性率<math>\leq 1.0</math></li> <li>積層ゴム支承の最大せん断歪み<math>\leq 200\%</math>（性能保証変形以内）</li> <li>積層ゴム支承の面圧<math>\geq -1\text{N}/\text{mm}^2</math></li> <li>積層ゴム支承の最大水平変位<math>\leq 56\text{cm}</math></li> </ul>	免震装置の変動特性考慮
二次設計用せん断力	<ul style="list-style-type: none"> <li><math>C_0=0.067 \times 1.5=0.1005</math></li> <li>柱（最上階柱頭、1階柱脚を除く）の圧縮側曲げ耐力 応力に対して1.25倍以上とする。</li> <li>柱、壁のせん断耐力 応力に対して1.25倍以上とする。</li> <li>梁のせん断耐力 鉄筋の上昇係数SD490 1.1倍、SD390 1.25倍（上限強度）を考慮し、梁両端が降伏したときのせん断応力に対して、1.1倍の余裕度を確保する。</li> <li>柱付着耐力 応力に対して1.25倍以上とする。</li> <li>柱の軸力制限 <math>-0.75 tNu \leq Nu \leq 0.7cNu</math></li> </ul>	上部構造の余裕度確保

三軸図

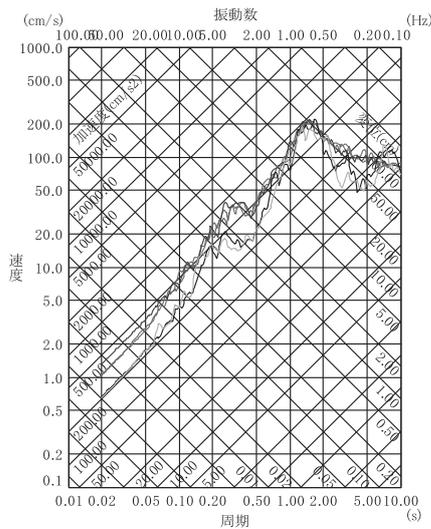


図6 模擬地震動応答スペクトル

建物の固有周期は免震層なしの上部構造のみでは1次固有周期はX方向2.79秒、Y方向3.12秒である。免震層が42cm変形した場合の等価剛性を用いて固有値計算を行った場合、X方向5.90秒、Y方向6.01秒である。

表2 固有値解析結果

	Direction	Mode (sec)		
		1	2	3
Without S. I.	X	2.79	0.84	0.48
	Y	3.12	0.91	0.51
With S. I. (LRB: $\delta=42\text{cm}$ )	X	5.90	1.71	0.68
	Y	6.01	1.89	0.73

レベル2の応答値の中で最大応答加速度は約83gal、最大層間変形角は約1/240である。柱・梁などの各部材の設計は最大応答せん断力を考慮して設定した。また、免震層の最大応答変位は積層ゴムのせん断歪約190%、上下動として自重の $\pm 30\%$ を考慮した場合において、最小面圧約 $-0.9\text{N}/\text{mm}^2$ 、最大面圧 $33.3\text{N}/\text{mm}^2$ となっており、性能保証変形範囲内である。

また、入力地震動のエネルギーの負担割合を確認した（図7）。免震層の割合は約69%~89%、特に長周期成分を多く含んだ模擬地震動においては80%以上であり、本計画のような超高層建物の場合においても、耐震性能が免震層の性能に大きく依存していることが確認される。

## 5 耐風設計の概要

本建物の平面形状は比較的整形ではあるが、高さ約170mの超高層建物であり、また、免震構造を採用していることから風洞実験を実施した。本協会の「免震建築物の耐風設計指針」（2012年9月）の序に

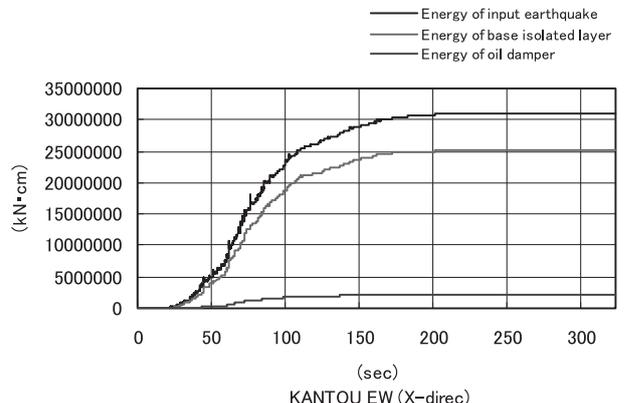


図7 免震層のエネルギー吸収量

述べられているように、風外力は長時間繰り返し作用し、平均風力という静的成分も作用することから、特に免震装置の健全性が確保されるかどうかを確認することは重要である。この観点から免震装置には設計当時最も風荷重に対する検証が行われていたLRBを採用することとした。また、上述の耐風設計指針においてランクCに該当することから風洞実験によって得られた風力時刻歴波形による応答解析を行った。風外力とその時の目標性能は表3に示すように風荷重は再現期間1年、100年（レベル1）、500年（レベル2）の3段階に設定した。再現期間1年の風荷重については、建物の居住性を検証する目的で、日本建築学会の「居住性能評価指針」において判定を行った。最大応答加速度で約3.0galとなっている。

上部構造については地震力が風荷重よりも大きいため、レベル2においても各部材は許容応力度以内に十分納まっている。一方、免震層については、図8に風荷重の定常成分による移動点を原点として、レベル1、レベル2それぞれの変動成分の風荷重による軌跡が描かれている。ここで、長周期地震動と同様、ダンパーが長時間の繰り返し荷重を受けることによって、その性能を失わないかどうかを検証する必要がある。なお、定常成分による最大変位（風向10度）は約14cm（レベル1）、24cm（レベル2）である。

鉛入り積層ゴム支承については、安定してエネルギーを吸収できるのは、等価荷重振幅が総切片降伏荷重（ $\Sigma Qd$ ）の2/3以下という結果が示されている。図9に示す免震層の荷重変位履歴曲線よりレベル2応答値において等価振幅が2/3  $\Sigma Qd$  以下であることを今回確認している。また、滑り支承については、本建物が供用期間中に、変動風圧によって滑る距離の累積値を推定した結果、レベル2相当である500年間における累積滑り距離は、約40cm程度（装置の弾性変形領域は滑り距離から除く）であり、許容値1000mと比較して無視できる程度である。オイルダンパーについても同様に問題にはならないことを確認した。

一方、表3のクライテリアは満足されているが、風が止んだ後に変形が残留する可能性がある。鉛の場合、鉛内の残留応力は時間と共に解消し、徐々に

表3 耐風性能目標

	荷重・外力	目標性能・判定	備考
居住性	再現期間1年の風速	各階の応答加速度が日本建築学会の居住性能評価指針（2004）に示されるH-50以下	
レベル1	再現期間100年の風速	上部構造：一次設計用せん断力以内（各部材許容応力度以内） 免震層：最大水平変位はLRB安定変形の1/2（ゴム歪100%）以下かつ200mm以下	再現期間100年の風速 > 告示風速
レベル2	告示風速の1.25倍	上部構造：弾性耐力以内 免震層：最大水平変位はLRB安定変形の3/4（ゴム歪150%）以下かつ300mm以下 装置温度上昇等による特性変化小	告示風速の1.25倍 > 再現期間500年の風速

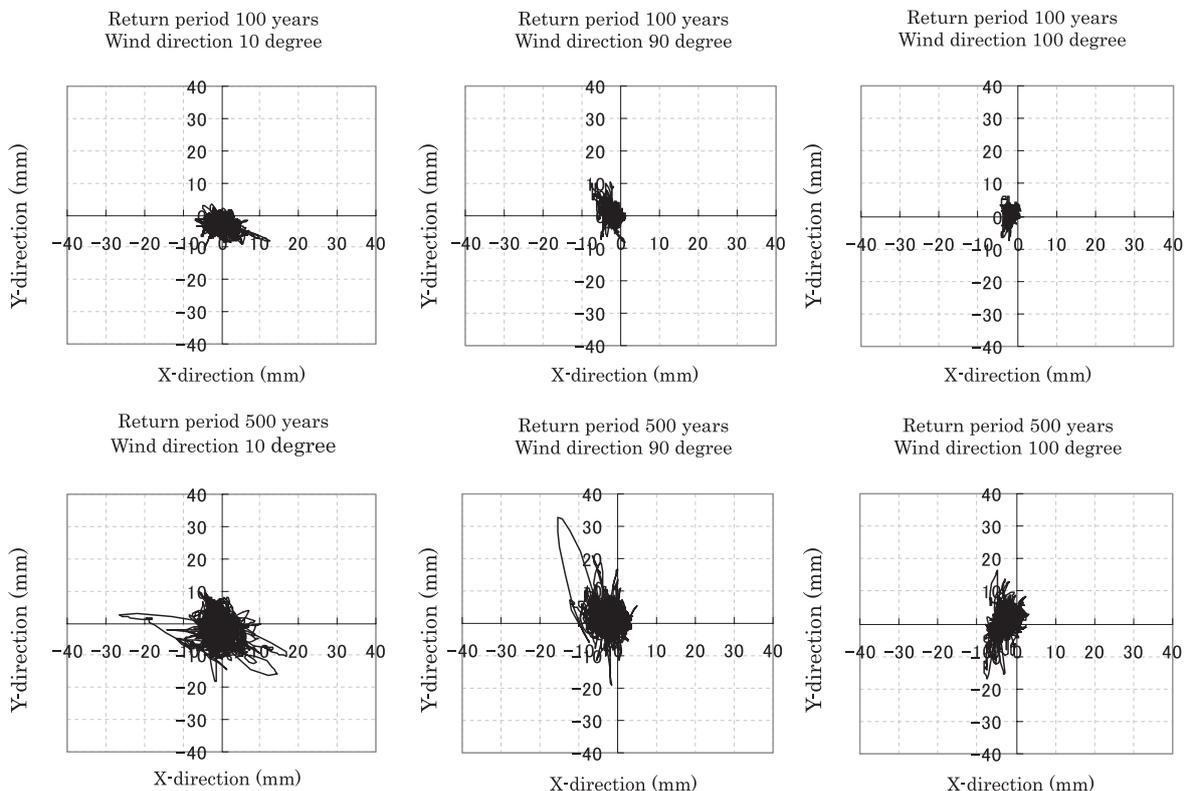


図8 風荷重による免震層の変位履歴（レベル1、2）

変形も原点に戻る性質があると言われているが、完全には戻らないため、50mm以上の変形が残留した場合に対応することとしている。

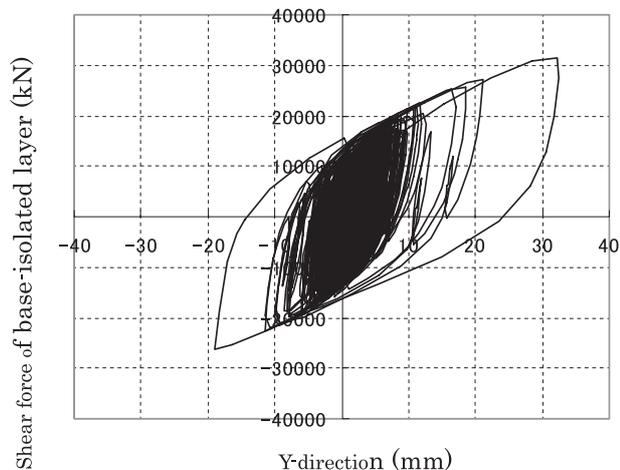


図9 免震層の荷重変位履歴曲線

## 6 おわりに

49階建ての超高層建物でありながら、免震構造の採用と上部構造に連層耐震壁を配置することにより、建物外周部のスパンを大きくし、住戸レイアウトの自由度が高い空間を実現した。

剛強な基礎、荷重支持及び変形性能のある免震層、剛性・耐力の高い上部架構の組み合わせにより、比較的周期の長い建物でも十分な免震効果を発揮することができた。

再現期間500年相当の暴風時においても、免震層の変形及びダンパーの耐久性は健全性を保つことを、既往の実験結果との比較から確認した。

本建物は設計段階から施主をはじめ、設計者、施工者が一体となって取り組んだプロジェクトです。2014年の竣工に向け工事は順調に進んでいます。この場をお借りし、関係者の方々に厚く感謝致します。

# 中野セントラルパーク イースト



渡邊 秀仁  
戸田建設



市村 敦史  
同



今泉 祐樹  
同

## 1 はじめに

本建物はJR中野駅から徒歩約3分の場所に位置する、中野警察学校跡地に建設される地上10階、地下2階の賃貸事務所ビルである。

構造上の特徴は、地震発生時の建物安全性の確保に加えて、テナントとしての資産価値を保持することを目的として免震構造を採用している。また免震装置は根切り量の削減と擁壁躯体コストの削減を目的として、地下1階柱頭部に配置している。以下に概要を紹介する。

## 2 建物概要

本計画地は、中野駅前開発区域の区域4に位置し、周辺地域との一体化を図ることを目的として、南側エントランスをピロティとして、オープンスペースを創り出している。事務室は柱を短手方向7.2m～10.8m、長手方向23.4mで配置した無柱空間としている。

建物名称：中野セントラルパーク イースト  
 建設地：東京都中野区中野4丁目10番1号  
 事業主：中野駅前開発特定目的会社  
 設計者：戸田建設株式会社一級建築士事務所  
 施工者：戸田建設株式会社東京支店  
 用途：事務所、店舗、駐車場  
 建物規模：地上10階、地下2階、塔屋1階  
 最高高さ：50.60m  
 建築面積：3,851.08m<sup>2</sup>  
 延床面積：39,025.17m<sup>2</sup>  
 工事期間：平成22年3月1日～24年3月30日

## 3. 構造計画概要

本計画における構造上の要求性能は以下の①～③



写真1 建物外観

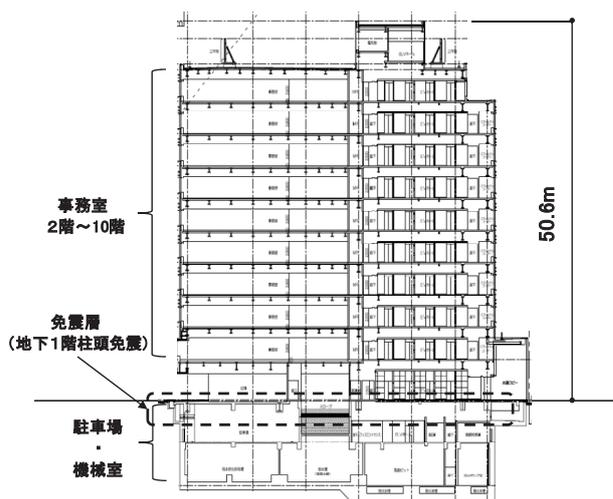


図1 断面図

の内容であった。

- ① レベル1地震時に対して
  - ・層間変形角：1/200以下
  - ・主要構造骨組：短期許容応力度以内
- ② レベル2地震時に対して

- ・層間変形角：1/150以下
- ・主要構造骨組：弾性限耐力以内
- ③ レベル3地震時（レベル2の1.25倍）に対して
  - ・層間変形角：1/100以下
  - ・層塑性率：2.0以下

また上記の構造上の要求性能以外に、計画上の要望として以下の内容があった。

- ・事務所スペースを20m以上柱の無い、無柱空間を実現させる。
- ・事務室のレントブル比を極力高めるため制振部材を配置しない純ラーメン構造とする。

以上の要求性能を考慮して、免震構造を採用した。地上階の主体構造は鉄骨造として、柱は高軸力に対応し、建物剛性を確保するためにCFT柱を採用した。地下構造の主体構造は鉄筋コンクリート造として、基礎は地盤面から約12mの砂礫層を支持層とする直接基礎とした。

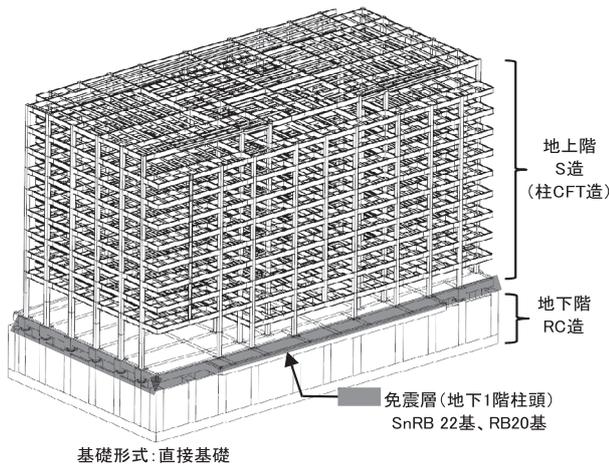


図2 構造概要図

地上階の事務所無柱空間に関しては、居住性能の確認として、FEMを用いた床振動解析を行った。

図4に検討結果を示す。二人歩行を想定した加振力を与えた場合で検討した結果、居住性能はV-30（旧基準でV-1.5）程度であり、歩行において有害な床振動は発生しないことを確認した。また現場施工段階においても床振動実験を行い、解析結果と同様に有害な床振動は生じないことを確認した。

#### 4 免震計画概要

免震装置は天然ゴム系積層ゴム（以下RBと称す）と錫プラグ入り積層ゴム（以下SnRBと称す）の2種類の装置を採用した。SnRBは以下の特徴がある。

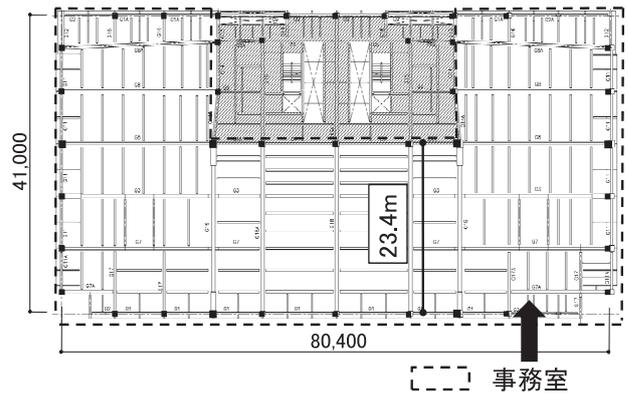
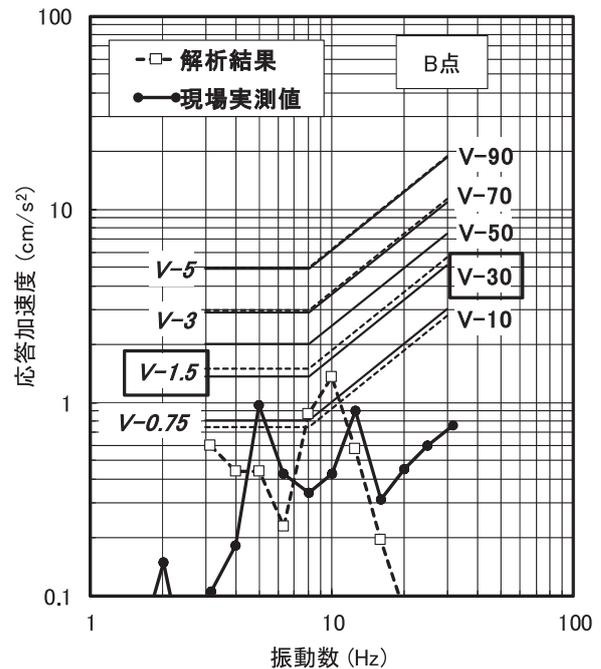


図3 基準階伏図



※V-1.5（旧基準V-30）は会議・応接室のランクIに相当

図4 床振動検証結果

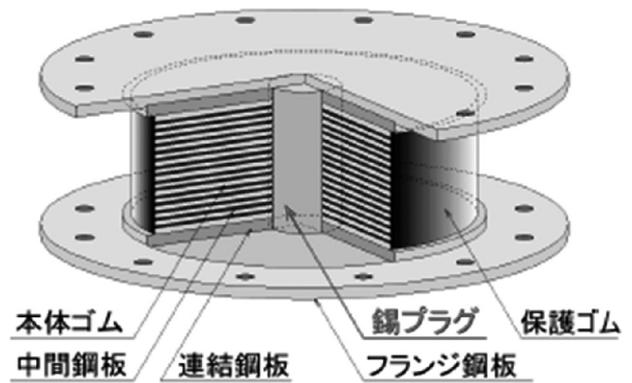


図5 SnRBの概要

- ・人体及び環境への影響から進められている工業製品の非鉛化の流れに対応して、鉛に変えて錫を減衰材として使用。

- ・同一サイズの鉛プラグ入り積層ゴム（以下LRBと称す）と比較して、約1.7倍の減衰能力を持つ。

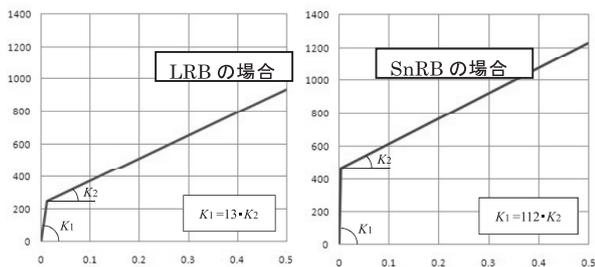


図6 LRBとSnRBの復元力特性の比較

表1 免震層の偏心率と固有周期（レベル2）

レベル2相当時積層ゴムせん断歪150%	方向	偏心率 (%)	全体系の等価固有周期			
			Keq (kN/mm)	1次	2次	3次
	X方向	0.7	42.0	4.00秒	0.91秒	0.45秒
	Y方向	2.2		4.02秒	0.94秒	0.47秒

図6にSnRBとLRBの復元力特性の比較を示す。LRBと比較してSnRBの初期剛性は約9倍程度あり、また降伏耐力も約2倍程度ある。このため1基ごとの減衰能力が大きくなり、減衰材としてのプラグ入り積層ゴムの数が減らせる利点がある。

免震装置の配置図を図7に示す。配置に関しては免震層の偏心率を3%以下とするため、剛性の大きいSnRBを外周部に配置する計画とした。また暴風時において、免震層に大きな変位が生じさせないために、SnRBの錫プラグが暴風時に降伏しないようにRBとSnRBを組み合わせた。

### 5 応答解析概要

本建物の耐震目標性能を表2に示す。免震構造を採用することにより、当初の要求性能からグレードアップさせた目標値を採用した。

応答解析結果として、図8にレベル2地震時の応答解析結果を示す。グレードアップさせた耐震性能

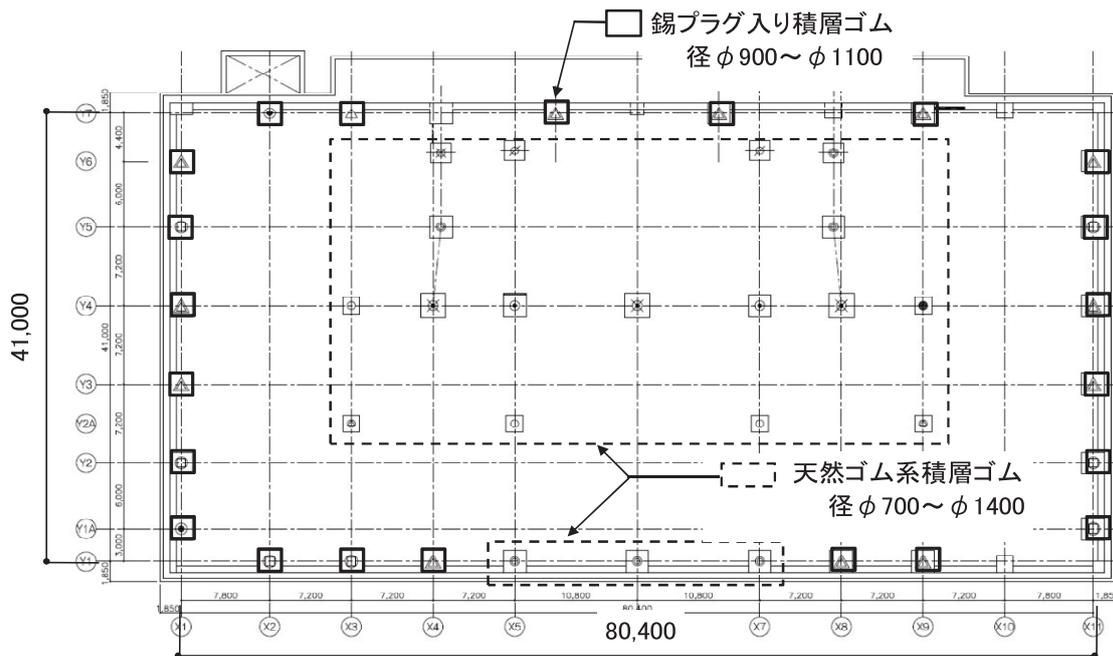


図7 免震装置の配置図

表2 耐震性能目標

	レベル1 (稀に発生する地震)	レベル2 (極めて稀に発生する地震)	レベル3 (レベル2の1.25倍)
上部構造	短期許容応力度以内 層間変形角 1/400以下	短期許容応力度以内 層間変形角 1/200以下	弾性限耐力以内 層間変形角 1/150以下
免震部材	積層ゴムせん断歪250%以内 引抜き力を生じさせない	積層ゴムせん断歪250%以内 引張面圧1N/mm <sup>2</sup> 以下	積層ゴムせん断歪250%以内 引張面圧1N/mm <sup>2</sup> 以下
下部構造	短期許容応力度以内		

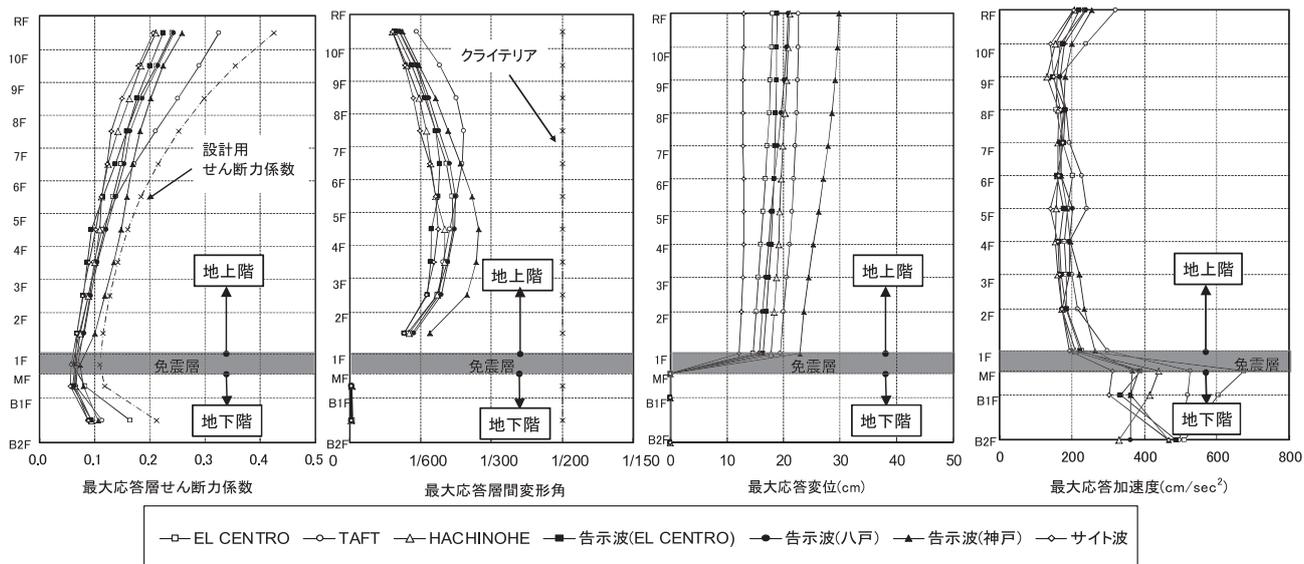


図8 地震応答解析結果 (X方向レベル2)

目標に対しても、十分な耐震性能を確保しており、テナントビルとして高い付加価値を実現している。

## 6 おわりに

今後の都心部で計画される免震建物は、敷地の有効利用の観点から、中間階免震や柱頭免震等の採用が増えてくるものと考えられる。その際、計画段階ならびに現場施工段階で重要な点は免震層を貫くELVシャフトや駐車場に通じるスロープのEXP.Jの納まりである。図9にELVシャフト断面図及び図10にスロープ断面図を示す。本建物で検討したディテールが、今後の中間階免震建物や柱頭免震建物において参考になるものと考えている。

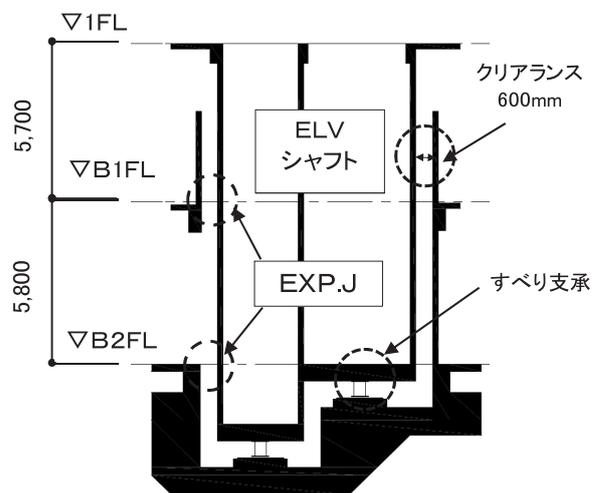


図9 ELVシャフト断面図



図10 スロープ断面図



写真2 免震装置取付け状況

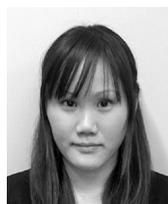
# 製粉ミュージアム本館(免震レトロフィット)



貞広 修  
清水建設



有田 康正  
同



坂中 玲子  
同

## 1 はじめに

東武伊勢崎線館林駅のすぐ傍に、日清製粉グループの工場敷地が広がっており、その一角に木造の製粉ミュージアムがたたずんでいる。この建物は明治43年に建立された在来軸組工法による木造建築であるが、使用されている木材は、それまで旧工場で作られていた材料を再利用したものである。屋根はクイーンポストトラスの小屋組みから成り、さらに1階には無柱の大広間が形成されるなど、当時の構造計画としては非常に高度な技術が使われている。外観は杉板の下見板貼り仕上げ、内装には所々に漆喰の繊細なレリーフが施されている等、歴史的価値のある木造建築物である。

本計画では、既存建物の構造体および内外観をそのままの状態で作保存するため、耐震上、最も有効な改修方法として免震レトロフィットを採用した。

本稿では、木造建築物の免震レトロフィットについて紹介する。

## 2 建物概要

建物名称：製粉ミュージアム本館  
所在地：群馬県館林市栄町6番1号  
主要用途：展示館  
建築主：株式会社日清製粉グループ本社  
竣工年：明治43年  
構造種別：木造(在来軸組工法)  
設計者：＜新築時＞不明  
＜改修時＞清水建設株式会社  
一級建築士事務所  
施工者：清水建設株式会社

## 3 耐震改修計画

耐震改修計画として、木造建物の既存レンガ基礎の下部にRC造の床梁による人工地盤を新設し、その直下に免震材料を設置する基礎免震形式を採用した。上部構造が木造であることから、通常の免震建物よりも重量が軽い。従って、免震の効果を発揮させるために、人工地盤を新設することで重量を確保した。さらに免震材料には荷重を支持しない小径の天然ゴム系積層ゴム復元材を使用することで、目標固有周期を実現した(図5)。この他の免震材料として弾性すべり支承、オイルダンパーを採用している(図3)。弾性すべり支承は建物荷重支持用として、350φ×5基設置している。この弾性すべり支承は風荷重に対する変形抑制の役割も持ち、摩擦係数0.03のすべり材を採用した。

弾性すべり支承の摩擦力により、稀に発生する風荷重 $Q_{w1}$ に対しては残留変形が生じず、極めて稀に発生する風荷重 $Q_{w2}$ に対して残留変形 $\delta = 121\text{mm}$ に抑え、免震層のクリアランス以下となるように設定した。この摩擦係数の設定に当たっては、地震時の



写真1 製粉ミュージアム外観(免震レトロフィット後)

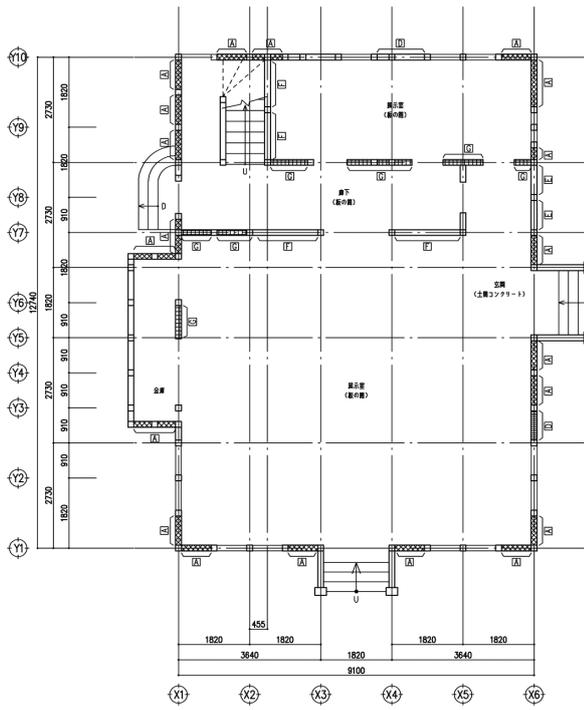


図1 1階平面図

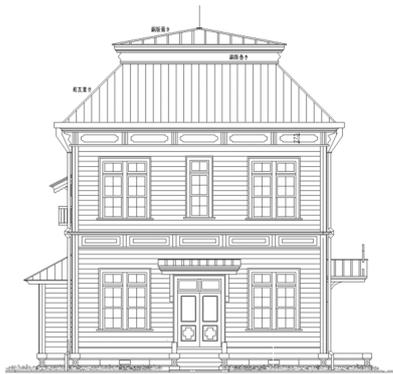


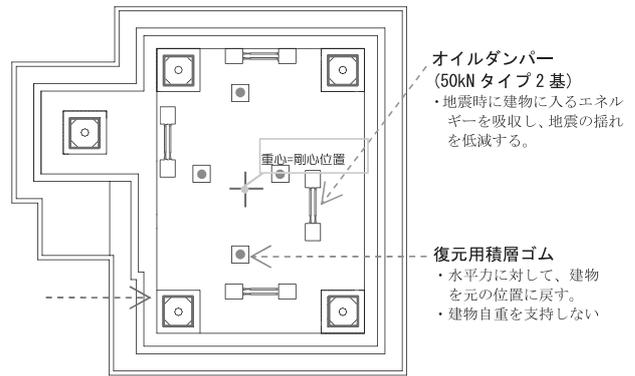
図2 南側立面図

応答加速度がクライテリアを満足しているかを確認するなど、木造建物を免震化する上で、地震と風の両方の影響を考慮している。さらに地震時の免震層変形に対してオイルダンパーをX方向およびY方向それぞれ2基(50kNタイプ×2)を2対(計8基)配置し、変形抑制効果を期待している。

## 4 地震応答解析概要

### 4.1 耐震性能目標

耐震性能目標を表1に示す。設計用地震動は、位相を変えた告示波3波と観測波3波(EL CENTRO 1940NS、TAFT 1952EW、HACHINOHE 1968NS)とした。サイト波(当該地周辺の地震環境を反映した想定関東平野北西縁地震、想定茨城県南部地震)を検討したところ応答スペクトルが告示波および観測波に比べ、十分に小さい地震動であるため、解析対



免震材料	記号	諸元	基数
復元用積層ゴム	●	300φ H=200	4
弾性すべり支承	○	350φ μ=0.03	5
オイルダンパー	—	C=500N・s/cm	各方向4

図3 免震材料配置図

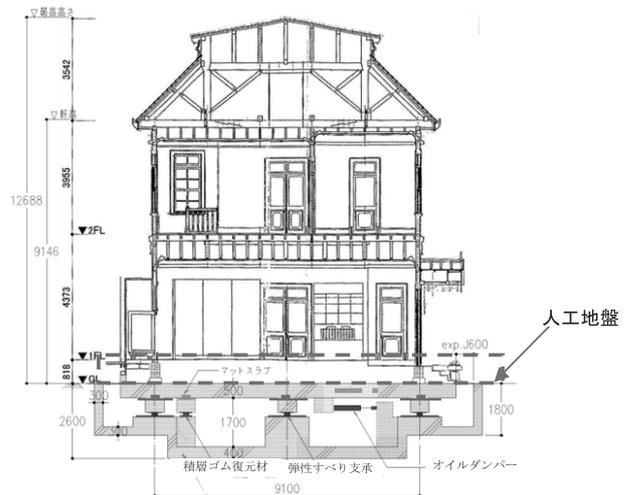


図4 免震ピット断面図

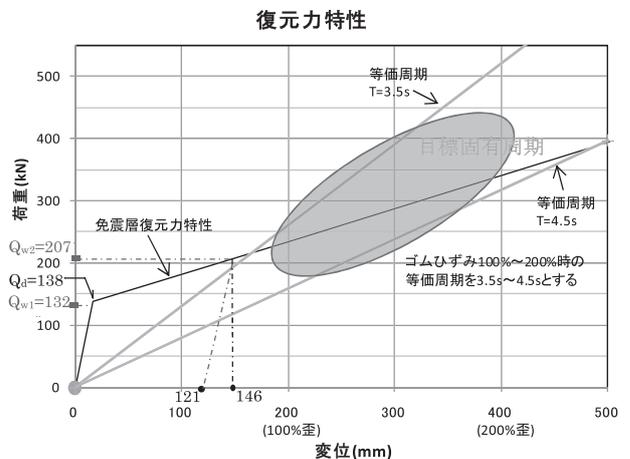


図5 目標固有周期と風荷重による免震層の変形性能設定

象から除外した。

表1 耐震性能目標

レベル	レベル 1 (25cm/s)	レベル 2 (50cm/s)	
上部構造	応答加速度	200cm/s <sup>2</sup>	250cm/s <sup>2</sup>
	層間変形角	1/200	1/150
	最下階層せん力係数	0.145	0.195
免震層	免震装置変形 30cm	性能保証変形以内 45cm	

表2 採用地震動

入力地震動	最大加速度 (cm/s <sup>2</sup> )	最大速度 (cm/s)
EL CENTORO 1940 NS	511	50.0
Taft 1952 EW	496	50.0
HACHINOHE 1968 NS	337	50.0
告示波(関東 1923EW)	221	51.8
告示波(神戸 1995NS)	258	62.3
告示波(一様乱数)	259	56.1

#### 4.2 解析モデル

基本振動モデルは、3質点系の等価せん断バネモデルとした。上部木造部分の復元力特性は、壁倍率から五十田式により Slip と BiLinear の組み合わせモデルとしている。

免震材料の復元力特性として、弾性すべり支承は BiLinear、積層ゴム復元材は Linear、オイルダンパーはダッシュポットとしている。

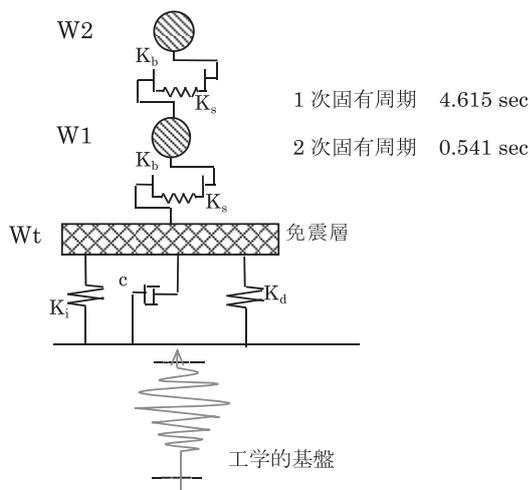


図6 解析モデル

表3 解析モデル諸元

階		質量 (kN)	質点高さ (m)	X方向 初期剛性 (kN/m)	Y方向 初期剛性 (kN/m)
RF	W2	285.5			
2F	W1	319.3	4.0	7729	7575
			5.2	9770	10117
1F	Wt	3999			
免震層		-	2.2	8377	8377

#### 5 地震応答解析結果

免震材料のばらつきを考慮した時刻歴応答結果より、レベル2における最下階の最大応答層せん断力係数は  $C_0 = 0.190$  であった。また、免震層の最大応答変位は X, Y ともに 35.7cm となっており、いずれもクライテリアを満足していることを確認した。

表4 レベル2 応答解析結果

方向	X方向	Y方向
上部構造		
応答加速度	249cm/s <sup>2</sup>	246cm/s <sup>2</sup>
層間変形角	1/159	1/168
最下階層せん力係数	0.190	0.187
免震層	免震装置変形 35.7cm	35.7cm

#### 6 工事計画

建物の免震化に伴い、施工計画としては、建物の曳家工事をはじめ、既存レンガ基礎再利用のためのレンガ切り出し・一時保存など多くの工事工程が必要である。また、既存建物の外観を損なわない範囲で一部に構造用合板による木造耐力壁を新設するなど、上部木造の補強工事も並行して実施する。図7に施工計画を示す。

#### 7 おわりに

これまで木造建物の免震レトロフィットの前例が数少なく、今回のプロジェクトにおいては、設計や工事計画に際して、多くの方々に技術提案や設計のご協力いただきました。関係者の皆様方には心より厚く御礼申し上げます。

#### 参考文献

- 1) 日本建築構造技術者協会, 木造建築構造の設計, 2004

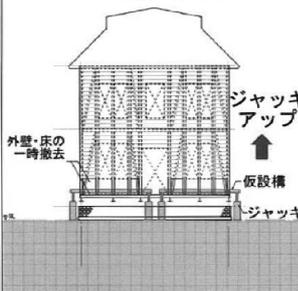
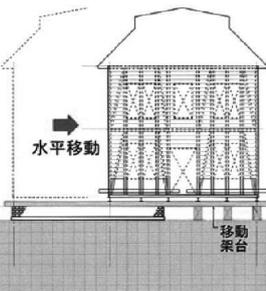
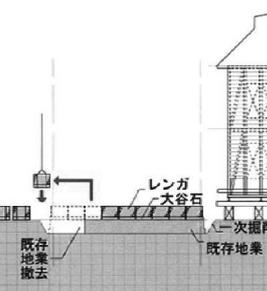
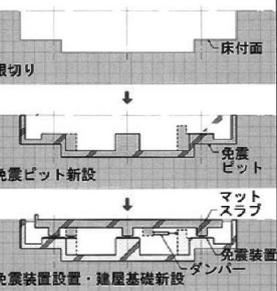
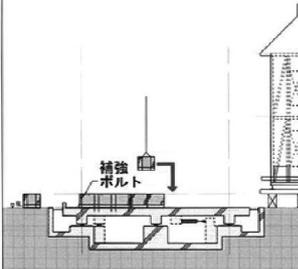
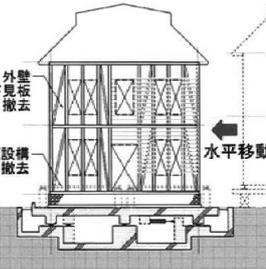
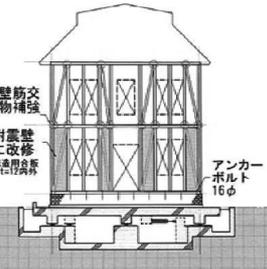
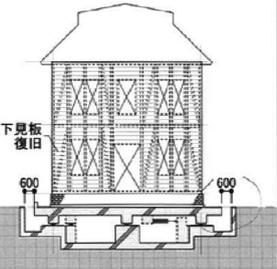
手順	1. 曳家の準備	2. 曳家	3. 既存基礎 解体・移動	4. 免震基礎新設
要領図				
要点	①1階床・外壁の一時撤去 ②仮設構の設置 ③ジャッキアップ	①移動架台の設置 ②上部建屋の移動（土台を含む）	①既存基礎（大谷石及びレンガ積部分）を所定のパーツに分断して一時移管 ②既存地盤下部まで一次掘削 ③既存地盤の解体撤去	①根切り ②免震ピット新設 ③免震装置設置・建屋基礎新設
手順	5. 既存基礎の復旧	6. 曳家（復旧）・レベル調整	7. 上部構造補強	8. 外装・内装補修・設備改修
要領図				
要点	①既存基礎（大谷石及びレンガ積）を免震基礎上に興し補強ボルトで基礎に圧着する。（補強ボルトはレンガ基礎上部から削孔・設置・緊張する）	①上部建屋を元の位置に曳家する。 ②外壁下見板を一時撤去する。 ③上部建屋のジャッキダウンを行う。床レベルの不陸調整も合わせて行う。	①土台とレンガ基礎の緊結を行う。 ②1階外壁を構造補強（壁率5倍の耐震壁に改修。既存筋交は現状のまま、金物不要） ③2階外壁筋交の金物補強（外部より行う）。	①1階床・外壁下見板の復旧。内壁塗装の撤去及びジャッキアップに伴う漆喰ひび割れの補修 ②内部補修：建具・扉・天井、設備、外構EXP.J等 ③屋根仕上の補修

図7 工事ステップ図



写真2 曳家工事状況



写真3 既存レンガ基礎



写真4 免震ピット施工状況



写真5 曳家（復旧）工事状況

# 連結制震構造を採用したサウスゲートビルディング



尼崎 隆  
西日本旅客鉄道



越野 栄悦  
ジェイアール西日本コンサルタンツ



保田 秀樹  
安井建築設計事務所



松本 孝弘  
同



秋田 智  
同

## 1 建築概要

サウスゲートビルディング(旧アクティ大阪、今回増築後に改称)は、南北の主要幹線道路である御堂筋、四つ橋筋を両翼に配した大阪を代表する地点にあり、御堂筋、四つ橋筋それぞれからの景観に配慮し、大阪駅南口の新たな顔づくりを目指した既存超高層ビルに対する増築計画である。

増築建物の1～3階では吹抜けプラザを開放感のある立体的な広場として整備し、地下1階および3～14階では既存百貨店と一体的に利用できる店舗エリアを構成した。また、地下1階～地上3階の南北連絡通路(図1)は、南側地下街から大阪駅橋上駅へのメイン動線であり、大勢に利用されている公共空間である。

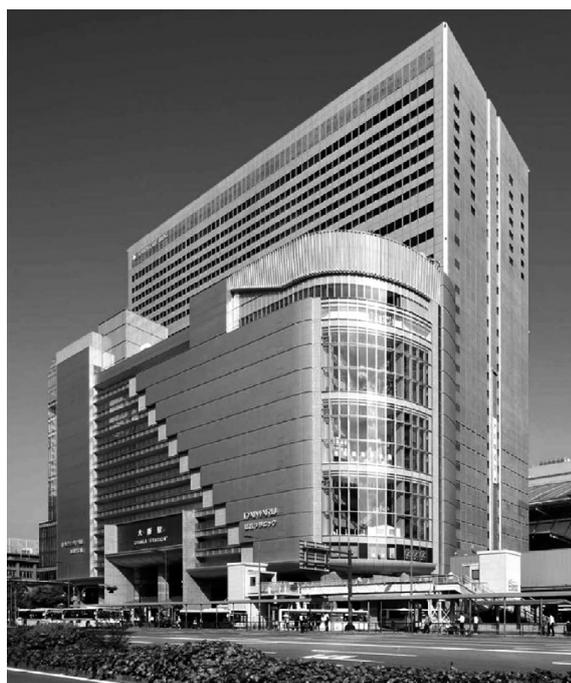


写真1 外観写真

## [建物概要]

- 建 物 名 称：サウスゲートビルディング
- 所 在 地：大阪市北区梅田3丁目
- 建 物 用 途：店舗、ホテル、駐車場、駅コンコース
- 階 数：地上28階、地下4階、塔屋2階(既設棟)  
地上16階、地下2階、塔屋2階(増築棟)
- 最 高 高 さ：122.4m(既設棟)  
74.6m(増築棟)
- 延 べ 面 積：170,530.76m<sup>2</sup>
- 構 造 種 別：地上 鉄骨造(1階 SRC造)(既設棟)  
鉄骨造(柱 CFT造)(増築棟)  
地下 鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造
- 建 築 主：西日本旅客鉄道株式会社  
大阪ターミナルビル株式会社
- 設 計 者：株式会社安井建築設計事務所  
ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社
- 施 工 者：アクティ大阪増築工事特定建設工事  
共同企業体(竹中工務店、大鉄工業)

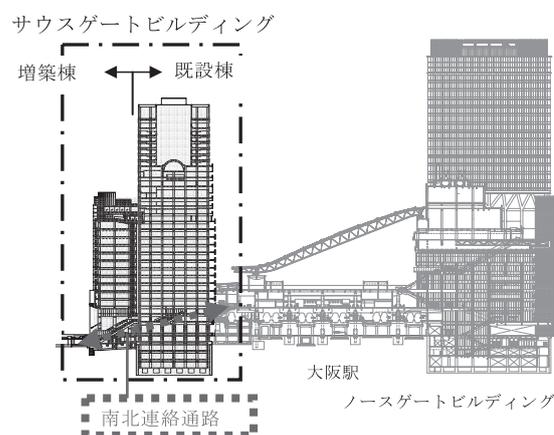


図1 大阪駅開発プロジェクト

## 2 構造上の課題と連結制震構造の採用

既存超高層建物(以下、「既設棟」)に高層建物(以下、「増築棟」)を増築するにあたり、次の3点が構造上の重点課題であった。

- ① 既設棟の現行法規への適合  
(法令の遵守・耐震安全性の確保)
- ② 増築に伴う既設棟の地震力負担の抑止  
(既設棟の基礎・杭等の補強の回避)
- ③ 既設・増築間のEXP.Jや補強による空間支障の最小化(有効面積の確保)

単純に躯体相互を緊結する方法や躯体を完全に分離する方法ではこれらの課題を合理的に解決することは難しい。そこでその解決策の一つに、建物相互を制震デバイスで連結する連結制震構造を採用し、表1に示す構造方式に対して時刻歴地震応答解析などの結果を比較し、その効果を確かめた。

その結果の一例として、既設棟の最大応答値分布を図2に示す。ここでの連結制震構造は制震デバイスにオイルダンパーを用い、15階で連結した。最大応答層間変形角は、連結しない場合や全層接続の場合に比べて連結制震構造の場合、応答は減少している。また、最大応答層せん断力係数では、15階(連結階)以上でのホイッピングによる応答の増幅が連結制震構造の場合最も抑制される結果であった。さらに連結制震構造では、EXP.J寸法の目安となる最大応答棟間変位は連結しない場合の1/2～1/3程度に低減された。

表1 構造方式の比較

構造的に独立した構造	両棟の躯体を緊結した構造	特定の床を連結した構造

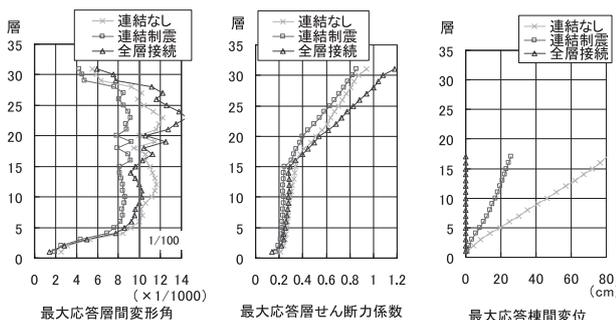


図2 時刻歴地震応答解析結果の一例

## 3 構造概要

既設棟は、東西を長辺方向とした120m×35mの長方形平面であり、増築棟も同様に120m×20mの辺長比の大きい平面をもち、これら2棟は長辺方向に平行に配置されている。

構造概要図を図3に示す。地下階は既設・増築棟ともに鉄骨鉄筋コンクリート造耐震壁付ラーメン構造である。既設棟の地上階は2階以上が鉄骨ラーメン構造、1階が鉄骨鉄筋コンクリートラーメン構造であり、増築棟には耐震間柱とオイルダンパーを併用した鉄骨ラーメン構造を採用し、柱にコンクリートを充填した。また、既設棟の基礎は、GL-28m以深のN値50以上を示す砂礫層(第一天満層)を支持層とする場所打ち鉄筋コンクリート杭基礎およびGL-40m以深のN値50以上の砂礫層(第二天満層)を支持層とする場所打ち鉄筋コンクリート地中壁、壁杭を併用し、増築棟では第一天満層を支持層とした杭頭鋼管巻き場所打ち鉄筋コンクリート杭(拡底杭)を採用した。

既設棟は昭和58年に竣工し、およそ30年が経過しているが、コンクリートコア試験などからその健全性を確認した。

これら2棟間には次節に示す連結ダンパーを配置して、連結制震構造を構成した。

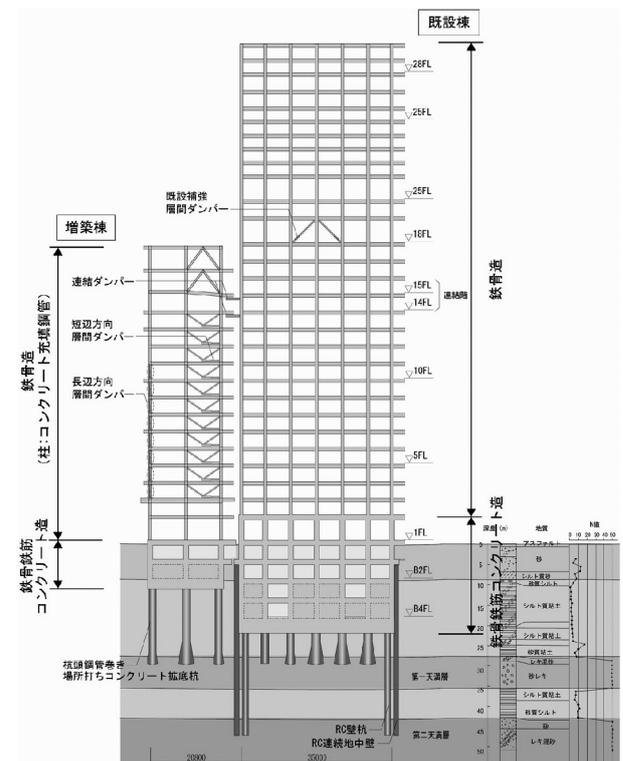


図3 構造概要図

#### 4 連結ダンパーの配置

連結ダンパーにはオイルダンパーを採用し、既設棟側の取付け部の補強を最小限にとどめるため、次の方針によりその仕様・配置を計画した。

- ① 既設棟側の取付け位置は柱梁接合部としたが、その部分への負荷に配慮して連結ダンパーの減衰力は1基あたり最大1000kN、その減衰特性はリリーフ機構を有するバイリニア型とした。
- ② 連結ダンパーは、上層階である14階、15階の2フロアに12基ずつ集約して配置した。また、連結ダンパーの総量(減衰係数)は、事前に検証したエネルギーの消費効率の高くなる減衰係数とし、それに適するオイルダンパーを選定した。
- ③ 連結ダンパーは水平方向の全方位に効果を発揮するように建物の主軸に対して45°方向に、天井内で水平に配置した。

連結ダンパーの取付けを図4に示す。既設棟の耐震補強部材である連結ダンパーを天井内に設置することで、既存の店舗内やホテル内で耐震補強に要するスペースを占有せず、既設棟の耐震性能向上を実現できた。

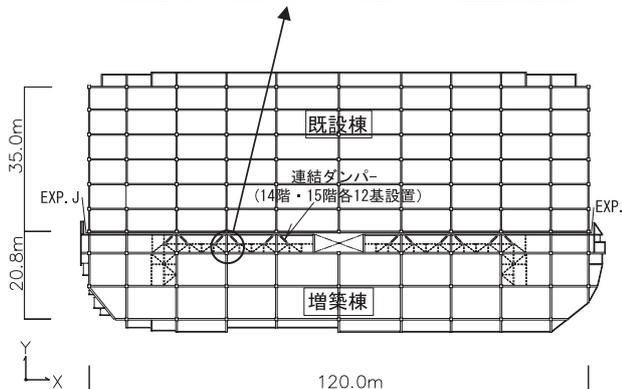
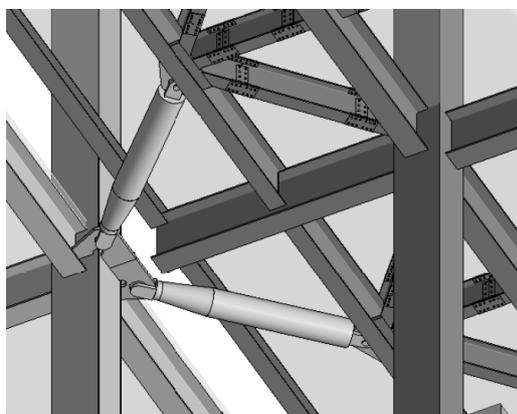


図4 連結ダンパー配置図

#### 5 時刻歴地震応答解析による制震効果の検証

前節で示した既設棟・増築棟の構造架構に対して時刻歴地震応答解析により応答性状を確認した。

時刻歴地震応答解析に用いた振動モデルを短辺方向(Y方向)について図5に示す。14・15階レベルで既設棟と増築棟を結ぶ連結ダンパーは、バネとダッシュポットを直列配置したMaxwellモデルで評価した。

検証に採用した地震波を表2にまとめて示す。表中、「告示波」は平成12年建告第1461号に示された加速度スペクトルに適合した地震波に、建設地の表層地盤の特性を反映した模擬地震波とした。

固有値解析の結果を表3に示す。建物の重量・剛性の違いにより、固有周期は既設棟・増築棟で大きく異なっており本構法の有効性を推測できる。

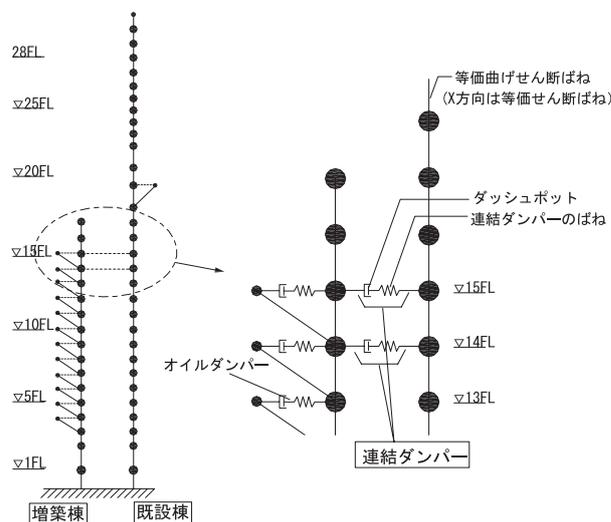


図5 振動解析モデル (Y方向)

表2 採用地震波と入力レベル

地震動名	記録地震動		極めて稀に発生する地震動 (レベル2)		
	最大速度 (cm/s)	最大加速度 (cm/s <sup>2</sup> )	最大速度 (cm/s)	最大加速度 (cm/s <sup>2</sup> )	応答継続時間 (秒)
EL CENTRO 1940 NS	33.5	341.7	50.0	510.8	60
TAFT 1952 EW	17.7	176.0	50.0	496.8	60
HACHINOHE 1968 NS	34.1	225.0	50.0	330.1	60
告示波 1	—	—	58.6	369.8	120
告示波 2	—	—	58.6	349.5	120
告示波 3	—	—	82.4	350.5	120

告示波：告示波1, 2は「ランダム位相」、告示波3は「HACHINOHE 1968 NS位相」を採用。

表3 固有周期 (単位: sec)

		1次	2次	3次
X方向	既設棟	3.17	1.19	0.73
	増築棟	2.17	0.74	0.53
Y方向	既設棟	3.02	1.09	0.64
	増築棟	2.35	0.78	0.46

時刻歴地震応答解析により得られた結果の一例として、既設棟の応答に着目し、その最大応答層間変形角を図6に、最大応答層せん断力を図7に示す。各図とも、採用地震波6波による最大応答値を包絡する曲線で示している。また、連結の効果を確認するため、既設棟の単独モデル(連結しない状態)での解析結果も合わせて示している。既設棟の最大応答層間変形角は、単独モデルでは最大で1/70~1/80であったが、増築棟との連結により1/100以下に低減でき、また、最大応答層せん断力も、連結しない場合の70%~80%程度まで低減できた。

既設棟・増築棟の各階床位置での相対変位で表した最大応答棟間変位を図8に示す。連結しない場合に比べ、棟間変位は1/2程度となりEXP.J寸法を小さく抑えて、床面積を有効に活用することができた。

## 6 おわりに

本建物では高層建物の増築のほかに、既存の店舗エリア部分を駅コンコースへ用途変更する計画も同時に行われた。その際、既設棟の床仕上げ改修だけでなく大梁の撤去を伴った床改修を要したが、既設棟の耐震性向上と現行法への適合を可能とした増築棟との連結制震構造によって、特別な補強を施すことなく改修を実現できた。

既設建物の改修は、店舗・ホテルなどを営業しながらの工事となる場合が多く、補強箇所数や補強位置は改修工事においては重要な要素である。本建物

では、このような問題点を合理的に解決し、建物を継続的に利用する一つの手法を提示できたと考える。

最後になりますが、本計画の設計・監理に携わる機会を頂いた大阪ターミナルビル株式会社の皆様と、本工事に多大な尽力を頂いた工事関係者の皆様に深く感謝いたします。



写真2 吹抜け部(南ゲート広場)

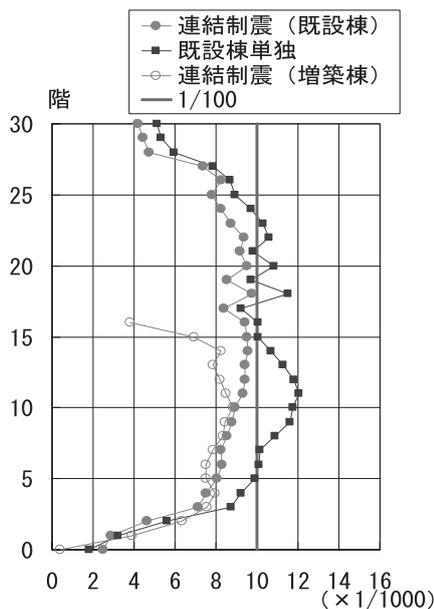


図6 最大応答層間変形角

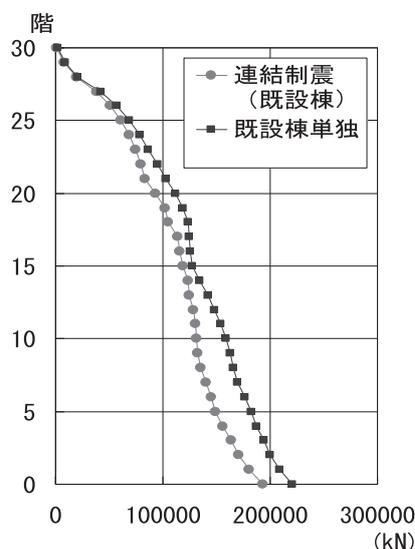


図7 最大応答層せん断力

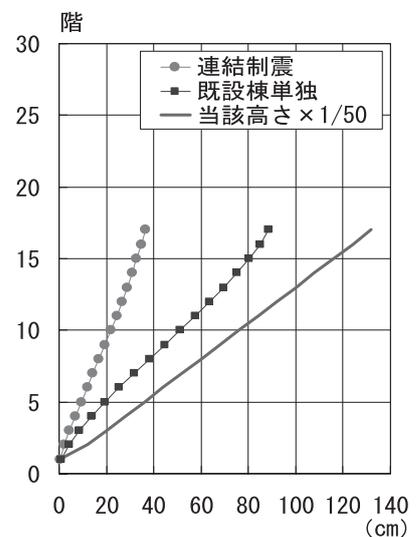
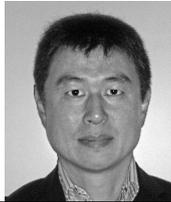


図8 最大応答棟間変位

# 「知の拠点」あいち産業科学技術総合センター



人見 泰義  
日本設計



猿田 正明  
清水建設



世良 信次  
CERA 建築構造設計



浜辺 千佐子  
竹中工務店

## 1 はじめに

愛知県豊田市の愛・地球博跡地に平成23年11月に竣工した、「知の拠点」あいち産業科学技術総合センターを紹介します。この建物は、直下の断層を考慮した免震建物です。

愛知県では、大学等の研究成果をモノづくり産業の技術開発（イノベーション）につなげ、既存産業の高度化や次世代産業を創出するため、付加価値の高いモノづくり技術を支援する研究開発拠点として「知の拠点」づくりを進めており、その中核施設として、あいち産業科学技術総合センターが建設されました。

設計を進める過程で、断層の調査をしたところ、敷地内を断層が通っていることがわかり、最新の知見をもとに断層を考慮した設計がなされています。

### 建築物概要

建設地：愛知県豊田市八草町秋合1267-1

建築主：愛知県

設計・監理：愛知県建設部、日建設計

施工：安藤建設・日東建設・栄興建設 共同企業体

主用途：研究施設

建物規模：地上3階・塔屋1階

建築面積：5,297.78m<sup>2</sup>

延床面積：14,896.43m<sup>2</sup>

最高高さ：SGL + 23.94m

構造種別：免震構造（RC造・一部S造・SRC造）

施工期間：2010年5月～2011年11月

最初に、本建物の概要について、設計者の日建設計山本氏、吉原氏、桐山氏、施工者の安藤建設 高橋所長から説明がありました。



写真1 建物外観



写真2 建物エントランス



写真3 建物内観

## 2 建築概要

本建物は、21世紀の最先端研究を進める、融合型研究を推進する研究所であるため、Communication & interactionを誘発する空間をいかに構成するかが課題ということでした。その答えとして、北棟と南棟の2つの研究棟の間を、ナレッジ・コモンズと呼ぶ階層的な設えのアトリウム空間とすることで、研究者間のコミュニケーションを生み、融合的、境界領域的研究の促進させようとしています。

北棟と南棟は各々3階建ての基礎免震建物で、建物外周が法面で掘り込まれているので、免震層の存在が外部からも分かります。

実験施設のフレキシビリティに対応するために、鉄骨下地を入れ天井吊材を無くすキャットウォークシステムとして、天井裏に人が立てる空間を確保し、設備更新を容易にしています。

北棟には電子顕微鏡を設置しています。微振動の実測の結果、免震建物内でも除振が困難な低振動数域では免震の上下で差が無いため、振動源との距離をとり、除振台を設置して免震建物内に設置しているとのことでした。

環境配慮としては、太陽光発電や、雨水再利用、隣接する森から冷涼な空気を外気として取り込み、マットスラブ中のクールヒートチューブを通す地熱利用など様々な取り組みを通して、環境に配慮した設計となっており、CASBEEあいちSクラスを取得しています。

施設内にはもう1棟、あいちシンクロトロン光センター（仮称）が在りますが、実験施設との関係から、こちらは耐震構造の建物となっています。

## 3 断層調査と設計変更

敷地から数百mの距離にある猿投山北断層は、活断層であることが確認されており、今後30年に発生する確率は0～2%でやや高い部類に属しています。また、愛知県設計用入力地震動研究協議会では防災対策として対策すべき断層と判断されていることから、万全を期すために、基本設計が終わった時点で、断層調査を行ったそうです。

トレンチ調査を行った結果、断層らしきものが見つかり、学識者の見解としては、

- ・累積性のある断層は2条
- ・猿投山北断層の副次的な断層の可能性がある。（活動年代は不明）

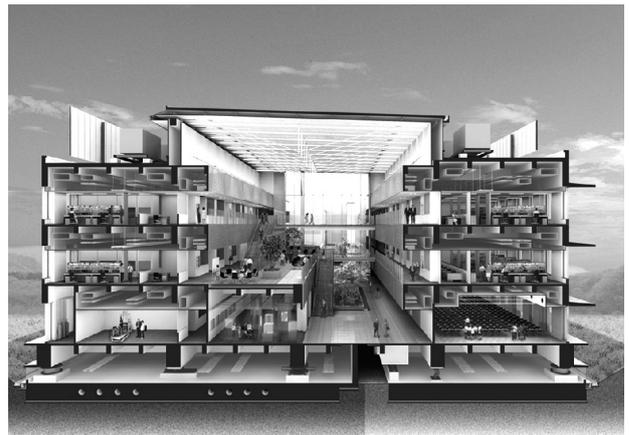


図1 建物断面

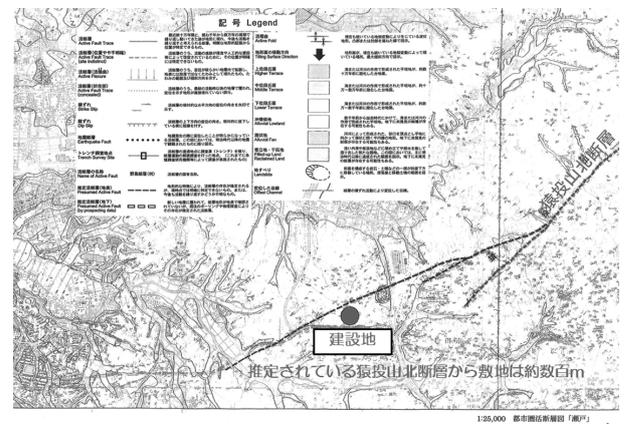


図2 猿投山北断層帯と建設地



図3 基本設計案での断層と建物配置



図4 実施設計での断層と建物配置

- ・原子力施設などは建てられないが、「一般の建物を建てるな」とは言えない規模の断層
  - ・明瞭な横ずれ断層で、猿投山北断層の一部と仮定した場合でも、水平方向の変位は最大で1m程度、鉛直方向の変位は水平の1/10程度
  - ・断層と建物の離階は1～2m程度あればよい
- というものでした。

これを受けて、道路に平行に配置していた建物を、断層に平行にレイアウトし直し、断層を跨ぎ2棟の独立した免震構造として屋根・ブリッジ・カーテンウォールで接続する、大幅な設計変更が行われました。

#### 4 構造設計概要

建物は、約133m×44mの矩形平面であり、桁行き方向は6.3mの21スパン、梁間方向は約11mの北棟2スパンと南棟1スパンで、RC造、一部S造・SRC造の純ラーメン構造となっています。

南棟と北棟はそれぞれが基礎からエキスパンションとした独立した免震構造となっており、基礎形式はマットスラブによるべた基礎です。

地震時に可動する屋根、ブリッジは、万が一の断層の上下変位にも追従可能とするために、軽量化した鉄骨造となっています。

本建物の安全性を十分確保するため、建物配置及び構造計画の基本方針を下記としています。

①トレンチ調査で得た実際の断層ラインに±1mを誤差として考慮し、想定断層ラインに設定し、断層がずれた場合でも建物の支持力が確保できるように想定断層ラインと基礎との隔離を1.5m以上確保し、断層を避けて3棟を切り離して配置。②クリアランスを超えて衝突した場合に備え、免震構造であるが外力は低減せず、ベースシヤ係数0.2、外力分布はAi分布の設計荷重とし耐力を十分確保（結果Ds = 0.45相当の耐力を実現）。③地表断層滑りによる永久変形（フリングステップ）対策として、断層「ずれ」の方向は、より大きな免震クリアランスを確保。

免震装置は、800mmの変形が可能のように1200φの天然ゴム系積層ゴムを用い、直動転がり支承を併用することで、レベル3の等価周期は3.9秒以上と長周期化を図っています。また、減衰は鉛ダンパーと鋼材ダンパーを用い、降伏せん断力係数として3.1%以上を確保しています。

設計クライテリアは、極めて希に発生する地震動

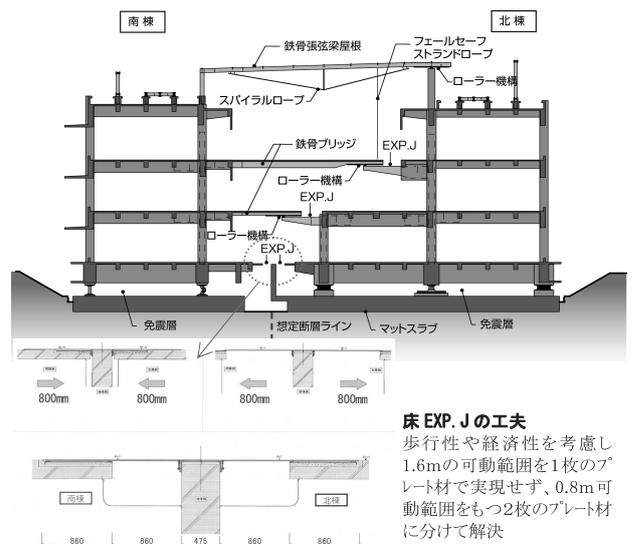


図5 構造計画概要図

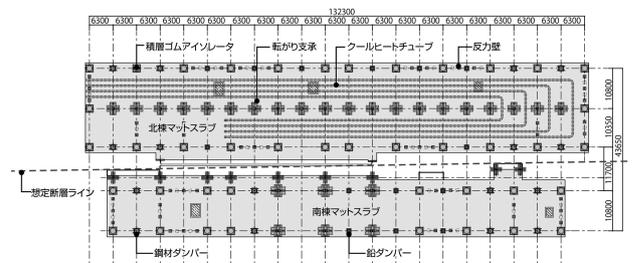


図6 マットスラブと免震部材配置

表1 設計クライテリア

	レベル1 (稀に発生する地震動)	レベル2 (極めて稀に発生する地震動)	レベル3A (レベル2の1.5倍の地震動)	レベル3B (至近の活断層地震)
断層のずれ量	—			0~1m
上部構造	短期許容応力度以下		短期許容応力度以下	保有水平耐力以下
免震部材	・最大層間変形角 1/3000rad以下	・最大層間変形角 1/1500rad以下	・最大層間変形角 1/1000rad以下	・最大層間変形角 1/200rad以下
	・最大床応答加速度 1~3階 150cm/s <sup>2</sup> 程度以下	・最大床応答加速度 1~3階 300cm/s <sup>2</sup> 程度以下	—	—
基礎構造	・せん断変形設計許容変形 60cm以下	・せん断変形設計許容変形 75cm以下	・せん断変形設計許容変形 75cm以下	・せん断変形 X方向 100cm以下 Y方向 75cm以下
	・面圧圧縮応力 20 N/mm <sup>2</sup> 以下 (低弾性仕様天然ゴム系積層ゴムアイソレータ)	・せん断変形設計許容変形 75cm以下	・せん断変形設計許容変形 75cm以下	・せん断変形 X方向 100cm以下 Y方向 75cm以下
基礎構造	短期許容応力度以下	短期許容応力度以下	短期許容応力度以下	保有水平耐力以下

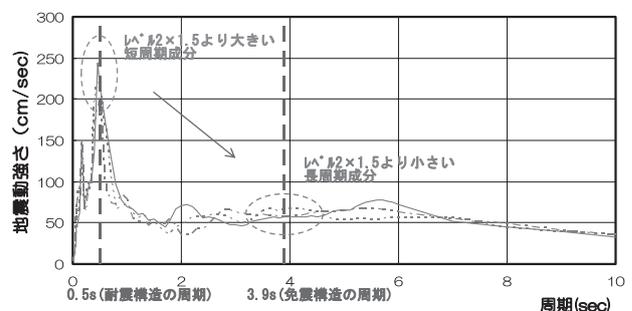


図7 サイト波（猿投山北断層帯）の応答スペクトル

を超える入力として、レベル3地震動を①レベル3A地震動（レベル2地震動の1.5倍の地震動）と②レベル3B地震動（直下の断層に起因する地震動）に

区分し、レベル3 B地震動は、損傷は生じるが、人命の確保が図られていることとしています。

## 5 免震エキスパンション

本建物は断層を跨いでいるため、北棟・南棟の2つの免震建物に分かれて設計されています。

各々の建物は、レベル3B地震動を考慮して断層並行方向は1000mm、断層直交方向は800mmの免震クリアランスとなっていますが、1階床、屋根、外壁とブリッジについては、免震建物同士が接しており、この部分には、1600mmの変形に追従できるエキスパンションが必要となっています。

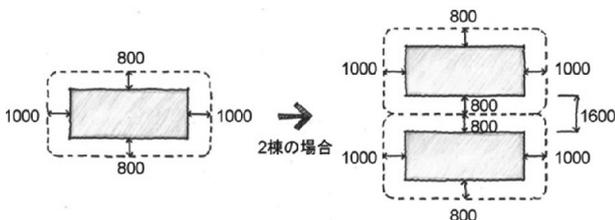


図9 免震クリアランスの考え方

これらエキスパンションについては、意匠上の見え方と、変形追従性の両立を図るため、設計でも苦労したとのことでした。

屋根は、張弦梁となっていますが、それを2スパン毎に直動転がり支承により受け、1600mmの変形に追従させています。また、ブリッジについても、北棟側に直動転がり支承を配したあごを設けて、変形に追従させています。

アトリウム部分の外装材の面外変形追従は、パンタグラフのような形式を用い、内観はその部分を布で覆い隠しています。

床については、基本的には固定部を挟み800mmのエキスパンションを2つを並べて対処していますが、外装材に取り付く部分は1600mmの変形に追従できる仕組みを考え、別途可動試験を行ない、変形追従性能を確認しています。

## 6 おわりに

直下の断層を考慮した免震構造ということで、設計者の苦労のあとが随所に見られ、最終的には、反力壁を設けジャッキによる位置修正を行えるようにするなど、想定外にも対応するという考え方の建物となっていました。

建築的にも、免震層を法面を設けて掘り込むこと



写真4 屋根のエキスパンション



写真5 ブリッジのエキスパンション

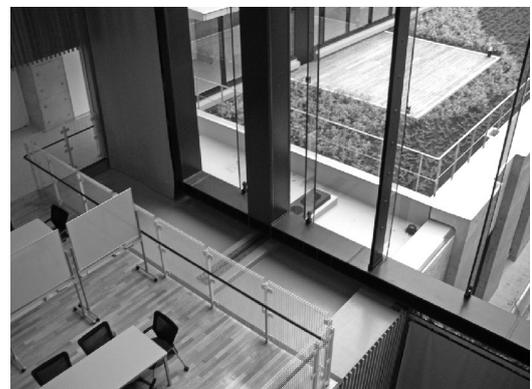


写真6 外装材のエキスパンション



写真7 床エキスパンション

で半屋外の空間としたり、中庭を断層線を模したものとするなど、建物の構造の特徴を表現した建物となっていました。

東日本大震災の事例を見るまでもなく、人間の技術は自然の脅威に常に勝てるものではない。しかしながら、常に人が住まう建物の場合には、可能な限り被害を減らすことも建築技術者の責務だと思います。

その意味で、震災前に断層の位置を調査で特定し、断層が動いた場合を考慮するという今回の設計に対して、設計者として断層に向き合う1つの回答を見せてもらったような気がしました。

最後になりましたが、日建設計 山本氏ほかには、建物を紹介いただきありがとうございます。



写真10 建物外周部の法面

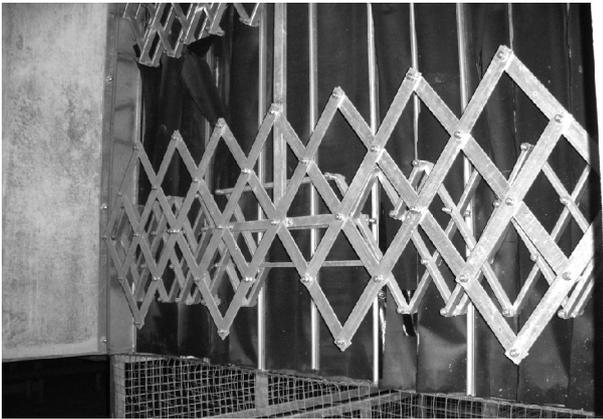


写真8 外装エキスパンション詳細



写真11 集合写真



写真9 反力壁（ジャッキ設置）



写真12 断層を表現した中庭

# リング摩擦ダンパー

構造形式：増幅機構型、筋違型、シアリンク型、方杖型他

製作・問合せ

日本発条株式会社 営業部 第三営業部

TEL：045-670-0008 FAX：045-670-0022

共同開発 飛鳥建設株式会社

## 1. 構造及び材料構成

### (1) 構造

リング摩擦ダンパーは、C型リングとロッドを嵌合し、ロッドとリングが滑ることによる摩擦を利用したダンパーです。写真1に示す単体モデルは、C型リングを複数個積層させた基本構成部材であり、写真2に示す複合ダンパーは、単体モデルを複数本組み合わせたダンパーです。

摩擦荷重は、リング数に比例して設定が可能のため、10kN～600kNまで自由に製作が可能です。

### (2) 材料構成

C型リング・・・弁ばね用オイルテンパー材

ロッド・・・みがき鋼棒

シリンダー・・・機械構造用炭素鋼鋼管

### (3) リング摩擦ダンパーの特徴

- 1) C型リングおよび単体モデルの使用数量で摩擦荷重を設定できるため、荷重の調整幅が広い。(10kN～600kNの摩擦荷重の設定が可能)
- 2) 木造、鉄骨造、RC造、SRC造まで対応可能。
- 3) 最大ストローク±160mm。
- 4) 出荷時の摩擦荷重のばらつき±5%以内。
- 5) 耐久性に優れており、原則メンテナンスフリー。
- 6) 複合ダンパーの形状の設計自由度が広く、矩形形状等とすることで狭スペース（壁内等）に配置可能。
- 7) 静摩擦と動摩擦の切り替えがスムーズ。
- 8) スティックスリップが小さい。

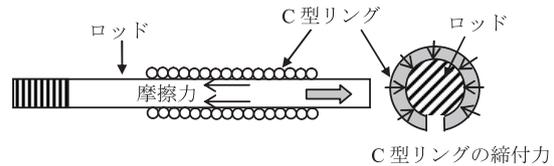


図1 摩擦ダンパーの機構

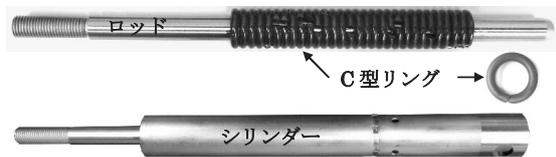


写真1 単体モデル（原理機構）外観



写真2 複合ダンパー外観

## 2. 寸法及び形状

複合ダンパー300kNタイプ、単体ダンパー30kNタイプを一例として図2、図3に示します。

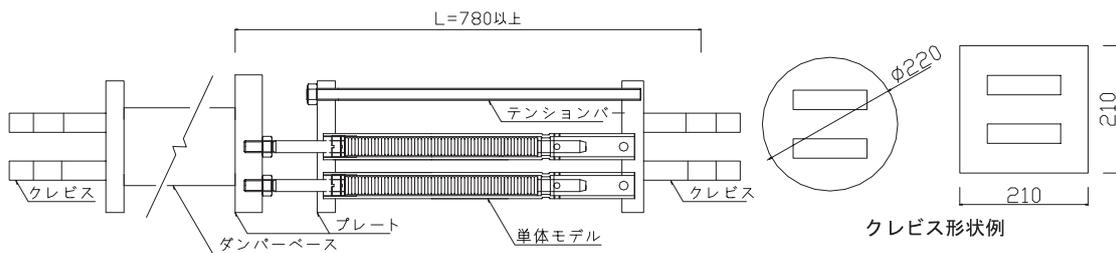


図2 複合ダンパー（300kNタイプ）寸法・形状例（mm）

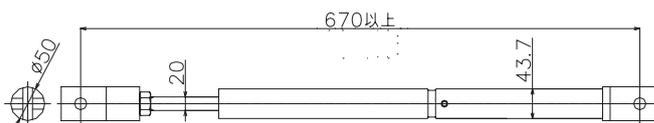
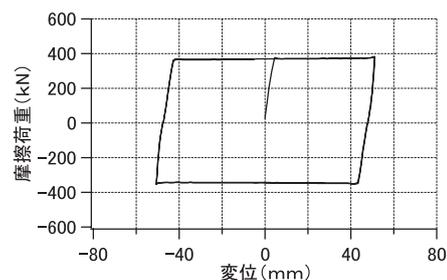


図3 単体ダンパー（30kNタイプ）寸法・形状例（mm）

## 3. 基本特性(荷重-変位曲線)

リング摩擦ダンパーは、0.05Hz～6Hzの周波数帯で、周波数依存性が小さく安定した荷重-変位曲線を示します。

図4に複合ダンパーの荷重-変位曲線を示します。



※上図は、ピンシャフト等の剛性を含んでいます。

図4 複合ダンパー 荷重-変位曲線（370kNタイプ）

# 2011年東北地方太平洋沖地震における免震建物居住者へのアンケート調査

普及委員会 教育普及部会

委員長： 前林 和彦 清水建設

委員： 今泉 隆之

ナイス

西川 一郎

岩下 敬三

免震エンジニアリング

平野 範彰

竹中工務店

木村 正人

三菱地所設計

山上 聡

奥村組

豊田 耕造

NTT ファシリティーズ

増田 陽子

日本免震構造協会

## 1 はじめに

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震においては東日本の広範囲で震度5弱以上を観測し、多くの免震建物が地震の影響を受けた。地震計により記録を残すことの出来た建物も多く、免震効果が発揮されたことも報告されている<sup>1)</sup>。一方、実際に建物内において地震時の揺れを体験した人の振動知覚に関して報告されている例<sup>2)</sup>は少なく、それらのデータを収集し、公表することは今後の免震建物の発展、普及に欠かせないものと考えられる。

本協会普及委員会では2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震において大きな揺れに見舞われた東北から関東地方に建設された免震建物の居住者、勤務者等を対象にアンケート調査を行った。

本報告はアンケート調査の結果をまとめたものである。

## 2 アンケート調査の概要

調査対象はなるべく異なる用途、規模の建物を選定した。最終的にアンケートの回答が得られたのは、宮城県、福島県及び関東地方に所在する免震建物24棟と非免震建物2棟であり、回答者数は197名である。アンケート項目の主な項目は以下であるが、免震構造についての感想、意見等について自由に記述してもらう欄も設けた。

回答者特性：年齢、性別、地震時にいた場所

建物概要：建設地、用途、構造種別等

体感の傾向：揺れの感じ方、恐怖・不安感等

家具・什器：移動、転倒、落下などの被害

インフラ等：停電、断水、ELV停止等

その他：生活・業務継続、満足度等

免震建物の回答者特性、建物概要について図1～6に示す。

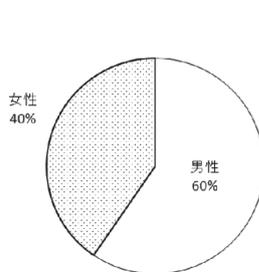


図1 回答者の性別

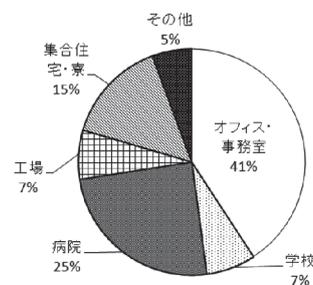


図2 調査建物の用途

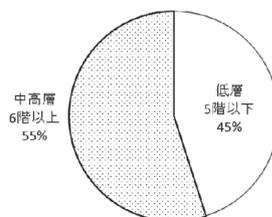


図3 調査建物規模

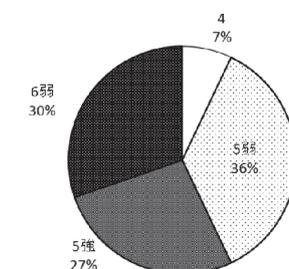


図4 調査建物周辺地域の震度

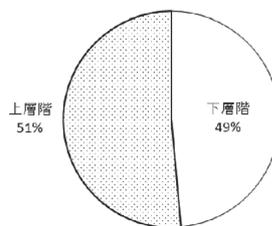


図5 地震時の居住位置

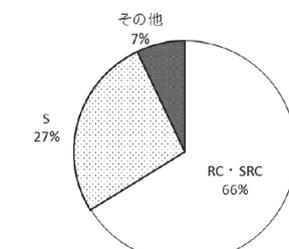


図6 調査建物の構造種別

## 3 アンケート結果（免震建物）

免震建物居住者に対する代表的なアンケート項目を、①体感、②居住者心理、③内部収容物の挙動、④業務・生活継続性に関するものに分類し、それぞれ

れ構造種別、上部構造の規模（層数）、地震時の居住位置、建設地周辺の気象庁震度（以下、地表面震度）の違いによる分析を行った。

ここでは、上部構造の規模は、上部構造の層数が5層以下を「低層」、6層以上を「中高層」とし、居住位置は、地震時の居住階が上部構造層数の半分以上の場合を「上層階」、それよりも低い階を「下層階」と定義する。

### 3.1 体感に関する分析

居住者の揺れの大きさに対する感覚を図7に示す。構造種別、規模、居住位置の違いに関わらず、概ね30%程度が「立ってられない程の大きな揺れを感じた」と回答している。また、地表面震度が大きくなるほど揺れを感じる度合いが大きくなり、震度6弱の地域では約60%がこうした大きな揺れを感じている。

揺れを感じた人に対して、「どのような揺れ方だったか」を尋ねた結果を図8に示す。「少しの揺れ」「立ってられる程度の揺れ」を感じた人の約85%が免震建物特有のゆっくりした揺れを感じたことがわかる。一方、「立ってられない程の揺れ」を感じた人については、約50%がゆっくりした揺れを感じているが、「ガタガタした揺れ」「激しい揺れ」と感じた割合もそれぞれ20%強に達している。

アンケートに添付した気象庁震度階級関連解説表により回答者が判定した震度（以下、体感震度）と地表面震度との関係を図9に示す。これによると、体感震度と地表面震度の関係には一定の傾向が見られ、震度6弱の地域では約35%が体感で「震度6以上」の揺れに感じていたことがわかる。

### 3.2 居住者心理に関する分析

地震時の心理状態に関する結果を図10に示す。揺れに対する感覚と同様の傾向にあり、全体で約35%が「恐怖感がかなりあった」「不安感がかなりあった」と回答している。震度5弱以上になると恐怖感や不安感を持つ割合が急増し、恐怖感や不安感が「かなりあった」「少しあった」と回答した割合は、震度5弱～震度6弱のいずれの地域においてもそれぞれ約90%、約80%に達している。免震建物であっても大きな揺れの場合には、恐怖や不安を感じる人が多いことは過去のアンケート調査でも報告されており、免震建物特有の揺れ方について、居住者の理

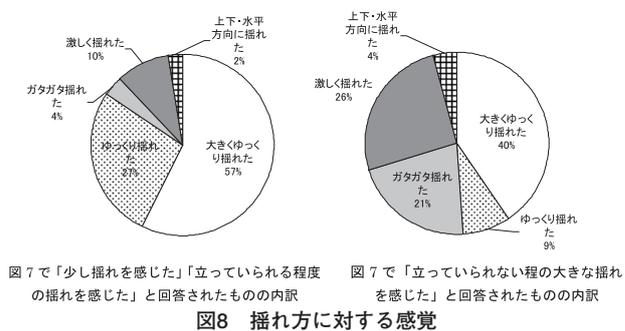
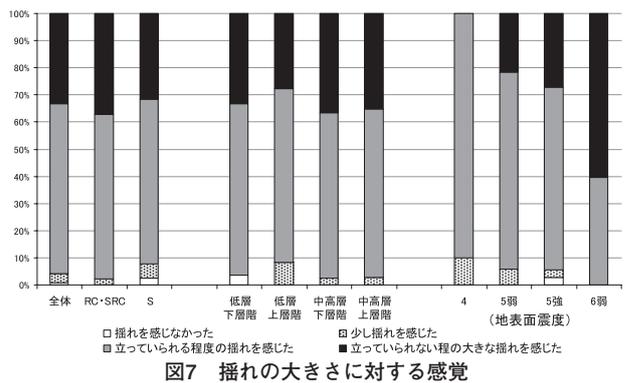


図8 揺れ方に対する感覚

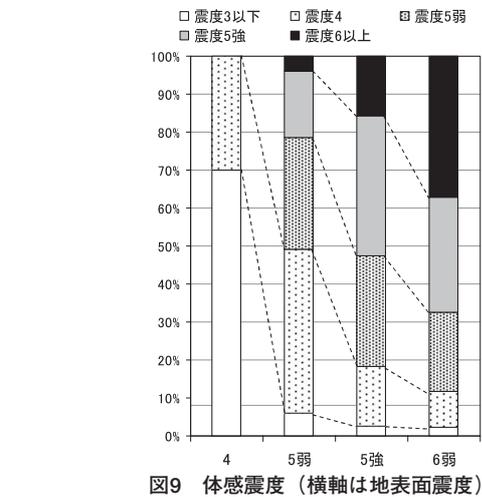


図9 体感震度（横軸は地表面震度）

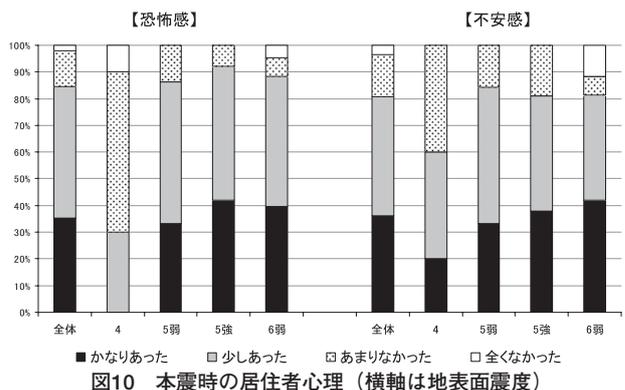


図10 本震時の居住者心理（横軸は地表面震度）

解を深める必要がある。

一方、「頻発する余震に対して安心感があったか」という質問に対しては、90%以上が「かなりあった」「少しあった」と回答している（図11）。本震時に恐怖や不安を感じた場合でも、本震後の余震時には免震建物であることに安心感を持ったことがわかる。

### 3.3 内部収容物の挙動に関する分析

「家具・什器等の内部収容物の移動・転倒があったか」と尋ねた結果を図12に示す。これによると、全体で約10%が移動・転倒があったと回答している。構造種別や規模、地表面震度の違いにより比較すると、本アンケートの範囲内では以下の傾向が見られる。

- ・構造種別では、RC系（RC造、SRC造）の建物に比べてS造の建物に多い。
- ・低層の建物に比べて中高層の建物、また下層階に比べて上層階にやや多い。
- ・移動・転倒があったという回答は、震度5弱以上で現れ始め、震度6弱の地域で急増している。

なお、移動・転倒があったと回答された家具・什器等の例を表1に示す。引き出しの飛び出しや花瓶の転倒などの軽微なものがほとんどであった。

### 3.4 業務・生活継続性に関する分析

「免震構造であったことによる業務、日常生活の継続について」のアンケート結果を図13に示す。地域の停電や断水によって業務・生活継続ができなかった回答があったものの、建物や設備の損傷等が原因で業務・生活継続ができなかったと回答した人はいなかった。

### 3.5 レーダーチャートによる分析

アンケート結果から得られる概括的な傾向を捉えるため、以下の方法によりレーダーチャートの作成を試みた。

- ①アンケートの代表的な項目を、
  - ・「体感」（地震の揺れの感じ方、体感震度）
  - ・「居住者心理」（恐怖感、不安感、余震時の安心感）
  - ・「内部収容物」（家具・什器等の移動・転倒）
  - ・「BCP」（ELVの閉じ込め、業務・生活の継続性）
 に関するものに4分類する。
- ②それぞれの項目のアンケート結果について、結果の性状が良いもの（＝5点）から悪いもの（＝1点）

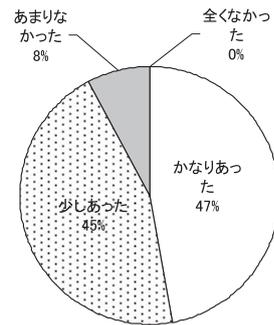


図11 余震時の居住者心理（設問：「頻発する余震に対して免震建物にいる安心感はありましたか。」）

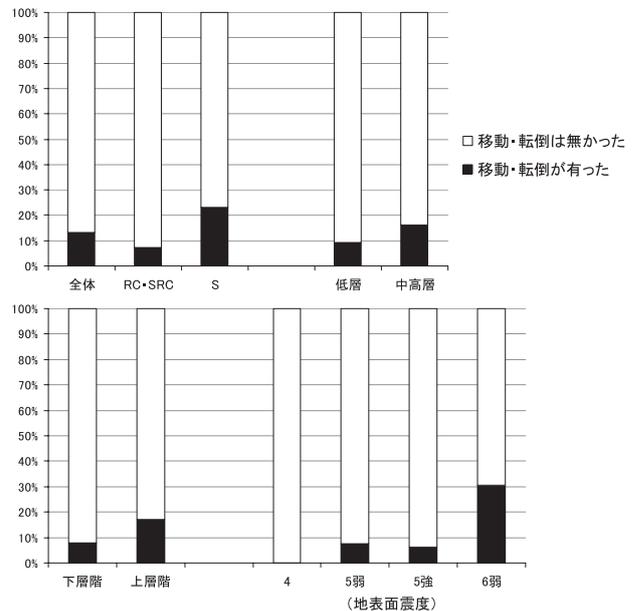


図12 内部収容物の移動・転倒

表1 移動・転倒があったと回答された家具・什器等の例

- ・キャビネットの引き出しの飛び出し
- ・鏡（幅 300mm×奥行き 400mm×高さ 1700mm）
- ・壁に寄り掛けていたホワイトボード（500mm×800mm）
- ・A4 ファイル 1冊落下
- ・鉄の花瓶（幅 40mm×奥行き 40mm×高さ 500mm）

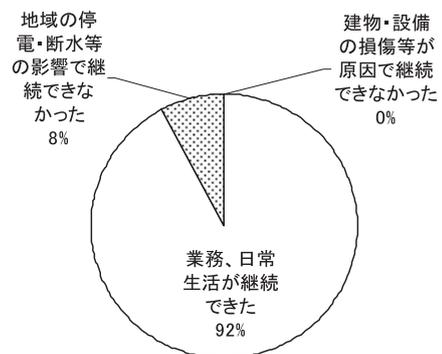


図13 業務・生活継続性（設問：「業務、日常生活が継続できましたか。」）

まで、5段階の評点に換算し、項目毎の平均値を算出する。

③更に分類毎の平均値をレーダーチャートにプロットする。

以上の作業を地表面震度別に行って作成したレーダーチャートを図14に示す。

この結果から、アンケート全般として以下の傾向があると言える。

- ・「体感」は、地表面震度が大きくなるほど悪化する（揺れを感じやすい）が、構造種別・規模、居住部位の違いによる差はほとんどない。
- ・「居住者心理」は、地表面震度が5弱以上で一気に悪化する（恐怖感・不安感が増大する。）が、構造種別・規模、居住部位の違いによる差はほとんどない。
- ・「内部収容物」では、移動・転倒があったという回答は、地表面震度が大きくなるほど増大するし、RC・SRC造<S造、低層<中高層、下層階<上層階の傾向が若干見られる。
- ・建物側に起因するELVの閉じ込め、業務・生活の継続ができなかった事例はない。

#### 4 アンケート結果（耐震建物との比較）

次に、同一敷地に建設されている免震建物1棟、耐震建物2棟（新耐震設計および旧耐震設計）の計3棟（いずれも生産施設）を対象にした各棟10名へのアンケート調査結果について述べる。

##### 4.1 建物概要と地震動強さ

敷地周辺のK-net記録によると、本震時の最大加速度は約160gal~220galで地表面震度5強であった。表2に本建物の建物概要、表3に地震時の推定応答値を示す。免震建物の推定応答値は、構造設計資料と免震層に設置されているオービットの軌跡の最大値から推定、耐震建物はAi分布から推定した。

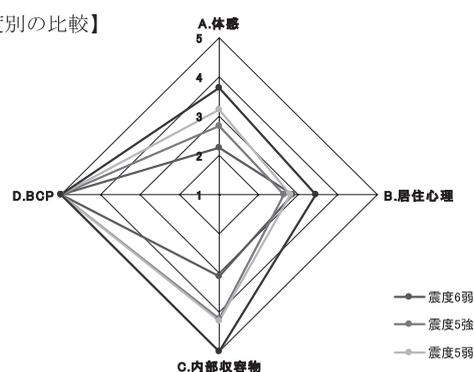
なお、何れの建物も主要構造部の被害は見られていない。

##### 4.2 アンケート調査結果の比較

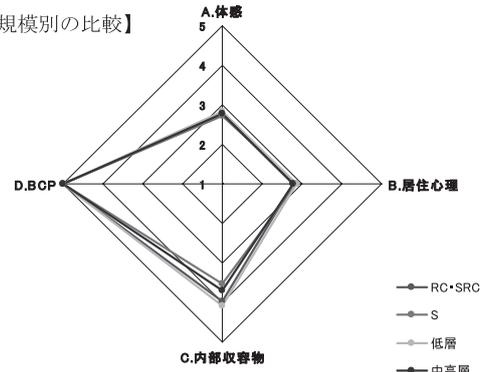
免震建物と耐震建物におけるアンケート調査結果の顕著な違いを述べる。

(1) 揺れの感じ方、心理（図15、16）

【地表面震度別の比較】



【構造種別・規模別の比較】



【地震時居住部位別の比較】

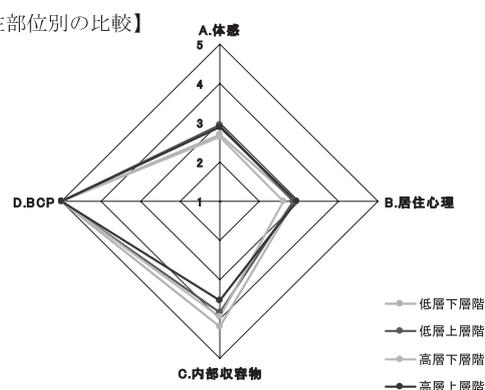


図14 アンケート結果のレーダーチャートによる分析

免震建物の場合、「大きくゆっくり揺れた」、「廻るように揺れた」と感じた人が目立つ。「全く感じない」または「少しだけ感じた」人もいた。但し、大きく長い間ゆっくり揺れた初体験により不安感、恐怖感を感じた人も多く見られた。「激しく揺れた」、「建物から音がした」と感じた人は旧耐震、新耐震、免震建物の順となる。構造形式に違いはあるものの旧耐震建物は上下、水平方向に大きく激しく揺れたと感じた人が多い。

(2) 生産装置等の移動、転倒、落下（図17、表4）

表2 建物概要

建物名	免震建物	非免震建物(新耐震)	非免震建物(旧耐震)
建設年	平成21年	平成21年	昭和54年
構造	柱RC 梁S造	RC造	S造
骨組み形式	純ラーメン	ラーメン+耐震壁	ラーメン+プレース
階数	地上4階	地上4階	地上2階
延べ面積(m <sup>2</sup> )	5949.7	1440.7	3000.0
軒高(m)	18.75	18.55	12.00
アスペクト比	0.56	0.98	0.40
基礎形式	鋼管杭 (フレホーリング拡大根固め工法)	鋼管杭 (フレホーリング拡大根固め工法)	PC杭 打ち込み
免震部材	積層ゴム+鉛プラグ入り積層ゴム	-	-
地震荷重(KN/m <sup>2</sup> )	3.0	3.0	2.0

表3 本震の推定応答値

建物名	応答速度最上階(kine)	応答加速度最上階(gal)
免震建物	17.9	83.9
非免震(新耐震)建物	25.0	303.0
非免震(旧耐震)建物	25.0	289.0

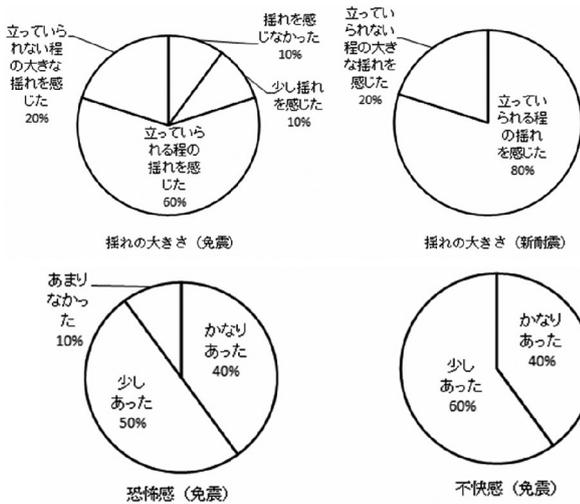


図15 揺れの大きさ、心理

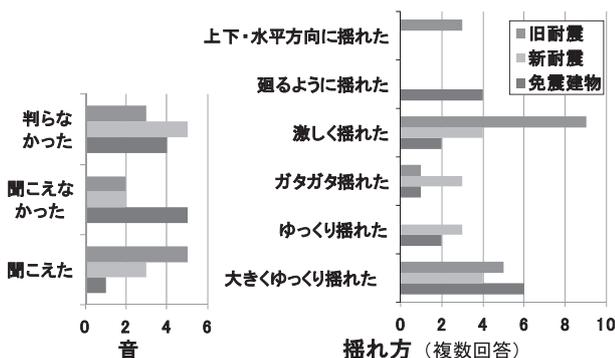


図16 音、揺れ方

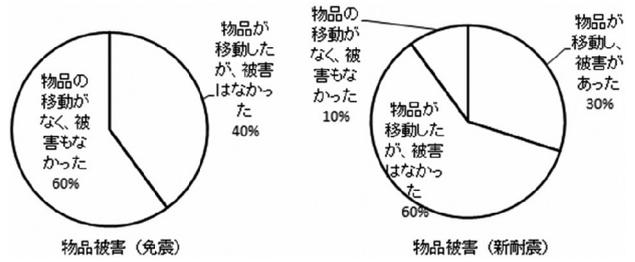


図17 生産装置・機器等の移動、転倒、落下

表4 被害の差異

建物分類	転倒	家具・仕器の被害
免震建物	転倒なし	なし
非免震(新耐震)建物	花瓶、置物等の転倒見られる	物品被害あり
非免震(旧耐震)建物	キャビネットの転倒見られる	物品被害あり

免震建物は移動、転倒被害が無いだけでなく、書籍、器具類の落下も殆どないことが判った。

一方、耐震建物では、建物内の30%の回答者が家具・仕器の移動、落下を確認している。建物形状、対象物の量、種類、分布等が各建物間で異なり、単純な比較はできないものの移動、転倒、落下に関しての実際の現象に明確な差異が見られた。

(3) 業務継続評価 (図18)

耐震建物内では機器の転倒、落下によるガラス容器の割れ、危険溶液のこぼれ現象等が見られ余震に対する恐怖感もあって少なくともその日は業務継続できなかったという回答が多くあった。

これに対して免震建物の勤務者は全員が安心して業務にあたり、継続に問題なしと回答している。25%の割合で業務に支障が生じた新耐震建物勤務者と比較して差異が生じた結果となった。

5 免震の評価、記述式回答の傾向

今回の体験を踏まえた免震の評価について図19に示す。免震評価回答者数(173名)の内「非常に良かった」(62.4%)、「良かった」(33.5%)を合わせ

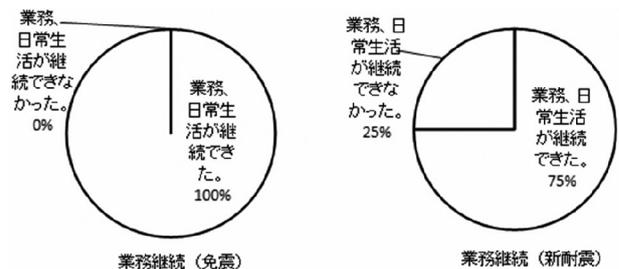


図18 業務継続評価

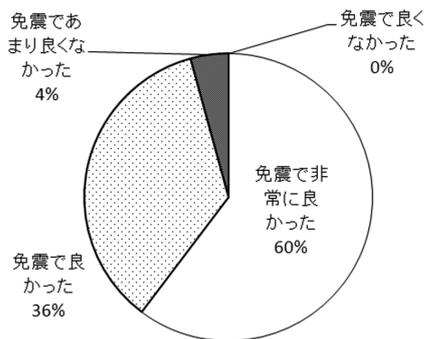


図19 免震建物の評価

ると全体の96%となり、ほとんどの回答者が免震建物に良い評価を与えていることが分かる。一方、「良くなかった」の回答は無く、「あまり良くなかった」(4.0%)の回答の主な理由として、免震特有のゆっくりとした揺れや長時間の揺れを不快に感じたことが挙げられた。

記述式回答に現れた特徴的なコメントを表5に示す。これらは回答者が強く印象を持ったことを表現したものと考えられる。

免震構造の特徴である「大きな揺れ」「ゆっくりした揺れ」の他、「長時間揺れ」の記述も見られ、今回の地震の継続時間が長かったことが反映されている。また、「船酔い」の記述も従来のアンケートと同様に見られ、今後更に免震建物特有の揺れ方について居住者・勤務者に説明する必要があると思われる。

## 6 まとめ

アンケート結果から、事業・生活の継続性の面で免震建物が大きな効果を発揮し、居住者から高い満足度が得られたと言える。一方、はじめて経験する大きくゆっくりした揺れに居住者が戸惑い、驚いた状況がアンケート結果に反映された。居住者に対して、免震建物特有の揺れ方について事前に十分説明し、理解を深めておく必要がある。

### 【参考文献】

表5 記述式回答によるコメント (原文のまま)

肯定的意見	
1	揺れは感じましたが、崩れる筈はないと確信していたので何も不安を感じなかった。
2	免震建物だったために、そうでない場合の揺れ方よりも緩やかで大きな揺れ方をしていないのではないかと感じた。相当大きな揺れだと感じながらも歩けない程ではなかったし、転ぶことも無かった。
3	実際の震度より体感が小さく感じた。
4	余震が来ても最初の揺れで何でもなかったので安心していられた。
5	物が落ちない、壊れない。揺れていても激しくなく、緩やかに揺れるので、不安感が少ない。
6	食材、器具が一つも落下せず、壊れなかったため、片付けの手間がなく、仕事に取り組むことができた。
7	大きな被害がなかったため、建物内での業務にあたれたこと。(震災後)
8	数百の書類、ファイルBOXが1cm程度動いたただけで、1つも落ちなかったことに驚いた。
9	揺れるものの怖さがない。落ち着いて地震時から地震後の行動が出来る。
否定的意見	
1	揺れ自体はゆっくりでも大きく動いたため、正直、乗り物酔い状態であった。
2	地震の時、廻るように揺れたので、不快感がありあまり良くなかった。
3	外の揺れが収まった後も、免震の建物は揺れ続けたため、地震が収まったのが分からなかった。
4	ゆっくり大きく揺れて、気持ち悪い。
5	地震そのものの大きさが分からず、恐怖感がないため、対処が遅れやすいと思った。
6	免震でも6階はかなりの揺れ。被害があったので。
7	小さい揺れでも、免震のせいでも大きく感じ、船酔いのようなになった。
8	揺れ方が回る様なゆれなので、衝撃が少なく船に乗っているようだった。

- 1) 「報告会—東北地方太平洋沖地震に対する応答制御建築物調査—」、一般社団法人日本免震構造協会, 2012.1.26
- 2) 前林和彦、鈴木幹夫、早川邦夫、伊藤佳展：平成15年十勝沖地震における免震建物居住者へのアンケート調査、日本建築学会大会学術講演梗概集(北海道)、21144、2004.8

# 個別の免震建物に着目した 居住者アンケート調査の分析

普及委員会 教育普及部会

## 1 はじめに

前編で述べた免震建物のアンケート結果は居住者全体の意見を総合的に纏めたものである。本編は各建物別に居住者のアンケート結果を分類し、各建物の用途別の特性を分析、前編を検証することを目的とした。地震時の内部収容物（家具・什器等）、体感、業務・生活継続性の3点に着目しアンケート結果から各建物の特性を解説する。特に、前編で着目された免震建物の生活・業務継続性（BCPと呼ぶ）に関して、詳細事項に関しても補足、言及した。

## 2 内部収容物の挙動（表1、2参照）

主に下記に示す4要因に関して分析した。

### a) 震度（表1参照）

転倒を目撃、証言した居住者が居た建物は5件、その中の3件（占有率60%）が、気象庁震度6弱の場所にあり、全体の震度の比率からみると（占有倍率）2.4倍となる。滑動件数、転倒件数が占有倍率1.0以上のもの（グレー着色）は、震度5強以上に見られ、震度が大きくなるにつれ内部収容物の転倒、滑動及び滑動被害が多く見られる。

### b) 構造（表1参照）

RC系建物とS系建物の間に転倒、滑動に関して大きな差異は認められないが、占有倍率をみるとRC系建物のほうが滑り、転倒の割合が高い結果となっている。

### c) 用途（表1参照）

転倒、滑動総数の占有倍率は、病院、美術館、事務所が占有倍率1.0以上と高い。前者2つの用途は、転倒、滑動となる総数が多く、その分、割合が高いということもいえる。重要度が高いこれらの用途の建物にはより免震性能が高い建物の普及が望まれる。

### d) 高さや居住位置（表1、2参照）

表1から見ると、低層、中層建物が高層、超高層建物よりも転倒、滑動においては占有倍率が高い結果となっている。表2は各建物のアンケート数の半分以上が転倒、滑動被害の目撃証言をした人の物件

を抽出したが、各建物内での転倒被害件数は低～高層とばらつきがあり、滑動被害の平均件数は中、低層に限定された結果となった。

## 3 音（表3参照）

「音が聞こえた」と回答した人が半数以上いる物件を表3に挙げた。回答した人の居住層は低層に多い。コメントには、ブラインド、すだれの揺れる音と感じた人が多くある。また、S系建物で「音が聞こえた」と半数以上証言した人がいる建物は、6件中、4件を占めており占有倍率も2.67とRC系建物0.58よりも高い。音は入居者の恐怖感を煽る要因となるため、今後着目していく必要がある。

## 4 免震建物の挙動体感（表4参照）

各建物の半数以上の入居者の建物の揺れ体感状況、揺れ方状況をグレー着色した。殆どの建物で「立っ  
ていられる、いられない程度の揺れ」と感じており、今回の地震の場合、震度5弱～6弱でもかなりの建物の入居者が揺れを感じている。揺れ方は「大きくゆっくり、ゆっくり」した感じ方が多く、中でも大きくゆっくり揺れていると感じている建物の入居者は5割を占めている。また、各建物の転倒、滑動被害のあったものを付記した。転倒、滑動が著しいと証言した人は、立ってられない、激しく揺れた建物に多かった。また、震源地に近い震度6弱地域では、一部、上下動の揺れを感じている入居者もいる。

## 5 免震建物の事業継続性（表5参照）

停電は、建物本体より、大半は周辺地域の停電が大きく影響している。また、断水に関しても大半が周辺の電気系統の影響から来ている。結果として、断水、ガスに関しては建物内の影響を挙げている人の件数はなく、日常生活、業務の継続に関しては、問題は殆どなかったと云う結果が出ている。ELVの停止状況に関しては、地震センサーが稼働、感知して停止したものだけでなく、センサーが感知しな

かったものも多く見られた。閉じ込めは1件あったが、大事には至らなかった。結果として、事業継続が不可と回答した入居者の建物は8件あるが、前述した様に免震建物内の影響よりも、周辺地域の影響が大きい。但し、滑動、転倒の被害状況で述べたように、病院では困っているケースが見られ、建物だけの問題ではなく、より容量を有する非常用電源、貯水槽を日頃から備えておく必要性を感じる。

表1 内部収容物の挙動

要因	種別	件数	%	滑動(%)		転倒(%)
				被害有	滑動	
震度	震度6弱	6	25	42.9	44.4	60.0
				1.7	1.78	2.4
	震度5強	6	25	28.6	11.1	20.0
				1.14	0.44	0.80
震度5弱	11	45.8	28.6	44.4	20.0	
			0.62	0.97	0.44	
震度4	1	4.2	0.00	0.00	0.00	
構造	RC系	17	70.8	71.4	77.8	80.0
				1.01	1.10	1.13
	S系	6	25	14.3	22.2	20.0
レンガ	1	4.2	14.3	0.0	0.0	
			3.43	0.00	0.00	
高さ	低層	8	33.3	37.5	22.2	20.0
				1.13	0.67	0.60
	中層	7	29.2	50.0	55.6	80.0
				1.71	1.90	2.74
高層	3	12.5	0.0	0.0	0.0	
			0.00	0.00	0.00	
超高層	6	25.0	12.5	22.2	0.0	
用途	事務所	7	29.2	28.6	33.3	40.0
				0.98	1.14	1.37
	共同住宅	5	20.8	0.0	11.1	0.0
				0.00	0.53	0.00
	病院	4	16.7	42.9	44.4	60.0
				2.57	2.67	3.60
	学校	3	12.5	14.3	11.1	0.0
				1.14	0.89	0.00
	独身寮	2	8.3	0.0	0.0	0.0
	美術館	1	4.2	14.3	0.0	0.0
3.43				0.00	0.00	
研究所	1	4.2	0.0	0.0	0.0	
			0.00	0.00	0.00	
工場	1	4.2	0.0	0.0	0.0	
				0.00	0.00	0.00

占有率・・・種別に転倒、滑動、滑動被害有を各々目撃証言した人の居住建物件数 / 転倒、滑動、滑動被害有を各々目撃証言した人の全居住建物件数 (転倒、滑動、滑動被害有 種別欄・上段)  
 占有倍率・・・占有率 / (種別建物件数 / 全建物件数 24件) (転倒、滑動、滑動被害有 種別欄・下段)

## 6 まとめ

前編のアンケート結果を利用して、建物に着目した詳細な分析を試みた。本アンケートにおいて、転倒を目撃証言した人は各建物で1人~2人が大半であり、その数は各建物アンケート回答者の10~20%程度にすぎない。また滑動被害の目撃証言した人も同様の傾向が見られる。より大規模かつ強い地震に見舞われた時の建物内部の挙動がどうなるかは今後に委ねられる。また、トータル24件の建物の分析になるためサンプル数がどうしても限定されることが課題として残る。今後、顧客の立場に立って免震設計をより深く考えることが必要である。そのためには地震時に本アンケートを活用し、免震、耐震建物の地震時の居住性に関するデータをより充実、整備することが望まれる。

表2 転倒・滑動被害と建物高さ・居住位置の相関

建物符号	高さ	階	転倒被害階位置	被害階 AVE	転倒被害数	滑動被害階位置	被害階 AVE	滑動被害数
学校3	低	3			0	低	1	1
病院1	低	4	高	3	1	中	2	2
病院2	中	5			0	低	1	2
病院3	中	9	低	2	2	低	2	2
事務所5	中	5	高	5	1			
美術展示館	低	4			0	低	1	2
事務所6	中	7	高	6	1	中	5	1
病院4	中	8	中	5	4	中	4	7

表3 音と構造・居住階位置相関

NO.	建物名	震度	構造	階	平均階	聞こえた
1	事務所1	5強	RC	34	5	1
2	独身寮1	5強	S	12	1	2
3	独身寮2	5弱	RC	3	1	2
6	学校3	5弱	RC	3	2	1
7	病院1	6弱	RC	4	1.5	4
8	病院2	6弱	RC	5	1.17	6
18	共同住宅3	5弱	RC	32	12.2	6
21	病院4	6弱	S	8	2	8
22	事務所7	5弱	S	20	11.25	4
23	研究所	4	S	3	1	5
24	共同住宅5	6弱	RC	15	1	1

■・・・転倒又は滑動被害

表4 免震建物の挙動体感

NO.	建物名	揺れを感じなかった	少し感じた	立っ てい ら れる 程 度	立っ てい ら れ な い 程 度	そ の 他	大 き く ゆ っ り	ゆ っ り	ガ タ ガ タ	激 し く	廻 る	上 下 水 平 向	計	転 倒	滑 動 被 害
1	事務所1			1						1			1		
2	独身寮1			3			2	1					3		
3	独身寮2				2			1					2		
4	学校1		1	6	1								8		
5	学校2			1			3	4		1			1		
6	学校3		1	1			1						2	○	
7	病院1			3	4		3	1	1	2			7	○	○
8	病院2			4	6		5	2	1	2			10		○
9	工場	1	1	6	2		6	2				2	10		
10	事務所2			7	3		6	2	1		1		10		
11	事務所3			7	3		3	4	1	2			10		
12	病院3			3	7		3		1	6			10	○	○
13	事務所4			8	2		6	1	1		2		10		
14	事務所5			2	6		2		3	3			8	○	
15	美術展示館			7	1	1	4	1		1	1		8		○
16	共同住宅1		2	4	2	1	3	2	4				9		
17	共同住宅2			6	4		3		4	3			10		
18	共同住宅3			7	2		8		1				9		
19	共同住宅4			6	3	1	3		2	1	1		10		
20	事務所6			7			5	1		1			7	○	○
21	病院4			3	10		5		3	2		3	13	○	○
22	事務所7			4			2	1		1			3		
23	研究所		1	9			3	5	1			1	10		
24	共同住宅5					2	1					1	2		

表5 免震建物の事業継続性

NO.	建物名	内部電源 切 断 有	周 辺 地 域 電 力 供 給 停 止	内 部 断 水 有	周 辺 地 域 水 供 給 停 止	内 部 ガ ス 管 破 断	周 辺 地 域 ガ ス 供 給 停 止	EV 緊 急 停 止 無	EV 緊 急 停 止 有	EV 閉 じ 込 め 有	業 務 ・ 日 常 生 活 が 継 続	業 務 ・ 日 常 生 活 が 継 続 不 可	転 倒	滑 動 被 害
1	事務所1								1		1			
2	独身寮1							3			3			
3	独身寮2										2			
4	学校1							1	5		8			
5	学校2								1		1			
6	学校3								2		2			○
7	病院1		6				3		7		6	1	○	○
8	病院2		6		4		1		10		10			○
9	工場				1			5	2		10			
10	事務所2								2	1	10			
11	事務所3		10				8	6	10		10			
12	病院3				1			2	7		10		○	○
13	事務所4				10			2	3		9	1		
14	事務所5	2						1	7		7	1	○	
15	美術展示館		1						7		1	7		○
16	共同住宅1	3	2		2		1	1	5		9			
17	共同住宅2	1	7		1		1		8		8	1		
18	共同住宅3		9						8		8	1		
19	共同住宅4	1	9		3				8		9	1		
20	事務所6				1				7		7		○	○
21	病院4	3	10		13		13		13		12	1	○	○
22	事務所7	<1>			4			1	6		7			
23	研究所							11			10			
24	共同住宅5								1		2			

< >…低層非免震階

# 「免震部材の接合部・取付け躯体の設計指針（第2版）」 の改定概要

技術委員会・免震設計部会・設計小委員会（平成25年1月現在）

委員長	藤森 智	株式会社松田平田設計
委員	市川 一美	東急建設株式会社
	伊藤 裕一	株式会社大建設計
	公塚 正行	株式会社i2S2
	小山 慶樹	株式会社奥村組
	佐藤 正浩	株式会社東京建築研究所
	高原 伸一	株式会社熊谷組
	竹内 章博	西松建設株式会社
	徳武 茂隆	三井住友建設株式会社
	中川 理	株式会社構建設計研究所
	中島 徹	大成建設株式会社
	中村 淳一	株式会社佐藤総合計画
	平間 光	株式会社長谷工コーポレーション
	古橋 剛	日本大学
	丸山 東	鹿島建設株式会社
	谷地畝和夫	戸田建設株式会社
	山崎 達司	前田建設工業株式会社

## 1 はじめに

「免震部材の接合部・取付け躯体の設計指針」(以下本指針)は、2009年7月に初版が発行された。2010年秋に本指針の準拠基準である「各種合成構造設計指針・同解説(日本建築学会)」(以下各種合成指針)が大幅改定され、それを機に本指針の見直しを進めてきた。第6回技術報告会(2012年5月)にて発表した本指針改定版の概要を本誌にて報告する。

## 2 本指針の改定方針

今回の指針改定における方針を以下に示す。

- ①本指針の準拠基準である各種合成指針の改定内容を反映し、本指針改定版(第2版)を作成する。
- ②改定に当り本指針の基本的考えは変更せず、上記に伴う変更と誤記や表現の修正、免震部材設計事例の追加を行う。
- ③各種合成指針で本指針が準拠しているのは第4編の各種アンカーボルト設計指針で、その改定内容は主に各種アンカーボルトの耐力評価式である。
- ④各種合成指針の改定に基づき各種アンカーボルト

の耐力評価式を新たに規定し、この変更に伴い本文や接合部の設計例などの修正を行っている。

- ⑤接合部の設計事例として、天然ゴム系積層ゴムアイソレータ以外に、履歴ダンパー付き積層ゴムアイソレータと鉛プラグ入り積層ゴムアイソレータを加えている。

## 3 各種アンカーボルト接合方法の構造規定

各種アンカーボルトの接合方法に関する本指針における構造規定は初版とほぼ同様であるが、改定版では新たに⑥と⑦を加えている。

- ①免震部材に引張力が作用する場合は、原則としてアンカーボルトを設ける。
- ②各種アンカーボルトの埋込み深さは、アンカー頭部が横筋より十分深くなる位置とする。
- ③各種アンカーボルトのコーン状破壊耐力算定時の水平投影面積は原則横筋位置とし、アンカーボルト間距離や接合部躯体側面のへりあき寸法を考慮した有効面積とする。
- ④突起付き袋ナット・突起付きボルト先端の突起形

状は、引抜耐力確保のため十分な大きさを確保する。

- ⑤ベースプレートは応力伝達上十分な剛性があるものとする。
- ⑥ベースプレートと躯体を接合する袋ナットやボルト及び溶接部の耐力が、各種アンカーボルトの許容耐力以上であることを確認する。
- ⑦接合部にアンカーボルトとスタッドボルトを併用する場合はそれぞれで引張力やせん断を分担させる設計方法とするが、併用しない場合は組合せ応力に対し接合部の検討を行う。

#### 4 各種合成指針改定に伴う本指針の改訂概要

各種合成指針は2010年に大幅に改定され、本指針で準拠している第4編の各種アンカーボルト設計指針の変更に基づき以下の改定を行っている。参考として各種ボルトが、積層ゴムアイソレータの取付け部に用いられている事例を図1に示す。

- ①本指針のアンカーボルト耐力評価式は、スタッドボルトや突起付き袋ナット・突起付きボルトは各種合成指針の「4.2頭付きアンカーボルトの設計」に、アンカーボルトは「4.4基礎アンカーボルトの設計」に準拠する。
- ②各種合成指針の適用範囲はコンクリート強度  $F_c48$  以下、アンカーボルト径9~25mmであり、

この適用範囲外のボルトに対しては軸部や頭部の形状規定を追加する。

- ③耐力評価式中のコンクリート支圧強度低減係数  $\phi_2$  は、各種合成指針に準じて長期荷重用は0.4を1/3に短期荷重用は0.6を2/3に変更する。
- ④コンクリートの支圧強度  $f_n$  の上限値は、 $5F_c$  (各種旧合成指針  $10F_c$ ) を  $6F_c$  とする。
- ⑤引張耐力算定では軸部の鋼材とコーン状破壊の最小値を採用し、頭部のコンクリート支圧強度はその値を満足することとする。なお突起付き袋ナット・突起付きボルトでは、頭部形状などが形状規定範囲外であるので従来通りの支圧強度を採用する。
- ⑥せん断耐力算定では、コンクリート支圧強度・コンクリート側面コーン状破壊・鋼材のせん断強度の最小値を採用する。
- ⑦定着長さが不足する場合に生じるコンクリート破壊(プライアウト)を防ぐための有効埋込み長さの規定を、各種合成指針に準じて採用する。なおベースプレートが十分に剛強で拘束効果のある場合は、有効埋込み長さの検討を省略可能とする。

以上の内容を各種アンカーボルト毎に、引張とせん断の許容耐力算定表として表1~3にまとめている。なお各表には改定前後の算定式を併記して

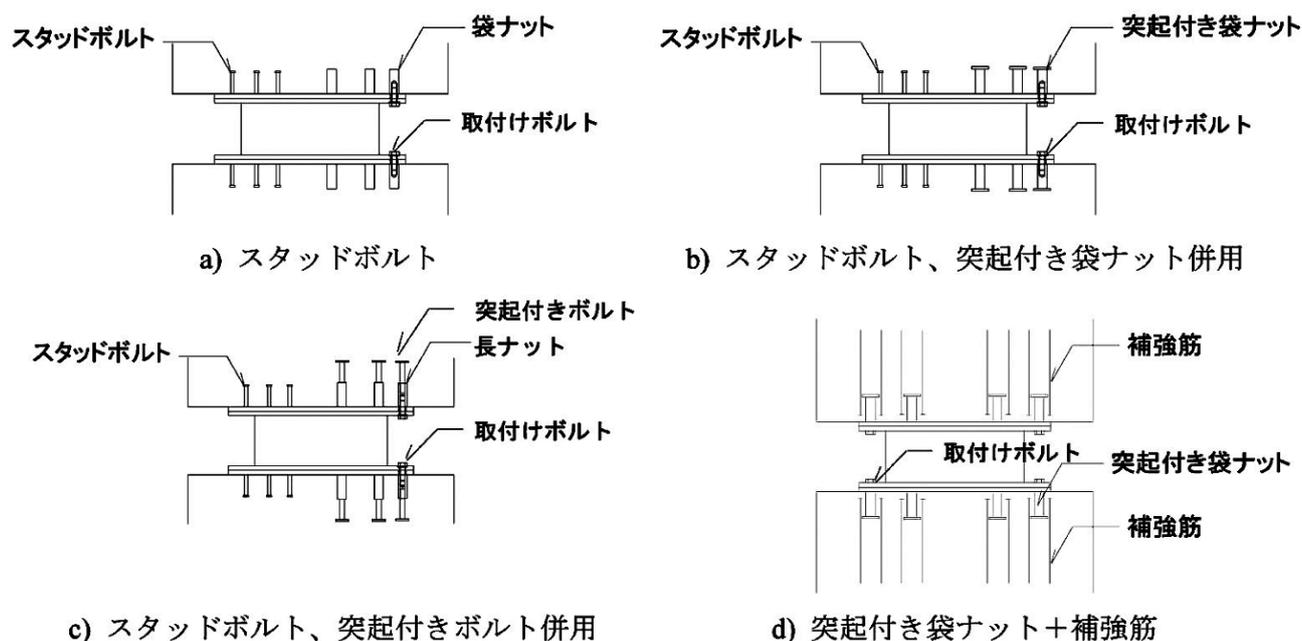


図1 積層ゴムアイソレータの取付け方法事例

おり、どのような変更がなされたかが分かるようにしている。

### 5 各種免震部材の接合部設計例

今回の改定では、免震部材の接合部の設計例として天然ゴム系積層ゴムアイソレータ以外に、履歴ダンパー付き積層ゴムアイソレータと鉛プラグ入り積層ゴムアイソレータの事例を掲載している。以下に各事例での検討概要を示す。

#### (1) 天然ゴム系積層ゴムアイソレータの事例

- ・スタッドボルト+突起付きボルト併用型の接合部を採用(引張軸力発生無)
- ・免震層クリアランスに相当する変形(600mm)に対して、接合部が短期許容応力度以下であることを確認
- ・接合部の設計は平面保持の仮定が成立する場合

と成立しない場合について行う

#### (2) 履歴ダンパー付き積層ゴムアイソレータの事例

- ・スタッドボルトと長ナット+突起付きボルトを併用型の接合部を採用(引張軸力発生無)
- ・ゴム総厚×250%の変形に対して、接合部が短期許容応力度以下であることを確認
- ・履歴ダンパーの性能ばらつきを考慮した設計応力にて検討

#### (3) 鉛プラグ入り積層ゴムアイソレータの事例

- ・引張軸力が発生するため、アンカーボルト+定着板の接合部を採用
- ・引張力はゴム総厚×250%の変形時に1.0N/mm<sup>2</sup>の引張力が作用するとし、その応力下で接合部が短期許容応力度以下であることを確認
- ・鉛プラグ入り積層ゴムの性能ばらつきと引張軸力を考慮した設計応力にて検討

表1 スタッドボルトの許容応力一覧表

(各種合成指針各種アンカーボルト設計指針・解説の頭付きアンカーボルトの設計に準拠)

項目	本指針 改定前			改定後		
	【 】内は符号変更を示す。			合成指針に準拠した耐力算定式内容		
共通	低減係数	$\phi_2$ (短期 1.0) 【 $\phi_2 \rightarrow \phi_1$ 】	同	低減係数	$\phi_1$ (短期 1.0)	-
		$\phi_1, \phi_{S1}$ (短期 0.6) 【 $\phi_1, \phi_{S1} \rightarrow \phi_2$ 】	変更		$\phi_2$ (短期 2/3)	
		$\phi_3$ (短期 2/3)	削除			
		コンクリート支圧強度 $f_n \leq 5F_c$ (旧合成指針 10 $F_c$ )	変更		コンクリート支圧強度 $f_n \leq 6F_c$	
許容引張力 $P_a$		$P_a = \min(P_{a1}, P_{a2}, P_{a3})$	変更		$P_a = \min(P_{a1}, P_{a2})$	
		スタッドボルトの降伏により決まる場合 $P_{a2} = \phi_2 \times s_{pa} \times s_c \times a$ 【 $P_{a2} \rightarrow P_{a1}$ 】 $s_{pa}$ : スタッドボルトの引張強度(N/mm <sup>2</sup> ) $s_c a$ : スタッドボルト軸断面積(mm <sup>2</sup> )	同		スタッドボルトの降伏により決まる場合 $P_{a1} = \phi_1 \times s_{pa} \times s_c \times a$ $s_{pa}$ : 同左、 $s_c a$ : 同左	
		躯体のコーン状破壊により決まる場合 $P_{a1} = \phi_1 \times c \times \sigma_t \times A_c$ 【 $P_{a1} \rightarrow P_{a2}$ 】 $c \sigma_t$ : コーン状破壊に対するコンクリートの引張強度 $c \sigma_t = 0.31\sqrt{F_c}$ (N/mm <sup>2</sup> ) $A_c$ : コーン状破壊面の有効水平投影面積(mm <sup>2</sup> )	同		躯体のコーン状破壊により決まる場合 $P_{a2} = \phi_2 \times c \times \sigma_t \times A_c$ $c \sigma_t$ : 同左、 $F_c$ : 同左、 $A_c$ : 同左	
		頭部のコンクリートの支圧により決まる場合 $P_{a3} = \phi_3 \times f_n \times A_0$ $A_0$ : スタッドボルト頭部の支圧面積(mm <sup>2</sup> ) $f_n$ : コンクリート支圧強度(N/mm <sup>2</sup> )	変更		コンクリートの支圧強度の確認 $P_a/A_0 \leq f_n$ $A_0$ : 同左、 $f_n$ : 同左	
許容せん断力 $q_a$		$q_a$ : コンクリート躯体の支圧強度により決まる場合	変更		$q_a = \min(q_{a1}, q_{a2}, q_{a3})$	
		-		追加	スタッドボルトのせん断強度により決まる場合 $q_{a1} = \phi_1 \times 0.7 \times s_y \times s_c \times a$ $s_c a$ : 最小断面積(mm <sup>2</sup> )、 $s_y$ : スタッドボルトの規格降伏点強度(N/mm <sup>2</sup> )	
		コンクリートの支圧強度により決まる場合 $q_a = \phi_{S1} \times 0.5 \times \sqrt{F_c \times E_c} \times s_c \times a$ (5000 $\leq \sqrt{F_c \times E_c} \leq 9000$ ) $F_c$ : コンクリートの設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> ) $E_c$ : コンクリートのヤング係数(N/mm <sup>2</sup> )	変更		コンクリートの支圧強度により決まる場合 $q_{a2} = \phi_2 \times 0.5 \times \sqrt{F_c \times E_c} \times s_c \times a$ ( $\sqrt{F_c \times E_c}$ 上限なし) $F_c$ : 同左、 $E_c$ : 同左	
		-		追加	側面コーン状破壊により決まる場合 $q_{a3} = \phi_2 \times 0.31 \times \sqrt{F_c} \times A_{qc}$ $F_c$ : 前出、 $A_{qc}$ : 側面におけるコーン状破壊面の有効投影面積(mm <sup>2</sup> )	
		-		追加	有効埋め込み長さ $Le$ の規定 $s_{pa} \times s_c \times a \leq c \times \sigma_t \times A_c$ $s_{pa}$ : 前出、 $s_c a$ : 前出、 $c \sigma_t$ : 前出、 $A_0$ : 前出	

6 おわりに

今回の改定では、主に各種合成指針の変更による内容を中心に見直しを行った。なお免震接合部に用いられる突起付ボルトなどでは、各種合成指針の形状規定範囲外のものもある。今後実験などにより、その性状を確認すべきであると考えてい

る。

また最近長周期地震動を含む過大入力の問題が着目されており、免震部材接合部においてもその終局時特性の把握が求められることから、今後本指針において追記すべき項目となるであろう。

表2 アンカーボルトの許容応力一覧表

(各種合成指針各種アンカーボルト設計指針・解説の基礎アンカーボルトの設計に準拠)

項目	本指針 改定前		改定後	
	【 】内は符号変更を示す。		合成指針に準拠した耐力算定式内容	
共通	(1) スタッドボルト参照		—	(1) スタッドボルト参照
許容引張力 $P_a$	$P_a = \min(P_{a1}, P_{a2}, P_{a3})$ アンカーボルトの降伏により決まる場合 $P_{a2} = \phi_2 \times_s \sigma_{pa} \times_{sc} a$ 【 $P_{a2} \rightarrow P_{a1}$ 】 $\left[ \begin{array}{l} \sigma_{pa}: \text{アンカーボルトの引張強度(N/mm}^2\text{)} \\ \sigma_{sc} a: \text{アンカーボルト軸断面積(mm}^2\text{)} \end{array} \right.$	同	同	$P_a = \min(P_{a1}, P_{a2}, P_{a3})$ アンカーボルトの降伏により決まる場合 $P_{a1} = \phi_1 \times_s \sigma_{pa} \times_{sc} a$ $\sigma_{pa}: \text{同左}, \sigma_{sc} a: \text{同左}$
	躯体のコーン状破壊により決まる場合 $P_{a1} = \phi_1 \times_c \sigma_t \times A_c$ 【 $P_{a1} \rightarrow P_{a2}$ 】 $\left[ \begin{array}{l} \sigma_t: \text{コーン状破壊に対するコンクリートの引張強度} \\ \sigma_t = 0.31\sqrt{F_c} \text{ (N/mm}^2\text{)} \\ F_c: \text{コンクリートの設計基準強度(N/mm}^2\text{)} \\ A_c: \text{コーン状破壊面の有効水平投影面積(mm}^2\text{)} \end{array} \right.$	同	同	躯体のコーン状破壊により決まる場合 $P_{a2} = \phi_2 \times_c \sigma_t \times A_c$ $\sigma_t: \text{同左}, F_c: \text{同左}, A_c: \text{同左}$
	定着板(鋼材)の支圧により決まる場合 $P_{a3} = \phi_3 \times \alpha \times A_o \times_s \sigma_y$ $\left[ \begin{array}{l} \alpha = t_f^2 / [(2D_n/d_n + 1) \times (D_n - d_n)^2 / 4] \\ A_o: \text{定着板の有効面積(mm}^2\text{)}, t_f: \text{定着板の厚さ(mm)} \\ d_n: \text{定着板径(mm)} \\ \sigma_y: \text{アンカーボルトの規格降伏点強度(N/mm}^2\text{)} \end{array} \right.$	同	同	定着板(鋼材)の支圧により決まる場合 $P_{a3} = \phi_1 \times \alpha \times A_o \times_s \sigma_y$ $\alpha: \text{同左}, A_o: \text{同左}, \sigma_y: \text{同左}$
	—	追加	追加	$P_a/A_o \leq f_n$ コンクリートの支圧強度の確認 $\left[ \begin{array}{l} A_o: \text{アンカーボルト頭部の支圧面積(mm}^2\text{)} \\ f_n: \text{コンクリート支圧強度(N/mm}^2\text{)} \end{array} \right.$
	—	追加	追加	—
許容せん断力 $q_a$	$q_a$ : アンカーボルトのせん断強度 アンカーボルトのせん断強度 $q_a = \phi_{s1} \times 0.7 \times_{sc} a \times_s \sigma_y$ ( $\phi_{s1} = 1.0$ ) $\left[ \begin{array}{l} \sigma_{sc} a: \text{アンカーボルトとねじ部の最小断面積(mm}^2\text{)} \\ \sigma_y: \text{アンカーボルトの規格降伏点強度(N/mm}^2\text{)} \end{array} \right.$	変更	同	$q_a = \min(q_{a1}, q_{a2}, q_{a3})$ アンカーボルトのせん断強度により決まる場合 $q_{a1} = \phi_1 \times 0.7 \times_s \sigma_y \times_{sc} a$ $\sigma_y: \text{同左}, \sigma_{sc} a: \text{同左}$
	—	追加	追加	コンクリートの支圧強度により決まる場合 $q_{a2} = \phi_2 \times 0.5 \sqrt{F_c \times E_c} \times_{sc} a$ ( $\sqrt{F_c \times E_c}$ 上限なし) $\left[ \begin{array}{l} F_c: \text{コンクリートの設計基準強度(N/mm}^2\text{)} \\ E_c: \text{コンクリートのヤング係数(N/mm}^2\text{)}, \sigma_{sc} a: \text{前出} \end{array} \right.$
	—	追加	追加	側面コーン状破壊により決まる $q_{a3} = \sqrt{31 F_c} \times A_{qc}$ $F_c: \text{前出}, A_{qc}: \text{側面コーン状破壊面の有効投影面積(mm}^2\text{)}$
	—	追加	追加	—

技術委員会報告 — 1

表3 突起付き袋ナット, 突起付きボルトの許容応力一覧表  
 (各種合成指針各種アンカーボルト設計指針・解説の頭付きアンカーボルトの設計に準用)

項目	本指針 改定前 【 】内は符号変更を示す。	本指針 改定後 合成指針に準用した耐力算定式内容
共通	(1) スタッドボルト参照	(1) スタッドボルト参照
	形状 ボルト頭部径を軸径より十分な大きさ確保 応力伝達可能なディテールとした場合	追加 突起付きボルトの頭部の径( $D_n$ )を軸部径 ( $d$ ) より十分な大きさを確保 ( $D_n \geq 2.5d$ ) する。 追加 長ナットと首下長さ ( $h$ ) は、頭径部の出寸法 ( $a$ ) の8倍以上とすること
許容引張力 $P_a$	$P_a = \min(P_{a1}, P_{a2}, P_{a3}, P_{a4})$ —	変更 $P_a = \min(P_{a1}, P_{a2}, P_{a3}, P_{a4}, P_{a5})$ 追加 軸部の降伏により決まる場合 $P_{a1} = \phi_1 \times s_{pa} \times s_{ca}$ $\left[ \begin{array}{l} s_{pa}: \text{アンカーの引張強度(N/mm}^2\text{)} \\ s_{ca}: \text{軸部の有効断面積(mm}^2\text{)} \end{array} \right.$
	躯体のコーン状破壊により決まる場合 $P_{a1} = \phi_1 \times c \sigma_t \times A_c$ 【 $P_{a1} \rightarrow P_{a2}$ 】 $\left[ \begin{array}{l} \sigma_t: \text{コーン状破壊に対するコンクリートの引張強度} \\ c \sigma_t = 0.31\sqrt{F_c} \text{ (N/mm}^2\text{)} \\ F_c: \text{コンクリートの設計基準強度(N/mm}^2\text{)} \\ A_c: \text{コーン状破壊面の有効水平投影面積(mm}^2\text{)} \end{array} \right.$	同 躯体のコーン状破壊により決まる場合 $P_{a2} = \phi_2 \times c \sigma_t \times A_c$ $\left[ \begin{array}{l} \sigma_t: \text{コーン状破壊に対するコンクリートの引張強度で} \\ c \sigma_t = 0.31\sqrt{F_c} \text{ (N/mm}^2\text{)} \\ A_c: \text{コーン状破壊面の有効水平投影面積(mm}^2\text{)} \end{array} \right.$
	頭部での支圧により決まる場合 $P_{a4} = \phi_4 \times \alpha \times A_o \times \sigma_y$ ( $\phi_4$ :短期荷重用 1.0) 【 $P_{a4} \rightarrow P_{a3}$ 】 $\left[ \begin{array}{l} \alpha = t_f^2 / [(2D_n/d_n+1)(D_n-d_n)^2/4] \text{ (突起付き袋ナット)} \\ \alpha = t_f^2 / [(2D_n/d_n+1)(D_n-d_n)^2/4] \text{ (突起付きボルト)} \\ A_o: \text{定着板の有効面積 (mm}^2\text{)}, t_f: \text{定着板の厚さ (mm)} \\ d_n: \text{袋ナット径 (mm)}, d_b: \text{ボルト軸部径 (mm)} \\ \sigma_y: \text{規格降伏点強度 (N/mm}^2\text{)} \end{array} \right.$	同 頭部での支圧により決まる場合 $P_{a3} = \phi_1 \times \alpha \times A_o \times s_{sy}$ $\alpha$ : 同左、 $A_o$ : 同左、 $s_{sy}$ : 同左
	頭部のコンクリート支圧により決まる場合 $P_{a3} = \phi_3 \times f_n \times A_n$ $\left[ \begin{array}{l} f_n: \text{コンクリート支圧強度} \\ A_n: \text{頭部の有効水平投影面積(mm}^2\text{)} \\ \text{袋ナットの場合 } A_n = (D_n^2 - d_n^2) \pi / 4 \\ \text{突起付きボルトの場合 } A_n = (D_n^2 - d_b^2) \pi / 4 \end{array} \right.$	同 頭部のコンクリート支圧により決まる場合 $P_{a4} = \phi_2 \times f_n \times A_n$ $f_n$ : 同左、 $A_n$ : 同左
	袋ナット頭部の溶接強度によりきまる場合 $P_{a2} = \phi_2 \times f_t \times A_w$ ( $\phi_2$ :短期荷重用 1.0) 【 $P_{a2} \rightarrow P_{a5}$ 】 $\left[ \begin{array}{l} A_w: \text{溶接部の有効面積 (mm}^2\text{)}, t_w: \text{溶接の脚長(mm)} \\ f_t: \text{溶接部の許容引張応力度 (N/mm}^2\text{)} \end{array} \right.$	同 袋ナット頭部の溶接強度によりきまる場合 $P_{a5} = \phi_1 \times f_t \times A_w$ $A_w$ : 同左、 $t_w$ : 同左、 $f_t$ : 同左 $A_w = \pi \times d_n \times t_w$ $d_n$ : 軸部径
	$q_a = \text{コンクリート躯体の支圧強度により決まる場合}$ —	変更 $q_a = \min(q_{a1}, q_{a2}, q_{a3})$ 追加 突起付き袋ナット, 長ナットのせん断強度により決まる場合 $q_{a1} = \phi_1 \times 0.7 \times s_{sy} \times s_{ca}$ $\left[ \begin{array}{l} s_{ca}: \text{最小断面積 (mm}^2\text{)} \\ s_{sy}: \text{突起付き袋ナット, 長ナットの規格降伏点強度} \end{array} \right.$
コンクリートの支圧強度により決まる場合 $q_a = \phi_{s2} \times 0.5 \sqrt{F_c \times E_c} \times s_{ca}$ ( $5000 \leq \sqrt{F_c \times E_c} \leq 9000$ ) $\left[ \begin{array}{l} F_c: \text{コンクリートの設計基準強度(N/mm}^2\text{)} \\ E_c: \text{コンクリートのヤング係数(N/mm}^2\text{)} \\ s_{ca}: \text{突起付き袋ナット, 長ナットの有効断面積(mm}^2\text{)} \end{array} \right.$	変更 コンクリートの支圧強度により決まる場合 $q_{a2} = \phi_2 \times 0.5 \sqrt{F_c \times E_c} \times s_{ca}$ ( $\sqrt{F_c \times E_c}$ 上限なし) $F_c$ : 同左、 $E_c$ : 同左 $s_{ca}$ : 同左	
—	追加 側面コーン状破壊により決まる場合 $q_{a3} = \phi_2 \times 0.31 \sqrt{F_c} \times A_{qc}$ $F_c$ : 前出、 $A_{qc}$ : 側面コーン状破壊面の有効投影面積(mm <sup>2</sup> )	

# 「非線形粘性ダンパーを付加した 免震層の簡便な地震応答予測法」の概要

技術委員会・免震設計部会・設計支援ソフト小委員会（平成25年1月現在）

委員長	酒井 直己	株式会社大建設計
幹事	山崎 久雄	ユニオンシステム株式会社
委員	石鍋雄一郎	日本大学
	今井 究	株式会社構造ソフト
	國松 要介	株式会社構造計画研究所
	佐々木頼孝	東洋ゴム化工品株式会社
	中村 敏治	株式会社篠塚研究所
	米川 隆志	共立建設株式会社
	渡邊 信也	株式会社NTTファシリティーズ総合研究所

## 1 はじめに

設計支援ソフト小委員会は、2009年4月以後の活動として、リリーフ機構付き免震用オイルダンパーや速度に対して非線形な減衰特性を有する粘性ダンパー（以降、「非線形粘性ダンパー」と記す）が付加された免震建物の地震応答予測を簡便に行える計算法および応答曲線の構築を目標として研究および種々の検討を行ってきた。

研究の途中結果を日本建築学会大会で発表<sup>1)~6)</sup>してきたが、このたび最終のまとめを行いその成果として計算ソフトおよび代表的な応答曲線の図表を提供する形にまとめた。また、計算ソフトは必要な諸元を入力することで本計算法による応答曲線が得られる計算シート（Microsoft Excel）を2012年4月よりJSSIホームページ（会員専用）で公開している。

## 2 非線形粘性ダンパーを付加した免震層の簡便な地震応答予測法

### 2.1 目的

本計算法（応答曲線）は、弾性系および弾塑性系免震装置による地震応答計算結果が得られている状況で、さらに非線形粘性ダンパーを付加することで応答を抑制しようとする場合に、どの程度の「ダンパー量」を付加すれば、どの程度の変形低減やせん断力の変化が生じるかを簡便に予測することを主目的としている。

以下で使用する主要な記号の説明

$T_f$ ：免震周期

$\alpha_p$ ：履歴型ダンパーの降伏せん断力係数

$\alpha_v$ ：粘性型ダンパーの減衰力係数（速度150cm/sでの減衰力の建物重量比）

$V_E$ ：構造物への入力エネルギーの総量の速度換算値<sup>7)</sup>

$\chi$ ：累積塑性変形量と最大変形量の比率<sup>9)</sup>  
等価履歴ループの繰り返し回数 $neq^8)$ の4倍に相当。

エネルギー法告示<sup>9)</sup>における『ダンパー部分の塑性変形の累積の程度を表す数値 $n_i$ 』の2倍に相当。

$U_{max}$ ：免震層の最大変位

$\alpha_{max}$ ：免震層の最大せん断力係数

### 2.2 $\alpha_v$ の適用範囲および対象とした非線形粘性ダンパー

1) 既存免震建物の非線形粘性ダンパー設置量の調査結果

2000年1月～2011年12月の間に日本建築センター発行のビルディングレターに掲載された性能値シートから、非線形粘性ダンパーが設置された143棟の免震建物についてダンパーの設置量の調査を行い、 $\alpha_v$ の結果をグラフ化したものを図1に示す。

図1から、 $\alpha_v$ は一部の特殊な物件（例えば免震レトロフィット等）を除くと、ほぼ0～10%の範囲にあることが分かる。よって、以下では $\alpha_v=0\sim 0.10$ を適用範囲とした。

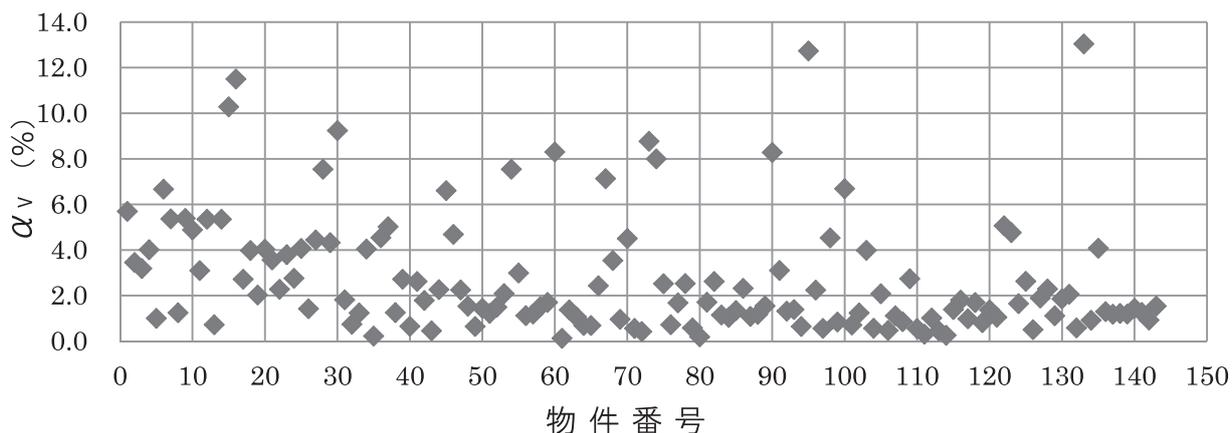


図1 既存免震建物の調査結果による  $\alpha_v$  の分布範囲

2) 対象とした非線形粘性ダンパーについて

本予測法では、オイルダンパーや速度べき乗型ダンパーを減衰力-速度関係の非線形性を考慮した非線形ダッシュポットとして取り扱うものとし、図2の様なりリーフ機構を持つオイルダンパー（バイリニア粘性型）の特性を、図3の様に平易な連続関数（減衰力が速度の0.3乗に比例）で表せる非線形粘性ダンパーに一元化して扱うものとした。

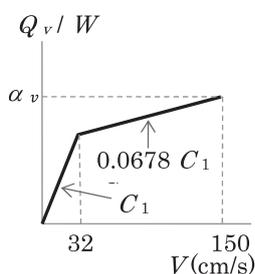


図2 バイリニア型

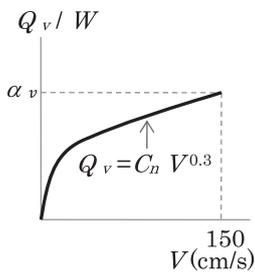


図3 速度べき乗型

なお、各ダンパーのパラメータは [JSSI免震部材標準リスト2005] <sup>10)</sup> の数値を参考にした。

2.3 解析モデルについて

本検討に用いた解析モデルは、免震層の復元力特性を有する1質点系モデルとした。すなわち上部構造は重量のみを考慮した剛体としている。免震層の復元力特性は、図4に示すように積層ゴムは線形バネに、履歴型ダンパーは完全弾塑性（2次剛性が0のノーマルバイリニア）バネに、および非線形粘性ダンパーは減衰力-速度関係を減衰力が速度のべき乗に比例するダッシュポットにそれぞれモデル化し、3つのモデルの並列系とした。

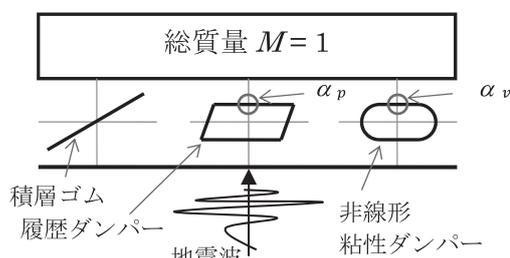


図4 1質点系モデル

2.4 エネルギーの釣合式による非線形粘性ダンパーを付加した免震層の最大変形予測

エネルギーの釣合に基づく手法による非線形粘性ダンパーを有する免震層の最大変形予測手法の概要を以下に示す。

免震層のエネルギーの釣合は、以下の基本式で表現することができる。

$$W_e + W_v + W_p = E$$

$W_e$ は弾性振動エネルギー、 $W_v$ は非線形粘性ダンパー、 $W_p$ は履歴型ダンパーによる塑性ひずみエネルギーにより吸収されるエネルギーを示す。

また、地震動による総入力エネルギーEは、

$$E = \frac{M \cdot V_E^2}{2} \quad M: \text{振動系の総質量}$$

ここで、地震動の終了時において弾性振動エネルギー $W_e$ はEに対して非常に小さな値であるので、 $W_v$ と $W_p$ の分担割合が明らかとなれば、履歴型ダンパーに関するエネルギーの釣合を次のように表現することができる。

$$M \cdot g \cdot \alpha_p \cdot \delta_y \cdot \eta = E \cdot \frac{W_p}{W_v + W_p} = \frac{M \cdot V_E^2}{2} \cdot \frac{W_p}{W_v + W_p}$$

よって、履歴型ダンパーの累積塑性変形倍率 $\eta$ は、

$$\eta = \frac{V_E^2}{2 \cdot g \cdot \alpha_p \cdot \delta_y} \cdot \frac{W_p}{W_v + W_p}$$

また、履歴型ダンパーの塑性変形倍率 $\mu_m$ （塑性率から1を減じた値）と $\eta$ は下式の形で結びつけることができる。

$$\eta = \chi \cdot \mu_m$$

$\chi$ が設定されれば最大変形 $\delta_{max}$ は次のように評価することができる。

$$\begin{aligned} \delta_{max} &= \delta_y \cdot (\mu_m + 1) = \delta_y \cdot \left( \frac{\eta}{\chi} + 1 \right) \\ &= \delta_y \cdot \left( \frac{V_E^2}{2 \cdot \chi \cdot g \cdot \alpha_p \cdot \delta_y} \cdot \frac{W_p}{W_v + W_p} + 1 \right) \end{aligned}$$

$\chi$ の値を $\alpha_p$ と $\alpha_v$ をパラメータとした種々の地震応答解析で算出したところ、ケースごとでバラツキの大きい値ではあるが、設計値として $\chi=8$ 程度の値が妥当と判断し、以下の検討を進めた。また、文献の包絡解析法<sup>11)</sup>も $\chi=8$ としている。

なお、詳細は文献12) p.90-93を参照。

## 2.5 非線形粘性ダンパーの負担する消費エネルギー分担率の同定

1) 時刻歴地震応答解析による履歴型ダンパーの吸収エネルギー

2.3の解析モデルを用いて時刻歴地震応答解析を行い、履歴型ダンパーによる吸収エネルギー $W_p$ と非線形粘性ダンパーによる吸収エネルギー $W_v$ を計算した。

解析パラメータは、履歴型ダンパーの降伏せん断力係数 $\alpha_p$ と非線形粘性ダンパーの150kine時抵抗力を総重量で除した値 $\alpha_v$ の2つで、それぞれ0.01~0.10（0.01刻みに10ケースずつ）とした。

入力地震波は、エルセントロ（NS）、タフト（EW）、八戸（NS）、JMA神戸（NS）の4波を用いた。JMA神戸（NS）は原波を、その他は最大速度を50kineに基準化して用いた。

2) 非線形粘性ダンパーによる吸収エネルギー分担率の同定

時刻歴地震応答解析から得られた $W_p/(W_v+W_p)$ の平均値と $\alpha_v$ の関係を $\alpha_p$ ごとに近似を行い、 $1.0 - W_p/(W_v+W_p)$ として非線形粘性ダンパーによる吸収エネルギー分担率の同定を行った。

種々のパラメトリック解析の結果、非線形粘性ダンパーによる吸収エネルギー分担率を下式のように同定した。

$$\begin{aligned} \frac{W_v}{W_p + W_v} &= 1.0 - \frac{W_p}{W_p + W_v} \\ &= \frac{\frac{\alpha_v}{\alpha_p}}{\frac{\alpha_v}{\alpha_p} - 8.359 \alpha_p + 1.635} \end{aligned}$$

なお、詳細は文献12) p.94-96を参照。

## 2.6 非線形粘性ダンパーを付加した免震層の最大せん断力（係数）予測

積層ゴム、履歴型ダンパーおよび粘性型ダンパーで構成される免震層に生じるせん断力 $F$ は次式である。

$$F = F_f + F_p + F_v$$

$$F_f = K_f U$$

$$F_p = Q_p$$

ここに、 $U$ は免震層の変位、 $K_f$ は積層ゴムの剛性、 $Q_p$ は履歴型ダンパーの降伏荷重である。

また、非線形ダッシュポットが定常変位 $U = U_{max} \sin(\omega t)$ で変形するときの任意の $U$ における $F_v$ は次式となる。

$$F_v = C(\omega U_{max})^\kappa \{1 - (U/U_{max})^2\}^{\kappa/2}$$

上式の $F$ は、 $0 < \kappa \leq 1$ では $0 < U < U_{max}$ において正側に極値を持つので、 $dF/dU=0$ となる $U (=U_c)$ とすると、 $U_c$ は最大せん断力発生時の変位である。そこでまず $dF/dU=0$ を変形して次式を導く。

$$\{\kappa \lambda (U_c/U_{max})\}^{2/(2-\kappa)} + (U_c/U_{max})^2 = 1$$

$$\lambda = C(\omega U_{max})^\kappa / (K_f U_{max})$$

上式より $(U_c/U_{max})$ は $\kappa$ および $\lambda$ に依存することがわかる。また $\lambda = K_v/K_f$ と表せ、 $K_v$ は非線形ダッシュポットの $U_{max}$ における損失剛性<sup>13)</sup>である。ただし $U_c$ は代数的に求まらないので、 $0 \leq \kappa \leq 1$ および $0 \leq \lambda \leq 5$ と変化させながら $(U_c/U_{max})$ を収束計算で求め、 $\kappa$ および $\lambda$ に関する回帰式を作成した。

なお、詳細は文献5) および文献12) p.97-98を参照。

## 3 計算シートの使用法

### 3.1 本計算ソフトの概要

本計算ソフト（2012JSSI設計支援ソフト小委員会応答予測法.xls）は、必要な緒元を入力することで本計算方法による応答曲線を計算するソフトであり、使用するにはMicrosoft Excel（2003以降のバー

ジョン)が必要となる。また、ユーザ定義関数を使用しているため、マクロを有効にする必要がある。

### 3.2 操作方法

本計算ソフトを立ち上げて、「入力・グラフシート」画面を表示する(図5)。「入力・グラフシート」の黄色いセルに「 $V_E$ 」および「 $\chi$ 」を入力する(初期値では、 $V_E=1.5$  [m/s]、 $\chi=8$ が入力されている)。各値を入力すると本計算法による応答曲線が自動で計算される。

### 3.3 計算結果の見方

本計算ソフトの「入力・グラフシート」の $V_E$ および $\chi$ に適切な値を入力すると、入力部分の下部に $\alpha_p$ の値が0.01~0.07まで0.01刻みの7枚の応答曲線(縦軸が $\alpha_{max}$ 、横軸が $U_{max}$ のグラフ)が表示される。

各々のグラフは $\alpha_p$ を固定した状態で、非線形粘性ダンパーの $\alpha_v$ を0.00~0.10まで0.01刻みで付加した場合、および $T_f$ を3.0sec~7.0secまで0.5sec刻みで変化させた場合の各々の計算結果が青丸点(○)で表示される。

具体的な例として、図6に $V_E=1.5$  [m/s]、 $\chi=8$ と入力し、 $\alpha_p=0.03$ とした時のグラフを示す。本計算法により算出した応答値が非線形粘性ダンパーを付加していない状態( $\alpha_v=0.00$ )の $\alpha_p=0.03$

のラインをスタートとして、 $\alpha_v$ の増加により各 $T_f$ 毎の応答値が変化していく様子がわかる。設計条件として $V_E=1.5$  [m/s]、 $\chi=8$ 、 $\alpha_p=0.03$ 、 $T_f=4.0$  [s]で $\alpha_v=0.04$ とした場合の $\alpha_{max}$ は約0.105、 $U_{max}$ は約0.225 [m]となる。(図6の矢印で示す青丸点)

また、グラフには非線形粘性ダンパーを付加しない場合と比較するために、履歴系ダンパーのみの場合の応答曲線( $\alpha_v=0.00$ とし、 $\alpha_p$ を0.01~0.07まで変化させた計算結果)を併せて表示している(赤の実線および破線)。

例えば、図6の矢印で示す青丸点( $\alpha_p=0.03$ 、 $T_f=4.0$  [s]、 $\alpha_v=0.04$ )は、非線形粘性ダンパーを付加しない場合の $\alpha_p=0.06$ 、 $T_f=4.5$  [s]とほぼ同等の $\alpha_{max}$ 、 $U_{max}$ であることがわかる。

## 4 告示計算との比較

平成21年建設省告示第2009号第6の計算方法(以下、告示計算と呼ぶ)と本計算法との比較を試みた検討結果を以下に示す。なお、検討方法の詳細は文献12) p.102-105を参照。

図7に $\alpha_p=0.03$ および0.06で、 $\alpha_v=0.00$ ~0.10検討結果を示す。

告示計算では $\alpha_p$ 、 $\alpha_v$ が大きくなると、加速度の低減率 $F_h$ が下限値の0.4となり、 $T_f$ 、 $\alpha_p$ が同じであれば $U_{max}$ は一定値となる事が分かる。一方 $\alpha_{max}$ は $T_f$ 、 $\alpha_p$ が同じであれば $\alpha_v$ が大きくなるほど $\alpha_{max}$

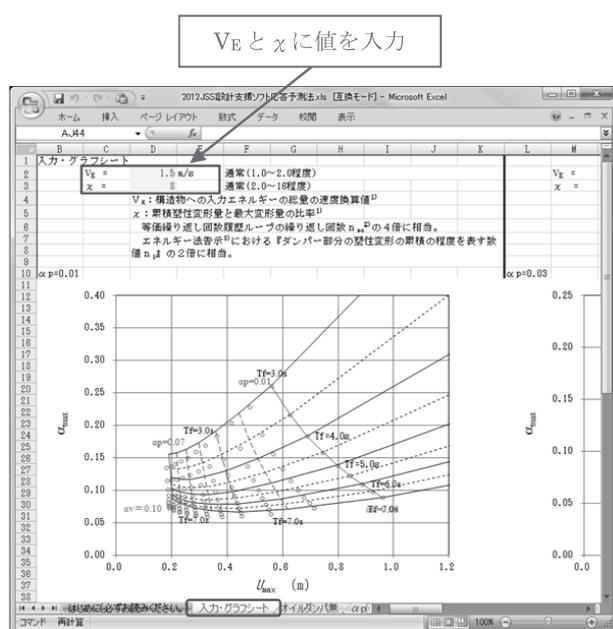


図5 「入力・グラフシート」画面

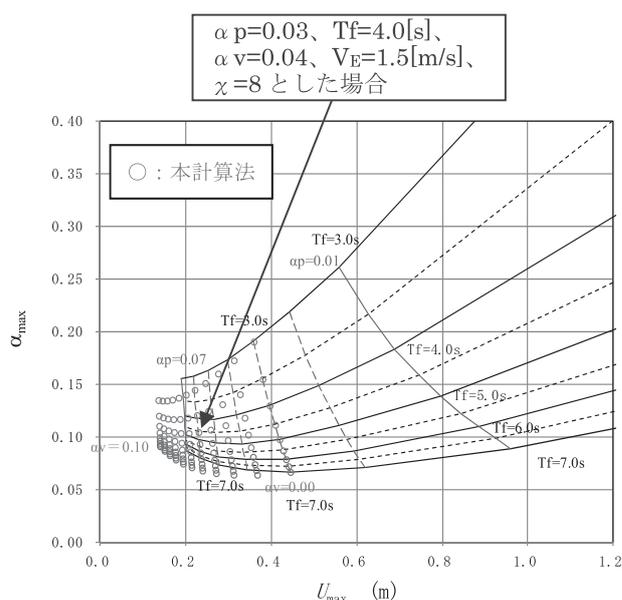


図6  $\alpha_p=0.03$ の場合の応答曲線 ( $V_E=1.5$  [m/s]、 $\chi=8$ 、 $\alpha_v=0.00$ ~0.10)

も大きくなる。また、今回の検討では、告示計算では下限値0.4に達するケースが比較的多いことも分かる。

図8は $F_h$ の下限値を無くした場合の検討結果を示す。この場合、告示計算の方が $\alpha_{max}$ および $U_{max}$ ともに小さく計算され、非線形粘性ダンパーの効果が大きく評価される傾向がある事が分かる。

以上から、告示計算では $F_h$ の下限値が無いとダンパーの設置量に対して応答値を過小評価する危険性があり、下限値はダンパーの減衰効果に対して安全側に歯止めがかかっていることが良く分かる。

なお、本検討において応答値の傾向は似ている

ものの、本予測法の計算結果と告示計算の結果が一致しない点については、入力地震動の大きさの評価方法が異なっていることが原因の一つにあると考える。

## 5 まとめ

免震建物に非線形粘性ダンパーを設置した場合の簡易な応答予測法として、エネルギーの釣合に基づく応答評価手法を開発し、応答予測曲線から簡便に免震層の最大変形と最大せん断力係数を求めることを可能にした。

なお、本予測法は非線形粘性ダンパーの設置量による大凡の応答値及びその値の変化の傾向をつ

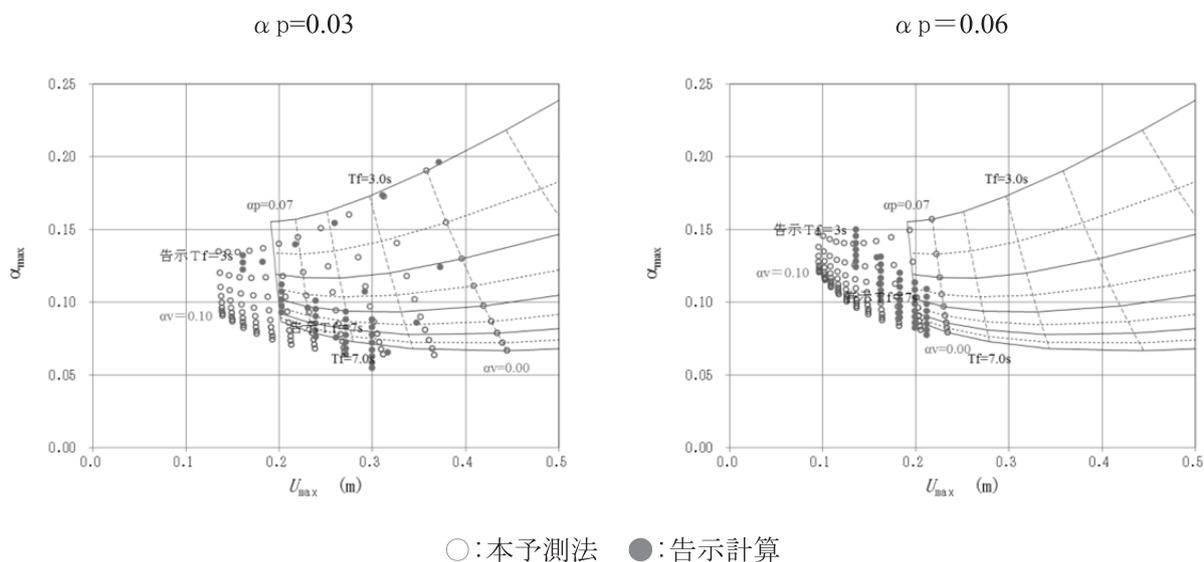


図7 本予測法 ( $\chi=8, V_E=150cm/s$ ) と告示計算 ( $F_h \geq 0.4$ ) の比較

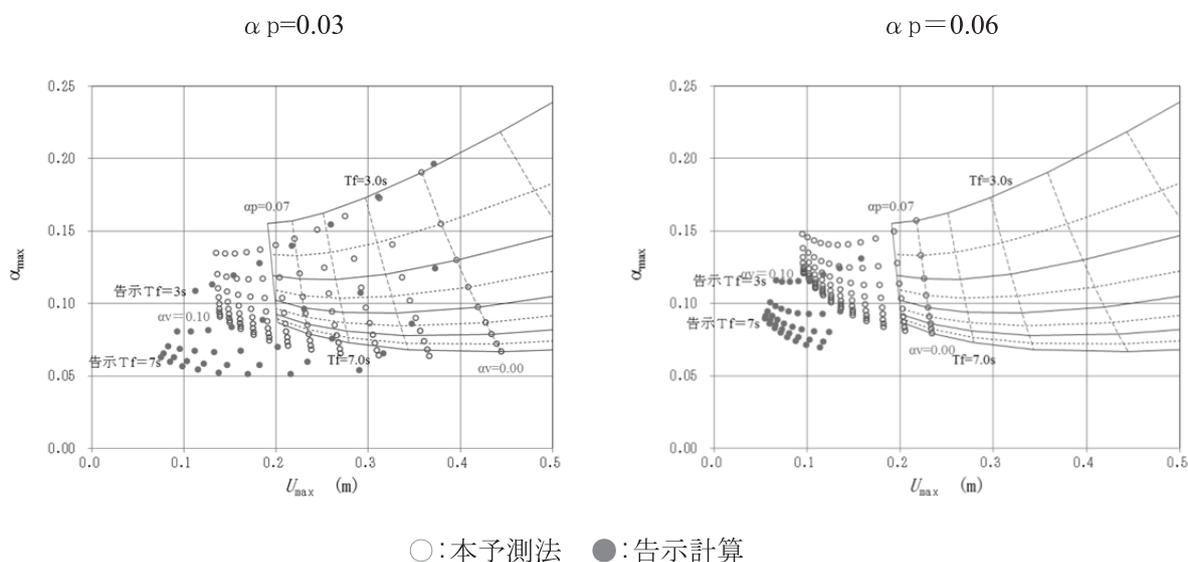


図8 本予測法 ( $\chi=8, V_E=150cm/s$ ) と告示計算 ( $F_h \geq 0.0$ ) の比較

かむためのものであり、応答値の正解値を算出するものではないこと、及び適用範囲に注意して使用することを御願います。

※本検討で使用した地震波は、日本建築センター、気象庁、防災科学技術研究所の公開波形を利用させていただきました。

## 6 今後の活動について

6.1 本簡易地震応答予測法の長周期地震動に対する適用性に対し、以下の追加検討を予定している。

- ①検討に使用する長周期地震動の選定
- ②本予測法において $\chi$ の値は応答評価の根幹に関わるものであり、選定した長周期地震動に対し単位地震動の繰返し数に着目した $\chi$ の値の見直し等を検討する。
- ③簡易応答予測法と実応答の比較を行い考察する。

### 6.2 簡易風応答解析のExcelソフトの開発

耐風設計部会がまとめた「免震建物の耐風設計指針2012」の「付5免震層の簡易風応答評価方法」に示された静的な計算を、エクセルシートで簡便にかつ理解しやすい形で処理できるソフトの開発を検討している。

なお、耐風設計部会にソフトの照査を依頼し完成したら本協会のHPで公開する方向で作業を進める予定。

### 参考文献

- 1) 酒井直己、山崎久雄、高山峯夫、渡邊信也：非線形粘性ダンパーの増設量に伴う免震層の応答の変化 その1、日本建築学会大会学術講演梗概集（東北）、pp.905-906、2009.8
- 2) 浪田裕之、山崎久雄、高山峯夫、石鍋雄一郎：非線形粘性ダンパーの増設量に伴う免震層の応答の変化 その2、日本建築学会大会学術講演梗概集（東北）、pp.907-908、2009.8
- 3) 渡邊信也、山崎久雄、高山峯夫、笠井和彦：免震層の応答予測に用いる非線形粘性ダンパーのエネルギー評価法 その1、日本建築学会大会学術講演梗概集（北陸）、pp.235-236、2010.9
- 4) 酒井直己、山崎久雄、高山峯夫、笠井和彦：免震層の応答予測に用いる非線形粘性ダンパーのエネルギー評価法 その2、日本建築学会大会学術講演梗概集（北陸）、pp.237-238、2010.9
- 5) 山崎久雄、渡邊信也、高山峯夫、笠井和彦：非線形粘性ダンパーを含む免震層の簡便な応答予測法 その1、日本建築学会大会学術講演梗概集（関東）、pp.555-556、2011.8
- 6) 渡邊信也、山崎久雄、石鍋雄一郎、高山峯夫、笠井和彦：非線形粘性ダンパーを含む免震層の簡便な応答予測法 その2、日本建築学会大会学術講演梗概集（関東）、pp.557-558、2011.8
- 7) 日本建築学会：免震構造設計指針2001
- 8) 秋山宏：エネルギーの釣合に基づく建築物の耐震設計 技報堂出版 1999年11月
- 9) 日本建築センター：エネルギーの釣合いに基づく耐震計算法の技術的基準解説および計算例とその解説 平成17年10月 p15等
- 10) 日本免震構造協会：免震部材標準リスト -2005-、pp.492-524
- 11) 多田英之、高山峯夫他：4秒免震への道 免震構造設計マニュアル理工図書 1997年8月
- 12) 日本免震構造協会：第6回技術報告会梗概集、pp.87-106、2012.5.16
- 13) 笠井和彦、鈴木陽、大原和之：減衰力が速度の指数乗に比例する粘性ダンパーをもつ制振構造の等価線形化法、日本建築学会構造系論文集 第574号、2003.12

# 「免震建築物の耐風設計指針」 解説講習会



日建設計  
田中 賢嗣

## 1 講習会概要

日時：2012年9月21日(金) 13：30～17：30

会場：工学院大学 新宿キャンパス 3階 URBAN TECH HALL  
(東京都新宿区西新宿1-24-2)

携行品：書籍「免震建築物の耐風設計指針」

主催：一般社団法人日本免震構造協会 技術委員会 耐風設計部会

## 2 講習会の概要

### 2.1趣旨

免震建築物は着実に増加を続け、かつ近年は、これまで免震構造に向かないとされていた高層建築物や塔状比の大きな建築物へも適用され始めている。免震建築物の耐震性能の確保については技術環境が整備されつつあるが、「対風」性能の評価に関しては関心が低く、整備が遅れていると言わざるを得ない。このような状況に鑑み、本協会は2007年6月、「設計判断を下すに至る作業」を合理的かつ実務的に進めることが出来る技術環境の整備を目的として耐風設計部会を設置し、耐風設計指針作成作業を開始し、2012年9月に「免震建築物の耐風設計指針」が刊行されることになった。本講習会では、免震建築物の耐風設計指針と関連技術情報を説明する。

### 2.2プログラム

時間割	内容	講師 (敬称略)
司会：北村春幸 (東京理科大学)		
13:30～	1. 主旨説明 2. 指針・解説	大熊武司 (神奈川大学)
13:40～	第1章一般 第3章免震層の設計	吉江慶祐 (日建設計)
14:20～	第2章風荷重の設定 付3 暴風の継続時間 付4 暴風の累積作用時間の簡易評価方法	松井正宏 (東京工芸大学)
14:50～	第4章免震部材の設計 付1 免震部材の性能試験法	竹中康雄 (鹿島建設)
15:20～	休憩	
	付2 免震部材の風応答特性	
15:35～	・積層ゴム支承	菊地隆志 (ブリジストン)
16:05～	・滑り・転がり支承	上田 栄 (日本ピラー工業)
16:25～	・弾塑性ダンパー	吉川秀章 (新日鉄住金エンジニアリング)
16:40～	・流体系ダンパー	讃井洋一 (日立オートモティブシステムズ)
16:55～	付5 免震層の簡易風応答評価方法	安井八紀 (泉創建エンジニアリング)
17:10～	付6 免震層の風応答評価例	吉江慶祐 (日建設計)

### 2.3講習会の概要

- 1) 主旨説明：極稀暴風時の風荷重が設計用地震力以下であることが耐風設計を省略できるという理由にはならないと述べており、耐風設計の重要性、風外力の特徴とその対応方法について説明があった。また、免震部材の耐風挙動(微小振幅時)については資料を整備中とのことである。
- 2) 第1章：指針の目的・内容について説明があった。風荷重に対する最大応答量・長時間の繰返しによる損傷の累積に対する設計・検証方法が提示されている。また、極稀暴風時の免震層の応答状態を3段階(A、B、C)に分類し、ランク毎に耐風安全性の検証方法を用意するという本指針の概念について説明があった。ランクBやCでは繰返し荷重に対する免震部材の健全性、累積疲労損傷評価やエネルギー吸収量など、継続時間を含めた風荷重の詳細な設定が必要である。
- 3) 第2章：風荷重の設定方法について説明があった。風荷重の設定に当たっては、建物の形状・振動特性・免震層の復元力特性・建設地及び周辺の状態を十分に考慮されなければならない。  
付録3：等価継続時間の概念の説明があり、暴風1イベントの等価継続時間の評価結果が示された。また、仮想台風の時刻歴風速の生成方法が提示された。  
付録4：最大風速の簡易評価方法、累積作用時間の評価方法について説明があり、その算定例が紹介された。
- 4) 第4章：極稀暴風時および暴風後も免震部材がその機能を保持することが設計上重要であると述べられた。また、免震部材の疲労特性・温度特性・クリープ特性・微小振幅特性等の性質について説明があり、設計者は免震部材が持つ特性を考慮して設計をするべきとのこと。  
付録1：免震部材の加振実験における考え方、一定振幅正弦波加振実験の妥当性、試験方法および留意点について説明があった。
- 5) 付録2：各種免震部材の風応答特性について説明があった。
- 6) 付録5：免震部材の風荷重の平均成分と変動成分における応答特性(クリープ性等)を考慮した、免震層の簡易風応答評価方法について説明があった。また、積層ゴム、鋼棒ダンパー、鉛ダンパーの3種類で構成される免震層における適用例が紹介された。
- 7) 付録6：超高層集合住宅の基礎免震構造建物を対象とし、極稀暴風時の風荷重に対して免震層の応答特性がランクB以下となる設計例が紹介された。設計例では、風方向と風直交方向の風荷重の組合せや、時刻歴応答解析、免震部材の疲労評価が紹介されている。

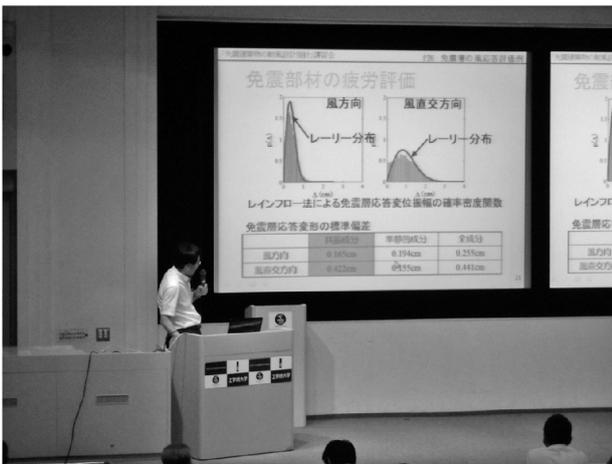


写真1 講義風景



写真2 会場内風景

# 日本免震構造協会 性能評価(評定)業務

日本免震構造協会では、平成16年12月24日に指定性能評価機関の指定(指定番号:国土交通大臣 第23号)を受け、性能評価業務を行っております。また、任意業務として、申請者の依頼に基づき、評定業務を併せ行っております。

ここに掲載した性能評価(評定)完了報告は、日本免震構造協会の各委員会において性能評価(評定)を完了し、申請者より案件情報開示の承諾を得たものを掲載しております。

## 建築基準法に基づく性能評価業務のご案内

### ◇業務内容

建築基準法の性能規定に適合することについて、一般的な検証方法以外の方法で検証した構造方法や建築材料については、法第68条の26の規定に基づき、国土交通大臣が認定を行います。これは、日本免震構造協会等の指定性能評価機関が行う性能評価に基づいています。

### ◇業務範囲

日本免震構造協会が性能評価業務を行う範囲は、建築基準法に基づく指定資格検定機関等に関する省令第59条各号に定める区分のうち次に掲げるものです。

#### ①第2号の2の区分(構造性能評価)

建築基準法第20条第一号(第二号口、第三号口及び第四号口を含む)の規定による、高さが60mを超える超高層建築物、または免震・制震建築物等の時刻歴応答解析を用いた建築物

#### ②第6号の区分(材料性能評価)

建築基準法第37条第二号の認定に係る免震材料等の建築材料の性能評価

### ◇業務区域

日本全域とします。

### ◇性能評価委員会

日本免震構造協会では、性能評価業務の実施に当たり区分毎に専門の審査委員会を設けています。

①構造性能評価委員会(第2号の2の区分) 原則として毎月第1水曜日開催

②材料性能評価委員会(第6号の区分) 原則として毎月第1金曜日開催

### ◇評価員

#### 構造性能評価委員会

委員長	和田 章	(東京工業大学)
副委員長	壁谷澤寿海	(東京大学)
	山崎 真司	(東京電機大学)
委員	大川 出	(建築研究所)
	島崎 和司	(神奈川大学)
	瀬尾 和大	(東京工業大学)
	曾田五月也	(早稲田大学)
	田才 晃	(横浜国立大学)
	中井 正一	(千葉大学)

#### 材料性能評価委員会

委員長	寺本 隆幸	(東京理科大学)
副委員長	高山 峯夫	(福岡大学)
委員	曾田五月也	(早稲田大学)
	西村 功	(東京都市大学)
	山崎 真司	(東京電機大学)

### ◇詳細案内

詳しくは、日本免震構造協会のホームページをご覧ください。

URL: <http://www.jssi.or.jp/>

# 国内の免震建物一覧表

国土交通省から公表された大臣認定取得免震建物のうち、ビルディングレター(日本建築センター)に掲載されたもの、及び当協会免震建物データ集積結果により作成しています。間違いがございましたらお手数ですがFAXまたはe-mailにて事務局までお知らせください。また、より一層の充実を図るため、会員の皆様からの情報をお待ちしておりますので、宜しくお願いいたします。

出版部会 URL: <http://www.jssi.or.jp/> FAX: 03-5775-5734 E-MAIL: [jssi@jssi.or.jp](mailto:jssi@jssi.or.jp)

## 免震建物一覧表

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )					延べ床面積(m <sup>2</sup> )
1	MNNN - 0019	2000/10/17	BCJ基評-HB0012	(仮称)鶴見戻手計画	鹿島建設	鹿島建設	RC	14	-	3055.7	29563.1	43.5	44.5	神奈川県横浜市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
2	MNNN - 0020	2000/10/17	BCJ基評-HB0004	(仮称)スポーツモール川崎店新築工事	松田平田設計	松田平田設計 鹿島建設	RC	6	-	564.9	3236.3	25.0	26.4	神奈川県川崎市	天然積層ゴム 鋼製ダンパー 鉛ダンパー すべり支承 オイルダンパー
3	MNNN - 0021	2000/10/17	BCJ基評-HB0023	(仮称)南砂1丁目計画	タウン企画設計	鹿島建設	RC	13	-	1298.7	11461.7	39.6	40.8	東京都江東区	鉛入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
4	MNNN - 0022	2000/10/17	BCJ基評-HB0014	(仮称)株式会社バイテック新社屋新築工事	清水建設	清水建設	SRC	8	1	613.5	3867.3	29.8	30.4	東京都品川区	高減衰積層ゴム 鉛ダンパー すべり支承
5	MNNN - 0024	2000/10/19	BCJ基評-HB0013	宗仙寺本堂、客殿、納骨堂	清水建設	清水建設	RC	2	0	201.0	385.0	7.0	9.2	東京都板橋区	高減衰積層ゴム すべり支承
6	MNNN - 0027	2000/10/25	BCJ基評-HB0006	シルクロゼース	大和設計	大和設計 小堀録二研究所	RC	12	-	1668.5	8852.1	34.9	39.9	熊本県熊本市	高減衰積層ゴム すべり支承
7	MNNN - 0028	2000/10/25	BCJ基評-HB0024	蕨野町新庁舎	日建設計	日建設計	SRC	7	-	2207.4	10078.0	28.0	28.6	三重県三重郡	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
8	MNNN - 0029	2000/10/25	BCJ基評-HB0005	(仮称)藤沢市総合防災センター	エヌ・ティ・ティ・フロンティア	エヌ・ティ・ティ・フロンティア	RC	7	-	619.5	3679.2	28.0	28.3	神奈川県藤沢市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
9	MNNN - 0031	2000/11/8	BCJ基評-HB0001	南砺中央病院	日本設計 富山県建築設計監理協同組合	日本設計 富山県建築設計監理協同組合	RC	6	-	5047.8	13442.5	28.1	32.6	富山県石川郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
10	MNNN - 0032	2000/11/8	BCJ基評-HB0010	金沢医科大学病院新棟	日本設計 中島建築事務所	日本設計 中島建築事務所	SRC	12	1	7055.0	51361.1	53.9	68.8	石川県河北郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
11	MNNN - 0033	2000/11/8	BCJ基評-HB0030	(仮称)東急ドエル アルス中央林間六丁目プロジェクト(その2)D棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	7	-	3348.0	1759.9	21.9	22.6	神奈川県大和市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
12	MNNN - 0033	2000/11/8	BCJ基評-HB0030	(仮称)東急ドエル アルス中央林間六丁目プロジェクト(その2)G棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	5	-	2820.0	1867.6	14.9	16.2	神奈川県大和市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
13	MNNN - 0035	2000/11/8	BCJ基評-HB0015	(仮称)actsSTEP	総研設計 工藤一級建築士事務所	工藤一級建築士事務所	S	3	-	188.1	438.0	10.9	14.1	静岡県静岡市	球面滑り支承
14	MFNN - 0036	2000/11/8	BCJ基評-HB0011	(仮称)マイクロテック本社ビル	五洋建設	五洋建設	RC	5	1	274.0	1151.7	16.5	18.8	東京都杉並区	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
15	MNNN - 0039	2000/11/8	BCJ基評-HB0009	精工技研第3工場	大成建設	大成建設	S	5	-	1599.5	8062.2	21.5	22.8	千葉県千葉市	天然積層ゴム 弾性すべり支承
16	MNNN - 0042	2000/11/8	BCJ基評-HB0029	(仮称)勝どきITビル		日建設計	S	8	-	2185.0	15736.0	36.2	43.2	東京都中央区	天然積層ゴム 鋼製ダンパー
17	MNNN - 0044	2000/11/8	BCJ基評-HB0026	東京消防庁渋谷消防署	東京消防庁総務部施設課 豊建築事務所	東京消防庁総務部施設課 豊建築事務所	RC	9	1	879.9	5572.0	30.2	30.8	東京都渋谷区	鉛入り積層ゴム
18	MNNN - 0045	2000/11/8	BCJ基評-HB0008	(仮称)平成11年度一般賃貸住宅(ファミリー)大熊健造ビル	S.D.C.	大成建設	RC	14	-	920.0	8779.1	44.4	45.0	埼玉県戸田市	天然積層ゴム 弾性すべり支承
19	MNNN - 0047	2000/11/8	BCJ基評-HB0019	元住吉職員宿舎(東棟変更)	都市基盤整備公団 千代田設計	都市基盤整備公団 千代田設計	RC	4	-	295.5	934.6	12.5	13.1	神奈川県川崎市	天然積層ゴム 鉛ダンパー オイルダンパー
20	MFNN - 0049	2000/11/8	BCJ基評-HB0022	門前仲町一丁目計画	C&AIU	西松建設	RC	13	1	459.0	4755.0	42.1	44.0	東京都江東区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
21	MNNN - 0050	2000/11/8	BCJ基評-HB0021	千葉市立郷土博物館耐震改修	千葉市都市整備公団 奥田建築設計事務所	構設計研究所 東京建築研究所	SRC	5	-	636.1	1872.1	26.6	30.4	千葉県千葉市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 鋼棒ダンパー
22	MFEB - 0053	2000/12/1	BCJ基評-HB0017	東京女子医科大学(仮称)総合外来棟	現代建築研究所	織本匠構造設計研究所	RC	5	3	6250.6	42726.4	24.1	28.8	東京都新宿区	鉛入り積層ゴム 直動転がりローラー支承
23	MNNN - 0060	2001/5/29		広島県防災拠点施設へり格納庫・管理棟	広島県土木建築部都市局 中電技術コンサルタント	広島県土木建築部都市局 中電技術コンサルタント	S	3	-	1286.24	1883	13.9	14.0	広島県豊田郡	RB 弾性すべり支承
24	MNNN - 0061	2000/11/20	BCJ基評-HB0020	中央合同庁舎第3号館耐震改修	建設大臣官房官庁営繕部 山下設計	建設大臣官房官庁営繕部 山下設計	SRC	11	2	5878.1	69973.9	44.9	53.6	東京都千代田区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム オイルダンパー
25	MNNN - 0065	2000/12/19	BCJ基評-HB0034	株式会社プリチストン鋳田製造所C棟	日建設計	日建設計	RC	5	-	4710.8	18159.5	31.6	32.2	静岡県静岡市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
26	MNNN - 0067	2000/12/19	BCJ基評-HB0032	原子力緊急時支援・研修センター支援建屋	日建設計	日建設計	S	2	-	1236.5	1942.9	10.2	14.0	茨城県ひたちなか市	天然積層ゴム 鉛ダンパー
27	MFNN - 0075	2001/2/16	BCJ基評-HB0025	(仮称)阿倍野D3-1分譲住宅建設工事	大林組	大林組	RC	14	1	1181.3	12922.9	48.4	52.3	大阪府大阪市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
28	MNNN - 0080	2001/5/29		日本メナード化粧品本社ビル	大成建設	大成建設	SRC	14		806.41	9550	63.4	67.4	愛知県名古屋市中区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
29	MNNN - 0082	2001/1/5	GBRC建評-00-11A-002	新八尾市立病院	昭和設計	昭和設計	S	8	1	7428.0	39156.0	35.9	41.6	大阪府八尾市	すべり支承 鉛入り積層ゴム
30	MNNN - 0086	2001/1/5	BCJ基評-HB0086	(仮称)戸田・中町マンション	ジェイアール東日本建築設計事務所 日建ハウジングシステム	ジェイアール東日本建築設計事務所 日建ハウジングシステム	RC	14	-	1270.0	8573.4	42.3	45.8	埼玉県戸田市	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	延べ床面積(m <sup>2</sup> )					
31	MNNN - 0087	2001/1/5	BCJ基評-IB0081	黒丸山 保福寺(本堂)	建築・企画飛鳥	東京建築研究所	木造	2	-	1070.3	902.2	9.4	20.3	青森県 石巻市	弾性すべり支承 鉛入り積層ゴム
32	MNNN - 0088	2001/1/5	BCJ基評-IB0084	(仮称)パークマンション熊高正門前新築工事 A棟	樋川設計事務所・五洋建設	樋川設計事務所・五洋建設	RC	14	-	1407.1	12324.5	43.1	47.9	熊本県 熊本市	天然積層ゴム 高減衰積層ゴム
33	MNNN - 0088	2001/1/5	BCJ基評-IB0084	(仮称)パークマンション熊高正門前新築工事 B棟	樋川設計事務所・五洋建設	樋川設計事務所・五洋建設	RC	14	-	-	-	43.1	47.9	熊本県 熊本市	天然積層ゴム 高減衰積層ゴム
34	MFNN - 0095	2001/1/17	BCJ基評-IB0018	(仮称)東急ドエル アルス中央林間六丁目プロジェクトA棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	7	1			22.7	23.2	神奈川県 大和市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンバー
35	MFNN - 0095	2001/1/17	BCJ基評-IB0018	(仮称)東急ドエル アルス中央林間六丁目プロジェクトB棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	11	1			34.4	35.5	神奈川県 大和市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンバー
36	MFNN - 0095	2001/1/17	BCJ基評-IB0018	(仮称)東急ドエル アルス中央林間六丁目プロジェクトC棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	17	1	6168.9	43941.9	53.0	53.6	神奈川県 大和市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンバー
37	MFNN - 0095	2001/1/17	BCJ基評-IB0018	(仮称)東急ドエル アルス中央林間六丁目プロジェクトE棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	8	1			25.7	26.6	神奈川県 大和市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンバー
38	MFNN - 0095	2001/1/17	BCJ基評-IB0018	(仮称)東急ドエル アルス中央林間六丁目プロジェクトF棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	11	1			34.4	35.5	神奈川県 大和市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンバー
39	MFNN - 0098	2001/2/20	BCJ基評-IB0082	(仮称)アマノGalaxyビル新築工事	大本組	大本組	RC(柱) S(梁)	4	1	1028.9	4385.5	16.0	16.6	神奈川県 横浜	高減衰積層ゴム すべり支承 オイルダンバー
40	MNNN - 0100	2001/2/2	BCJ基評-IB0090	(仮称)下井草5丁目計画	丸用一級建築士事務所	連建築事務所・免震エンジニアリング	RC	9	-	489.0	2990.8	27.0	28.0	東京都 杉並区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
41	MNNN - 0102	2001/2/2	BCJ基評-IB0087	(仮称)相模原橋本地区分譲共同住宅(A棟)新築工事	竹中工務店	竹中工務店	RC	18	-	965.1	13780.5	58.0	63.0	神奈川県 相模原	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承
42	MNNN - 0104	2001/2/22	GBRC建評-00-11A-003	京阪くずはEブロック集合住宅B棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	13	1	7103.8	6381.4	39.7	41.9	大阪府 枚方市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
43	MNNN - 0106	2001/2/22	GBRC建評-00-11A-004	京阪くずはEブロック集合住宅C棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	11	-	7103.8	4898.8	33.2	35.4	大阪府 枚方市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
44	MNNN - 0107	2001/2/16	GBRC建評-00-11A-005	京阪神不動産(仮称)新町第2ビル	日建設計	日建設計	S	7	1	1826.4	14781.5	34.5	40.9	大阪府 西区	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンバー
45	MNNN - 0109	2001/2/19	BCJ基評-IB0093	広島県防災拠点施設整備新築工事(備蓄倉庫棟)	広島県土木建設部都市局営繕課・中部技術コンサルタント	広島県土木建設部都市局営繕課・中部技術コンサルタント	S	1	-	4747.9	4481.9	7.0	8.9	広島県 豊田郡	弾性すべり支承 天然積層ゴム
46	MNNN - 0111	2001/2/16	GBRC建評-00-11A-006	井内盛業堂本社ビル	竹中工務店	竹中工務店	RC	8	1	589.0	5312.7	33.9	42.9	大阪府 西区	鉛入り積層ゴム すべり支承
47	MNNN - 0112	2001/2/19	BCJ基評-IB0098	(仮称)戸塚吉田町プロジェクト A棟	(仮称)戸塚吉田町プロジェクト設計共同企業体	東急設計コンサルタント	RC	10	-	1446.8	9594.1	30.6	31.0	神奈川県 横浜	鉛入り積層ゴム
48	MNNN - 0112	2001/2/19	BCJ基評-IB0098	(仮称)戸塚吉田町プロジェクト B棟	(仮称)戸塚吉田町プロジェクト設計共同企業体	東急設計コンサルタント	RC	10	-	1777.6	10264.5	30.6	31.0	神奈川県 横浜	鉛入り積層ゴム
49	MNNN - 0113	2001/2/15		(仮称)ライフェルズ上名和(B棟)	(株)大建設計名古屋事務所	大建設計・鹿島建設	RC	14	-	390.6	4407.2	41.2	44.8	愛知県 東海市	天然ゴム系積層ゴム 鋼製ダンバー 鉛ダンパー 滑り支承
50	MNNN - 0116	2001/2/19		常楽院	片野建築設計事務所・三井住友建設	片野建築設計事務所・三井住友建設	木造	1	-	421.8	330.1		11.9	東京都 立川市	天然ゴム系積層ゴム 転がり支承 鉛ダンバー
51	MNNN - 0117	2001/2/22	GBRC建評-00-11A-008	(仮称)モアグレース梅林公園前南棟	奥村組	奥村組	RC	5	-	743.7	2828.5	14.4	16.6	岐阜県 岐阜市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
52	MNNN - 0118	2001/2/22	GBRC建評-00-11A-007	(仮称)モアグレース梅林公園前北棟	奥村組	奥村組	RC	13	-	533.6	4495.6	38.4	39.4	岐阜県 岐阜市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
53	MNNN - 0119	2001/2/19		プラダ東京南青山	竹中工務店	竹中工務店	S,RC	7	2	369.2	2860.4	32.5		東京都 港区	
54	MNNN - 0122	2001/2/19	BCJ基評-IB0031	東京大学医学研究所付属病院診療棟共同	岡田新一・佐藤総合計画設計共同	岡田新一・佐藤総合計画設計共同	SRC	8	2	1710.9	13099.8	39.5	48.2	東京都 港区	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンバー
55	MNNN - 0123	2001/2/19	BCJ基評-IB0096	矯正会館	千代田設計	千代田設計 大成建設	RC	4	1	823.5	3073.7	15.7	19.3	東京都 中野区	天然積層ゴム 弾性すべり支承
56	MNNN - 0124	2001/2/19	BCJ基評-IB0100	理化学研究所特殊環境実験施設	久米設計	久米設計	RC	6	-	2907.5	11379.2	28.9	33.5	埼玉県 和光市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
57	MNNN - 0125	2001/2/19		愛知県西庁舎	愛知県建設部公共建設課 三菱地所設計	愛知県建設部公共建設課 三菱地所設計	SRC	10	3	2305.0	32306.0			愛知県 名古屋	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
58	MNNN - 0130	2001/2/19	BCJ基評-IB0105	(仮称)大蔵海岸パーク・ホームズ	三井建設	三井建設	RC	14	-	419.9	4402.0	44.4	44.4	兵庫県 明石市	高減衰積層ゴム
59	MNNN - 0131	2001/2/19	BCJ基評-IB0104	(仮称)川崎大師パーク・ホームズⅡ	三井建設	三井建設	RC	7	-	1264.3	7352.0	19.6	20.0	神奈川県 川崎市	鉛入り積層ゴム
60	MNNN - 0137	2001/3/13	BCJ基評-IB0107	市川大門町庁舎	日建設計	日建設計	RC	3	-	1791.8	4153.4	14.5	15.9	山梨県 西八代郡	天然積層ゴム 鉛ダンパー
61	MNNN - 0141	2001/3/28	BCJ基評-IB0103	甲府支店社屋	名工建設	名工建設 飯島建築事務所	RC	4	-	349.4	1109.5	12.8	13.1	山梨県 甲府市	弾性すべり 天然積層ゴム 鉛ダンパー
62	MFNN - 0149	2001/3/23	BCJ基評-IB0102	(仮称)リポータ須磨新築工事B棟	OKI設計	東急建設	RC	14	-	1448.4	15008.3	41.9	42.6	兵庫県 神戸市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンバー すべり支承
63	MFNN - 0150	2001/3/27	BCJ基評-IB0085	(仮称)湯沢町病院新築工事	エヌ・ティ・ティファシリティーズ	エヌ・ティ・ティファシリティーズ	S	4	1	1706.0	6378.3	19.2	23.9	新潟県 南魚沼郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 球体転がり支承
64	MNNN - 0151	2001/4/13	BCJ基評-IB0115	(仮称)高知高須病院	THINK建築設計事務所	ダイナミックデザイン	RC	6	-	2763.4	12942.9	24.0	24.6	高知県 高知市	鉛入り積層ゴム
65	MFNN - 0152	2001/3/23	BCJ基評-IB0109	(仮称)住友不動産田町駅前ビル	陣設計 竹中工務店	竹中工務店	RC	8	1	947.4	7432.3	33.1	36.6	東京都 港区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
66	MNNN - 0167	2001/4/5	BCJ基評-IB0114	(仮称)LM竹の塚ガーデン(高層棟)	日建ハウジング	日建ハウジング	RC	19	-	3212.1	9662.9	57.6	62.9	東京都 足立区	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンバー オイルダンバー 弾性すべり支承
67	MNNN - 0167	2001/4/5	BCJ基評-IB0114	(仮称)LM竹の塚ガーデン(南棟)	日建ハウジング	日建ハウジング	RC	14	-	3212.1	10162.8	42.9	43.9	東京都 足立区	同上
68	MNNN - 0167	2001/4/5	BCJ基評-IB0114	(仮称)LM竹の塚ガーデン(東棟)	日建ハウジング	日建ハウジング	RC	14	-	3212.1	6551.7	42.9	43.9	東京都 足立区	同上
69	MNNN - 0169	2001/4/13	BCJ基評-IB0116	(仮称)ガクエン住宅本社ビル	アーバンライフ建築事務所	間1級建築士事務所	RC	5	-	244.6	1170.4	19.2	22.7	東京都 葛飾区	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンバー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )				延べ床面積(m <sup>2</sup> )	
70	MNNN - 0173	2001/4/13	BCJ基評-HB0123	(仮称)田代会計事務所	白江建築研究所	ダイナミックデザイン	S	5	-	156.5	614.2	18.5	19.0	埼玉県熊谷市	高減衰積層ゴム 球体転がり支承
71	MNNN - 0177	2001/4/19	BCJ基評-HB0124	ライオンズマンション内丸第2	創建設計	住友建設	RC	14	-	478.9	5810.8	41.4	42.4	青森県八戸市	鉛入り積層ゴム
72	MFNN - 0179	2001/4/19	BCJ基評-HB0106	(仮称)静鉄分譲マンション マゾン沼津高沢3	東急建設	東急建設	RC	13	-	939.5	7523.9	39.7	42.0	静岡県沼津市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
73	MFNN - 0185	2001/5/14		アクセスビル(仮称)	日建設計	日建設計	S	14	1	875.0	11670.0	58.9	60.0	大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
74	MNNN - 0187	2001/5/10	BCJ基評-HB0117	(仮称)短浜電気ビル	西日本技術開発 清水建設	西日本技術開発 清水建設	RC	12	1	3907.3	23619.8	52.9	52.9	福岡県福岡市	高減衰積層ゴム すべり支承
75	MFNN - 0189	2001/5/29	BCJ基評-HB0007	(仮称)西五軒町再開発計画	戸原太郎建築事務所	住友建設	S	12	1	4167.2	33492.7	58.5	61.5	東京都新宿区	鉛入り積層ゴム
76	MNNN - 0192	2001/5/29	GBRC建評-00-11A-010	(仮称)西五軒町再開発計画	日建設計	日建設計	SRC	9	1	11050.0	47650.0	39.8	44.5	東京都港区	天然積層ゴム すべり支承 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
77	MNNN - 0199	2001/5/29	BCJ基評-HB0135	ライオンズタワー福岡	共同建築設計事務所東北支社	住友建設	RC	19	-	744.7	8883.6	59.3	65.4	宮城県仙台市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
78	MNNN - 0203	2001/5/29	BCJ基評-HB0122	県立保健医療福祉大学(仮称)	東畑建築事務所 大林組	東畑建築事務所 大林組	S	6	-	16370.7	28387.3	24.1	28.8	神奈川県横浜須賀野	天然積層ゴム オイルダンパー 摩擦ゴムばね支承
79	MNNN - 0204	2001/5/23	BCJ基評-HB0113	平城宮跡第一次大極殿	(財)文化財建造物保存技術協会	(財)文化財建造物保存技術協会	木造	1	-	1387.0	858.1	20.7	26.9	奈良県奈良市	転がり支承 天然積層ゴム 壁型粘性体ダンパー
80	MNNN - 0205	2001/5/29	BCJ基評-HB0132	(仮称)元麻布2丁目計画	入江三宅設計事務所	入江三宅設計事務所 免震エンジニアリング(協力)	RC	6	-	667.7	2993.6	18.4	21.5	東京都港区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
81	MNNN - 0209	2001/5/29	BCJ基評-HB0133	広島県防災拠点施設ヘリ格納庫・管理棟	広島県土木建築部都市局 補課 中電技術コンサルタント	広島県土木建築部都市局 補課 中電技術コンサルタント	S	3	-	1286.2	1863.1	13.9	14.0	広島県豊田郡	天然積層ゴム 弾性すべり支承
82	MNNN - 0210	2001/5/23	GBRC建評-00-11A-001	シマノビル	戸原太郎建築事務所 構造計画プラス・ワン	戸原太郎建築事務所 構造計画プラス・ワン	PC	3	1	1482.5	5269.0	13.8	1.9	大阪府堺市	天然積層ゴム 鋼棒ダンパー 鉛ダンパー
83	MNNN - 0213	2001/4/27	BCJ基評-HB130	ライオンズタワー五反田	INA新建築研究所	三井建設	RC	18	1	723.84	9416.6	59.86	64.41	東京都品川区	鉛入り積層ゴム
84	MNNN - 0214	2001/6/18	BCJ基評-HB0134	(仮称)熊本・銀座通SGホテル	建吉組	構造計画研究所	RC	12	-	373.8	3575.3	33.7	34.2	熊本県熊本市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
85	MNNN - 0215	2001/6/18	BCJ基評-HB0137	(仮称)高崎八島SGホテル	平成設計	構造計画研究所	RC	12	-	375.7	3951.1	54.2	34.7	群馬県高崎市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
86	MNNN - 0216	2001/6/18	BCJ基評-HB0131	(仮称)エクセルダイヤ東大井	下川辺建築設計事務所	STRデザイン 免震エンジニアリング	RC	13	-	181.5	1952.7	37.6	39.0	東京都品川区	鉛入り積層ゴム
87	MNNN - 0221	2001/6/28	GBRC建評-01-11A-003	第3期木津かぶと台12号棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	5	-	771.7	3798.9	14.2	16.5	京都府相楽郡	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
88	MNNN - 0222	2001/6/28	GBRC建評-01-11A-004	第3期木津かぶと台16号棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	5	-	724.3	3574.4	14.2	16.5	京都府相楽郡	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
89	MNNN - 0225	2001/6/18	BCJ基評-HB0138	(仮称)本駒込計画	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	14	-	495.0	3442.8	45.4	46.2	東京都文京区	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼製ダンパー
90	MFNN - 0226	2001/6/15	BCJ基評-HB0033	(仮称)住友不動産上野8号館新築工事	陣設計	住友建設	SRC	8	1	1264.0	9275.0	32.9	34.1	東京都台東区	鉛入り積層ゴム
91	MFNN - 0230	2001/6/28	BCJ基評-HB0130	ライオンズタワー五反田	INA新建築研究所	三井建設	RC	18	-	723.8	9415.8	59.9	64.4	東京都品川区	鉛入り積層ゴム
92	MNNN - 0233	2001/6/28	GBRC建評-01-11A-002	(仮称)オリコ大阪今福東ビル	東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	S	8	1	604.8	4584.0	34.6	39.1	大阪府城東区	鉛入り積層ゴム
93	MNNN - 0236	2001/6/28	BCJ基評-HB0144	(仮称)幕張新都心住宅地H-3街区(D棟)	三菱地所設計 小沢明建築研究室 東急設計コンサルタント	三菱地所設計	RC	19	-	786.8	9239.9	59.9	65.8	千葉県千葉市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム スチールダンパー
94	MNNN - 0237	2001/6/28	BCJ基評-HB0146	(仮称)幕張新都心住宅地H-3街区(E棟)	三菱地所設計 小沢明建築研究室 東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	RC	19	-	1128.1	12849.2	59.3	65.4	千葉県千葉市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 自動車転がり支承
95	MNNN - 0238	2001/6/28	BCJ基評-HB0145	(仮称)幕張新都心住宅地H-3街区(F棟)	三菱地所設計 小沢明建築研究室 東急設計コンサルタント	三菱地所設計	RC	19	-	707.4	9198.3	59.9	65.8	千葉県千葉市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム スチールダンパー
96	MNNN - 0244	2001/7/12	BCJ基評-HB0095	兵庫県立災害医療センター(仮称)・日赤新病院(仮称)	山下設計	山下設計	RC	7	1	6945.2	33409.5	30.9	39.9	兵庫県神戸市	鉛入り積層ゴム すべり支承
97	MNNN - 0255	2001/7/25	BCJ基評-HB0108	万有製薬株式会社 つくば第二研究棟	日建設計	日建設計	S	7	1	5284.4	19932.7	27.0	27.4	茨城県つくば市	天然積層ゴム 鋼製ダンパー
98	MNNN - 0258	2001/6/29	BCJ基評-HB0168	福田町役場庁舎	竹下一級建築士事務所	田中輝明建築研究所	RC	4	-	1400.2	4564.2	16.7	17.1	静岡県静岡市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
99	MNNN - 0260	2001/8/21	BCJ基評-HB0148	宮城県こども病院(仮称)	山下設計	山下設計	RC	4	-	6353.2	16952.8	18.9	26.3	宮城県仙台市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 鉛入り積層ゴム 鋼棒ダンパー
100	MFNN - 0262	2001/8/23	BCJ基評-HB0166	鹿島田駅東部地区第一種市街地再開発事業施設建築物	アール・アイ・エー	アール・アイ・エー 職工匠構造設計研究所	RC	18	2	5800.0	42263.0	57.9	63.8	神奈川県川崎市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 自動車転がり支承
101	MNNN - 0272	2001/8/21	BCJ基評-HB0184	(仮称)中原区小杉2丁目計画	三井建設	三井建設	RC	14	-	1099.2	11002.3	44.8	46.9	神奈川県川崎市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
102	MFNB - 0273	2001/8/10	BCJ基評-HB0178	(仮称)豊洲コンピューターセンター	新豊洲変電所上部建物増築 工事実施設計JV 代表 清水建設	新豊洲変電所上部建物増築 工事実施設計JV 代表 清水建設	SRC S	10	4	17087.9	186746.4	57.9	60.0	東京都江東区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
103	MNNN - 0274	2001/8/23	BCJ基評-HB0179	(仮称)ルミナス立川	三栄建築設計事務所	奥村組	RC	17	-	760.0	9015.0	51.1	51.1	東京都立川市	鉛入り積層ゴム 転がり支承
104	MNNN - 0278	2001/8/23	BCJ基評-HB0169	八戸十字病院新本館	横川建築設計事務所	横川建築設計事務所 職工匠構造設計研究所	RC	7	1	5792.7	21449.4	29.4	34.0	青森県八戸市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承
105	MNNN - 0282	2001/8/23	GBRC建評-01-11A-006	ドコモ大阪第二ビル(仮称)	エヌ・ティ・ティ・フロンティアズ アソシエイツ	エヌ・ティ・ティ・フロンティアズ アソシエイツ	S	12	-	5371.4	60993.4	54.1	55.1	大阪府住之江区	自動車転がり支承 鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
106	MNNN - 0284	2001/9/28	BCJ基評-HB0176	(仮称)ホテル川六ビジネス館	平成設計	構造計画研究所	RC	11	-	261.0	2545.5	30.9	38.3	香川県高松市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
107	MNNN - 0285	2001/9/28	BCJ基評-HB0183	(仮称)ライフウェルズ上名和(C棟)	大建設計 鹿島建設	大建設計 鹿島建設	RC	14	-	385.9	4290.7	45.3	44.9	愛知県東海市	天然積層ゴム すべり支承 鋼製ダンパー 鉛ダンパー
108	MNNN - 0289	2001/9/28	BCJ基評-HB0181	(仮称)電算セキュア・データセンター	中照建築事務所	中照建築事務所 フジタ	SRC	6	-		6755.0			長野県長野市	天然ゴム系積層ゴム 鋼製U型ダンパー
109	MNNN - 0290	2001/9/28	BCJ基評-HB0177	ペルーナ本社ビル	中照建築事務所	中照建築事務所 フジタ	SRC	9	-	889.6	7151.8	34.6	39.4	埼玉県上尾市	鉛入り積層ゴム すべり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	延べ床面積(m <sup>2</sup> )					
110	MNNF - 0291	2001/9/18		大井競馬場1号スタンド	松田平田設計	松田平田設計	S	6	1	6613.0	22101.0		東京都品川区		
111	MNNN - 0293	2001/9/28		中央大学附属高等学校1号館			RC	7	-		8047.0		東京都小金井市	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー	
112	MNNN - 0297	2001/9/28	BCJ基評-IB0194	外務本省(耐震改修)	国土交通省大臣官庁官庁舎 繕部 山下設計	国土交通省大臣官庁官庁舎 繕部 山下設計	RC	北8 南8	北2 南1	7305.0	55893.0	30.8	31.9	東京都千代田区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
113	MFNN - 0299	2001/9/18	BCJ基評-IB0182	(仮称)住友不動産新宿中央公園ビル	竹中工務店	竹中工務店	RC	8	1	2145.5	15975.1	32.4	37.6	東京都新宿区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
114	MNNN - 0302	2001/9/28	BCJ基評-IB0196	(仮称)第2中層ビル	山下設計	山下設計	RC	9	1	914.2	8104.0	42.3	50.7	東京都渋谷区	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
115	MFNF - 0303	2001/9/27		岡山操車場跡地公園(仮称)整備に係わる全天候型多目的球技場	石本建築事務所・戸田建設	石本建築事務所・戸田建設	RC+S	2	-	9500.0	9872.5		37.8	岡山県岡山市	
116	MNNN - 0304	2001/9/28		社会保険紀南総合病院	久米設計	久米設計	S	8	1	7413.0	29306.0		32.4	和歌山県田辺市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承 鋼棒ループダンパー
117	MNNN - 0310	2001/10/23		(仮称)深谷赤十字病院新病棟	梓設計	梓設計	RC	7	-	8404.0	34876.0	28.5		埼玉県深谷市	天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承
118	MFNN - 0315	2001/10/16	GBRC建評-01-11A-005	(仮称)御堂筋武田ビル	CITY ENGINEERING 中工務店	CITY ENGINEERING 竹中工務店	S	9	2	422.7	4049.3	38.6	43.1	大阪市中央区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム オイルダンパー
119	MNNN - 0320	2001/10/23	BCJ基評-IB0202	立川総合社屋	東電設計	東電設計	S	7	2	1700.8	15141.8	28.8	32.9	東京都立川市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
120	MNNN - 0323	2001/11/7	GBRC建評-01-11A-008	(仮称)西宮・甲斐園マンション	新井組	新井組	RC	15	-	410.9	4908.9	47.6	48.2	兵庫県西宮市	鉛入り積層ゴム
121	MFNN - 0325	2001/10/23	BCJ基評-IB0197	(仮称)白金高輪マンション	フジタ	フジタ	RC	19	-	939.0	11051.8	59.4	64.5	東京都港区	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
122	MNNN - 0326	2001/10/23		(仮称)クロスウェイコミュニケーションズ横浜データ交換センター	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ・構造計画研究所	S	3	1					神奈川県横浜市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
123	MFNN - 0328	2001/11/15	GBRC建評-01-11A-007	小野薬品工業株式会社 新社屋	類設計室 大林組	大林組	S	11	2	1126.8	14283.1	50.8	56.3	大阪市中央区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
124	MFNN - 0332	2001/11/13	BCJ基評-IB0136-01	住友不動産(仮称)西梅田ITビル	日建設計	日建設計	S SRC	10	1	1135.0	12310.0	45.1	54.9	大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承
125	MNNN - 0333	2002/11/7	BCJ基評-IB0207	(仮称)農林中金昭島センター第二期棟	三菱地所設計 全国農協設計	三菱地所設計 全国農協設計	SRC	6	-	3672.8	20215.0	32.6	33.6	東京都昭島市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承 U型ダンパー
126	MFNN - 0336	2001/11/7	BCJ基評-IB0204	(仮称)大東ビル	大林組	大林組	SRC	9	1	853.8	9155.9	35.9	45.5	東京都千代田区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム オイルダンパー
127	MNNN - 0339	2001/11/28	BCJ基評-IB0205	(仮称)芝浦トランクルーム	郵船不動産 日本設計	日本設計	RC	8	-	2253.9	15500.3	42.9	44.7	東京都港区	鉛入り積層ゴム
128	MNNN - 0342	2001/11/28	BCJ基評-IB0215-01	大幸公社賃貸住宅(仮称)建設工事(第1次)第1工区 A棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	10	-	1173.0	8596.8	30.4	32.4	愛知県名古屋市中区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性滑り支承
129	MNNN - 0343	2001/11/28	BCJ基評-IB0216-01	大幸公社賃貸住宅(仮称)建設工事(第1次)第1工区 B棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	10	-	1173.0	8594.5	30.5	32.5	愛知県名古屋市中区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性滑り支承
130	MFNN - 0345	2001/11/13	BCJ基評-IB0167-02	中伊豆町新庁舎	エヌ・ティ・ティファシリティーズ	エヌ・ティ・ティファシリティーズ	RC	3	-	2345.5	4379.2	14.3	15.0	静岡県田方郡	鉛入り積層ゴム 転がり支承
131	MNNN - 0354	2001/12/21	BCJ基評-IB0217-01	クイーンズパレス三鷹下連雀	熊谷組	熊谷組	RC	11	1	389.1	3135.9	34.8	35.3	東京都三鷹市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー 鉛ダンパー
132	MNNN - 0359	2001/12/25	BCJ基評-IB0232-01	(仮称)ピ・エール大供	和建設	和建設 熊谷組耐震コンサルグループ	RC	15	-	271.8	3322.1	42.8	43.5	岡山県岡山市	高減衰積層ゴム
133	MNNN - 0361	2001/12/25	BCJ基評-IB0228-01	(仮称)マーブル音羽館	西野建設	中山構造研究所 日本免震研究センター 協力:福岡大学高山研究室	RC	20	-	440.9	7215.4	59.0	67.3	岐阜県多治見市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼製ダンパー
134	MNNN - 0365	2001/12/25	BCJ基評-IB0226-01	つくば免震検証棟	住友林業	清水建設 アイディールプレーン	木造	2	-	69.6	125.9	6.5	8.5	茨城県つくば市	転がり系支承 オイルダンパー 天然積層ゴム
135	MNNN - 0367	2001/12/25	BCJ基評-IB0233-01	東邦大学医学部付属大森病院(仮称)病院3号棟	梓設計	梓設計	RC	6	2	2838.5	20706.0	27.6	34.8	東京都大田区	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
136	MNNN - 0372	2002/1/18	BCJ基評-IB0230-01	松山リハビリテーション病院	鹿島建設	鹿島建設	RC	9	-	1491.6	12641.0	34.3	37.6	愛媛県松山市	高減衰積層ゴム
137	MNNN - 0376	2002/1/18	GBRC建評-01-11A-009	(仮称)多治見幸町マンション	日本国土開発	日本国土開発	RC	12	-	249.7	2205.6	34.3	35.4	岐阜県多治見市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 弾性すべり支承
138	MFNB - 0383	2002/1/15		(仮称)豊洲コンピューターセンター	新豊洲変電所上部建物増設 工事実施設計業務JV 代表清水建設	新豊洲変電所上部建物増設 工事実施設計業務JV 代表清水建設	SRC	10	4	17087.9	186746.4	57.9	60.0	東京都江東区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
139	MNNB - 0384	2002/1/15		(仮称)三越本店新館共同ビル	清水建設	清水建設	S(柱 CFT)	13	4		50,954 (増設部 36,648)			東京都中央区	
140	MNNN - 0386	2003/1/28	BCJ基評-IB0231-01	古屋雅由邸	三井ホーム	テイクウェア 三井ホーム	木造	2	-	133.9	212.9	6.0	7.7	神奈川県足柄上郡	転がり系支承 オイルダンパー
141	MNNN - 0388	2002/1/28	BCJ基評-IB0241-01	(仮称)LM竹の塚ガーデン(高層棟)	前田建設工業	前田建設工業	RC	19	-	576.6	9891.3	57.6	63.0	東京都足立区	高減衰積層ゴム 天然積層ゴム 鋼棒ダンパー
142	MNNN - 0389	2002/1/28	BCJ基評-IB0242-01	(仮称)LM竹の塚ガーデン(南棟)	前田建設工業	前田建設工業	RC	14	-	989.0	10781.3	42.8	43.6	東京都足立区	高減衰積層ゴム 天然積層ゴム 鋼棒ダンパー
143	MNNN - 0390	2002/1/28	BCJ基評-IB0243-01	(仮称)LM竹の塚ガーデン(東棟)	前田建設工業	前田建設工業	RC	14	-	459.9	4762.8	42.8	43.6	東京都足立区	高減衰積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
144	MFNN - 0392	2002/1/28	BCJ基評-IB0244-01	内野楠本社ビル	鹿島建設	鹿島建設	RC	7	1	504.1	3944.6	28.1	32.1	東京都中央区	角型鉛プラグ入り積層ゴム
145	MNNN - 0395	2002/2/8	BCJ基評-IB0238-01	(仮称)サーバス中河原	穴吹工務店	穴吹工務店 コンパース 免震エンジニアリング	RC	12	-	547.8	5147.2	36.9	44.4	栃木県宇都宮市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
146	MNNN - 0401	2002/2/26	BCJ基評-IB0245-01	全労済栃木県本部会館	エヌ・ティ・ティファシリティーズ	エヌ・ティ・ティファシリティーズ	RC	5	-	630.9	2752.7	20.3	24.3	栃木県宇都宮市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 転がり支承
147	MNNN - 0405	2002/3/6	GBRC建評-01-11A-010	公立八鹿病院	日建設計	日建設計	S	12	-	7383.0	30855.0	48.1	52.3	兵庫県養父郡	天然積層ゴム 弾性すべり支承 鋼材ダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市町村)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )					延べ床面積(m <sup>2</sup> )
148	MNNN - 0409	2002/2/26	BCJ基評-IB0254-01	(仮称)ITO新ビル	伊藤組	伊藤組 総研設計	SRC	10	1	1259.3	12450.1	41.1	41.6	北海道 札幌市	高減衰積層ゴム
149	MNNN - 0410	2002/2/26	GBRC建評-01-11A-011	市立救済病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所	RC	5	-	2115.3	7829.6	20.6	28.6	福井県 敦賀市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
150	NFEB - 0415	2002/2/15		九州国立博物館(仮称)	菊竹清訓建築設計事務所・久米設計JV	菊竹清訓建築設計事務所・久米設計JV	S・SRC	5	2	15205.0	28798.0	36.1		福岡県 太宰府市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼棒ダンパー
151	MFNN - 0420	2002/2/20	BCJ基評-IB0237-01	新加市立病院	久米設計	久米設計	SRC	8	1	8018.2	32728.7	38.6	39.2	埼玉県 草加市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承
152	MNNN - 0421	2002/2/26	BCJ基評-IB0246-01	川崎市北部医療施設	久米設計	久米設計	SRC	6	2	6935.0	35785.5	30.7	30.7	神奈川県 川崎市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承 鋼棒ダンパー
153	MNNN - 0423	2002/3/6	BCJ基評-IB0239-01	群馬県立がんセンター	日本設計	日本設計	SRC	10	-	9249.5	29193.4	48.0	56.5	群馬県 太田市	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 転がり支承
154	MNNN - 0426	2002/3/6	BCJ基評-IB0229-01	百五銀行新情報センター	清水建設	清水建設	SRC	4	-	1217.8	4643.2	20.0	24.2	三重県 津市	高減衰積層ゴム
155	MFNN - 0427	2002/2/26	BCJ基評-IB0252-01	(仮)財団法人癌研究会 有明病院他施設	丹下健三・都市・建築研究所 清水建設	丹下健三・都市・建築研究所 清水建設	RC	12	2	7912.0	72521.5	52.1	62.0	東京都 江東区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴムB 弾性すべり支承
156	MNNN - 0428	2002/3/6	BCJ基評-IB0253-01	県立こども医療センター新棟	田中建築事務所	田中建築事務所	SRC	7	1	4438.0	22182.0	30.5	37.7	神奈川県 横浜市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
157	MFNN - 0448	2002/4/2	BCJ基評-IB0436-01	岐阜県警察本部庁舎	岐阜県建設部公共建築課 白建設計・岐阜県建設設計監理協 同組合設計業務特別共同企業体	岐阜県建設部公共建築課 丸ノ内建築事務所 同組合設計業務特別共同企業体	SRC	11			約24,700			岐阜県 岐阜市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
158	MNNN - 0450	2002/4/23	BCJ基評-IB0261-01	三浦市立病院	佐藤総合計画	佐藤総合計画	RC	4	1	2790.2	9245.8	16.4	21.5	神奈川県 三浦市	天然積層ゴム 鋼棒ダンパー 鉛ダンパー オイルダンパー
159	MNNN - 0452	2002/4/5	BCJ基評-IB0250-01	九段北宿舎	東京都政局施設情報部建築課 丸ノ内建築事務所	東京都政局施設情報部建築課 丸ノ内建築事務所 構造計画研究所	SRC	11	1	296.7	3296.6	31.2	35.6	東京都 千代田区	天然積層ゴム オイルダンパー
160	MNNN - 0453	2002/4/5	BCJ基評-IB0262-01	シティーコーポ志賀	大末建設	環境合設計 大末建設 免震システムサービス	RC	13	-	683.9	5983.7	42.2	43.2	愛知県 名古屋	天然積層ゴム 弾性すべり支承 鋼製U型ダンパー
161	MNNN - 0455	2002/4/23	BCJ基評-IB0264-01	(仮称)YSD新東京センター	竹中工務店	竹中工務店	S	6	-	2457.2	12629.1	25.8	31.1	東京都 江東区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
162	MNNN - 0457	2002/4/23	BCJ基評-IB0263-01	(仮称)コンフォート熊谷銀座「ザ・タワー」	江田組 大日本土木 九段建築研究所	江田組 大日本土木 九段建築研究所	RC	17	-	636.5	8414.6	52.9	57.7	埼玉県 熊谷市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
163	MNNN - 0474	2002/5/29	GBRC建評-01-11A-013	京都大学100周年時計台記念館	京都大学施設部 川崎清・環境・建築研究所	清水建設	RC	2	1	1982.3	5312.3	13.0	31.6	京都府 左京区	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
164	MFEB - 0478	2002/5/13	BCJ基評-IB0240-02	新国立美術館展示施設(ナショナルギャラリー)(仮称)	文部科学省大臣官房文教施設部・黒川紀章・日本設計JV	文部科学省大臣官房文教施設部・黒川紀章・日本設計JV	S	6	3	12590.7	48638.4	29.5	33.6	東京都 港区	鉛入り積層ゴム 転がり支承
165	MFNN - 0483	2002/5/15	BCJ基評-IB0265-01	(仮称)Iビル	一和社	大成建設	RC	5	3	808.1	5908.1	17.2	18.1	東京都 立川市	天然積層ゴム 弾性すべり支承
166	MNNN - 0491	2002/6/6	BCJ基評-IB0278-01	(仮称)リベルTEII	スターツ	スターツ 日本設計	RC	13	-	319.2	2497.7	37.0	37.0	東京都 江戸川区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 転がり系支承
167	MNNN - 0500	2002/6/20	BCJ基評-IB0287-01	榊原記念病院	株式会社日本設計 清水建設	株式会社日本設計 清水建設	RC	6	-	7287.6	27638.8	26.7	27.3	東京都 府中市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
168	MFNN - 0504	2002/6/14	BCJ基評-IB0272-01	(仮称)鶴川青戸ビル	飯倉建築研究所	フジタ	RC	10	-	413.3	2795.3	33.8	34.4	東京都 町田市	鉛入り積層ゴム
169	MNNN - 0510	2002/7/3	BCJ基評-IB0286-01	(仮称)伊東マンションIV	スターツ	スターツ 日本設計	RC	11	1	559.2	4512.7	35.3	38.3	東京都 江戸川区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 転がり系支承
170	MFNN - 0511	2002/6/21	BCJ基評-IB0290-01	(仮称)目黒マンション	竹中工務店 東電不動産管理	竹中工務店 東電設計	RC	17	2	879.9	9877.1	50.7	56.5	東京都 目黒区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム オイルダンパー
171	MNNN - 0513	2002/7/9	BCJ基評-IB0274-01	社会福祉法人上伊那福祉協会特別養護老人ホーム柳の木荘(仮称)	泉・創和・小林設計共同事業体	泉・創和・小林設計共同事業体 構造計画研究所	S	4		2773.9	8662.5	15.9	18.8	長野県 上伊那郡	天然積層ゴム 鋼棒ダンパー
172	MNNN - 0521	2002/7/25	BCJ基評-IB0288-01	石田健郎	三菱地所ホーム	テクノウェーブ 三菱地所ホーム	木造	2	-	121.2	223.4	6.3	8.1	東京都 東大和市	転がり系支承 オイルダンパー
173	MNNN - 0526	2002/8/9	BCJ基評-IB0279-01	一条免震住宅C	一条工務店	一条工務店 日本システム設計	木造	3以下	-	500以下	500以下	9以下	13以下	日本全国	天然積層ゴム すべり支承
174	MNNN - 0527	2002/8/9	BCJ基評-IB0280-01	一条免震住宅D	一条工務店	一条工務店 日本システム設計	木造	3以下	-	500以下	500以下	9以下	13以下	日本全国	高減衰積層ゴム すべり支承
175	MNNN - 0537	2002/7/30	BCJ基評-IB0294-01	(仮称)JV深沢計画D棟	長谷工コーポレーションエンジニアリング事業部	長谷工コーポレーションエンジニアリング事業部	RC	19	-	1403.6	21102.8	60.0	63.4	東京都 世田谷区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 鋼棒ダンパー
176	MNNN - 0538	2002/8/22	GBRC建評-02-11A-002	済生会滋賀県病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所	RC	11	-	4437.2	32112.4	47.0	58.9	滋賀県 栗東市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
177	MNNN - 0540	2002/8/22	ERI-評第02010号	(仮称)霧張ベータウンスH-3④街区新築工事(A棟)	UG都市建築 隈研吾建築都市設計	フジタ	RC	14	-	1130.7	10964.5	44.7	45.2	千葉県 美浜区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
178	MNNN - 0545	2002/8/23	BCJ基評-IB0277-01	左奈田三郎邸	積水ハウス	積水ハウス テクノウェーブ	RC	2	-	82.9	141.3	6.1	7.9	東京都 世田谷区	転がり系支承 オイルダンパー
179	MNNN - 0551	2002/8/22	BCJ基評-IB0299-01	松江市立病院	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	8	1	8780.0	35120.0	36.5	39.6	島根県 松江市	天然積層ゴム 転がり系支承 鋼棒ダンパー 粘性ダンパー
180	MFNN - 0553	2002/8/23	GBRC建評-01-11A-012	13-ウェルブ六甲道4番街再開発ビル	竹中工務店・藤木・岡JV	竹中工務店・藤木・岡JV	RC	12	2	3293.7	21902.7	43.2	44.9	神戸市 灘区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
181	MFEB - 0556	2002/8/20	BCJ基評-IB0293-01	(仮称)江東区越中島計画	清水建設	清水建設	S	6	-	1835.3	9066.1	26.8	27.4	東京都 江東区	鉛入り積層ゴム
182	MNNN - 0558	2002/9/18	GBRC建評-02-11A-001	神戸市水道局西部センター新庁舎	神戸市水道局技術部 E-アトディー設計企画	神戸市水道局技術部 E-アトディー設計企画	RC	3	-	2631.1	6762.5	11.7	15.2	神戸市 須磨区	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
183	MFNN - 0564	2002/9/20	BCJ基評-IB0292-01	(株)東電通本社ビル	エヌ・ティ・ティ・ファイナンス	エヌ・ティ・ティ・ファイナンス	SRC	10	1	822.7	7939.9	39.8	45.6	東京都 港区	鉛入り積層ゴム 直動転がり支承
184	MFNN - 0569	2002/9/20	BCJ基評-IB0309-01	(仮称)小石川2丁目マンション計画	安宅設計	高環境エンジニアリング一級 建築士事務所	RC	11	-	1190.9	9850.5	36.8	37.7	東京都 中央区	鉛入り積層ゴム

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	延べ床面積(m <sup>2</sup> )					
185	MNNN - 0572	2002/10/2	BCJ基評-IB0310-01	東京ダイヤビルディング(増築)	竹中工務店	竹中工務店	S SRC	12	1	6414.5	72472.9	46.3	54.6	東京都中央区	天然積層ゴム 壁型鉛性体ダンパー
186	MNNN - 0573	2002/10/21	ERI-J02003	(仮称)グランフラッツ千住旭町	佐藤正行一級建築士事務所	間組	RC	15	-	855.0	8921.0	44.0	46.1	東京都足立区	天然ゴム系積層ゴム 鎖状U型ダンパー 鉛ダンパー
187	MNNN - 0574	2002/10/15	BCJ基評-IB0312-01	(仮称)高井戸N2プロジェクト	竹中工務店 パノム	竹中工務店	RC	13	-	615.0	6745.6	40.1	40.8	東京都杉並区	鉛入り積層ゴム
188	MNNN - 0575	2002/10/21	BCJ基評-IB0311-01	(仮称)東山マンション	水野設計	大日本土木	RC	13	-	298.9	2305.9	44.7	44.7	愛知県名古屋市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
189	MNNN - 0577	2002/11/7		(仮称)舞浜ホテル	東日本旅客鉄道・ジェイアール 東日本建築設計事務所・竹中工務店	竹中工務店	RC-S	2		2592.0	5587.0			千葉県舞浜市	防振ゴム オイルダンパー
190	MNNN - 0578	2002/10/15	BCJ基評-IB0313-01	シティーコーポ上小田井(仮称)	徳倉建設	徳倉建設 ダイナミックデザイン	RC	15	-	258.7	2878.6	44.8	44.8	愛知県名古屋市	鉛入り積層ゴム 球体転がり支承
191	MFNN - 0584	2002/10/28	BCJ基評-IB0300-01	三共機研究総務部 研究E棟	清水建設	清水建設	CFT	8	1	2305.1	19326.2	37.8	39.6	東京都品川区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
192	MNNN - 0588	2002/10/21	BCJ基評-IB0319-01	GLOBAL GARDEN CITY-A棟	エコ福祉住環境研究所	織本匠構造設計研究所	RC	8	-	970.0	5930.0	26.0	26.6	千葉県船橋市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
193	MNNN - 0590	2002/11/5		(仮称)住友不動産種町駅前ビル	日建設計	日建設計	SRC	9	1		9834.0			東京都千代田区	
194	MNNN - 0593	2002/11/7	GBRC建評-02-11A-003	GBRC京都北都信用金庫店舗・事務センター	富士通	エヌ・ティ・ティ・ファンクティーズ	RC	4	-	1290.5	3754.5	16.6	20.1	京都府中郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
195	MNNN - 0595	2002/11/12	ERI-J02004	(仮称)オリックス伏見ビル計画	戸田建設	戸田建設	CFT柱 S梁	11	-	1583.1	17095.7	45.1	50.4	名古屋市中区	天然積層ゴム 弾性滑り支承 オイルダンパー
196	MFNN - 0598	2002/11/6	BCJ基評-IB0322-01	(仮称)麻布バンクレスト	大林組	大林組	RC	15	2	562.7	8807.0	45.8	49.7	東京都港区	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
197	MNNN - 0606	2002/11/12		岐阜県総合医療センター(仮称)	日本設計	日本設計	SRC	10	1		56.699			岐阜県岐阜市	LRB すべり支承
198	MNNN - 0614	2002/12/19	BCJ基評-IB0329-02	(仮称)西町マンション	山本浩三都市建築研究所	東京建築研究所	RC	7	-	459.9	2854.8	23.3	23.9	鳥取県鳥取市	鉛入り積層ゴム すべり支承 弾塑性系減衰材
199	MNNN - 0615	2002/12/19	BCJ基評-IB0331-01	名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟	名古屋大学施設部 石本建築事務所	石本建築事務所	SRC	7	2	5911.0	43936.0	33.2	44.5	愛知県名古屋市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 転がり系支承 流体系減衰材
200	MNNN - 0623	2002/12/19		(仮称)ブルデンシャル生命保険仙台カスターマーサービスセンター	日本設計	日本設計	S	2	-		3223.0			宮城県仙台市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
201	MNNN - 0630	2002/12/16		ピュア本社ビル	青島設計	青島設計	S	8		609.8	4524.0			愛知県名古屋市	
202	MNNN - 0631	2002/12/12	GBRC建評-02-11A-004	武田薬品第8技術棟	竹中工務店	竹中工務店	SRC柱 S梁	9	1	3075.4	29097.7	50.3	59.3	大阪市淀川区	天然積層ゴム すべり支承 鉛ダンパー
203	MNNN - 0634	2002/12/19	BCJ基評-IB0342-01	(仮称)ネットワーク時刻情報認証高度化施設(東棟)	日本設計	日本設計	RC	4	-	1353.3	5284.2	19.5	29.3	東京都小金井市	鉛入り積層ゴム
204	MNNB - 0637	2002/12/25		(仮称)サントリー東京新ビル	安井建築設計事務所 (デザイン監修:隈研吾建築都市設計事務所)	大林組	S, SRC, RC	12	2		34492.0			東京都港区	
205	MFNN - 0638	2002/12/25	BCJ基評-IB0339-01	(仮称)国際医療福祉大学付属熱海病院	大林組	大林組	RC	8	2	3502.6	23226.0	30.2	34.0	静岡県熱海市	天然積層ゴム オイルダンパー プレーキダンパー
206	MNNN - 0646	2003/2/12	GBRC建評-02-11A-006	市立西脇病院	日建設計	日建設計	S	6	-	9240.0	23548.0	27.0	27.3	兵庫県西脇市	鉛入り積層ゴム
207	MFNN - 0648	2003/1/28	GBRC建評-02-11A-008	千種台センター地区(仮称)	大林組	大林組	RC	14	1	5574.7	24983.5	47.3	51.0	名古屋市千種区	弾性すべり支承 鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
208	MNNN - 0652	2003/1/15	BCJ基評-IB0345-01	TKC高根沢事務所	鹿島建設	鹿島建設	SRC	3	-	1889.5	5317.8	13.0	17.4	栃木県塩谷郡	鉛入り積層ゴム
209	MNNN - 0656	2003/1/27	BCJ基評-IB0344-01	津島市民病院(病棟増築)	中建設計	中建設計	RC	6	-	1690.2	8076.3	23.3	29.8	愛知県津島市	天然積層ゴム 鉛ダンパー オイルダンパー
210	MNNN - 0661	2003/2/24	BCJ基評-IB0301-02	榑原総合病院	久米設計	久米設計	RC	7	1	9033.3	37924.4	27.2	27.8	静岡県榛原郡	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承 鉛ダンパー 転がり系支承 オイルダンパー
211	MNNN - 0663	2003/2/28	BCJ基評-IB0347-1	(仮称)パンペール向山公園	矢作建設工業 構造計画研究所	矢作建設工業 構造計画研究所	RC	8	1	860.4	4350.3	22.7	23.2	愛知県豊橋市	高減衰 オイルダンパー
212	MNNN - 0664	2003/2/24	BCJ基評-IB0343-01	金沢大学医学部付属病院中央診療棟・外来診療棟	神奈川大学施設部 佐藤総合計画	神奈川大学施設部 佐藤総合計画	RC	4	2	27.6	28.9	19.0	28.9	石川県金沢市	天然積層ゴム すべり支承 鉛ダンパー 鉛ダンパー
213	MFNN - 0676	2003/3/13	ERI-J02007	(仮称)杏林大学医学部付属病院・手術棟建設計画	杏林学園	竹中工務店	RC	5	2	2634.1	14692.5	19.5	23.7	東京都三鷹市	鉛入り積層ゴム
214	MNNN - 0681	2003/3/14	BCJ基評-IB0351-01	NHK新山口放送会館	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	3	-	2337.5	5380.0	15.2	59.8	山口県山口市	天然積層ゴム 十字型直動転がり支承 弾塑性系減衰材
215	MFNB - 0686	2003/3/10		(仮称)神宮前四丁目地区第一種市街地再開発事業	安藤忠夫建築研究所・入江三宅設計事務所・森ビル	金箱構造設計事務所	SRC RC S	3	3		33916.1			東京都渋谷区	
216	MNNN - 0687	2003/3/14	ERI-J02006	ちば県民保健予防財団ビル	久米設計	久米設計	RC	6	-	2628.6	10056.8	27.0	31.0	千葉県美浜区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 鉛ダンパー 直動転がり支承
217	MNNN - 0696	2003/3/17	ERI-J02009	(仮称)広島市民病院新棟(外来診療棟・薬病棟)	久米・村田相互設計JV	久米・村田相互設計JV	SRC	11	1	11568.4	31945.6	44.4	51.0	広島市中区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 鉛ダンパー オイルダンパー
218	MFNN - 0700	2003/3/28	GBRC建評-02-11A-007	(仮称)高麗橋ビル	プランテック総合計画	アルファ構造デザイン 竹中工務店	S	8	1	1124.6	9612.8	32.1	34.7	大阪市中央区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承
219	MFNB - 0701	2003/4/22	BCJ基評-IB0352-01	マブモーター株式会社新社屋	日本アイ・ビー・エム	日本設計	SRC	4	1	4804.7	19388.6	19.8	25.8	千葉県松戸市	鉛プラグ入り積層ゴム
220	MNNN - 0702	2003/3/17	GBRC建評-02-11A-010	NHK神戸新放送会館	大林組 日本設計	大林組	S	3	-	2074.0	5222.0	15.0	19.8	神戸市中央区	鉛プラグ入り積層ゴム 摩擦面ばね支承 両面転がり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )				延べ床面積(m <sup>2</sup> )	
221	MNNN - 0707	2003/3/17	BCJ基評-IB0359	(仮称)亀田総合病院K棟	フジタ	フジタ	RC	13	-	3886.6	2300.1	56.6	63.0	千葉県 鴨川市	鉛プラグ入り積層ゴム
222	MNNN - 0712	2003/4/17	BCJ基評-IB0361-01	栃木県庁本館(曳家及び改修)	日本設計	日本設計	RC	4	-	677.0	2638.0	18.8	21.0	栃木県 宇都宮市	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
223	MNNB - 0715	2003/5/14	BCJ基評-IB0346-01	NHK福島放送会館	NTTファンリティーズ 平木建築設計事務所JV	NTTファンリティーズ 平木建築設計事務所JV	RC	4	1	2043.7	5688.0	21.0	59.7	福島県 福島市	鉛入り積層ゴム 直動転がり支承 オイルダンパー
224	MNNN - 0718	2003/4/17	GBRC建評-02-11A-009	徳島赤十字病院	日建設計	日建設計	SRC	9	-	4905.0	29081.0	37.9	41.0	徳島県 小松島市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
225	MNNN - 0724	2003/4/17	ERI-J02008	(仮称)掛川マンション	川島組	遺失設計	RC	15	-	739.5	4772.1	43.9	44.2	静岡県 掛川市	高減衰積層ゴム
226	MNNN - 0732	2003/5/14	BCJ基評-IB0365-1	(仮称)ネオマイム高根町	松尾工務店	松尾工務店 エスバス建築事務所	RC	11	-	419.9	3577.2	30.6	30.9	神奈川県 横浜市	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承 弾塑性系減衰材 流体系減衰材
227	MNNN - 0750	2003/5/28	BCJ基評-IB0332-02	苫田ダム管理庁舎	内藤廣建築設計事務所	内藤廣建築設計事務所 空間工学研究所	RC	2	1	1451.0	2324.1	10.8	13.8	岡山県 吉田郡	鉛入り積層ゴム
228	MFNN - 0753	2003/6/13	BCJ基評-IB0373-01	(仮称)千駄ヶ谷4丁目計画	清水建設	清水建設	RC	14	1	778.0	7974.9	44.1	44.7	東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム
229	MNNN - 0756	2003/6/13	BCJ基評-IB0371-01	岩手県立磐井病院及び南光病院	横河建築設計事務所	横河建築設計事務所 楳本匠構造設計研究所	S	5	1	17227.5	46373.5	23.0	31.7	岩手県 一関市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
230	MNNN - 0761	2003/6/13	GBRC建評-03-11A-001	労働福祉事業団 中部労災病院	日建設計	日建設計	RC	9	-	7150.0	33765.0	38.8	42.4	名古屋 港区	直動転がり支承 天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
231	MNNN - 0765	2003/6/16		(仮称)順天堂大学医学部附属練馬病院	清水建設	清水建設	RC,S RCSS	8	1	4696.0	30373.0	34.6	35.2	東京都 練馬区	高減衰積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
232	MNNN - 0766	2003/6/16	BCJ基評-IB0379-01	(仮称)ラッシュレ久米川	ジーシーエムコーポレーション 一級建築士事務所	カムラ建築構造設計	RC	13	-	308.1	2960.5	38.0	38.9	東京都 東村山市	高減衰積層ゴム支承
233	MNNN - 0775	2003/7/31	ERI-J03001	ProLogis Parc Osaka Project	清水建設	清水建設 ABSコンサルティング	鉄骨ブ レース付 PC	7	-	26218.0	157643.0	48.2	52.0	大阪府 住之江区	天然積層ゴム 一体型U型ダンパー
234	MNNN - 0784	2003/7/28	BCJ基評-IB0389-01	(仮称)バンペール豊橋Ⅲ	矢作建設工業	矢作建設工業 構造計画研究所	RC	14	1	700.6	6944.2	40.5	41.0	愛知県 豊橋市	高減衰ゴム系積層ゴム 流体系減衰材
235	MNNN - 0798	2003/7/31		財団法人仙台市医療センター仙台オー プン病院外来棟	柳梓設計	柳梓設計	SRC	S	2	1708.5	1129.08	9.3	9.9	宮城県 仙台市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 鋼棒ダンパー
236	MNNN - 0800	2003/7/31	BCJ基評-IB0353-02	新潟第2合同庁舎A棟	国土省北陸地方整備局 榑黒川紀章建築都市設計事務 所	国土省北陸地方整備局 榑黒川紀章建築都市設計事務 所	SRC	8	0	3099.0	16428.7	37.1	37.9	新潟県	鉛プラグ挿入型積層ゴム 転がり系支承 オイルダンパー
237	MFNN - 0805	2003/8/19		(仮称)パークマンション千鳥ヶ淵(九段 南2丁目計画)	鹿島建設	鹿島建設	RC	15	2		16874.0			東京都 千代田区	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
238	NFEB - 0808	2003/9/3		(仮称)深谷地区消防本部・深谷消防署 庁舎	日本設計	日本設計	RC	3	-	3755.0	6110.0	12.7	18.3	埼玉県 深谷市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 直動転がり支承
239	MNNN - 0825	2003/9/19	ERI-J03002	(仮称)ル・シェミア弁天島	東畑建築事務所	大豊建設	RC	14	-	741.2	7899.7	41.7	42.9	静岡県 浜名郡	鉛入り積層ゴム すべり支承
240	MNNN - 0827	2003/9/12	ERI-J03004	(仮称)メディカルセンター	野村不動産 佐藤総合計画	野村不動産	SRC	7	1	1241.5	8847.3	30.0	33.3	東京都 千代田区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
241	MNNN - 0831	2003/9/19	ERI-J03003	新発田病院・リウマチセンター 新発田病 院附属看護専門学校	山下設計	山下設計	SRC RC	11	-	10542.0	49066.0	55.7	56.2	新潟県 新発田市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 鋼棒ダンパー
242	MFNN - 0837	2003/9/19	BCJ基評-IB0401-01	(仮称)東京青果秋葉原ビル	竹中工務店	竹中工務店	S	8	1	1265.0	10914.0	33.8	39.0	東京都 千代田区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム
243	MNNN - 0838	2003/9/19	BCJ基評-IB0402-01	郵船航空サービス成田ロジスティックセ ンター	郵船不動産	日本設計	CFT柱 S梁	8	-	12758.2	30210.1	36.4	40.2	千葉県 山武郡	鉛プラグ入り積層ゴム
244	MNNN - 0846	2003/10/29	GBRC建評-03-11A-003	新千里桜ヶ丘住宅1番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	14	-	477.6	5392.7	41.6	43.3	大阪府 豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
245	MNNN - 0847	2003/10/31	GBRC建評-03-11A-004	新千里桜ヶ丘住宅2番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	18	1	613.1	9741.3	56.1	61.7	大阪府 豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
246	MNNN - 0848	2003/10/31	GBRC建評-03-11A-005	新千里桜ヶ丘住宅3番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	19	-	727.1	11746.3	57.6	63.2	大阪府 豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
247	MNNN - 0849	2003/10/31	GBRC建評-03-11A-006	新千里桜ヶ丘住宅4番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	18	1	718.3	11182.2	55.7	61.3	大阪府 豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
248	MNNN - 0850	2003/10/29	GBRC建評-03-11A-007	新千里桜ヶ丘住宅5番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	9	1	707.2	5732.3	29.2	30.9	大阪府 豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
249	MNNN - 0851	2003/10/29	GBRC建評-03-11A-008	新千里桜ヶ丘住宅6番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	10	-	690.4	5563.8	30.6	32.3	大阪府 豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
250	MNNN - 0852	2003/10/29	GBRC建評-03-11A-009	新千里桜ヶ丘住宅7番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	9	-	630.0	4332.5	27.0	28.7	大阪府 豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
251	MNNN - 0853	2003/10/29		(仮称)伊東マンションV	スターツ	スターツ	RC	10	0	1349.0	7437.0	30.5		東京都 江戸川区	
252	MFNN - 0855	2003/10/22	BCJ基評-IB0407-01	(仮称)西新宿KSビル	大林組	大林組	CFT柱 S梁	12	1	883.4	9911.1	53.7	54.5	東京都 新宿区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
253	MNNN - 0856	2003/11/10	ERI-J03005	モアグレース簡井	名工建設	名工建設 阪島建築事務所	RC	13	-	237.3	2247.3	38.6	41.6	名古屋 東区	高減衰積層ゴム
254	MNNN - 0880	2003/11/19	ERI-J03013	堺サンホテル石津川	平成設計	塩見	RC	13	-	196.4	2079.0	36.5	43.8	大阪府 堺市	鉛入り積層ゴム
255	MNNN - 0881	2003/11/27	ERI-J03008	(仮称)プレシアコート長久手・A棟	青島設計	青島設計	RC	13	-	1730.4	13748.1	35.9	36.7	愛知県 愛知県	天然積層ゴム 鋼棒ダンパー 鉛ダンパー 直動転がり支承
256	MNNN - 0882	2003/11/27	ERI-J03009	(仮称)プレシアコート長久手・B棟	青島設計	青島設計	RC	11	-	728.4	5881.3	33.1	33.6	愛知県 愛知県	同上
257	MNNN - 0883	2003/11/27	ERI-J03010	(仮称)プレシアコート長久手・C棟	青島設計	青島設計	RC	14	1	1175.7	14098.0	45.1	44.7	愛知県 愛知県	同上
258	MNNN - 0884	2003/11/27	ERI-J03011	(仮称)プレシアコート長久手・D棟	青島設計	青島設計	RC	14	1	1600.6	14624.2	41.8	42.3	愛知県 愛知県	同上
259	MNNN - 0902	2003/12/12	GBRC建評-03-11A-010	医療法人良秀会(仮称)高石藤井病院	プラスPM	戸田建設	RC	10	1	1437.6	8098.0	39.1	43.7	大阪府 高石市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
260	MNNN - 0916	2003/12/26	BCJ基評-IB0416-01	(仮称)近番第一ビル	日東建設	構造計画研究所	RC	13	-	273.8	2622.0	39.0	40.3	愛知県 名古屋	積層ゴム支承 流体系減衰材
261	MNNN - 0936	2003/12/26		(仮称)銀座5丁目寿一会ビル	大成建設	大成建設	S-RC	10	1	63.0	598.0	47.7		東京都 中央区	

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )				延べ床面積(m <sup>2</sup> )	軒高(m)
262	MNNN - 0950	2004/1/9		JR東海病院(仮称)	山下設計	山下設計	RC・S	10	1	5556.0	29127.0	44.0	愛知県	天然ゴム系積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承、転がり支承 鋼材ダンパー	
263	MNNN - 0957	2004/2/4	BCJ基評-IB0419-01	(仮称)山田ビル	マルタ設計	マルタ設計	RC	12	0	483.0	4211.0	36.7	東京都 葛飾区	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム	
264	MNNN - 0969	2004/3/2	ERI-J03018	NHK沖縄放送会館	山下設計 大林組	山下設計 大林組	S	3	-	2450.0	5939.0	15.4	20.6	沖縄県 那覇市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承 摩擦ダンパー
265	MNNN - 0987	2004/2/4	BCJ基評-IB0597-01	(仮称)さいたま市民医療センター	共同建築設計事務所	東京建築研究所	RC	6	1	7999.2	29165.4	28.2	31.8	埼玉県 さいたま市	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
266	MNNN - 0989	2004/3/4		石巻赤十字病院(仮称)	日建設計	日建設計	RC	7	1		32485.0			宮城県 石巻市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 積層ゴム一体型U型ダンパー U型ダンパー
267	MNNN - 1000	2004/3/11		(仮称)名鉄金山	平成設計	平成設計	RC	14	-		4467.0	39.2		愛知県 名古屋	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
268	MNNN - 1001	2004/3/11	ERI-J03021	エクセルイン小山	平成設計	塩見	RC	12	-	301.7	2817.4	36.7	41.0	栃木県 小山	天然積層ゴム U型ダンパー 鉛ダンパー
269	MNNN - 1023	2004/4/14	BCJ基評-IB0435-01	(仮称)シティコーポビルⅡ	浅沼組	浅沼組	RC	10	-	1317.3	9326.4	29.9	30.4	愛知県 名古屋	天然積層ゴム U型ダンパー 鉛ダンパー
270	MNNN - 1025	2004/5/10	GBRC建評-03-11A-012	徳島市新病院	大阪山田守建築事務所	大阪山田守建築事務所	RC	11	1	4265.1	30182.3	45.3	54.3	徳島県 徳島市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承 転がり支承
271	MNNN - 1027	2004/5/10	BCJ基評-IB0436-01	滋賀県警察本部庁舎	日本設計	日本設計	SRC柱 S梁	10	2	3178.9	28384.1	44.3	59.0	滋賀県 大津市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
272	MNNN - 1030	2004/5/10	ERI-J03023	新潟市市民病院	伊藤喜三郎建築研究所	伊藤喜三郎建築研究所	CFT柱 S梁	11	-	11123.5	49681.5	49.4	50.5	新潟県 新潟市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
273	MNNN - 1039	2004/5/14	GBRC建評-03-11A-015	三菱京都病院	美紀設計	荒川構造計画 竹中工務店	RC	5	1	4701.6	19983.7	19.4	23.0	京都市 西京区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承
274	MNNN - 1045	2004/5/10	ERI-J04002	新吉小牧市立総合病院	久米設計	久米設計	SRC	6	-	10508.9	28009.4	27.7	34.3	北海道 苫小牧	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 U型ダンパー オイルダンパー
275	MFNN - 1050	2004/5/17	BCJ基評-IB0366-02	慶應義塾大学(三田)新校舎(仮称)	大成建設	大成建設	RC	13	3	2200.0	18850.0	48.4	53.4	東京都 港区	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 流体系減衰材
276	MNNN - 1055	2004/5/10	GBRC建評-03-11A-014	(仮称)西宮両度町マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	14	-	3960.2	21995.9	41.1	41.6	兵庫県 西宮市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
277	MNNN - 1057	2004/5/10	GBRC建評-03-11A-013	大阪市消防局庁舎(西消防署併設)	大阪市住宅局 安井建築設計	大阪市住宅局 安井建築設計	RC	8	-	3151.5	17795.2	42.8	51.3	大阪市 西区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 オイルダンパー
278	MFNN - 1058	2004/5/28	BCJ基評-IB0415-01	(仮称)帝国データバンク東京支社ビル	鴻池組	鴻池組	CFT柱 S梁	9	1	683.6	6376.1	36.1	42.7	東京都 新宿区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
279	MNNN - 1068	2004/5/21	BCJ基評-IB0446-01	シティコーポ正木(仮称)	矢作建設工業	矢作建設工業 構造計画研究所	RC	15	-	485.2	5919.5	44.2	44.7	愛知県 名古屋	高減衰ゴム系積層ゴム 流体系減衰材
280	MNNN - 1074	2004/6/8	BCJ基評-IB0385-02	財団法人山台市医療センター山台オープン病院新病棟	榊梓設計	榊梓設計	S	2	-	1708.5	1129.1	9.3	9.9	宮城県 仙台市	天然ゴム系積層ゴム 鋼棒ダンパー
281	MFNN - 1084	2004/6/8	ERI-J04004	(仮称)鶴川神楽マンション	朝日建設	朝日建設 潜水建築工学研究室 山上構造企画	RC	12	-	1038.5	4877.2	40.0	40.5	東京都 町田市	天然積層ゴム U型ダンパー 鉛ダンパー
282	MNNN - 1087	2004/6/23	ERI-J04003	西伯町国民健康保険西伯病院	佐藤総合企画	佐藤総合企画	RC	5	-	5200.0	15651.4	20.5	23.0	鳥取県 西伯町	天然積層ゴム 転がり支承 U型ダンパー オイルダンパー
283	MNNN - 1088	2004/7/8	GBRC建評-04-11C-001	(仮称)桂地蔵寺	スペースグラフィティ	竹中工務店	木造	1	-	280.4	224.5	5.3	10.2	京都市 西京区	曲面すべり支承
284	MNNN - 1099	2004/7/8	ERI-J04006	(仮称)幕張ベイタウンSH-3①街区B棟	UG都市建築 隈研習建築都市設計 藤本社介建築設計	フジタ	RC	8	-	695.3	4060.8	24.9	25.4	千葉県 美浜区	鉛入り積層ゴム
285	MNNN - 1122	2004/8/16		近江八幡市民病院整備運営事業 病院施設	内藤建築事務所・大林組	内藤建築事務所・大林組	S・RC	5	-		33841.0			滋賀県 近江八幡市	天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承
286	MNNN - 1131	2004/8/16	ERI-J04008	長野松代総合病院 診療棟・病棟増築計画	エーシーエ設計	構造計画プラスワン	RC	8	-	2132.9	12126.1	30.4	33.2	長野県 長野市	天然積層ゴム すべり支承 U型ダンパー 鉛ダンパー
287	MNNN - 1135	2004/8/16	BCJ基評-IB0456-01	(仮称)多摩水道改革推進本部庁舎	佐藤総合企画		RC	10	1		12983.0	43.2		東京都 立川市	
288	MNNN - 1149	2004/8/31	BCJ基評-IB0467-01	(仮称)千葉みなと計画	ピーエス三菱	ピーシー建築技術研究所	PC RC	19	-	973.0	13992.0	59.1	64.8	千葉県 千葉市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然積層ゴム
289	MNNB - 1164	2004/9/7	BCJ基評-IB0463-01	清水建設技術研究所新風洞実験棟	清水建設	清水建設	RC	2	1	911.4	1253.0	13.8	13.9	東京都 江東区	高減衰積層ゴム
290	MNNN - 1165	2004/8/31		名古屋掖済会病院救命救急センター	日本設計	日本設計	RC (PC)	4	0		9157.0			愛知県 名古屋	天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承
291	MFNN - 1172	2004/9/28		千葉県警察本部新庁舎	日本設計	日本設計	S	11	2		43530.0			千葉県 千葉市	鉛プラグ入り積層ゴム
292	MNNN - 1180	2004/10/6		沢井製薬株式会社 本社・研究所ビル	竹中工務店	竹中工務店	柱SRC 梁S	10	-		13303.9	60.0		大阪府	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
293	MFNN - 1208	2004/11/16	BCJ基評-IB0473-01	H16名古屋第2地方合同庁舎(耐震改修)	国土交通省中部地方整備局 富樫部 梓設計		SRC	8	2		24378.0	29.7		愛知県 名古屋	
294	MNNN - 1212	2004/11/4	ERI-J04017	(仮称)西早稲田2丁目ビル	叶設計	佐藤工業	RC	11	2	677.1	5841.8	43.1	46.4	東京都 新宿区	鉛入り積層ゴム
295	MNNN - 1223	2004/11/30	ERI-J04018	県立こども病院周産期施設・外科病棟	日建設計	日建設計	RC	6	-	2320.0	12785.0	26.2	37.9	静岡県 静岡市	天然積層ゴム すべり支承
296	MNNN - 1230	2004/11/30	ERI-J04020	(仮称)ル・シェモア二の丸	東畑設計	大豊建設	RC	13	-	440.3	4691.3	39.6	41.0	静岡県 静岡市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
297	MNNN - 1248	2005/1/12	ERI-J04019	町田市市民病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所	SRC RC	10	1	4975.0	41413.5	41.6	43.5	東京都 町田市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	延べ床面積(m <sup>2</sup> )					
298	MFNF - 1253	2004/12/27		大阪弁護士会新会館	日建設計	日建設計	S・SRC	14	2	2251.0	17005.0		大阪府大阪市	オイルダンパー・鋼材ダンパーによる免震に似た構造	
299	MNNN - 1263	2004/12/21	BCJ基評-IB0492-01	サンコート砂田橋3棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	9	-	1359.0	8595.6	27.5	29.5	愛知県名古屋市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
300	MNNN - 1264	2004/12/27	BCJ基評-IB0239-02	群馬県立がんセンター	日本設計	日本設計	RC	7	-		29246.0	31.6		群馬県田市	
301	MNNN - 1268	2005/1/21	ERI-J04021	(仮称)御茶ノ水セントヒル	大東建託	大東建託 山本設計コンサルタント 鈴木建築設計事務所	RC	11	-	213.4	1752.2	32.6	35.2	東京都文京区	鉛入り積層ゴム すべり支承
302	MNNN - 1269	2005/1/28	BCJ基評-IB0490-01	名古屋市役所西庁舎	名古屋住宅都市局 菅橋部 エヌ・ティ・ティファミリアーズ	名古屋住宅都市局 菅橋部 エヌ・ティ・ティファミリアーズ	SRC	13	3	2347.1	39688.6	49.6	54.2	愛知県名古屋市	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 オイルダンパー
303	MNNN - 1272	2005/1/28		和歌山県庁南別館(仮称)	梓・高松設計共同体	梓・高松設計共同体	RC	10	-		11751.0	50.1		和歌山県和歌山市	
304	MNNN - 1277	2005/1/28		NHK新産児島放送会館	竹中工務店、松田平田設計、渡辺組、春園組特定建設工事設計連合体	竹中工務店、松田平田設計、渡辺組、春園組特定建設工事設計連合体	RC	4	-	2587.8	5978.1	22.9		鹿児島県鹿児島市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承、U型ダンパー オイルダンパー
305	MFNN - 1278	2005/1/31		日本総合地所高橋本社ビル	大成建設	大成建設	RC・SRC・S	10	2		8778.0	52.2		東京都	天然ゴム 鋼製ダンパー
306	MNNN - 1279	2005/1/28	ERI-J04024	埼玉医科大学 国際医療センター	伊藤善三郎建築研究所 鹿島建設 竹中工務店	伊藤善三郎建築研究所 鹿島建設 竹中工務店	RC	6	-	16873.8	66960.3	26.5	28.3	埼玉県日高市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
307	MFNN - 1286	2005/7/6		東京競馬場新スタンド 連絡歩道橋その2	日本競馬施設株式会社、株式会社 松田平田設計	日本競馬施設株式会社、株式会社 松田平田設計	S, RC	1	-	910.1	910.1	11.8		東京都	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
308	MFNN - 1287	2005/7/6		東京競馬場新スタンド 連絡歩道橋その1	日本競馬施設株式会社、株式会社 松田平田設計	日本競馬施設株式会社、株式会社 松田平田設計	S, RC	1	-	1131.1	1133.8	11.8		東京都	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
309	MNNN - 1290	2005/2/8	eHo.04.E11-003-05	(仮称)一之江高齢者介護施設	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	1189.1	4812.6	15.8	19.7	東京都江戸川区	回転機構付すべり支承 天然ゴム系積層ゴム
310	MNNN - 1299	2005/2/21		大館市立総合病院	岡田新一設計事務所	岡田新一設計事務所	RC	11	-		28659.0			秋田県大館市	
311	MNNN - 1313	2005/3/2	ERI-J04027	(学)東京女子医科大学附属八千代総合医療センター入院棟	日建設計	日建設計	RC	6	-	4384.8	20215.4	27.9	32.5	千葉県八千代市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム U型鋼材ダンパー
312	MNNN - 1314	2005/3/2	ERI-J04028	(学)東京女子医科大学附属八千代総合医療センター外来棟	日建設計	日建設計	RC	4	-	3236.6	11463.5	19.6	24.5	千葉県八千代市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム U型鋼材ダンパー
313	MNNN - 1316	2005/2/21		八千代市消防本部・中央消防署庁舎	岡設計	岡設計	S	3	-		4299.0			千葉県八千代市	
314	MNNN - 1318	2005/3/14	ERI-J04022	浜松労災病院本館	岡田新一設計事務所	岡田新一設計事務所 シーエス設計	RC	6	-	9213.5	21805.5	26.2	33.2	静岡県浜松市	鉛入り積層ゴム
315	MNNN - 1321	2005/3/14	ERI-J04031	(仮称)豊橋広小路三丁目A-1地区優良建築物等整備事業施設建築物	賛同人建築研究所	賛同人建築研究所	RC	18	-	646.2	6860.7	56.3	61.5	愛知県豊橋市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー
316	MNNN - 1325	2005/2/21	BCJ基評-IB0501-01	株式会社ムラコン事務所	須山建設	須山建設	S	3	-		819.0	12.3		静岡県豊田町	
317	MNNN - 1331	2005/3/14	BCJ基評-IB0502-01	松戸市紙敷4街区土地利用計画	清水建設	清水建設	RC	16	1	3344.0	22087.4	58.3	62.8	千葉県松戸市	鉛プラグ入り積層ゴムアイソレーター 天然ゴム系積層ゴムアイソレーター 弾性すべり支承
318	MNNN - 1332	2005/3/3	ERI-J04029	NTN総合技術センター	竹中工務店	竹中工務店	S	5	-	3698.7	16846.0	24.3	27.4	静岡県豊田町	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
319	MNNN - 1338	2005/3/17	EHo.04.E11-009-05	(仮称)榎本様マンション	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	775.9	3505.9	15.1	15.1	東京都江戸川区	回転機構付すべり支承 天然ゴム系積層ゴム
320	MFNN - 1343	2005/3/18		名古屋住宅都市局西庁舎	NTTファミリアーズ	NTTファミリアーズ	SRC	13	3	2347	39688.0	49.6		愛知県名古屋市	鉛入り積層ゴム 転がり系支承 粘性ダンパー
321	MFNN - 1348	2005/3/25		海城学園校舎	前川建築設計事務所	横山建築構造設計事務所 竹中工務店の共同設計	既存RC 増築S	8	-		9277.9	31.9		東京都新宿区	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー
322	MNNN - 1349	2005/3/14		岩国市新庁舎	佐藤総合計画	佐藤総合計画	SRC	7	1		24325.0	30.7		山口県岩国市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 直動転がり支承
323	MNNN - 1358	2005/4/8	BCJ基評-IB0504-01	松野靖部	かねと建設	かねと建設 テクノウェーブ	木造	2	-		241.0	10.0		静岡県富士市	
324	MNNN - 1364	2005/3/17	ERI-J04040	株式会社 有料老人ホーム エバークリーンシティ寺岡	東北設計計画研究所	東北設計計画研究所 大林組	RC	12	1	2516.4	18068.1	46.3	51.4	宮城県仙台市	鉛プラグ入り挿入型積層ゴム 両面転がり支承
325	MNNN - 1368	2005/4/8	ERI-J04038	(仮称)姫路市防災センター	昭和設計	昭和設計	RC	6	-	1281.8	6614.9	28.2	39.0	兵庫県姫路市	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 粘性減衰装置
326	MFNB - 1371	2005/4/8		日本放送協会 新秋田放送会館	大成建設・日建設計他JV	大成建設・日建設計他JV	RC							秋田県	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼棒ダンパー 鉛ダンパー
327	MNNN - 1373	2005/4/8	BCJ基評-IB0510-01	秋葉清隆部	秋葉清隆	MAY設計事務所 テクノウェーブ	木造	2	-		145.0	8.3		栃木県宇都宮市	
328	MNNN - 1375	2005/4/20	ERI-J04035	(仮称)新砂物流センター	鹿島建設	鹿島建設	PCaPc	7	-	19547.7	101632.2	48.0	50.4	東京都江東区	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
329	MNNN - 1376	2005/4/20	ERI-J04042	医療法人豊田会 刈谷総合病院 病棟建替計画	竹中工務店	竹中工務店	RC	12	1	1606.4	18714.1	44.8	50.3	愛知県刈谷市	鉛プラグ入り積層ゴム ゴム物性
330	MNNN - 1377	2005/4/20	ERI-J04041	医療法人輝純会 武内病院 人口腎センター	清水建設	清水建設	RC	4	-	1263.7	4074.4	16.1	16.7	三重県津市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム ゴム物性
331	MFNN - 1400	2005/5/17	GBRC建評-04-11A-005	京阪神不動産産御堂筋ビル	日建設計	日建設計	S	14	1	1405.2	20084.5	56.9	60.0	大阪府中央区	天然積層ゴム 弾性すべり支承 U型鋼材ダンパー 鉛ダンパー
332	MNNN - 1414	2005/6/2	ERI-J04043	ヤマハ浜松ビル	ワイビー設備システム	和田建築技術研究所	RC	8	-	321.0	2384.0	33.8	36.9	静岡県浜松市	天然積層ゴム ゴム物性
333	MNNN - 1416	2005/6/2	TBTC基評11B-04001	東京建設コンサルタント新本社	清水建設	清水建設	RC	7	1	855.4	5996.6	33.0	37.0	東京都豊島区	鉛入り積層ゴム
334	MNNN - 1418	2005/6/2	BCJ基評-IB0515-01	川越町新庁舎	日本設計		RC	4	-		9534.0			三重県三重市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 直動転がり支承 オイルダンパー
335	MNNN - 1423	2005/6/9		四日市南警察署 庁舎棟	三重県総務局管轄課 安井・打田特定建築設計企業 体	安井・打田特定建築設計企業 体	RC造	5	-		5688.6	21.9		三重県四日市市	天然系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材			
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )				延べ床面積(m <sup>2</sup> )		
336	MNNN - 1430	2005/6/10	ERI-J05001	(仮称)高見地区分譲住宅・C-1棟	三菱地所設計 大成建設	三菱地所設計 大成建設	RC	13	-	784.2	8636.0	39.4	40.6	愛知県名古屋	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 天然ゴム	
337	MNNN - 1431	2005/6/10	ERI-J05002	(仮称)高見地区分譲住宅・C-2棟	三菱地所設計 大成建設	三菱地所設計 大成建設	RC	13	-	785.3	8427.1	39.4	40.6	愛知県名古屋	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 天然ゴム	
338	MNNN - 1432	2005/6/10	ERI-J05003	(仮称)高見地区分譲住宅・D棟	三菱地所設計 大成建設	三菱地所設計 大成建設	RC	13	-	773.9	8441.6	39.4	40.7	愛知県名古屋	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 天然ゴム	
339	MNNN - 1439	2005/6/13		味の素株式会社(仮称)食品研究開発新棟	大成建設	大成建設	RC	5	-	4350.0	16902.3	22.3	29.8	神奈川県川崎市	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 剛すべり支承	
340	MNNN - 1442	2005/6/13	eHo.04.E11-014-05	(仮称)本澤様マンションⅡ	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	406.9	1574.9	15.5	15.9	東京都江戸川区	回転機構付すべり支承 天然ゴム系積層ゴム	
341	MNNN - 1443	2005/6/10		大成建設株式会社 札幌支店	大成建設	大成建設	RC-S	8	1	770.7	6970.4	34.6		北海道札幌市		
342	MNNN - 1444	2005/6/13		中日新聞社健康保険組合 中日病院	日建設計	日建設計	SRC	7	-		12449.0	30.0		愛知県	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー	
343	MNNN - 1449	2005/6/13		和歌山県警察本部庁舎	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	RC	5	1		4071.0	19.5		和歌山県	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 滑り支承 オイルダンパー	
344	MNNN - 1450	2005/6/15		新「東京警察病院」	日建設計	日建設計	SRC	9	2		38676.0	44.3		東京都	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー	
345	MNNN - 1453	2005/6/13	BCJ基評-IB0519-01	船越陽一部	三菱地所ホーム	三菱地所ホーム テクノウェーブ	木造	2	1		116.1	227.9	6.2	8.9	東京都杉並区	転がり支承 オイルダンパー
346	MNNN - 1463	2005/7/6	ERI-J05008	日本赤十字社血液事業本部・東京都赤十字血液センター合同社屋(仮称)	現代建築研究所	織本匠構造設計研究所	RC	6	-	3612.5	18372.8	29.5	30.2	東京都江東区	鉛入り積層ゴム 転がりローラー支承 オイルダンパー	
347	MNNN - 1465	2005/7/6	BCJ基評-IB0533-01	山田典正邸	金子建設 テクノウェーブ		木造	2	-		206.0	8.8		東京都杉並区		
348	MFNF- - 1474	2005/6/15	BCJ基評-IB0532-01	(仮称)鹿島ウエストビル	鹿島建設	鹿島建設	S、一部CFT	14	2	911.8	15208.0	57.9	63.5	東京都港区	鉛プラグ入り積層ゴム	
349	MNNN - 1476	2005/7/6		土佐市立土佐市民病院	日本設計	日本設計	RC	7	-		13147.0	28.8		高知県	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承	
350	MNNN - 1477	2005/7/25	BCJ基評-IB0531-01	Kライブ M-1	Kライブ、テクノウェーブ		木造	2以下	-		500以下	13以下		沖縄を除く全国		
351	MNNN - 1479	2005/7/6	GBRC建評-05-11A-002	(仮称)北堀江ビル	日建設計	日建設計	S	7	1	1903.6	14422.4	30.9	41.6	大阪市西区	天然積層ゴム U型鋼材ダンパー 鉛ダンパー	
352	MNNN - 1482	2005/7/11	BCJ基評-IB0536-01	大本山永平寺別院山門	亀津建築設計事務所 翔栄建築設計事務所		木造	1	-		118.0	7.5		愛知県名古屋		
353	MNNN - 1497	2005/7/11	ERI-J05011	Dクワディア清水駅前	イトー設計事務所	浅沼組 構造計画研究所	RC	14	-	539.6	6876.0	43.8	44.4	静岡県静岡市	U型ダンパー付き天然ゴム系積層ゴム アイソレータ 鉛ダンパー	
354	MNNN - 1509	2005/8/2	GBRC建評-05-11A-001	鳥取県立厚生病院外来・中央診療棟	日建・安本設計JV	日建・安本設計JV	S	7	1	5206.6	10760.5	31.7	34.2	鳥取県倉吉市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム	
355	MNNN - 1513	2005/8/2		グランドホーム とも	西森建築設計	構造計画研究所	RC	5	-		4784.0			高知県	高減衰積層ゴム オイルダンパー	
356	MNNN - 1518	2005/8/2	ERI-J05016	(仮称)日神ハレステージせんげん台	IAO竹田設計	真柄建設	RC	14	-	384.3	3696.9	42.7	43.3	埼玉県越谷市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承	
357	MNNN - 1524	2005/8/9	BCJ基評-IB0535-01	医学書院新本社ビル	石本建築事務所		RC	9	1		7238.0	39.9		東京都文京区		
358	MFNN - 1538	2005/8/17		武蔵野市防災・安全センター(仮称)	日建設計	日建設計	S	8	-		4487.0	31.9		東京都武蔵野市		
359	MFNN - 1539	2005/8/17		静岡病院新館	久米設計	久米設計	S・RC・SRC	13	1	48.1	31109.0			静岡県	弾性すべり支承 天然ゴム系積層ゴム	
360	MNNN - 1542	2005/8/24	ERI-J05014	経済産業省総合庁舎別館(耐震改修)	国土交通省大臣官庁官庁営繕部 山下設計	国土交通省大臣官庁官庁営繕部 山下設計	SRC	11	2	4812.9	59741.0	42.9	51.4	東京都千代田区	鉛プラグ入り積層ゴム アイソレータ 天然ゴム系積層ゴム アイソレータ	
361	MNNN - 1543	2005/8/24	ERI-J05018	(仮称)コレクション豊田	澤田建築事務所	奥村組	RC	14	-	622.4	6776.3	44.4	45.9	愛知県豊田市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム	
362	MNNN - 1547	2005/8/24		(仮)三井倉庫南深川仲庫ビル	竹中工務店	竹中工務店	柱SRC 梁S・床面 補脚 レース	7	-		11618.0	30.1		東京都江東区	高減衰系積層ゴム 滑り支承	
363	MNNN - 1548	2005/8/24	ERI-J05021	(仮称)創路幣舞橋ホテル	戸田建設	戸田建設	RC	13	-	693.0	7372.6	41.7	44.7	北海道釧路市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー	
364	MNNN - 1553	2005/9/1	ERI-J04036-01	医療法人真心会 西山堂病院	大和ハウス工業	構造計画研究所 大和ハウス工業	S	4	-	1463.3	4928.4	14.7	15.3	茨城県常陸太田市	天然系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー	
365	MNNN - 1555	2005/9/12	BCJ基評-IB0546-01	高知高須病院(増築)	THINK建築設計事務所	ダイナミックデザイン	S SRC	7	-		14619.0	28.4		高知県高知市		
366	MNNN - 1569	2005/9/12	ERI-J05023	県立志摩病院 外来診療棟	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	4	1	9261.8	25798.5	22.7	23.4	三重県志摩市	高減衰系積層ゴム 直動転がり支承 鉛ダンパー	
367	MNNB - 1570	2005/9/13	BCJ基評-IB0547-01	(仮称)滑川市民交流プラザ	三四五建築研究所	織本匠構造設計研究所	RC	5	-	1449.9	5450.0	26.5	33.0	富山県滑川市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承	
368	MNNN - 1571	2005/9/12		(仮称)センチュリーみらい平	東建	東建	RC	18	-	10103.9	74358.2			茨城県つくばみらい市		
369	MNNN - 1572	2005/9/20		豊田信用金庫本店	久米・青島設計企業体	久米・青島設計企業体	SPC	9	1			43.2		愛知県豊田市		
370	MNNN - 1577	2005/9/26	E11-00000100-05	(仮称)足立東和PJ	スターツCAM	スターツCAM 織本匠構造設計研究所	RC	6	-	484.9	2052.8	18.0	18.4	東京都足立区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承	
371	MNNN - 1578	2005/9/26		公立小浜病院高度医療施設整備事業第2期建築工事(高度医療棟)	石本・垣本 設計共同企業体	石本・垣本 設計共同企業体	RC	9		3505.0	17518.0			福井県小浜市		
372	MNNN - 1590	2005/9/30	BCJ基評-IB0553-01	木本 博之邸	三菱地所ホーム	三菱地所ホーム テクノウェーブ	木造	2	-		116.0	8.0		東京都三鷹市		
373	MFNN - 1598	2005/9/30		(仮称)原宿プロジェクト(A敷地)	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	9	2		22,966	30.09		東京都渋谷区	天然ゴム系積層ゴム 剛すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー	
374	MFNN - 1599	2005/9/30		(仮称)原宿プロジェクト(B敷地)	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	9	2		22,966	30.09		東京都渋谷区	天然ゴム系積層ゴム 剛すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー	

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )					延べ床面積(m <sup>2</sup> )
375	MNNN - 1603	2005/10/14		(仮称)西新井駅西口地区(F1街区)賃貸住宅A~C棟	スターツCAM・石本建築事務所	石本建築事務所	RC	14	-	26137.0			東京都足立区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 牀すべり支承	
376	MNNN - 1611	2005/10/14		浜松赤十字病院移転計画			RC	5	-	9566.8	26776.9	21.6	31.0	静岡県浜松市	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
377	MNNN - 1624	2005/10/19		(仮称)アルファグランド新浦安武番街	スターツ	桂設計	RC	10	-	10431.0					鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
378	MNNN - 1625	2005/10/19		(仮称)紙与業院ビル	日建設計	日建設計	RC	10	1	11886.6					
379	MNNN - 1629	2005/10/25	ERI-J05031	豊田駅前地区第一種市街地再開発事業	共同組合 都市設計連合 エスバス建築事務所	共同組合 都市設計連合 エスバス建築事務所	RC	16	-	586.1	7628.9	49.8	55.2	静岡県豊田	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 鋼材ダンパー 鉛ダンパー
380	MNNN - 1632	2005/10/25	BCJ基評-IB0559-01	白河厚生総合病院	日建設計	日建設計	RC	8	1	11187.2	38900.2	36.5	41.5	福島県白河市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼製U型ダンパー 鉛ダンパー
381	MNNN - 1637	2005/10/25	ERI-J05030	(仮称)センコー機浦和PDセンター	釣谷建築事務所	釣谷建築事務所 黒澤建築 ティーマール・エー	PC造	6	-	16691.9	70426.2	30.2	30.6	埼玉県さいたま市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
382	MNNN - 1638	2005/10/25		(仮称)パンペール月島	矢作建設工業	矢作建設工業 エスバス建築事務所	RC	11	1	3584.7	3584.7	32.8		愛知県	高減衰積層ゴム オイルダンパー
383	MNNN - 1639	2005/10/25	ERI-J05034	四日市商工会議所 新会館	日建設計	日建設計	RC	4	-	820.0	3200.0	17.5	21.5	三重県四日市市	鉛プラグ入り積層ゴム
384	MNNN - 1640	2005/11/4		(仮称)白金山口ビル	竹中工務店	竹中工務店	OFT RC	12	-	1400.5	1400.5	38.4		東京都	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
385	MNNN - 1644	2005/11/4		IC PROJECT	大成建設	大成建設	S	4	1	3894.1	3894.1	23.0		大阪府	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
386	MNNN - 1646	2005/11/4	BCJ基評-IB0555-01	パナホームR免震住宅	パナホーム	パナホーム テクノウェーブ	RC	1又は2	-	54~500	54~500	9以下	13以下	-	ベアリング支承 オイルダンパー
387	MNNN - 1652	2005/11/4	ERI-J05035	全労済埼玉県本部会館(仮称)	エス・ティ・ティファシリティーズ	エス・ティ・ティファシリティーズ	RC	8	-	398.8	2970.4	30.5	34.5	埼玉県さいたま市	鉛プラグ入り積層ゴム 十字型直動転がり支承 オイルダンパー 増幅機構付減衰装置
388	MNNB - 1653	2005/11/28		学校法人獨協学園 獨協大学創立40周年記念館(仮称)	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	RC	4	-	12688.0	12688.0	25.3		埼玉県	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 球体転がり支承 オイルダンパー
389	MNNN - 1662	2005/11/28		(仮)プロジス大阪Ⅱプロジェクト	清水建設	清水建設 RSI	PCaPC	8	0	169125.0	169125.0	54.6		大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
390	MNNN - 1665	2005/11/28	BCJ基評-IB0560-01	金原 孝行邸	三菱地所ホーム テクノウェーブ		木造	2	-	210.0	210.0	8.9		宮城県仙台市	
391	MNNN - 1671	2005/11/28		自治医科大学附属大宮医療センター病棟	伊藤嘉三郎建築研究所	伊藤嘉三郎建築研究所	Pca-Pe	7	-	3304.0	17398.3	28.9		埼玉県	天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承 U型鋼材ダンパ オイルダンパー
392	MNNN - 1675	2005/11/28		横河電機相模原事業所	竹中工務店	竹中工務店	柱SRC 梁S	5	-	27187.0	27187.0	21.7		神奈川県相模原市	天然ゴム系積層ゴム 粘体ダンパー オイルダンパー
393	MNNN - 1679	2005/11/28		(仮称)パークハウス常盤松	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	6	1	2709.5	2709.5	19.4		東京都	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム
394	MNNN - 1680	2005/12/13	ERI-J05038	愛知県厚生連加茂病院	久米設計	久米設計	OFT	5	1	18398.76	54809.0	34.9		愛知県豊田市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り天然ゴム 弾性すべり支承 鋼製U型ダンパー オイルダンパー
395	MNNN - 1686	2005/12/13		岩手県立花巻厚生・北上統合病院	(株)久米設計	(株)久米設計	RC	6	1	12412.0	29470.0	28.4		岩手県	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り天然ゴム 弾性すべり支承 鋼製U型ダンパー
396	MNNN - 1696	2006/1/5	BCJ基評-IB0585-01	(仮称)南麻布四丁目計画	竹中工務店		RC	5	2	5.1	5.1	15.0		東京都港区	
397	MNNN - 1700	2006/1/10	BCJ基評-IB0567-01	飯上 直人邸	三菱地所ホーム	三菱地所ホーム テクノウェーブ	木造	2	-	171.0	171.0	8.8		神奈川県藤沢市	
398	MNNN - 1720	2006/1/23	BCJ基評-IB0571-01	和歌山労災病院	佐藤総合計画	佐藤総合計画	RC	6	-	8003.6	21880.0	29.1	39.6	和歌山県和歌山市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承 球体転がり支承 減衰こま
399	MFNN - 1723	2006/1/30	BCJ基評-IB0572-01	清水建設技術研究所セキュリティセンター	清水建設		RC S	4	-	214.0	214.0	17.8		東京都江東区	
400	MNNN - 1728	2006/1/23		(仮称)大分キャンパテリアル第2拠点建設計画	鹿島建設	鹿島建設	RC			109320.0			大分県大分市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム	
401	MNNN - 1729	2006/2/20	ERI-J05045	野村證券静岡支店	野村ファシリティーズ	塩見	RC	4	1	748.9	3489.6	18.2	22.2	静岡県静岡市	鉛入り積層ゴム
402	MNNN - 1730	2006/2/20	ERI-J05046	(仮称)ドッグラン幸町	幸田設計	奥村組 技術協力 塩見	RC	15	-	324.2	3546.8	44.7	44.9	長崎県長崎市	鉛入り積層ゴム
403	MNNN - 1731	2006/1/23	ERI-J05047	(仮称)美浜区高洲3丁目プロジェクト	戸田建設	戸田建設	RC	10	-	582.3	4508.7	32.7	33.8	千葉県千葉市	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
404	MNNN - 1738	2006/2/6	BCJ基評-IB0573-01	(仮称)共同通信社 研修・交流センター	鹿島建設	鹿島建設	RC (一部S)	4	-	2225.4	5087.6	18.0	19.5	東京都中央区	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承 流体系減衰材
405	MNNN - 1740	2006/2/13		(仮称)一番町13-6計画	トルテック都市建築設計事務所	構造計画研究所	RC	19	2	9725.0	9725.0	60.0		東京都千代田区	高減衰ゴム積層 オイルダンパー
406	MNNN - 1744	2006/2/13	BCJ基評-IB0575-01	(仮称)日本通運練馬東外引越支店 東京トラクルーム	日通不動産		RC	5	-	21908.0	21908.0	32.6		東京都品川区	
407	MNNN - 1746	2006/2/13	ERI-J05049	垂水消防署新庁舎	エーアンドディ設計企画	エーアンドディ設計企画	RC	4	-	1141.8	3144.4	14.2	15.8	兵庫県神戸市	高減衰積層ゴム
408	MNNN - 1747	2006/2/13	ERI-J05048-01	西尾市新庁舎	久米設計	久米設計	SRC	7	1	18283.0	18283.0	33.2		愛知県西尾市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼製ダンパー オイルダンパー
409	MNNN - 1757	2006/2/20	eHo.05.E11-00800400-05	(仮称)西葛西ホテル	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	14	-	526.6	4321.5	42.7	43.8	東京都江戸川区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
410	MNNN - 1759	2006/2/20	JSSI-構評-05003	(仮称)大沢3丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 織本匠構造設計研究所	RC	8	-	174.5	1255.8	23.8	24.4	埼玉県越谷市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
411	MNNN - 1764	2006/2/20	GBRC建評-05-11A-016	(仮称)ワコレ大開通マンション	鴻池組	鴻池組	RC	17	-	20462.0	20462.0	53.2		兵庫県神戸市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )				延べ床面積(m <sup>2</sup> )	
412	MNNN - 1767	2006/2/28	BCJ基評-IB0574-01	名古屋市役所本庁舎	名古屋市住宅都市局営繕部 営繕課 三菱地所設計	名古屋市住宅都市局営繕部 営繕課 三菱地所設計	SRC	5	1	4483.9	25760.4	22.1	54.0	愛知県 名古屋市	鉛プラグ入り積層ゴム 靱けり系支保 オイルダンパー
413	MNNN - 1772	2006/2/28	BCJ基評-IB0581-01	日本大学理工学館駿河台校舎5号館(改修)	清水建設	清水建設	SRC	9	1	561.1	5785.8	31.0	42.3	東京都 千代田区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 粘性すべり支保 粘性流体ダンパー
414	MNNN - 1774	2006/2/28	VHEC評価-構17009	(仮称)平河町一丁目計画	戸田建設	戸田建設	RC	14	1	353.0	4771.2	44.1	44.7	東京都 千代田区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
415	MNNN - 1776	2006/2/28		中外製薬藤枝工場 固形剤棟建設計画	鹿島A/E	鹿島A/E	コア NEOS	4F	-		28834.0			静岡県 藤枝市	高減衰積層ゴム 剛滑り支保
416	MNNN - 1784	2006/3/15	BCJ基評-IB0582-02	防災拠点有明の丘地区本部施設棟(仮称)	日建設計	日建設計	RC(一部S)	2	-		9411.7	13.7		東京都 江東区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支保 鋼材ダンパー 鉛ダンパー
417	MNNN - 1786	2006/3/15	BCJ基評-IB0587-01	大分市医師会立アルメイダ病院	佐藤総合計画	佐藤総合計画	RC	7	-		22210.0	29.7		大分県 大分市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支保 鋼材ダンパー オイルダンパー
418	MNNF - 1794	2006/3/30	ERI-J05056-01	プロロジスパークセントレア	竹中工務店	竹中工務店	RC	5	-		83301.0	36.5		愛知県 常滑市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
419	MNNN - 1800	2006/3/27	BCJ基評-IB0590-01	(仮称)アゴラ浜松ビル	清水建設名古屋支店		S(柱 CFT造)	8	-		5015.0	42.0		静岡県 浜松市	
420	MNNN - 1801	2006/3/27	BCJ基評-IB0589-01	(仮称)四日市駅前P[B敷地]	IOA竹田設計	大林組	RC	18	-	1139.0	14636.6	57.9	64.5	三重県 四日市市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
421	MNNN - 1802	2006/3/30	BCJ基評-IB0570-02	三菱ホーム免震住宅PIANISSMO(ピアノシモ)		三菱地所ホーム テクノウェーブ	木造	3	-		100~500	13以下		沖縄を 除く 全国	
422	MNNN - 1803	2006/3/30		(仮称)JS葛西ビル	東レ建設	東レ建設	RC	9	-		5361.0	32.9		東京都 江戸川区	高減衰ゴム オイルダンパー
423	MNNN - 1807	2006/3/30	BCJ基評-IB0588-01	愛知県厚生連江南新病院	日本設計・共同建築設計事務所 共同企業体	日本設計	S(一部 SRC)	8	-	20970.7	66551.0	37.0	51.5	愛知県 江南市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支保 直動転がり支保
424	MNNN - 1809	2006/3/30	ERI-J05058	(仮称)三共銀座プロジェクト	清水建設	清水建設	RC	11	1	573.0	5586.0	52.2	64.5	東京都 中央区	鉛入り積層ゴム
425	MNNN - 1813	2006/4/6	BCJ基評-IB0591-01	(仮称)博多駅前共同ビル計画	三菱地所設計	三菱地所設計	RC S	11	1	1062.3	11255.8	44.6	50.1	福岡県 福岡市	鉛プラグ入り積層ゴム
426	MNNN - 1816	2006/4/6		(仮)26街区共同ビル	賛同人建築研究所	賛同人建築研究所	RC	18	-		8141.37	59.55		静岡県 浜松市	
427	MNNN - 1824	2006/4/12	BCJ基評-IB0595-01	大崎薬品工業株式会社徳島工場(仮称)新固形剤工場	日立ブランド建設 日本設計	日本設計	S(柱 SRC造)	3	-	39243.6	69270.4	14.8	18.7	徳島県 徳島市	鉛プラグ入り積層ゴム
428	MNNN - 1826	2006/4/13	BCJ基評-IB0599-01	(仮称)南麻布三丁目計画	大林組	大林組	RC	6	1	1960.3	10392.4	19.4	22.6	東京都 港区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
429	MNNN - 1829	2006/4/12		(仮称)日本通運洲大支店 中島工業団地新倉庫	日通不動産 協力・アルリス	日通不動産 協力・アルリス	RC	5F	-		82734			大阪府 大阪市	高減衰積層ゴム
430	MNNN - 1837	2006/4/13	BCJ基評-IB0592-01	(仮称)消防拠点施設	日立建設設計	日立建設設計	RC	3	1	928.9	3480.1	20.9	21.1	茨城県 日立市	高減衰積層ゴム支保 すべり系支保
431	MNNN - 1842	2006/5/8		敦賀市消防防災館	佐藤総合計画 山内設計	佐藤総合計画 構造計画研究所	RC	6	-		2070.0	22.1		福井県 敦賀市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
432	MNNN - 1849	2006/5/8	BCJ基評-IB0596-01	ホーユ-楨総合研究所・新棟	浦野設計	浦野設計 構造計画研究所	S	4	-	1669.0	5966.0	16.9	18.5	愛知県 豊田郡	積層ゴム支保
433	MNNN - 1855	2006/4/28		中伊豆リハビリテーションセンター	内藤建築事務所	内藤建築事務所	RC	4	1					静岡県 伊豆市	鉛プラグ入り積層ゴム
434	MNNN - 1856	2006/5/16		(仮称)新台東病院等	日総建	日総建	RC	8	1	2636	17328	32.9	37.9	東京都 台東区	
435	MFNN - 1861	2006/5/16		(仮称)新広小路ビル	東レ建設	東レ建設	RC	15	1		17076	50.94		静岡県 杉置区	高減衰ゴム オイルダンパー
436	MNNN - 1868	2006/6/21	BCJ基評-IB0610-02	防災拠点東扇島地区施設棟(仮称)	日建設計	日建設計	RC S	2	-		514.9	54.0		神奈川県 川崎市	
437	MNNN - 1870	2006/6/8	BCJ基評-IB0605-01	石巻地区広域行政事務組合消防本部(石巻消防署併設)庁舎移転整備事業庁舎棟	関・空間設計	織本構造設計	RC	3	-	1154.8	2988.3	14.1	39.6	宮城県 石巻市	天然ゴム系積層ゴム支保 鉛プラグ入り積層ゴム支保 弾性すべり支保 オイルダンパー
438	MNNN - 1875	2006/6/15		鳥取生協病院	中央設計	中央設計	RC	10			15624.0			鳥取県 鳥取市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支保
439	MNNN - 1876	2006/6/8		浜松松江町ホテル	橋本設計室	構造計画研究所	RC	12	-					静岡県 浜松市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
440	MNNN - 1889	2006/6/8	BCJ基評-IB0602-01	愛知県庁本庁舎(改修)	戸田建設 (基本設計:日建設計)	戸田建設 (基本設計:日建設計)	SRC 一部S RC	6	1		28314.0	42.6		愛知県 名古屋市	
441	MNNN - 1890	2006/5/31	ERI-J06003	エーサイン松本	竹中工務店	竹中工務店	RC	11	-	335.7	3038.9	31.6	38.3	長野県 松本市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支保
442	MFNN - 1892	2006/6/21		(仮称)杉並区高井戸計画C棟	鹿島建設	鹿島建設	RC	6	1		13813.55	19.97		東京都 杉並区	
443	MNNN - 1894	2006/6/21		北九州市警察部小倉北警察署	日総建・西技開発・河野設計 共同企業体	日総建	RC	13	1		17476.0			福岡県 北九州市	鉛プラグ入り積層ゴム
444	MNNN - 1898	2006/6/29	BCJ基評-IB0606-02	プラザノース	日本設計	日本設計	SRC, S, RC	4	-		19777.0	25.0		埼玉県 さいたま市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鋼材ダンパー 剛すべり系支保
445	MNNN - 1899	2006/7/6	GBRC建評-06-11A-004	(仮称)豊中市西泉丘集合住宅(南棟)	奥村組	奥村組	RC	13	-		9785.0	38.0		大阪府 豊中市	高減衰ゴム 剛すべり支保
446	MNNN - 1900	2006/7/6	GBRC建評-06-11A-002	(仮称)豊中市西泉丘集合住宅(東棟)	奥村組	奥村組	RC	11	1		8561.0	34.0		大阪府 豊中市	高減衰ゴム 剛すべり支保
447	MFNN - 1905	2006/6/16	BCJ基評-IB0604-01	(仮称)築地4丁目ビル	石本建築事務所		RC SRC	9	1		1430.0	31.4		東京都 中央区	
448	MNNN - 1910	2006/7/6		(仮称)アルファグランデ緑が丘参番街	桂設計	桂設計	RC	6			6355			千葉県 八千代市	鉛プラグ入り積層ゴム
449	MNNN - 1911	2006/7/4		(仮称)明治乳業株式会社埼玉工場第二工場	銭高組	銭高組	S	6		2624	8546			埼玉県 春日部市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム オイルダンパー
450	MNNN - 1912	2006/7/4	UHEC評価-構18002	㈱バーカーコーポレーション東京テクニカルセンター	銭高組	銭高組	RC	7	-	376.7	2225.2	27.9	28.5	東京都 江東区	鉛プラグ入り積層ゴム
451	MNNN - 1915	2006/7/6	JSSI-構評-06001	(仮称)八広6丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 織本構造設計研究所	RC	8	-	254.1	1672.5	24.3	24.8	東京都 墨田区	回転機構付すべり支保 鉛プラグ挿入型積層ゴム支保

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	延べ床面積(m <sup>2</sup> )					
452	MFNB - 1917	2006/7/11		東京駅丸の内本屋(保存・復原)	東日本旅客鉄道 東京工務事務所・東京電気システム開発工務事務所、ジェイ・アール・東日本建築設計事務所・ジェイ・アール・東日本コンサルタンツ 設計共同企業体	東日本旅客鉄道 東京工務事務所・東京電気システム開発工務事務所、ジェイ・アール・東日本建築設計事務所・ジェイ・アール・東日本コンサルタンツ 設計共同企業体				2(3)	1	約19,600	47.7	東京都千代田区	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
453	MNNN - 1918	2006/7/21		(仮称)大阪府城東区中央2丁目計画(東棟)	APEX	フジタ	RC	16	-			8166.79	47.7	大阪府大阪市	鉛入り積層ゴム 滑り支承
454	MNNN - 1920	2006/7/21	GBRC建評-06-11A-004	加古川総合庁舎・東播磨生活創造センター	類設計室	類設計室	RC	10	-			13266.0	42.0	兵庫県加古川市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
455	MNNN - 1922	2006/7/11		(仮称)明倫地区分譲住宅	三菱地所設計	鹿島建設	RC	15	-					愛知県名古屋	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
456	MNNN - 1927	2006/7/21	BCJ基評-IB0434-02	人間文化研究機構・情報・システム研究機構(立川)総合研究棟	日本・アール・テイカー・エル設計共同 日本設計	日本・アール・テイカー・エル設計共同 日本設計	RC SRC S	6	1	62500.0	48119.0	26.7		東京都立川市	鉛プラグ入り積層ゴム
457	MNNN - 1931	2006/8/14	BCJ基評-IB0617-01	中央合同庁舎第1号館本館(耐震改修)	国土交通省大臣官庁官庁営繕部 松田平田設計	国土交通省大臣官庁官庁営繕部 松田平田設計	SRC	8	1		47064.0	30.4		東京都千代田区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
458	MFNN - 1932	2006/8/14		(仮称)杉並区高井戸計画A棟	鹿島建設	鹿島建設	RC	6	1		12226.72	19.97		東京都杉並区	
459	MFNN - 1933	2006/8/14		(仮称)杉並区高井戸計画B棟	鹿島建設	鹿島建設	RC	6	1		12780.78	19.97		東京都杉並区	
460	MNNN - 1942	2006/9/11	JSSI-構評-06003	(仮称)吉橋様マンション	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	569.8	3009.4	22.2	22.9	東京都江戸川区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
461	MNNN - 1943	2006/9/11	JSSI-構評-06002	浦安市消防本部・署庁舎	久米設計	久米設計	RC	4	-	2042.0	5275.3	17.3	18.2	千葉県浦安市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 直動転がり支承 履歴系ダンパー オイルダンパー
462	MNNN - 1944	2006/9/11	BCJ基評-IB0623-01	(仮称)五橋駅マンション	鹿島建設	鹿島建設	RC	16	-	502.5	5680.3	47.8	53.5	宮城県仙台市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
463	MNNN - 1946	2006/9/11	BCJ基評-IB0622-01	慶應義塾日吉キャンパス複合施設(仮称)	環境デザイン研究所(金箱構造設計事務所)・三菱地所設計 設計監理共同	環境デザイン研究所(金箱構造設計事務所)・三菱地所設計 設計監理共同	S	7	2		38230.0	29.4		神奈川県横浜	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
464	MNNN - 1979	2006/9/6	JSSI-構評-06005	(仮称)金山3丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM エス・バス建築事務所	RC	14	-	297.5	3536.5	42.0	42.7	愛知県名古屋	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
465	MNNN - 1981	2006/9/20	UHEC評価-構18009	(仮称)支倉町3番計画	創建設計	大林組	RC	17	1	708.0	7693.6	55.3	60.7	宮城県仙台市	鉛プラグ入り積層ゴム 両面転がり支承
466	MNNN - 1992	2006/10/13	ERI-J06007	川崎池上新町商業施設および物流センター	竹中工務店	竹中工務店	RC,S	5	-		128543.7	32.0		神奈川県川崎市	高減衰系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
467	MNNN - 1993	2006/9/20	GBRC建評-06-11A-006	(仮称)奈良工務事務所	奥村組	奥村組	RC 一部S	2	-		483.0	6.3		奈良県奈良市	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
468	MNNN - 1994	2006/10/19		静岡北口ホテル	レーモンド設計事務所	構造計画研究所	RC	12	-		2365.0			静岡県静岡市	高減衰系積層ゴム オイルダンパー
469	MNNN - 1996	2006/10/10	BCJ基評-IB0628-01	清水建設技術研究所守衛所	清水建設	清水建設	S RC	1	-	25.2	25.2	2.8	3.1	東京都江東区	天然ゴム系復元ゴム すべり支承 転がり系支承
470	MNNN - 2000	2006/10/5		日本銀行本店2・3号館(耐震改修)	松田平田設計	松田平田設計									鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
471	MNNN - 2008	2006/11/7	BCJ基評-IB0626-01	横浜市庁舎行政棟(耐震補強)	既存・村野・森建築事務所 東畑建築事務所	東畑建築事務所	SRC	8	1	2700.0	22000.0	30.8	37.3	神奈川県横浜市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 積層ゴム一体型免震U型ダンパー
472	MNNN - 2012	2006/10/23	ERI-J06010	(仮称)大洋建設本社ビル	久米設計・大洋建設 設計共同企業体	久米設計	RC	5	-		1225.1	17.8		神奈川県横浜市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鋼製ダンパー 直動転がり支承
473	MFNN - 2016	2006/10/2	UHEC評価-構18015	(仮称)ナイス小杉3丁目計画	エイワ設計コンサルタント	ティーン・アール・イー	RC	16	-	1102.4	11316.0	53.6	59.8	神奈川県川崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
474	MFNN - 2019	2006/10/12	JSSI-構評-06004	(仮称)新横浜三丁目ビル	大成建設	大成建設	RC	11	1	896.8	10106.5	51.9	51.9	神奈川県横浜市	積層ゴム 弾性すべり支承
475	MNNN - 2030	2006/10/23	ERI-J06013	航空保安大学本校移転整備等事業(学生寮棟)	大成建設 山下設計	大成建設 山下設計	RC	14	-	858.5	7933.8	44.7	44.8	大阪府泉佐野市	天然積層ゴム 弾性すべり支承
476	MNNN - 2030	2006/10/23	ERI-J06013	航空保安大学本校移転整備等事業(校舎棟)	大成建設 山下設計	大成建設 山下設計	S RC	3	-	4088.8	11218.8	14.1	14.3	大阪府泉佐野市	天然積層ゴム 弾性すべり支承
477	MNNN - 2047	2006/11/16		(仮称)中外製薬(株)浮間事業所 第2製剤治験棟	鹿島A/E	鹿島建設	KIP	6	-		987.9	33.3		東京都北区	高減衰系積層ゴム
478	MNNN - 2048	2006/11/16	ERI-J06016	名古屋学生専用賃貸マンション	鹿島建設	鹿島建設	RC	15	-		4185			愛知県名古屋	高減衰系積層ゴム 弾性すべり支承
479	MNNN - 2049	2006/11/16	UHEC評価-構18017	(仮称)千代田区岩本町一丁目計画	浅沼組	浅沼組	RC	16	-	371.8	5328.5	49.5	55.0	東京都千代田区	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 免震U型ダンパー
480	MNNN - 2050	2006/11/20		ライオンズマンション日本橋浜町共用部改善計画	久米エン지니어リングシステム	三井住友建設	SRC	13	1		3319	37.3		東京都中央区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承 粘性ダンパー
481	MNNN - 2052	2006/11/16	JSSI-構評-06006	(仮称)牡丹3丁目Ⅲ期計画	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	394.9	1815.1	21.2	21.7	東京都江東区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
482	MNNN - 2053	2006/11/16	JSSI-構評-06007	(仮称)株式会社八島鉄工所様マンション	スターツCAM	スターツCAM 構造計画研究所	RC	11	-	159.8	1575.4	33.0	33.2	東京都台東区	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
483	MNNN - 2057	2006/11/16	BCJ基評-IB0639-01	(仮称)プリヂストン化工品新試験センター	日本設計	日本設計	SRC, S,RC	5	-	60797.2	141163.2	24.6	35.3	神奈川県横浜市	高減衰系積層ゴム
484	MNNN - 2069	2006/12/12	JSSI-構評-06008	(仮称)水野様ビル	スターツCAM	スターツCAM 概念構造設計	RC	10	-	240.1	1835.0	30.5	32.6	千葉県市川市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
485	MNNN - 2070	2006/11/10	BCJ基評-IB0638-01	芝園小学校及び芝園中学校	清水建設・シーラカンスK&H・三四五建築研究所設計共同 企業体	清水建設	RC (一部 SRC, S)	4	1		23847.0	22.0		富山県富山市	
486	MNNN - 2077	2006/12/12		(仮称)ももち浜計画(病院施設)	医療福祉建築機構	メイ建築研究所 JE構造設計	SRC	11	2		4504.4			福岡県福岡市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承
487	MFNN - 2079	2006/12/15	BCJ基評-IB0633-01	日本赤十字社医療センター	久米設計	久米設計	S RC	13	3	7907.3	80253.6	57.6	60.1	東京都渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 剛すべり支承 オイルダンパー
488	MNNN - 2082	2007/1/10	JSSI-構評-06009	株式会社前川製作所新本社ビル	大成建設	大成建設	S	8	-	1255.9	9304.1	31.1	35.1	東京都江東区	積層ゴム
489	MNNN - 2083	2007/1/10	JSSI-構評-06011	(仮称)春日3丁目免震マンション	スターツCAM	スターツCAM エス・バス建築事務所	RC	7	-	599.7	3367.0	20.0	21.1	大阪府吹田市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )				延べ床面積(m <sup>2</sup> )	軒高(m)
490	MNNN - 2084	2007/1/10	JSSI-構評-06012	(仮称)見山山プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	6	-	293.8	1195.9	18.9	19.3	神奈川県横浜市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
491	MNNN - 2085	2007/1/10	JSSI-構評-06013	(仮称)城田橋プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	400.2	1532.7	14.7	15.2	神奈川県横浜市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
492	MNNN - 2094	2007/1/9	ERJ-J06019	(仮称)瀬戸プロジェクトII	矢作建設	矢作建設	RC	14	-	1037.4	8705.2	42.2	42.7	愛知県瀬戸市	高減衰積層ゴム
493	MNNN - 2115	2007/1/9		(仮称)常陽つくばビル	三菱地所設計	三菱地所設計	S	10	1		16541			茨城県つくば市	積層ゴム 直動転がり支承
494	MNNN - 2117	2007/1/9		いちい信用金庫本店	日建設計	日建設計	SRC-S-PC	12	-		10200	51.1		愛知県一宮市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼材ダンパー
495	MFNN - 2124	2007/1/10	ERJ-J06006	奥村三田ビル	奥村組 (既存:村野、森建築事務所)	奥村組 (既存:村野、森建築事務所)	SRC	9	3		9739.0	33.9		東京都港区	高減衰積層ゴム オイルダンパー
496	MNNN - 2131	2007/1/22	JSSI-構評-06015	(仮称)片平計画	スターツCAM	スターツCAM 山下設計	RC	5	-	533.8	2181.4	16.1	16.1	神奈川県川崎市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
497	MNNN - 2132	2007/1/22	JSSI-構評-06016	(仮称)神明町プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	8	-	167.0	918.5	23.9	24.3	愛知県豊田市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
498	MNNN - 2133	2007/1/22	UHEC評価-構18025	カルニックカンセイ開発・本社ビル移転計画	日建設計	日建設計 大成建設	RC (一部S)	7	-	6267.0	38001.0	31.0	31.9	埼玉県さいたま市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承
499	MNNN - 2138	2007/1/9	BCJ基評-IB0648-01	栄国寺庫裏	魚津建築設計事務所	魚津社寺工務店	S	3	-		380.0	11.9		愛知県瀬戸市	
500	MNNN - 2140	2007/1/9	GBRC建評-06-11A-010	(仮称)新大阪EMビル	日建設計	日建設計	SRC S	14	2		30543.0	59.1		大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 減衰こま
501	MNNN - 2141	2007/1/9		(仮称)千趣会新本社ビル		竹中工務店	SRC	10	1		8.243			大阪府大阪市	オイルダンパー
502	MFNN - 2143	2006/12/27	BCJ基評-IB0646-01	(仮称)01プロジェクト	アム・ゼイン	鹿島建設	OFT連 一部SRC	12	2	1351.7	18211.9	54.1	58.9	東京都品川区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム すべり系支承
503	MNNN - 2153	2006/12/27	BCJ基評-IB0661-01	(仮称)加賀二丁目計画	鹿島/A/E	鹿島建設	RC	14	-		27564.0	43.5		東京都足立区	
504	MNNN - 2158	2007/1/31	BCJ基評-IB0662-01	(仮称)愛媛新聞社新社屋	松田平田設計	松田平田設計	S RC	7	-	1133.4	7260.3	29.3	45.0	愛媛県松山市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 弾塑性系減衰材 オイルダンパー
505	MNNN - 2159	2007/1/31	BCJ基評-IB0660-01	ディスコR&Dセンター増築棟	大林組	大林組	SRC	14	1		28485.0	59.0		東京都大田区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鋼製U型ダンパー
506	MNNN - 2160	2007/1/31		ラフィネ松本渚	峯生庵	構造計画研究所	RC	14			3428.0			長野県松本市	鉛プラグ入り積層ゴム
507	MNNN - 2166	2007/1/31		(仮称)小田栄2丁目マンション計画(A棟)	テチュル設計企画	前田建設工業	RC	17	1		76668.0			神奈川県川崎市	
508	MNNN - 2167	2007/1/31		(仮称)小田栄2丁目マンション計画(B棟)	テチュル設計企画	前田建設工業								神奈川県川崎市	
509	MNNN - 2168	2007/1/31		(仮称)小田栄2丁目マンション計画(C棟)	テチュル設計企画	前田建設工業								神奈川県川崎市	
510	MNNN - 2169	2007/1/31		(仮称)小田栄2丁目マンション計画(D棟)	テチュル設計企画	前田建設工業								神奈川県川崎市	
511	MNNN - 2172	2007/1/24	GBRC建評-06-11A-011	木津町新庁舎	日建設計	日建設計	RC	7	-	約2,200	約10,000	27.7		京都府木津川市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
512	MNNN - 2182	2007/3/15	JSSI-構評-06014	国立大学法人浜松医科大学医学部附属病院病棟	久米設計	久米設計	SRC +S	9	1		29633.0	39.1		静岡県浜松市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼製ダンパー オイルダンパー
513	MNNN - 2186	2007/2/22	JSSI-構評-06018	(仮称)湊新田2丁目計画	スターツCAM	スターツCAM 織本構造設計	RC	8	-	202.7	1338.6	24.5	25.4	千葉県市川市	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承 オイルダンパー
514	MNNN - 2189	2007/2/23	GBRC建評-06-11A-012	近畿労働金庫新本部ビル	日建設計	日建設計	S	13	1		13423.7	58.0			鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー
515	MNNN - 2193	2007/3/2	BCJ基評-IB0668-01	(仮称)エフエム福岡・西日本シティ銀行共同ビル	三菱地所設計 西日本技術開発		SRC	8	-		6043.0	34.4		福岡県福岡市	
516	MFNN - 2195	2007/3/15		(仮称)月寒東計画	住友不動産	織本構造設計 三井住友建設								北海道	弾性滑り支承 他
517	MNNN - 2196	2007/3/15	BCJ基評-IB0658-01	北島病院	アトリエ・Kuu 構造計画研究所		RC	4	1		4119.0	19.7		高知県高岡郡	
518	MNNN - 2203	2007/3/29	ERJ-J06022	モノール旭橋駅周辺第一種市街地再開発事業(南地区)D-1街区 施設建築	モノール旭橋駅周辺地区再開発計画設計共同企業体	モノール旭橋駅周辺地区再開発計画設計共同企業体	RC	18	-	1345.0	11437.4	55.8	60.6	沖縄県那覇市	高減衰積層ゴム
519	MNNN - 2205	2007/3/14	GBRC建評-06-11A-014	九州労災病院本館	日建設計	日建設計	SRC-RC 一部S	8	-		36471.4	35.5		福岡県福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼材ダンパー 鉛ダンパー
520	MNNN - 2207	2007/3/14		(仮称)平野町三丁目ビル			S-RC- SRC	14	2		20.987	60.00		大阪府大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
521	MNNN - 2208	2007/3/15	JSSI-構評-06017	独立行政法人国立病院機構 高崎病院	久米設計	久米設計	RC	7	1		33168.7	28.6		群馬県高崎市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
522	MFNN - 2213	2007/3/15		(仮称)杉並区高井戸計画D棟	鹿島建設	鹿島建設	RC	6	1		13813.55	19.97		東京都杉並区	
523	MFNN - 2214	2007/3/15		(仮称)杉並区高井戸計画E棟	鹿島建設	鹿島建設	RC	6	1		11781.67	19.97		東京都杉並区	
524	MNNN - 2216	2007/1/9	BCJ基評-IB0637-01	東京女子医科大学第一病棟	日建設計 現代建築研究所	織本構造設計研究所	RC	9	3		20587.0	35.4		東京都新宿区	
525	MNNN - 2224	2007/3/29		シスメックステクノパーク計画 研究・開発棟	竹中工務店	竹中工務店	S	10	-		23664	46		兵庫県	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
526	MNNN - 2231	2007/3/29	JSSI-構評-06019	(仮称)吹上プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM エスバス建築事務所	RC	10	-	181.2	1649.4	30.5	30.9	愛知県名古屋市中	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
527	MNNN - 2232	2007/3/29	JSSI-構評-06020	(仮称)矢島様マンション	スターツCAM	スターツCAM エスバス建築事務所	RC	5	-	351.7	1459.9	17.3	17.8	東京都府中市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
528	MNNN - 2238	2007/3/29		県立新加古川病院	内藤建築事務所	織本構造設計	RC	6	1		29400			兵庫県加古川市	天然ゴム系積層ゴム 増幅機構付粘性ダンパー
529	MNNN - 2241	2007/3/29	HP評-06-011	(仮称)高見地区(2期)分譲住宅(D棟)	三菱地所設計 大成建設	三菱地所設計 大成建設	RC	13	-		12166.0	39.3		愛知県名古屋市中	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
530	MNNN - 2242	2007/3/29	HP評-06-012	(仮称)高見地区(2期)分譲住宅(E棟)	三菱地所設計 大成建設	三菱地所設計 大成建設	RC	13	-		8347.0	39.4		愛知県名古屋市中	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ (m)	建設地 (市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	延べ床面積 (㎡)					
531	MNNN - 2245	2007/3/29	ERI-J06024	プロジス・パーク成田Ⅲプロジェクト	竹中工務店	竹中工務店	柱RC 梁S	6	-	82275.37	46.5	千葉県 山武郡	高減衰ゴム 天然ゴム系積層ゴム		
532	MNNN - 2254	2007/3/19	ERI-J06025	四日市市中消防署中央分署・消防活動 支援センター	竹下一級建築士事務所	飯島建築事務所	RC	3	-	1015.6	2704.3	14.6	15.2	三重県 四日市市	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
533	MNNN - 2260	2007/4/3	BCJ基評-IB0672-01	名古屋大学医学部附属病院外来診療棟	名古屋大学施設管理部 NITTFアシリエーズ		RC	4	-	17268.0	20.8			愛知県 名古屋	
534	MNNN - 2263	2007/3/26	ERI-J06029	(仮称)JAMB鶴見ディストリビューションセ ンター	東亜建設工業	東亜建設工業	SRC	5	-	19735.7	69695.3	36.0	37.8	神奈川県 横浜市	天然ゴム系積層ゴム アイソレータ 錫プラグ入り積層ゴムアイソ レータ 弾性すべり支承
535	MNNN - 2267	2007/4/3	JSSI-構評-06022	(仮称)西荻谷4丁目計画	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	6	-	424.4	1855.9	17.4	18.4	東京都 大田区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
536	MNNN - 2268	2007/4/11	JSSI-構評-06023	(仮称)大島様マンション	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	4	-	232.4	822.6	12.7	13.2	神奈川県 川崎市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
537	MNNN - 2276	2007/4/3	ERI-J06028	中外製薬工業(株)宇都宮工場 第3注 射剤棟	鹿島A/E	鹿島建設	OFT	7	-		11963			栃木県 宇都宮市	高減衰積層ゴム 剛滑り支承
538	MNNN - 2277	2007/4/3		公立学校共済組合 東海中央病院	教育施設・総合設備設計共同 体	教育施設研究所	RC	8			3.876	33.0		愛知県 各務原市	LRB
539	MNNN - 2280	2007/4/3	BCJ基評-IB0677-01	(仮称)並井様マンション	新東京建築設計事務所	スターツCAM 日本設計	RC	12	-	394.7	3298.3	38.7	39.3	東京都 江戸川区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
540	MNNN - 2283	2007/4/3	BCJ基評-IB0680-01	(仮称)関西西ビキタス	プランテック総合計画事務所	アルファ構造デザイン事務所	S	9	-		8809.0	41.1		大阪府 大阪市	
541	MNNN - 2290	2007/4/26		(仮称)白井駅前マンション計画	熊谷組	熊谷組	RRC	10	-		12735.75	29.4		千葉県 白石市	高減衰ゴム 弾性すべり支承
542	MNNN - 2292	2007/4/27	BCJ基評-IB0676-01	(仮称)駐日本韓国文化院	日本設計		SRC S	8	1		7902.0	44.3		東京都 新宿区	
543	MNNN - 2296	2007/4/26		(仮称)一番町計画(A館:(仮称)真澄寺 東京別院、B館:(仮称)一番町オフィス ビル)	大成建設	大成建設	S	8	2		7369.92	36.89		東京都 千代田区	天然ゴム すべり支承 転がり支承 オイルダンパー
544	MNNN - 2297	2007/4/26	BCJ基評-IB0678-01	(仮称)平塚市明石町21番マンション計 画	小田急建設	小田急建設 ピーシー建築技術研究所	RC	17	-	676.0	7856.2	51.9	58.0	神奈川県 平塚市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
545	MNNN - 2299	2007/4/26	BCJ基評-IB0679-01	志摩市庁舎	大建設計	大建設計	SRC S	7	-	2319.0	10186.2	28.3	30.8	三重県 志摩市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 弾性すべり支承
546	MNNN - 2302	2007/4/3		南町26-5地区優良建築物等整備事業 (仮称)グランドメゾン南町	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	16			10314.7	53.7		静岡県 静岡市	天然積層ゴム 弾性すべり支承
547	MFNN - 2308	2007/5/31		(仮称)Akebono日本橋本店プロジェクト	プランテック総合計画事務所	プランテック総合計画事務所	RC	9			8713.0			東京都 中央区	鉛プラグ入り積層ゴム
548	MNNN - 2309	2007/5/16		中外製薬工業株宇都宮工場 第2倉庫 エネルギー棟	鹿島A/E	鹿島建設	S	2	-		6621			栃木県 宇都宮市	高減衰積層ゴム 剛滑り支承
549	MNNN - 2312	2007/5/31	JSSI-構評-06025	(仮称)島田様マンション	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	290.1	1311.6	14.5	14.7	東京都 江戸川区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
550	MNNN - 2333	2007/6/15	BCJ基評-IB0682-01	多摩広域基幹病院(仮称)及び小児総合 医療センター(仮称)	日建設計	日建設計	RC	11	1		129715.0	50.3		東京都 府中市	
551	MNNN - 2335	2007/6/15		秋田県厚生農業協同組合連合会 鹿角 組合総合病院	久米設計	久米設計	RC	5			20538			秋田県 鹿角市	積層ゴム 直動転がり支承
552	MNNN - 2345	2007/6/15	BCJ基評-IB0669-01	広島市南消防署	広島市財政局営繕課	松田平田設計	RC	6	1	536.2	2579.4	23.2	34.7	広島県 広島市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
553	MNNN - 2347	2007/6/22	ERI-J07002	岡山市西消防署(仮称)	黒川建築設計事務所	塩見 黒川建築設計事務所	SRC (一部S)	5	-	1163.0	4148.2	21.3	57.0	岡山県 岡山市	天然ゴム積層ゴム すべり支承 U型鋼棒ダンパー 鉛ダンパー
554	MNNN - 2348	2007/6/22		中外製薬株式会社 浮間事業所 第2生 物実験棟	鹿島A/E	鹿島建設	SRC+S	6	-		9879	33.3		東京都 北区	高減衰
555	MNNN - 2353	2007/6/22	JSSI-構評-07001	(仮称)小峯様マンション	スターツCAM	スターツCAM エスバス建築事務所	RC	5	-	281.2	1095.7	15.1	15.5	東京都 府中市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
556	MNNN - 2360	2007/7/3	JSSI-構評-07002	(仮称)須賀様マンション	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	301.8	1142.2	14.4	15.4	千葉県 浦安市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
557	MNNB - 2379	2007/7/24	BCJ基評-IB0681-01	横浜市山下町地区B1街区施設建築物	都市再生機構 香山・アプル総合・アプルデザ イン設計共同体	MUSA研究所 構造計画研究所	RC SRC S	10	1		23974.0	50.0		神奈川県 横浜市	
558	MNNN - 2382	2007/7/3	BCJ基評-IB0688-01	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計 画B-a棟		INA新建築研究所 エスバス建築事務所	RC	16	1		22304.0	48.6		東京都 足立区	
559	MNNN - 2383	2007/7/3	BCJ基評-IB0689-01	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計 画B-b棟		INA新建築研究所 エスバス建築事務所	RC	18	1		21575.0	54.5		東京都 足立区	
560	MNNN - 2396	2007/7/9		土佐中・高等学校	安井建築設計事務所 ・西森建築設計 設計共同体	安井建築設計事務所 ・西森建築設計 設計共同体	RC	5			19274			高知県 高知市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
561	MNNN - 2399	2007/7/3	BCJ基評-IB0692-02	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計 画B-c棟		INA新建築研究所 エスバス建築事務所	RC	15	-		11198.5	45.7		東京都 足立区	
562	MNNN - 2400	2007/7/18		銀座7丁目新橋会館(仮称)	山下設計	山下設計	RC	9	1					東京都 中央区	鉛プラグ入り積層ゴム
563	MNNN - 2402	2007/7/25	BCJ基評-IB0697-01	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計 画A-a棟		INA新建築研究所 エスバス建築事務所	RC	7	-		5184.0	21.6		東京都 足立区	
564	MNNN - 2403	2007/7/25	BCJ基評-IB0698-01	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計 画A-b棟		INA新建築研究所 エスバス建築事務所	RC	9	-		6675.0	27.4		東京都 足立区	
565	MNNN - 2404	2007/7/25	BCJ基評-IB0699-01	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計 画A-c棟		INA新建築研究所 エスバス建築事務所	RC	7	-		1836.0	21.6		東京都 足立区	
566	MNNN - 2405	2007/7/23	BCJ基評-IB0695-02	グランドステージ川崎大師マンション(建 替)	安藤建設		RC	9	-		3179.9	27.8		神奈川県 川崎市	
567	MNNN - 2407	2007/7/23	BCJ基評-IB0693-01	北秋田市市民病院		日建設計	SRC (一部S)	4	1		24948.0	23.0		秋田県 北秋田市	
568	MNNN - 2412	2007/7/31	BCJ基評-IB0696-01	県立多治見病院新西棟(仮称)	共同建築設計事務所 熊谷設計	東京建築研究所	S	8	1	4730.5	26915.3	32.1	35.8	岐阜県 多治見市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
569	MNNN - 2414	2007/7/31		いちい信用金庫本店	日建設計	日建設計	SRC・S PC	12	-		10200	51.10		愛知県 一宮市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼材ダンパー
570	MNNN - 2415	2007/7/31		(仮称)グローリオ多賀城駅前	INA新建築研究所	INA新建築研究所	RC	18			12281			宮城県 多賀城市	積層ゴム 直動転がり支承
571	MNNN - 2416	2007/7/31		(仮称)ももち浜計画(病院施設)	医療福祉建築機構	メイ建築研究所 JE構造設計	SRC	11	2		45,044			福岡県 福岡市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	延べ床面積(m <sup>2</sup> )					
572	MNNN - 2417	2007/8/7	UHEC評価-構19001	会津中央病院新館	羽深隆雄・梅工房設計事務所	織本構造設計	RC	7	1	1743.9	11315.0	24.6	26.2	福島県会津若松市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
573	MNNN - 2418	2007/8/7	UHEC評価-構19002	(仮称)サーバス稲川	間組	間組	RC	17	-	800.0	9900.8	55.2	61.7	静岡県静岡市	高減衰積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
574	MNNN - 2419	2007/8/7	UHEC評価-構19003	(仮称)東陽3丁目計画	竹中工務店 東京一級建築士事務所	竹中工務店 東京一級建築士事務所	RC	12	-	950.5	8235.0	37.8	40.2	東京都江東区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 摩擦系ダンパー 粘性体系ダンパー
575	MNNN - 2420	2007/8/7	JSSI-構評-07004	(仮称)四天王寺駅前プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	193.6	1245.8	23.5	23.7	大阪府大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム
576	MNNN - 2424	2007/7/23		(仮)祐天寺 書院 保存補強免震改修計画	エースコーポレーション(株)	竹中工務店 東京一級建築士事務所	木	1	-	396	396	4.7		東京都目黒区	直動転がり支承 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
577	MNNN - 2425	2007/8/13	ERI-J07009	(仮)MSC深川ビル2号館	竹中工務店	竹中工務店	柱RC 梁S	6	-		22148.66	31.9		東京都江東区	高減衰積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
578	MNNN - 2427	2007/8/13		三菱倉庫株式会社(仮称)飛鳥配送センター	鹿島建設	鹿島建設	RC	4						愛知県海部郡	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
579	MNNN - 2430	2007/8/13	BCJ基評-IB0691-01	中央合同庁舎1号館北別館(耐震改修)		国土交通省大臣官庁官庁庁舎 補部 久米設計	SRC	8	1		14139.0	31.7		東京都千代田区	
580	MNNN - 2431	2007/8/20		西部医療センター中央病院(仮称)	日建設計	日建設計	S	8	1		42590	36.39		愛知県名古屋市中区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 転がり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
581	MFNN - 2465	2007/9/28	GBRC建評-07-0220-003	株式会社奥村組名古屋支店	奥村組	奥村組	S (CFT柱)	6	1		2379	23.2		愛知県名古屋市中区	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
582	MNNN - 2469	2007/9/27	ERI-J07014	(仮称)上池台石井レジデンス	デベロッパデザイン	MUSA研究所 構造計画研究所	RC	9	-	480.1	1887.2	29.3	29.8	東京都大田区	高減衰積層ゴム
583	MNNN - 2472	2007/9/6	BCJ基評-IB0709-01	穴末市新庁舎	梓設計	梓設計	RC (一部PC)	5	-	1410.9	6690.32	24.6	25.6	兵庫県宍粟市	鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
584	MNNN - 2475	2007/9/27	BCJ基評-IB0708-01	(仮称)ファンケルホームライフビル	大林組	大林組	S RC	9	1		4757.9	40.0		神奈川県横浜市	
585	MNNN - 2489	2007/10/4	ERI-J07015	東京都医学総合研究所(仮称)	伊藤善三郎建築研究所	伊藤善三郎建築研究所	PCaPC	5	-	5518.2	19981.7	23.8	24.4	東京都世田谷区	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 鋼製ダンパー(U型ダンパー) オイルダンパー
586	MNNN - 2512	2007/9/20		(仮称)白井駅前マンション計画	熊谷組	熊谷組	RC	10			12735.75	29.4		千葉県白井市	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
587	MNNN - 2540	2007/11/12	JSSI-構評-07008	(仮称)節直ビル	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	4	-	175.4	535.1	12.7	14.5	東京都江東区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
588	MNNN - 2545	2007/11/16		(仮称)ミカステロ口熱海銀座町	イナハ設計	構造計画研究所	RC	19	1					静岡県熱海市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
589	MNNN - 2560	2007/11/12	BCJ基評-IB0711-01	ニューシティ横浜ロジスティクスパークA棟	鹿島建設	鹿島建設	PCaPC RC	7	-	19019.0	132361.0	47.7	53.1	神奈川県横浜市	高減衰系積層ゴム
590	MNNB - 2563	2007/11/19	ERI-J7004-02	立川市庁舎	野沢正光・山下設計 設計共同 体		PCPCa	4	1		26019.3	18.91		東京都立川市	天然ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 剛すべり支承
591	MNNN - 2564	2007/11/5	JSSI-構評-07007	(仮称)舎人5丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	11	-	496.4	3549.9	35.7	36.4	東京都足立区	鉛プラグ入り積層ゴム
592	MNNN - 2568	2007/11/12	ERI-J07019	松坂警察署	山下設計	山下設計	RC (PS)	4			4850	17.5		三重県松阪市	天然ゴム系積層ゴム 鋼材ダンパー(一体型積層ゴム) 鉛プラグ入り積層ゴム
593	MNNN - 2581	2007/12/3	BCJ基評-IB0710-01	福岡大学病院新診療棟(仮称)	日本設計	日本設計	RC	7	1		26224.7	31.8		福岡県福岡市	
594	MNNN - 2611	2007/12/11	UHEC評価-構19008	シティコーポ小坂(仮称) 南棟	松村・浦野特別共同企業体	松村・浦野特別共同企業体 ダイナミックデザイン	RC(一部SRC)	10	-	902.1	7115.4	30.5	31.0	愛知県名古屋市中区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
595	MNNN - 2613	2007/12/11	JSSI-構評-07009	(仮称)小嶋様箕輪町3丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	3	-	644.5	1496.1	8.7	9.2	神奈川県横浜市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
596	MNNN - 2623	2007/12/17	ERI-J07023	(仮称)ベルギー大使館建設計画(大使館棟)	竹中工務店	竹中工務店	SRC	8	2		7509.6	45.21		東京都千代田区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
597	MNNN - 2631	2007/12/26	BCJ基評-IB0715-01	砂川市立病院	大建設計	大建設計 織本構造設計	SRC S	7	-	8991.3	34865.1	37.4	37.4	北海道砂川市	鉛プラグ入り積層ゴム 転がりローラー支承 減衰こま
598	MNNN - 2632	2007/12/26	BCJ基評-IB0714-01	小針市立市民病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所 織本構造設計	RC	5	-	4246.3	10715.6	22.5	27.5	宮城県小針市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 オイルダンパー 転がりローラー支承
599	MNNN - 2633	2007/12/26		姫路警察署庁舎棟	日本設計	日本設計	RC	7	1		8818	33.55		兵庫県姫路市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
600	MNNN - 2646	2008/1/11		(仮称)ピュエル北本町3丁目	和建設	和建設	RC	14			7557			高知県高知市	高減衰積層ゴム
601	MNNN - 2659	2008/1/11	BCJ基評-IB0720-01	京都大学積貞棟(病棟)	日本設計	日本設計	RC	8	1		20379.3	30.9		京都府京都市	
602	MNNN - 2662	2007/10/19	BCJ基評-IB0718-01	会津オリバス	戸田建設	戸田建設	S CFT	5	-	5969.3	22598.0	30.0	30.7	福島県会津若松市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 剛すべり支承 オイルダンパー
603	MNNN - 2671	2007/12/21	BCJ基評-IB0713-01	中央労働金庫本店	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	S	9	1		5847	37.53		東京都千代田区	鉛プラグ入り積層ゴム 直動転がり支承 オイルダンパー
604	MNNN - 2681	2008/1/24		三重大学医学部附属病院棟・診療棟	岡田新一設計事務所・ORS	岡田新一設計事務所・ORS	SRC	12			41528				積層ゴム 直動転がり支承
605	MNNN - 2694	2008/1/24	ERI-J07028	(仮称)アルファステイツ橋	現代建築計画事務所	構造計画研究所	RC	15	-	325.6	3993.2	43.8	44.8	高知県高知市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
606	MNNN - 2695	2008/1/24	ERI-J07025	(仮称)アルファステイツ新屋敷	興建築工房	構造計画研究所	RC	12	-	379.0	3127.8	36.5	40.0	高知県高知市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
607	MNNN - 2696	2008/1/24	ERI-J07027	株豊田自動織機グローバル研修センター計画	竹中工務店	竹中工務店	S RC	7	-	4510.7	13472.1	28.5	29.5	愛知県豊田郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
608	MNNN - 2702	2008/1/24	BCJ基評-IB0712-01	(仮称)神戸市東灘区本庄町1丁目マンション	浅井謙建築研究所	三井住友建設	RC	7	-		5662.9	21.9		兵庫県神戸市	
609	MFNN - 2711	2007/12/26	BCJ基評-IB0719-01	青梅市新庁舎	佐藤総合計画	佐藤総合計画	RC SRC (一部S CFT)	7	1	4896.6	22097.8	29.5	29.5	東京都青梅市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 転がり系支承 U型鋼棒ダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )					延べ床面積(m <sup>2</sup> )
610	MNNB - 2712	2008/2/8	BCJ基評-IB0664-02	(仮称)スカパー東京メディアセンター計画	竹中工務店	竹中工務店	S RC	6	1	3939.6	17579.9	30.6	34.5	東京都江東区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
611	MNNN - 2725	2008/1/31		(仮称)プルデンシャル生命保険ドライデンカスタマーセンター新館	大林組	大林組	S	2			3046			宮城県仙台市	積層ゴム 球体転がり支承
612	MNNN - 2744	2008/2/4	UHEC評価-構19019	医療法人 里仁会 興生総合病院移転新築計画	フジタ	フジタ 高環境エンジニアリング	RC	8	1	3569.4	23239.9	32.6	40.9	広島県三原市	鉛入り積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 すべり系支承 流体系ダンパー
613	MNNN - 2746	2008/2/4		クラヤ三星堂 神奈川ALC(仮称)	大成建設	大成建設	S	3	-						
614	MNNN - 2748	2008/2/4	ERI-J07033	システムプラザ磯子3号館	鹿島建設	鹿島建設	PCaPC+S	7	-		10754.0	30.32		神奈川県横浜市	高減衰積層ゴム
615	MNNN - 2757	2008/2/5	JSSI-構評-07011	(仮称)南後崎町2丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	6	-	388.9	1701.6	18.5	19.0	東京都江戸川区	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
616	MNNN - 2758	2008/2/5	JSSI-構評-07013	(仮称)恵田壽幸様ビル	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	406.4	2055.4	21.3	23.1	千葉県流山市	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
617	MNNN - 2759	2008/2/5	UHEC評価-構19020	コルセ・カレ日向	安藤建設	五洋建設	RC	14	-	775.5	8288.4	43.8	44.6	宮城県日向市	高減衰積層ゴム支承 弾性すべり支承
618	MNNN - 2760	2008/2/5	BCJ基評-IB0726-01	内閣府 A棟		国土交通省大臣官庁官庁営繕部 日本設計	RC	6	1		18384.5	23.8		東京都千代田区	
619	MNNN - 2767	2008/2/5		(仮称)総合あんしんセンター		梓設計	RC	5	-		約12,200			高知県高知市	すべり支承
620	MNNN - 2774	2008/2/13	ERI-J07035	(仮称)大分・金池マンション	新生設計	構造計画研究所	RC	14	-	271.5	2394.0	39.0	40.0	大分県大分市	高減衰積層ゴム
621	MNNN - 2783	2008/1/29	BCJ基評-IB0582-02	有明の丘基幹的広域防災拠点施設(防災拠点有明の丘地区本部施設棟(仮称))	日建設計	日建設計	RC (一部S)	2	-	6110.3	9411.7	11.0	73.3	東京都江東区	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承 鋼製U型ダンパー 鉛ダンパー
622	MNNN - 2792	2008/2/15	ERI-J07038	(仮称)長岡市消防本部・消防署合同庁舎建設計画	松田平田設計	松田平田設計	RC	4	-		7377.9	17,554		新潟県長岡市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
623	MFNN - 2800	2008/3/12	BCJ基評-IB0721-02	和歌山工業高校新館		松田平田設計 構造計画研究所	RC	6	-		9523.3	28.9		和歌山県和歌山市	
624	MNNN - 2821	2008/2/29	ERI-J07041	犬山市役所庁舎	久米設計	久米設計	SRC	7	1	2448.8	9754	27.9	32.8	愛知県犬山市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承 U型鋼材ダンパー
625	MNNN - 2830	2008/3/5		湘南鎌倉総合病院	新都設計	熊谷組 構造計画研究所	RC	15	1		57948			神奈川県鎌倉市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
626	MNNN - 2835	2008/3/3	ERI-J07040	ラフィネ上田	窪田建設	構造計画研究所	RC	12	-	413.8	3942.9	35.5	36.0	長野県上田市	鉛プラグ挿入型積層ゴム
627	MNNF - 2841	2008/3/27	BCJ基評-IB-0741-01	つくば市新庁舎	山下設計	山下設計	PCa PC	7	-		21434	32.2		茨城県つくば市	天然ゴム・鋼材ダンパー・LRB
628	MNNN - 2847	2008/3/11	JSSI-構評-07014	(仮称)船橋市本町7丁目PJ	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	5	-	256.2	1127.8	15.5	16.0	千葉県船橋市	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
629	MNNN - 2849	2008/3/11	BCJ基評-IB0740-01	熊本大学医学部附属病院病棟	日本設計	日本設計	SRC	13	1		45045.3	56.7		熊本県熊本市	
630	MNNN - 2855	2008/2/13	UHEC評価-構19015	(仮称)仙台中央第一生命ビルディング	竹中工務店	竹中工務店	RC-SRC	7	1		6902.56	27,265		宮城県仙台市	高減衰ゴム すべり支承
631	MNNN - 2860	2008/3/31		(仮称)新端橋マンション 西棟	鹿島建設	鹿島建設	RC	14	0		13,897	42.86		愛知県名古屋市長	HDR 弾性すべり
632	MNNN - 2860	2008/3/31		(仮称)新端橋マンション 東棟	鹿島建設	鹿島建設	RC	14	0		7,868	42.86		愛知県名古屋市長	HDR 弾性すべり
633	MNNN - 2862	2008/3/31		知多厚生病院診療棟	日本設計	日本設計									
634	MNNN - 2867	2008/3/31	K-0811-8	(仮称)研修・食堂棟	日建設計	日建設計	S	8	-		13565	39.7		静岡県静岡市	天然ゴム系・鉛ダンパー
635	MNNN - 2871	2008/3/31		(仮称)モントール福岡空港駅舎番館	おおたに設計	おおたに設計	RC	14			27,000			福岡県糟屋郡	RB SLR
636	MNNN - 2886	2008/3/31		長谷川香料総合研究棟	大成建設	大成建設	RC	6	1		9234.65	29.7		神奈川県川崎市	天然ゴム すべり支承
637	MNNN - 2887	2008/3/31	JSSI-構評-07015	(仮称)藤崎高齢者賃貸住宅	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	657.7	2806.6	15.9	16.4	東京都江戸川区	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム
638	MNNN - 2912	2008/4/23	UHEC評価-構19024 変1	独立行政法人理化学研究所(仮称)次世代スーパーコンピュータ施設計算機・研究棟計算機ゾーン・熱源機械棟・特高施設	日建設計	日建設計	S	6	1		19,502	28.05		兵庫県神戸市	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
639	MNNN - 2941	2008/5/7	BCJ基評-IB0743-01	(仮称)白山寮建替計画	清水建設	清水建設	RC	3	1	810.2	2847.0	9.1	10.0	東京都中央区	高減衰系積層ゴム
640	MNNN - 2943	2008/5/7	UHEC評価-構19029	在日フランス大使館新事務所棟計画	竹中工務店	竹中工務店	S	4	1		8,130	17.85		東京都港区	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
641	MNNN - 2948	2008/5/15		(仮称)宮崎市宮東一丁目マンション	塩見設計	塩見設計	RC	19	-		13025.08	57.51		宮城県宮崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 天然ゴム オイルダンパー
642	MNNN - 2973	2008/5/22	ERI-J07051	NTN新桑名研究開発センター(仮称):(研究本館)	大林組	大林組	S	6	-		10400	28,565		三重県桑名市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 直動転がり支承 弾性すべり支承 鋼製U型ダンパー
643	MNNN - 2976	2008/5/22	JSSI-構評-07017	(仮称)用賀1丁目計画	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	3	-	413.8	1042.5	9.4	9.8	東京都世田谷区	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
644	MNNN - 2990	2008/5/22	UHEC評価-構19030	(仮称)LCVデータセンター棟	日建設計	日建設計	SRC	3	-	428.4	1223.2	13.6	15.7	長野県諏訪市	天然ゴム系積層ゴム 低摩擦弾性すべり支承 鉛ダンパー
645	MNNN - 2993	2008/5/22	ERI-J08003	(仮称)サーバス盛高	穴吹工務店	穴吹工務店 テイクトウケー 免震エンジニアリング	RC	14	-	555.7	6083.2	42.6	43.0	岩手県盛岡市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
646	MNNN - 3000	2008/5/22	ERI-J08002	品川区総合庁舎	山下設計	山下設計	SRC	8	2	5295.7	31022.3	29.9	48.3	東京都品川区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承
647	MNNN - 3002	2008/5/22	UHEC評価-構19028	安曇野赤十字病院	日建設計 西本忠長建築設計事務所	日建設計	RC	6	-	5802.1	21658.1	26.7	33.5	長野県安曇野市	天然ゴム系積層ゴム 免震U型ダンパー すべり支承
648	MNNN - 3003	2008/5/22		福岡大学病院診療棟(仮称)	日本設計	日本設計	SRC	7			26,224	31.0		福岡県福岡市	天然ゴム系積層ゴム 他
649	MNNN - 3008	2008/6/2	BCJ基評-IB0745-01	K氏邸	旭化成ホームズ	旭化成ホームズ えびす建築研究所	RC	3	-	75.9	150.3	9.0	9.3	東京都杉並区	剛すべり支承 天然ゴム系積層ゴム

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材			
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )				延べ床面積(m <sup>2</sup> )	軒高(m)	
650	MNNN - 3009	2008/6/2	BCJ基研-IB0746-01	(仮称)ディスコ長野事業所第1期	大林組	大林組	S	6	0		20,293	28.00		長野県茅野市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム	
651	MNNN - 3015	2008/6/2	ERI-J08004	(仮称)鶴間E棟	朝日建設	酒井建築工学研究室	RC	11	-		407.1	2195.3	32.5	32.9	神奈川県大和市	高減衰積層ゴム
652	MNNN - 3040	2008/6/2	GBRC建研-08-022B-004-01B	関西医科大学香里病院	日本設計	竹中工務店	RC	8	1		15,136	36.72		大阪府堺市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム すべり支承 オイルダンパー	
653	MNNN - 3052	2008/6/9	BCJ基研-IB0752-01	(仮称)ディスコ桑畑工場新A棟	大林組	大林組	SRC	8	-		63846.86	44.95		広島県呉市	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム ディスクダンパー	
654	MNNN - 3054	2008/6/16	JSSI-構研-08001	(仮称)船堀4丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	5	-		323.8	1244.4	14.9	15.3	東京都江戸川区	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
655	MNNN - 3080	2008/6/20	ERI-J08013	(仮称)茨木EWビル計画	奥村組	奥村組	S	4	-		284.1	1132.3	16.0	18.9	大阪府茨木市	回転機構付すべり支承 復元ゴム
656	MNNB - 3108	2008/7/25		大門中央通り地区市街地再開発ビル新築工事	コンテナポラリス	A.S.Associates	RC	5	1		11,890			長野県塩尻市	高減衰ゴム オイルダンパー	
657	MNNN - 3109	2008/7/9	ERI-J08010	(仮称)石神井計画	Add設計工房	塩見	RC	10	-		291.9	1817.7	33.8	35.2	東京都練馬区	鉛プラグ挿入型積層ゴム
658	MNNN - 3111	2008/7/9	JSSI-構研-08003	(仮称)遠田棟免震マンション	スターツCAM	スターツCAM エスバス建築事務所	RC	8	-		574.6	2795.4	24.2	25.3	埼玉県八潮市	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
659	MNNN - 3133	2008/6/16	BCJ基研-IB0637-02	東京女子医科大学 第一病棟	日建設計 現代建築研究所	織本構造設計	RC	9	3		1778.5	20488.0	40.5	40.5	東京都新宿区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
660	MNNN - 3135	2008/6/16	ERI-J07001	慶應義塾大学(日吉)第4校舎綱島街道側	鹿島建設	鹿島建設	S	6	1		4,870	18,400	30.89		神奈川県横浜市	積層ゴム 弾性すべり オイルダンパー
661	MNNN - 3136	2008/7/9		小千谷小学校		細貝建築事務所	RC	3	-		13,752.12			新潟県小千谷市	高減衰積層ゴム	
662	MNNN - 3137	2008/7/9	GBRC建研-08-22B-002	(仮称)彩都E-17街区集合住宅	竹中工務店大阪 一級建築士事務所	竹中工務店大阪 一級建築士事務所	RC	14	1		14398.3	38.0		大阪府茨木市	高減衰ゴム	
663	MNNN - 3142	2008/7/9	ERI-J08007	(仮称)ナイス川崎南南町	協立建築設計事務所	協立建築設計事務所 塩見	RC	13	-		346.7	3400.0	38.5	39.0	神奈川県川崎市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
664	MNNN - 3150	2008/7/25		(仮称)岐阜市民病院新棟	山下設計・岐創設計JV	山下設計	S	11	-		22,685	49.5		岐阜県岐阜市	鉛プラグ入積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承 増幅機構付粘性ダンパー	
665	MNNN - 3159	2008/6/30	UHCC評価-構研19025	会津中央病院	羽深隆雄・構工務設計事務所	織本構造設計	RC	8	1		9,066	27.38		福島県会津若松市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承	
666	MNNN - 3160	2008/7/25		(仮称)ゼスタ浄水II		野口建設	RC	21	-		1,604.1	9,302			愛知県豊田市	高減衰積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
667	MNNN - 3167	2008/7		北海道新聞社 函館新工場		山下設計	S	3	1		5,889			北海道函館市	すべり支承	
668	MNNN - 3177	2008/6/11	ERI-J08014	四万十市新庁舎	大建設計	大建設計	RC	7	1		9,858	35.97		高知県四万十市	鉛プラグ入り積層ゴム 直動転がり支承	
669	MNNN - 3188	2008/8/6	JSSI-構研-08005	(仮称)エリタージュII	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	7	-		108.5	691.2	20.02	22.565	千葉県松戸市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
670	MNNN - 3196	2008/8/6	ERI-J08012	(仮称)樺木町マンションプロジェクト	矢作建設工業	矢作建設工業	RC	15	1		4517.15	42.25			愛知県名古屋市中区	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
671	MNNN - 3212	2008/8/6		株式会社東芝 電力システム社 横浜事業所320号棟		鹿島建設	S	6	-		4,624	22,125.06			神奈川県横浜市	高減衰積層ゴム
672	MNNN - 3235	2008/8		マブチモーター株式会社社員寮新築計画	大成建設	大成建設	RC	4	0		1,858	11.50			千葉県松戸市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
673	MNNN - 3277	2008/8/21	ERI-J08027	リサイクル燃料備蓄センター(第一棟)新築工事の内事務建屋	東電設計	東電設計 小堀将二研究所 酒井建築工学研究室	S	2	0		1,846	8.7			青森県むつ市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
674	MNNN - 3301	2008/8/26	ERI-J08026	SF高島台免震マンション	OKI建築事務所	イワ建築事務所	RC	4	-		114.9	384.6	12.8	13.3	神奈川県横浜市	弾性すべり支承 天然積層ゴム
675	MNNN - 3316	2008/8/26	BCJ基研-IB0765-01	(仮称)KK免震重要棟	東電設計	東電設計 小堀将二研究所 鹿島建設	SRC (一部S)	3	0		3,970	11.81			新潟県柏崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
676	MNNN - 3328	2008/8/26		創価学会SGI国際文化センター	日建設計	日建設計	SRC- 部S	3	1		5,524	14.55			東京都新宿区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼材ダンパー 鉛ダンパー
677	MNNN - 3331	2008/8/26	K-0811-3	市役所新庁舎	日建設計	日建設計	SRC	10	-		28,036	38.90			愛知県刈谷市	天然ゴム系積層ゴム 転がり支承 鉛ダンパー鋼材ダンパー
678	MNNN - 3336	2008/8/21		(仮称)新台東病院等	日総建	日総建	RC	8	1		2,636	17,328	32.9	37.9	東京都台東区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
679	MNNN - 3377	2008/9/18	GBRC建研-08-022C-001	岸和田市消防本部庁舎	松田平田設計	松田平田設計	RC	4	0		3,855	14.40			大阪府岸和田市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 鉛ダンパー 鋼製ダンパー
680	MNNN - 3420	2008/9/18		富山大学付属病院病棟	教育施設研究所	教育施設研究所	SRC	7	-		13,250				富山県富山市	LRB 天然ゴム系積層ゴム すべり支承
681	MNNN - 3431	2007/8/26	JSSI-構研-07011-1	(仮称)南篠崎町2丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築設計事務所	RC	6	0		1,702	18.46			東京都江戸川区	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
682	MNNN - 3432	2008/9/24	JSSI-構研-08006	(仮称)青木様菊名3丁目計画	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	5	-		520.7	2377.0	14.5	14.945	神奈川県横浜市	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
683	MNNN - 3447	2008/9/24	JSSI-構研-08008	(仮称)樋口様大船2丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-		330.6	1718.02	22.87	22.98	神奈川県鎌倉市	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
684	MNNN - 3448	2008/9/24	JSSI-構研-08007	(仮称)小泉様箕輪町3丁目計画	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	3	-		354.3	905.9	9.18	9.425	神奈川県横浜市	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
685	MNNN - 3481	2008/10/20	JSSI-構研-08009	(仮称)岩橋様邸	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	2	-		307.8	438.6	9.56	9.65	東京都江戸川区	積層ゴム復元材 回転機構付すべり支承
686	MNNN - 3491	2008/10/30		日立神田ビル	アム・ザイン 日立建設設計		S	11	1		4,530				東京都千代田区	鉛プラグ入積層ゴム
687	MNNN - 3493	2008/10/30	BVJ-JA08-001	三豊総合病院	佐藤総合計画	佐藤総合計画	RC	8	1		45,244	31.30			香川県観音寺市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鋼製ダンパー
688	MNNN - 3500	2008/10/31	UHCC評価-構研20020	(仮称)内神田3丁目プロジェクト	声原太郎建築事務所	声原太郎建築事務所 織本構造設計	RC	11	-		89.0	779.6	33.4	36.9	東京都千代田区	高減衰ゴム系積層ゴム支承 転がり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )					延べ床面積(m <sup>2</sup> )
689	MNNN - 3501	2008/10/31	UHEC評価-構20019	(仮称)九段北4丁目プロジェクト	戸原太郎建築事務所	機軸構造設計	RC	6	1	610.0	3949.7	20.7	24.4	東京都千代田区	天然ゴム系積層ゴム支承鉛プラグ入り積層ゴム
690	MNNN - 3507	2008/10/31	K-0811-5	名古屋港管理組合本庁舎等整備事業本庁舎・港湾会館	日建設計	日建設計	S(OFT)/RC/SRC	12	-		16329	50.0		愛知県名古屋市	鉛プラグ入り・天然ゴム系・オイルダンパー・鉛ダンパー
691	MNNN - 3508	2008/10/31	JSSI-構評-08010	(仮称)吉善北菜プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 日本システム設計	RC	5	-	406.2	1837.16	15.023	15.518	千葉県浦安市	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
692	MNNN - 3509	2008/10/31	JSSI-構評-08011	(仮称)網島プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 伸構造事務所	RC	7	-	158.4	850.9	19.75	20.765	神奈川県横浜市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 回転機構付すべり支承
693	MNNN - 3524	2008/10/31	ERI-J08035	JSR森力山地区新社宅	竹中工務店	竹中工務店	RC	8	-		5673.2	26.885		三重県四日市市	鉛入り積層ゴム
694	MNNB - 3526	2008/11/17	ERI-J08020	(仮称)八戸市中心市街地地域観光交流施設	針生承一建築研究所・アトリエアルド・アトリエアキ設計共同	星野建築構造設計事務所	SRC	5	1	1552.0	7506.0	29.1	32.6	青森県八戸市	天然積層ゴム 鋼製U型ダンパー
695	MNNN - 3558	2008/11/13	ERI-J08037	(仮称)株式会社プリズングローバル・モノづくり研修センター	松田平田設計	松田平田設計	RC	6	-	2510.9	14590.1	32.1	33.6	東京都小平市	高減衰系積層ゴム支承
696	MNNN - 3563	2008/11/13	ERI-J08038	(仮称)Dプロジェクト高島平物流センター	大和ハウス工業	高環境エンジニアリング	SRC	6	-	5276.7	31536.0	41.0	41.8	東京都板橋区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 低摩擦弾性すべり支承
697	MNNN - 3563	2008/11/13	ERI-J08038	(仮称)Dプロジェクト高島平物流センター	大和ハウス工業	大和ハウス工業	高強度PC	6	-		31536.04	41.0		東京都板橋区	天然ゴム・鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 低摩擦弾性すべり支承
698	MNNN - 3564	2008/10/30	JSSI-構評-08003	(仮称)遠田様免震マンション	スターツCAM	スターツCAM エスバス建築事務所	RC	8	0		2.795	24.22		埼玉県八潮市	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
699	MNNN - 3565	2008/11/20	JSSI-構評-08012	(仮称)植村様マンション	スターツCAM	スターツCAM ジェーエスディー	RC	6	-	540.1	2576.53	17.46	18.005	東京都江戸川区	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
700	MNNN - 3566	2008/11/20	JSSI-構評-08014	(仮称)瑞江區画整理プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	3	-	338.8	875.57	9.69	9.97	東京都江戸川区	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
701	MNNN - 3579	2008/10/31	GBRC建評-07-022B-004-01B(変4)	(仮称)本町1丁目ビル	竹中工務店	竹中工務店	耐震壁+S	14	1		10248.3	59.2		大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム 免震U型ダンパー オイルダンパー
702	MNNN - 3594	2008/11		(仮称)一番町計画(A館:(仮称)真澄寺東京別院)	大成建設	大成建設	S	8	2		7.370	36.89		東京都千代田区	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 転がり支承 オイルダンパー
703	MNNN - 3600	2008/11/28	JSSI-構評-08013	(仮称)山田様マンション	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	12	-	292.2	3204.15	37.993	37.993	愛知県名古屋市	鉛プラグ入り積層ゴム・ 回転機構付すべり支承
704	MNNN - 3611	2008/11/17		(仮称)宮崎市神宮東一丁目マンション	塩見設計	塩見設計	RC	19			13.025	57.51		宮城県宮崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
705	MNNN - 3626	2008/12/5	ERI-J08047-01	(仮称)ジャンゴアテックス㈱ 津工場	フジ総合企画設計・戸田建設	戸田建設	RC	6	-	2132.68	10018.38	27.8	31.7	三重県津市	積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
706	MNNN - 3628	2008/12/5		徳島県立中央病院			RC	9	-		約36,500			徳島県徳島市	オイルダンパー他
707	MNNN - 3649	2008/12/18	GBRC建評-08-022B-010	三井倉庫株式会社(仮称)茨木レコードセンター	清水建設	清水建設	RCSS	6	-		19,213	30.1		大阪府茨木市	高減衰・鉛プラグ入り天然ゴム オイルダンパー
708	MNNN - 3668	2008/12/22	JSSI-構評-08015	(仮称)東葛西8丁目須賀様ビル	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	219.3	1271.06	20.77	21.32	東京都江戸川区	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
709	MNNN - 3708	2009/2/5	ERI-J08052	(仮称)ラフィーネ松本本庄	峯生庵	構造フォルム	RC	14	-	682.1	7572.2	41.3	42.0	長野県松本市	高減衰積層ゴム
710	MNNN - 3709	2009/2/5		(仮称)三菱電機株中津川製作所 飯田PV第2工場	三菱地所設計(飯島設計)	三菱地所設計(飯島設計)	RC	4	-		23,970	29.0		長野県飯田市	積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
711	MNNN - 3722	2009/1/7	ERI-J08036-01	(仮称)芝大門ビル	野村不動産 戸田建設	野村不動産 戸田建設	S	11	2	1347.1	16315.6	46.7	54.6	東京都港区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
712	MNNN - 3728	2009/2/5	GBRC建評-08-022B-011	(仮称)大阪中崎町計画	三菱地所設計	竹中工務店	RC,S	13	0		10,293	41.9		大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
713	MNNN - 3736	2009/2/10	JSSI-構評-08017	(仮称)上宿師谷1丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 伸構造事務所	RC	4	-	289.3	997.2	11.69	12.33	東京都世田谷区	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
714	MNNN - 3737	2009/2/10	JSSI-構評-08019	(仮称)国領町5丁目杉崎様マンション	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	337.4	1184.1	14.4	14.895	東京都調布市	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
715	MNNN - 3741	2009/1/20		石塚金属興業草加工場再構築(1期)新A棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	4	-		6,003	18.9		埼玉県草加市	LRB 天然ゴム系積層ゴム
716	MNNN - 3744	2009/2/10	ERI-J08054	相模原キャンパス一般教育部新棟	日建設計事務所	鹿島建設	RC	7	-	2271.4	13437.7	31.8	32.9	神奈川県相模原市	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
717	MNNN - 3745	2009/2/10		(仮称)御殿山プロジェクトAブロック	日建設計 大成建設	大成建設	RC	9	1		63,935	37.5		東京都品川区	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
718	MNNN - 3763	2009/2/12	ERI-J08053	島根大学医学部附属病院病棟	岡田新一設計事務所	機軸構造設計	RC,S	9	0		17,366	35.40		島根県出雲市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 減衰こま
719	MNNN - 3764	2009/2/17	JSSI-構評-08018	(仮称)石神井台3丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ジェーエスディー	RC	5	-	614.5	2095.9	14.85	15.095	東京都練馬区	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
720	MNNN - 3776	2008/11/21	BCJ基評-IB077601	いの町立国民健康保険 仁淀病院	東畑建築事務所	東畑建築事務所	S	3	1		6,045	16.30		高知県吾川郡	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 転がりすべり支承 粘性ダンパー
721	MNNN - 3784	2009/2/23		(仮称)全日空観町計画	大成建設	大成建設	SRC	8	1		45,421			神奈川県川崎市	LRB
722	MNNN - 3797	2009/2/23		(仮称)御殿山Cブロック	大成建設	大成建設	地下SRC造、地上S造	6	2		20,000	37.0		東京都品川区	積層ゴム支承 弾性すべり支承
723	MNNN - 3800	2009/2/23	ERI-J08063	(仮称)深沢マンション	生和建設	酒井建築工学研究室	RC	10	-	132.8	1132.9	31.7	36.2	東京都品川区	高減衰積層ゴム
724	MNNN - 3801	2009/2/23		(仮称)NTT新高津ビル	NTTフジリテック	NTTフジリテック	RC	9	-		10,796	47.7		大阪府大阪市	積層ゴム 直動転がり支承
725	MNNN - 3827	2009/3/2		大塚製薬 徳島第十研究所		鹿島建設	SRC	5	-	2,462.41	10,337.65			徳島県徳島市	高減衰積層ゴム すべり支承
726	MNNN - 3833	2009/3/2	ERI-J08058	JA尾道総合病院	大塚連合建築設計	大塚連合建築設計	RC	8	-	9502.2	36718.8	39.1	42.1	広島県尾道市	高減衰積層ゴム

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )					延べ床面積(m <sup>2</sup> )
727	MNNN - 3835	2009/3/2	JSSI-構評-08020	(仮称)関口様高田駅前プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	6	-	1,483	18.9	神奈川県横浜市	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承		
728	MNNN - 3852	2009/3	GBRC建評-08-022B-012	福岡赤十字病院	日建設計	日建設計	S	8	0	6,243	32.8	福岡県福岡市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー		
729	MNNN - 3856	2009/3/9		(仮称)プレミス福岡		アーキプランナー級建築事務所	RC	17		6,433		静岡県静岡市	OD NRB LD SD		
730	MNNN - 3868	2009/3/9	JSSI-構評-08022	(仮称)松原様東品川二丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	10	0	1,503	31.1	東京都品川区	鉛プラグ入り積層ゴム		
731	MNNN - 3872	2009/3/9	UHEC評-構20034	足利赤十字病院	日建設計	日建設計	RC	9(橋棟) 4(中央診察・外来棟)	-	13,707	41.2	栃木県足利市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー		
732	MNNN - 3894	2009/3/24	BCJ基評-IB0785-01	株式会社銀行アルプスビルバックアップセンター	日建設計	日建設計	SRC RC	6	-	2050.0	10207.0	29.6	37.6	富山県富山市	鉛プラグ入り積層ゴム
733	MNNN - 3940	2009/5/7	JSSI-構評-08023	(仮称)中野様マンション	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	8	0	1,884	24.0	千葉県我孫子市	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承		
734	MNNN - 3960	2009/5/15	ERI-J08067	株式会社精工社KOC第2期	フジ総合企画設計	エス・エー・アイ構造設計事務所	RC	7	-	-	32.0	32.7	茨城県笠間市	高減衰積層ゴム オイルダンパー	
735	MNNN - 3961	2009/5/7	ERI-J08060	浜松市医師会館	竹下一級建築士事務所	飯島建築事務所	S SRC	7	1	923.7	5987.8	35.8	36.6	静岡県浜松市	高減衰ゴム系積層ゴム支承
736	MNNN - 3980	2009/5/7		(仮称)F1免震重要棟	東電設計 鹿島建設	東電設計 鹿島建設	SRC	2	0	3,671	12.0	福島県双葉郡	鉛入り積層ゴム 天然系積層ゴム 剛すべり支承 オイルダンパー		
737	MNNN - 3984	2009/4/9	ERI-J08057-01	(仮称)国際医療福祉大学三田病院	安井建築設計事務所	安井建築設計事務所	RC	11	2	3327.2	36728.4	46.9	53.2	東京都港区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
738	MNNN - 4027	2009/5/14	JSSI-構評-08026	シャリエ三島本町	東レ建設	東レ建設	RC	14	-	4,832		静岡県三島市	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 回転機構付すべり支承(BSL)		
739	MNNN - 4050	2009/5/7		(仮称)虎ノ門一丁目計画	日建設計	日建設計	S	12	2	10,155	54.00	東京都港区	鉛プラグ入り積層ゴム 鉛ダンパー		
740	MNNN - 4063	2009/5/15		(仮称)浜岡事務所館免震棟	中部電力 鹿島・中電不動産共同企業体	中部電力 鹿島・中電不動産共同企業体	SRC	4	-	1,587.75	6,134.53	19.25	22.85	静岡県御前崎市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 剛すべり支承 オイルダンパー
741	MNNN - 4069	2009/5/15	ERI-J08047-01	(仮)ジャパングアテックス 津工場	フジ総合企画設計 戸田建設	戸田建設	RC	6	-	2,132.7	10018.4	27.8	31.7	三重県津市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
742	MNNN - 4075	2009/5/15		インテックグループ高岡ビル		押田建築設計	S	5		約8,280		石川県高岡市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承		
743	MNNN - 4076	2009/5/15		中央合同庁舎第1号館北別館(耐震改修)	久米設計	久米設計	SRC	8	1	14,139		東京都千代田区	積層ゴム 直動転がり支承		
744	MNNN - 4077	2009/6/9		JR東海社員研修センター(仮称)	梓設計	梓設計	SRC	10		約45,000		静岡県三島市	LRB SL		
745	MNNN - 4106	2009/6/24	GBRC建評-09-022B-001	神戸市危機管理センター	日建設計	日建設計	S	9	1	1,132	42.1	兵庫県神戸市	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー		
746	MNNN - 4119	2009/6/24		川崎市立井田病院	山下設計	山下設計	RC	7	1	6600	32700			神奈川県川崎市	RRB OD
747	MNNN - 4139	2009/10/12	BCJ基評-IB0795-02	鳥羽警察署庁舎棟	三重県県土整備部営繕室 大建設計	三重県県土整備部営繕室 大建設計	RC	3	0	2,939	14.4	三重県鳥羽市	高減衰積層ゴム		
748	MNNN - 4151	2009/7/21		ファミール東灘魚崎館免震化工事計画		竹中工務店	RC	9	1	1,840.04	9,426.00			兵庫県神戸市	オイルダンパー
749	MNNN - 4168	2009/7/21	JSSI-構評-09001	(仮称)青木様玉川4丁目ビル	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	3	0	810	13.2	東京都世田谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承		
750	MNNN - 4182	2009/7/21	ERI-J08077	川崎幸病院 新築計画	山下設計	山下設計	RC	11		20,065	54.8	神奈川県川崎市	天然ゴム系積層ゴム LRB オイルダンパー 直動転がり支承		
751	MNNN - 4183	2009/7/21	UHEC評価-構21001	(仮称)市谷プロジェクト	芦原太郎建築事務所	織本構造設計	RC	9	1	529.0	3516.0	38.4	43.4	東京都新宿区	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 弾性すべり支承
752	MNNN - 4184	2009/7/21		高槻市消防本部庁舎		松田平田設計	RC	6	-	7,705		大阪府高槻市	NRB ESL		
753	MNNN - 4193	2010/1/13		(仮称)吹田市・南金田2丁目マンション計画	カンパソシエイツ	和建建築	RC	14		19		大阪府吹田市	SL		
754	MNNN - 4207	2009/7/2	BCJ基評-IB0780-02	気象庁清瀬庁舎(仮称)	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	RC	2	1	2028.4	5904.6	12.0	17.0	東京都清瀬市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
755	MNNN - 4210	2009/7/21	BCJ基評-IB0799-01	香美市新庁舎	日本設計	日本設計	RC	5	-	1326.7	6199.6	23.9	26.4	高知県香美市	天然ゴム系積層ゴム支承 鋼製U型ダンパー-体型天然ゴム系積層ゴム支承 すべり系支承 鉛ダンパー
756	MNNN - 4231	2009/7/30	ERI-J09003	横浜ベイサイドマリーナ2期地区(仮称)マリーナクラブリゾートホテル	LKA総合デザイン研究所	TIS&PARTNERS 免震エンジニアリング	RC	3	-	1501.3	2652.1	14.2	24.4	神奈川県横浜市	鉛入り積層ゴム すべり支承
757	MNNN - 4274	2009/9/8	ERI-J09006	(仮称)山田赤十字病院	日本設計 (協力)竹中工務店	日本設計	S RC	5	-	14797.6	52987.4	22.7	34.6	三重県伊勢市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
758	MNNN - 4278	2009/9	HP評-09-002	(仮称)花咲団地マンション建替え事業C棟	日建ハウジング	日建ハウジング	RC	11	-	2,560	30.6	神奈川県横浜市	鉛プラグ入り 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承		
759	MNNN - 4288	2009/9/25	ERI-J09009	精神医療センター(仮称)新館	昭和設計	昭和設計	RC	7	-	12845.0	55313.5	29.2	33.9	東京都世田谷区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
760	MNNN - 4289	2009/9/8	ERI-J09005	(仮称)八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部・八戸消防署	INA新建築研究所	酒井建築工学研究室	RC	5	-	1807.4	6482.5	21.4	22.0	青森県八戸市	天然積層ゴム
761	MNNN - 4354	2009/9/25		欧州連合(EU)駐日欧州委員会代表部建設プロジェクト	大成建設	大成建設	RC	6	1	10,296	22.00	東京都港区	積層ゴム支承 弾性すべり支承 オイルダンパー		
762	MNNN - 4359	2009/9/25	JSSI-構評-09003	三洋化成工業株式会社 本社本館 免震化計画	大日本土木	大日本土木	RC	5	1	5,938	21.8	京都府京都市	天然ゴム系積層ゴム 回転機構付すべり支承BSL		
763	MNNN - 4360	2009/8/12	JSSI-構評-08024	(仮称)八潮大野様マンション	スターツCAM	スターツCAM 伸構造事務所	RC	9	0	1,414	26.4	埼玉県八潮市	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承		

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	延べ床面積(m <sup>2</sup> )				軒高(m)	
764	MNNN - 4372	2009/9/25	ERI-J08078	(仮)豊田市中心保健センター(新東庁舎)	山下設計	山下設計	S,RC	8	2	24,702	38.2	愛知県豊田市	天然ゴム系積層ゴム LRB 鋼材ダンパー 弾性すべり支承		
765	MNNN - 4379	2009/10/28	JSSI-構評-09004	(仮称)小澤様本宿町2丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM	RC	10	0	2,891	29.6	東京都府中市	積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承		
766	MNNN - 4400	2009/10/7	HP評-09-004	(仮称)花咲団地マンション建替え事業A棟	日建ハウジング	日建ハウジング	RC	11	1	1,191	30.9	神奈川県横浜市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承		
767	MNNN - 4401	2009/10/7	HP評-09-005	(仮称)花咲団地マンション建替え事業B棟	日建ハウジング	日建ハウジング	RC	10	-	936	30.8	神奈川県横浜市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承		
768	MNNN - 4423	2009/10/26	ERI-J09014	(仮称)明治安田生命新東陽町ビル	竹中工務店	竹中工務店	S	12	1	96,241	55.0	東京都江東区	鉛プラグ挿入型積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー		
769	MNNN - 4432	2009/10/15	UHEC評価-構21009	慶應義塾大学(三田)新南校舎(仮称)	日建設計	日建設計	S SRC	7	1	2176.1	15042.1	32.9	37.5	東京都港区	天然ゴム系積層ゴム支承 弾塑性系減衰材
770	MNNN - 4444	2009/10/28	GBRC建評-09-022C-001	SPRC4PJ	竹中工務店	竹中工務店	SRC,RC	5	0	44,623				大阪府豊中市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
771	MNNN - 4450	2009/10/28	UHEC評価-構21014	(仮称)学校法人藤村学園12号館新築計画	雄建築事務所	雄建築事務所 福島構造設計事務所 高環境エンジニアリング	RC	6	-	1486.9	7869.0	27.5	28.8	東京都国立市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム 流体系ダンパー
772	MNNN - 4452	2009/10/28	ERI評-構J09019	(仮称)豊田画	フジタ	フジタ 高環境エンジニアリング	柱SRC+ 梁S	8		15,264	35.0			愛知県豊田市	天然ゴム系積層ゴム 鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承 粘性ダンパー
773	MNNN - 4453	2009/10/28	ERI-J09015	広尾3丁目計画	大林組	大林組	RC	3	2	1201.9	4561.2	9.2	9.8	東京都渋谷区	鉛入り積層ゴム 高減衰積層ゴム すべり支承
774	MNNN - 4454	2009/10/28	ERI-J09017	(仮称)株式会社ニチレイ・ロジスティクス関東 東原島物流センター	東亜建設工業	東亜建設工業 (協力 アール・エス・アイ、 ティール・アール・エー)	S PC	5	-	8371.9	36250.7	34.9	38.1	神奈川県川崎市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 積層ゴム支承一体型免震U型 ダンパー
775	MNNB - 4455	2009/11/6		(仮称)シティホール	隈研吾建築設計都市設計事務所	隈研吾建築設計都市設計事務所	RC+S	4	1	35,716	21.00			新潟県長岡市	すべり支承 オイルダンパー
776	MNNN - 4458	2009/10/28	JSSI-構評-09006	(仮称)等々力1丁目計画	本多図学建築デザイン事務所	ダイナミックデザイン	RC	5		2,577	14.5			東京都世田谷区	LRB NR BSL
777	MNNN - 4478	2009/10/15	BCJ基評-IB0777-03	(仮称)F2免震重要棟	東電設計	東電設計 清水建設	RC (一部 S,RC)	3	0	2,977	15.70			福島県双葉郡	LRB SL OD
778	MNNN - 4490	2009/11/30	ERI-J09024	(仮称)秋田町SA	四電ビジネス	四電ビジネス 酒井建築工学研究所	RC	8	-	440.4	2775.3	26.1	29.4	徳島県徳島市	高減衰積層ゴム
779	MNNN - 4492	2009/11/30	UHEC評価-構21017	(仮称)さめき市民病院	共同建築設計事務所	織本構造設計	S RC	4	-	5243.4	14884.8	18.9	21.0	香川県さぬき市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 転がり支承 減衰こま
780	MNNF - 4504	2009/11/30	UHEC評価-構21018	(仮称)中野プロジェクト 区域4	戸田建設	戸田建設	S	10	2	39,026	44.12			東京都中野区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
781	MNNN - 4510	2009/11/30	UHEC評価-構21016	(仮称)辻堂神台一丁目地区B-2街区計画	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	15	-	2169.3	11108.9	44.9	45.0	神奈川県藤沢市	天然ゴム系積層ゴム支承 すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
782	MNNN - 4556	2010/1/15		(仮称)あいおい損保成増ビル		大成建設	RC	10	-	8,246	46.73			東京都板橋区	NRB ESL
783	MNNN - 4580	2010/1/21	ERI-J09028	(仮称)船田マンション	大和ハウス工業	大和ハウス工業 構造計画研究所	RC	7	-	294.6	1833.8	20.9	21.4	東京都墨田区	鉛プラグ入り天然積層ゴム
784	MNNN - 4584	2009/12/18		(仮称)エンバイアコブ建替計画	大成建設	大成建設	RC	13	2	12,055	47.7			東京都新宿区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり
785	MNNN - 4601	2010/1/21	JSSI-構評-09008	(仮称)小林様免震MS	スターツCAM	スターツCAM 伸構造事務所	WRC	5	0	938	16.0			神奈川県川崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
786	MNNN - 4602	2010/1/21	JSSI-構評-09007	(仮称)品川区荏原5丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	6	0	1,283	17.1			東京都品川区	鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
787	MNNN - 4621	2010/1/28	UHEC評価-構21021	(仮称)東海大学伊勢原職員寮	大成建設	大成建設	RC	10	-	1329.7	8242.9	29.2	30.4	神奈川県伊勢原市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承
788	MNNN - 4624	2010/2/2	ERI-J09027	武蔵野大学有明キャンパス	大成建設	大成建設	RC	13	1	1822.2	17970.8	52.9	53.6	東京都江東区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
789	MNNN - 4632	2010/2/22	UHEC評価-構21029	(仮称)美竹ビルマンション建替事業施工 再建マンション	UG都市建築	小堀謙二研究所	RC	17	3	2036.4	27080.4	59.4	64.9	東京都渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 オイルダンパー
790	MNNN - 4651	2010/2/22		伊方発電所新事務所(仮称)			RC	7	-	約6,770	32.00			愛媛県西予郡	SL
791	MNNN - 4658	2010/2/24	ERI-J09033	新潟大学医学総合病院外来診療所	教育施設研究所	教育施設研究所	RC	6	1	11140.1	276877.7	35.3	35.9	新潟県新潟市	鉛入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
792	MNNN - 4665	2010/3/3		(仮称)帝京大学板橋キャンパス大学棟	山下設計 石本建築事務所	山下設計 石本建築事務所	S	10	有	92,304				東京都板橋区	NRB
793	MNNN - 4679	2010/3/3	ERI-J09030	公立高島総合病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所 エスバス建築事務所	RC	5	-	4080.5	13995.8	25.5	27.0	滋賀県高島市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承 直動レール式転がり支承
794	MNNN - 4683	2010/3/30	ERI-J09035	(仮称)南大塚女子学生会館	総研設計	総研設計	RC	9	-	325.6	2590.0	28.5	29.0	東京都豊島区	鉛入り積層ゴム
795	MNNN - 4705	2010/3/3	JSSI-構評-09011	(仮称)宇田川マンション	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	6	0	1,446	18.86			東京都江戸川区	LRB BSL
796	MNNN - 4707	2010/3/3	JSSI-構評-09012	(仮称)松浦様マンション	スターツCAM	スターツCAM	RC	5	-	152.5	730.3	15.5	16.5	東京都江戸川区	回転機構付すべり支承 復元ゴム
797	MNNN - 4738	2010/3/3	BCJ基評-IB0821-01	新三重県立博物館(仮称)	日本設計	日本設計	SRC	2	1	11,583	18.91			三重県津市	NRB SD LD
798	MNNN - 4778	2010/5/10		新中津市民病院	佐藤総合計画		RC	5	-	19,776	-			大分県中津市	NRB LRB ESL
799	MNNN - 4780	2010/4/23	BCJ基評-IB0820-01	甲府地方合同庁舎		三菱地所設計	RC	10	0	18,380	41.46			山梨県甲府市	
800	MNNN - 4795	2010/5/10		中笠塚本宅	三角屋	竹中工務店	WRC	2	1	1,657				愛知県半田市	SLR その他

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )				延べ床面積(m <sup>2</sup> )	軒高(m)
801	MNNN - 4803	2010/4/19	JSSI-構評-09010	中川様マンション	スターツCAM	スターツCAM	RC	3	0		689	9.68	東京都 江戸川区	LRB BSL	
802	MNNN - 4816	2010/5/10	JSSI-構評-09015	(仮称)小田嶋様免震マンション	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	6	0		1,758	18.21	東京都 足立区	LRB BSL	
803	MNNN - 4840	2010/3/30	BCJ基評-IB0786-02	(仮称)浜岡事務本館免震棟	中部電力 鹿島・中電不動産JV	中部電力 鹿島・中電不動産JV 小畑研二研究所	RC SRC	4	-	1587.8	6134.5	19.3	22.9	静岡県 御前崎市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 オイルダンパー
804	MNNN - 4841	2010/5/24	GBRC建評-09-022C-008	(仮称)京阪不動産西心斎橋ビル	日建設計	日建設計	S.SRC,R C	10	1		1,876	47.3	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム支承 オイルダンパー 鋼材ダンパー 鉛ダンパー	
805	MNNN - 4848	2010/6/22	ERI-J09042	那覇市新庁舎	国建	国建 構造計画研究所	RC	12	2	4964.9	38742.4	51.4	56.8	沖縄県 那覇市	鉛入り積層ゴム
806	MNNN - 4857	2010/5/28	JSSI-構評-09017	(仮称)静岡駅南口ホテル	レーモンド設計	ダイナミックデザイン	RC	13	-		5,321			静岡県 静岡市	BSL LRB
807	MNNN - 4858	2010/5/24	JSSI-構評-09016	(仮称)白子様緑が丘2丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM	RC	5	0		1,494	14.40		東京都 目黒区	LRB BSL
808	MNNN - 4905	2010/6	GBRC建評-10-022C-002	新佐賀県立病院好生館(仮称)病院棟	日建設計	日建設計	S.SRC,R C	9	0		11,931	35.0		佐賀県 佐賀市	天然ゴム系積層ゴム 鋼材ダンパー オイルダンパー
809	MNNN - 4929	2010/7/1	TBTC基評-2-2B-10001	第一生命相互五郎建設計画、相互館1105 ワー	清水建設	清水建設	CFT	12	3		24,420			東京都 中央区	LRB NRB OD
810	MNNN - 4948	2010/6/9	BCJ基評-IB0779-03	(仮称)F1免震重要棟	東電設計 鹿島建設	東電設計 鹿島建設	SRC (一部S)	3	0		3,601	10.67		福島県 双葉郡	NRB LRB SL OD
811	MNNN - 4962	2010/6/30	BCJ基評-IB0784-03	阿佐ヶ谷プロジェクト	杉浦英一建築設計事務所	構造計画研究所 清水建設	RC	3	-	255.0	506.4	8.9	9.0	東京都 杉並区	天然ゴム系積層ゴム支承 空気ばね スライダ ロッキング抑制付オイルダン パーシステム 水平方向オイルダンパー
812	MNNN - 4963	2010/6/30	BCJ基評-IB0810-02	(仮称)竹田総合病院2期	伊藤善三郎建築研究所	伊藤善三郎建築研究所	RC	11	-	5382.7	41588.6	46.3	47.0	福島県 会津若松市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
813	MNNN - 4986	2010/7/14	JSSI-構評-09014-1	(仮称)鈴木様桜巻4丁目免震プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	5	0		2,324	14.80		東京都 世田谷区	LRB BSL
814	MNNN - 4988	2010/7/30		介護老人保健施設(仮称)ケアセンター ベル 新築計画	NCU・高環境エンジニアリング	NCU・高環境エンジニアリング	RC	6	-		8,237			東京都 青梅市	NRB ESL
815	MNNN - 4990	2010/7/30	UHEC評価-構21043	新総合太田病院(仮称)	日建設計	日建設計	RC	7	-	8184.4	32761.2	29.5	36.6	群馬県 太田市	天然ゴム系積層ゴム支承 剛すべり支承 鋼製U型ダンパー
816	MNNN - 5035	2010/8/20	UHEC評価-構22005	(仮称)津田沼区面整理31街区プロジェ クト(C棟)	フジタ	フジタ	RC	20	-	787.1	13979.9	59.5	65.5	千葉県 習志野市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 弾性すべり支承
817	MNNN - 5036	2010/8/20	UHEC評価-構22006	(仮称)津田沼区面整理31街区プロジェ クト(D棟)	フジタ	フジタ	RC	17	-	947.2	11740.8	51.1	57.2	千葉県 習志野市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 弾性すべり支承
818	MFNB - 5050	2010/7/30	BCJ基評-IB0801-03	(仮称)大林組技術研究所新本館	大林組	大林組	S RC	3	-	3273.3	5526.4	13.7	18.5	東京都 清瀬市	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー アクチュエーター 剛性調整パネ トリガー機構
819	MNNN - 5064	2010/9/22	ERI-J10003	(仮称)南千里駅前公共施設整備事 業	大建設計	大建設計 奥村組	S (一部 SRC)	8	2		13,302	37.71		大阪府 吹田市	天然ゴム系積層ゴム 鉛入り積層ゴム
820	MNNN - 5074	2010/9/13	UHEC評価-構22003	(仮称)津田沼区面整理31街区プロジェ クト(A棟)	フジタ	フジタ	RC	20	-	1156.1	15379.2	59.5	65.5	千葉県 習志野市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 弾性すべり支承
821	MNNN - 5081	2010/9/22	ERI-J10010	徳島中央広域連合本部・東消防署庁舎	松田平田設計	松田平田設計	RC PC	3	-	920.2	2375.9	15.1	16.2	徳島県 吉野川市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 直動転がり支承
822	MNNN - 5083	2010/9/30	ERI-J10005	公立甲賀病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所 織本構造設計	RC	5	-	8088.5	29103.0	20.6	21.6	滋賀県 甲賀市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 転がり支承 減衰こま
823	MNNN - 5103	2010/9/2		メディアセオ名古屋ALC(仮称)	Okamoto総合建築事務所	大林組	S	4	-		24,617			愛知県 清須市	天然ゴム系積層ゴム
824	MNNN - 5115	2010/8/24	ERI-J0905	社会医療法人 泉和会 千代田病院	伊藤善三郎建築研究所	伊藤善三郎建築研究所	RC	6	-		16,708	27.74		宮城県 日向市	NRB DNR SL OD
825	MNNN - 5121	2010/10/12	BCJ基評-IB0832-01	帝京平成大学中野キャンパス新築計画	日本設計	日本設計	RC (一部S)	12	1		62,290	50.52		東京都 中野区	SnRB(鉛プラグ入り積層ゴム) RB(積層ゴム) 鋼製U型ダンパー—体型RB 剛すべり支承 直動転がり支承
826	MNNN - 5128	2010/3/3	JSSI-構評-09009-1	(仮称)西脇様マンション	スターツCAM	スターツCAM 日本システム設計	RC	6	0		1,743	18.51		千葉県 浦安市	LRB BSL
827	MNNN - 5132	2010/10/29	ERI-J10011	県立淡路病院	安井建築設計事務所	安井建築設計事務所	PCaPaS (一部S)	8	-	11165.1	34967.7	32.0	40.6	兵庫県 洲本市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム支承 直動転がり支承
828	MNNN - 5179	2010/11/4	JSSI-構評-10004	(仮称)アリアソフプレミアム日吉	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	6	0		2,040	17.90		神奈川県 横浜市区	LRB BSL
829	MNNN - 5192	2010/11/4	JSSI-構評-10002	(仮称)中山様免震マンション	スターツCAM	スターツCAM 伸構造事務所	RC	9	0		2,550	26.89		千葉県 流山市	LRB BSL
830	MNNN - 5193	2010/11/4	JSSI-構評-10005	(仮称)上原様高松1丁目計画	スターツCAM	スターツCAM 構造フォルム	RC	5	0		1,244	14.35		東京都 練馬区	LRB BSL
831	MNNN - 5196	2010/11/11	ERI-J10017	(仮称)南葛西4丁目プロジェクト	高松建設	高松建設 総研設計	RC	10	-	393.1	2094.9	28.8	29.2	東京都 江戸川区	高減衰ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 剛すべり支承 鉛ダンパー
832	MNNN - 5207	2010/11/16	ERI-J10004	下越病院本体棟【付属棟】	堤建築設計事務所	堤建築研究所 免震エンジニアリング	S RC	6	-	5514.9	17233.7	24.6	30.1	新潟県 新潟市	鉛入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
833	MNNN - 5211	2010/11/15	BCJ基評-IB0840-01	藤沢病院新病棟	建築一室	織本構造設計	RC	6	0		7,981	25.50		神奈川県 藤沢市	LRB NRB ESL OD
834	MNNN - 5217	2010/11/19	JSSI-構評-10008	社会福祉法人 兼愛会 (仮称)特別養 護老人ホームしょうじゅの里鶴見	新環境設計	ダイナミックデザイン	RC	4	-		5,819			神奈川県 横浜市区	BSL LRB
835	MNNN - 5226	2010/11/25	JSSI-構評-10006	(仮称)アリアソフ・プレミアム八潮	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	5	0		1,693	15.60		埼玉県 八潮市	LRB BSL
836	MNNN - 5227	2010/9/16	JSSI-構評-10007	(仮称)西瑞江5丁目澤井様マンション	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	8	0		1,408	24.82		東京都 江戸川区	LRB BSL

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ (m)	建設地 (市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)				延べ床面積 (㎡)	
837	MNNN - 5240	2010/11/30	ERI-J10019	(仮称)デコス呉工場新C棟	大林組	大林組	S	7	0	15,325	27.30	広島県 呉市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー		
838	MNNN - 5251	2010/11/19	GBRC建評-10-022C-005	日本原子力発電(株)敦賀発電所 緊急 時対策室建屋新設工事計画	竹中工務店	竹中工務店	RC	3	0	1,102	12.00	福井県 敦賀市	NRB LRB OD		
839	MNNN - 5254	2010/12/16	HR評-10-005	(仮称)新豊洲センタービル	清水建設 東電設計	清水建設 東電設計	CFT	11	0	41,200	44.71	東京都 江東区	LRB NRB OD		
840	MNNN - 5256	2010/12/13	ERI-J10020	千葉労災病院	岡田新一設計事務所	織本構造設計	RC	7	-	3556.9	19330.5	30.1	41.4	千葉県 市原市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 オイルダンパー
841	MNNN - 5263	2010/12/1	ERI-J10023	ウイングルート	生和コーポレーション	酒井建築工学研究室 カラム建築構造事務所	RC	10	1	322.0	1717.8	36.2	37.2	神奈川県 川崎市	高減衰ゴム系積層ゴム
842	MNNN - 5286	2010/11/18	ERI-J09043-01	伊東市新病院	大建設	大建設	RC	5	-	6262.9	20350.9	20.4	27.9	静岡県 伊東市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承
843	MNNN - 5303	2011/1/14	ERI-J10024	社会保険山梨病院新病院建設計画	松田平田設計	松田平田設計	RC	6	1	3083.8	13032.6	23.7	29.7	山梨県 甲府市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
844	MFNN - 5304	2010/12/28	BCJ基評-1B0841-01	甲府市新庁舎	日本設計・竜巳一級建築士事 務所・山形一級建築士事務 所・進藤設計事務所・馬場設 計JV	日本設計・竜巳一級建築士事 務所・山形一級建築士事務 所・進藤設計事務所・馬場設 計JV	地上:S 地下:RC	10	1	28,120	48.95			山梨県 甲府市	
845	MNNN - 5326	2011/1/25	UHEC評価-構22023	(仮称)高知電気ビル本館建替計画	大成建設	大成建設	RC	8	1	1086.7	8518.3	32.0	36.0	高知県 高知市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
846	MNNN - 5328	2011/1/25	ERI-J10032	(仮称)針ヶ谷ビル計画	大栄建築事務所 鹿島建設	鹿島建設	RC	5	-	1990.5	7925.9	24.9	26.0	埼玉県 さいたま市	高減衰ゴム系積層ゴム
847	MNNN - 5351	2010/12/22	BVJ-BA10-011	TOKAI富士横割マンション	日本国土開発	日本国土開発	RC	14	0	5,505	42.32			静岡県 富士市	LRB ESL
848	MNNN - 5369	2011/1/7	BCJ基評-1B0634-01	市立根室病院	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	4	1	3470.4	13280.8	22.8	28.1	北海道 根室市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 直動転がり支承
849	MNNN - 5373	2011/2/8	ERI-J10035	(仮称)下田メディカルセンター	戸田建設	戸田建設	RC	4	-	3770.2	8613.7	17.7	18.1	静岡県 下田市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
850	MNNN - 5386	2011/2/25	BCJ基評-HR0639-01	医療法人社団 誠徳会 新東京新病院計 画	清水建設	清水建設	RC	7	-	5097.2	24808.8	29.8	34.3	千葉県 松戸市	高減衰ゴム系積層ゴム
851	MNNN - 5388	2011/2/15	BCJ基評-1B0638-01	浦河赤十字病院	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	7	-	3918.7	15827.9	28.6	33.6	北海道 浦河町	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承 弾塑性系減衰材 オイルダンパー
852	MNNN - 5394	2011/2/22	UHEC評価-構22029	(仮称)川崎市小田栄計画 A棟	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	RC	19	-	1778.6	25412.9	56.6	57.1	神奈川県 川崎市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 弾性すべり支承 オイルダンパー
853	MNNN - 5395	2011/2/22	UHEC評価-構22030	(仮称)川崎市小田栄計画 B棟	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	RC	19	-	983.0	14326.1	56.6	57.1	神奈川県 川崎市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 弾性すべり支承 オイルダンパー
854	MNNN - 5396	2011/3/7	ERI-J10036	藤田保健衛生大学病院放射線棟	竹中工務店 名古屋一級建築士事務所	竹中工務店 名古屋一級建築士事務所	RC (一部S)	6	1	1357.9	8636.9	26.5	31.0	愛知県 豊明市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然積層ゴム オイルダンパー
855	MNNN - 5402	2010/12	GBRC建評-10-022C-006	福岡大学筑紫病院新病院	日建設計	日建設計	RC,S,SR C	9	0	3,890	44.0			福岡県 筑紫野市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
856	MNNN - 5431	2010/12/24	BCJ基評-HR0645-01	豊岡市現本庁舎	日本設計	日本設計	RC	3	0	1,579	16.96			兵庫県 豊岡市	NRB RRB SD LD OD
857	MNNN - 5513	2011/1/27	ERI-J10045	WAZAC函館五稜郭ミヤビ計画	中山建築デザイン研究所	遺失設計	RC	18	-	819.8	12179.8	58.0	59.5	北海道 函館市	鉛入り積層ゴム すべり支承
858	MNNN - 5535	2011/4/28	ERI-J10049	大阪府警察学校	三菱地所設計 清水建設	三菱地所設計 清水建設	RC S	4	-	15125.7	41103.6	18.1	21.8	大阪府 泉南郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
859	MNNN - 5605	2011/6/14	ERI-J10067	(仮称)新順心病院	昭和設計 鹿島建設	昭和設計 鹿島建設	RC	6	-	2336.9	9767.2	28.1	28.8	兵庫県 加古川市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
860	MNNN - 5607	2011/6/13	ERI-J10056	(仮称)掛川市・袋井市新病院	久米設計	久米設計	RC S	8	-	11713.4	43545.5	36.6	38.9	静岡県 掛川市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承 十字型転がり支承 I型鋼材ダンパー オイルダンパー
861	MNNN - 5620	2011/6/13	UHEC評価-構22042	つがる西北五広域連合中核病院	横河建築設計事務所	織本構造設計	RC	10	-	6198.3	36831.9	45.2	45.7	青森県 五所川原市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー 弾性すべり支承
862	MNNN - 5629	2011/6/17	ERI-J10075	(仮称)泉一丁目計画Ⅱ	三井住友建設	三井住友建設	RC (一部S)	18	-	337.6	5176.5	57.0	62.1	愛知県 名古屋市中	高減衰ゴム系積層ゴム支承 すべり支承
863	MNNN - 5639	2011/6/20	ERI-J10065	仙台市立病院	山下設計	山下設計	RC	11	1	6322.4	52353.9	54.6	55.3	宮城県 仙台市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承
864	MNNN - 5654	2011/5/31	ERI-J10028-01	(仮称)南多摩病院救急医療センター計 画	アトリエ9建築研究所	織本構造設計	RC (一部 S、SRC)	8	1	1095.9	6623.1	32.4	33.3	東京都 八王子市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
865	MNNN - 5662	2011/6/30	ERI-J10073	聖隷浜松病院	LAU公共施設研究所 公共設計	飯島建築事務所 竹中工務店	RC	10	2	2968.5	22984.9	37.7	38.3	静岡県 浜松市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承 弾性すべり支承 直動転がり支承 オイルダンパー
866	MNNN - 5704	2011/7/22	ERI-J11077	(仮称)新 大阪晩陽館病院	フジタ	フジタ	RC S	11	-	2691.2	22663.6	44.5	49.5	大阪府 大阪市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
867	MNNN - 5902	2011/10/3	BCJ基評-HR0649-02	安田倉庫加須第二営業所増築棟(第1 期)	大成建設	大成建設	RC	5	-	2310.5	10243.5	30.1	30.6	埼玉県 加須市	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承
868	MNNN - 5951	2011/10/28	ERI-J11019	岐阜県立下呂温泉病院	安井・熊谷設計	安井建築設計事務所	RC (一部S)	6	-	6694.4	19594.0	26.1	26.4	岐阜県 下呂市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 オイルダンパー
869	MNNN - 5968	2011/10/28	BCJ基評-ID0783-02	新潟美咲合同庁舎2号館	日建設計	日建設計	RC	10	-	2169.4	20444.3	44.2	49.3	新潟県 新潟市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
870	MNNN - 6021	2011/12/27	ERI-J11027	(仮称)Dプロジェクト新子安	大和ハウス工業	大和ハウス工業 NCU	PCaPC RC	5	-	7490.6	27361.5	33.2	33.7	神奈川県 横浜市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付きすべり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )					延べ床面積(m <sup>2</sup> )
871	MNNN - 6039	2011/12/27	ERI-J11028	大崎市民病院	久米設計 戸田建設 大建設	久米設計 戸田建設 大建設	RC	9	-	9027.0	43447.8	41.9	46.4	宮城県 大崎市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 剛すべり支承 オイルダンパー
872	MNNN - 6069	2012/1/6	ERI-J11020	JA松本市本社社屋	滋場建築設計事務所 齋藤デザイン室	ちの設計 みつる	RC	5	-	439.5	1884.8	24.2	24.7	長野県 松本市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
873	MNNN - 6105	2012/1/20	ERI-J11035	川金ホールディングス本社ビル	戸田建設	戸田建設	RC	5	-	255.7	1258.5	20.0	20.7	埼玉県 川口市	天然積層ゴム 剛すべり支承 オイルダンパー
874	MNNN - 6146	2012/2/23	ERI-J11039	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 新病院	伊藤喜三郎建築研究所・竹中工務店設計共同企業体	伊藤喜三郎建築研究所・竹中工務店設計共同企業体	RC	7	-	3699.6	16044.7	30.4	31.0	石川県 七尾市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
875	MNNN - 6149	2012/2/8	BCJ基評-HR0686-01	(仮称)赤坂氷川町計画	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	11	1	361.1	2952.5	37.1	40.2	東京都 港区	鉛プラグ入り積層ゴム
876	MNNN - 6175	2012/2/14	ERI-J11037	板橋区本庁舎南館	山下設計	山下設計	RC PC S	7	1	2134.8	13375.0	30.2	30.8	東京都 板橋区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然積層ゴム オイルダンパー
877	MNNN - 6194	2012/2/23	ERI-J11051	(仮称)板橋区仲宿サービス付き高齢者向け住宅	積水ハウス	エスバス建築事務所	RC	11	-	277.5	2482.0	35.5	36.0	東京都 板橋区	高減衰ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 直動転がり支承
878	MNNN - 6238	2012/3/12	ERI-J11046	東千葉メディカルセンター(地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター)	久米設計	久米設計	S SRC	7	1	8128.0	27870.8	32.7	36.8	千葉県 東金市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 オイルダンパー U型鋼材ダンパー
879	MNNN - 6336	2012/3/29	BCJ基評-IB0613-02	志村総合庁舎	山下テクノス	ジャスト 免震エンジニアリング	SRC (一部S)	5	-	838.6	4101.7	26.6	28.6	東京都 板橋区	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
880	MNNN - 6410	2012/6/5	BCJ基評-HR0710-01	横浜市衛生研究所	伊藤喜三郎建築研究所	伊藤喜三郎建築研究所 織本構造設計	RC (一部 PC)	7	-	1356.7	7653.8	30.0	35.5	神奈川県 横浜市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
881	MNNN - 6437	2012/6/18	ERI-J11076	(仮称)二子玉川第一スカイハイツ建替事業	スペーステック	東急建設	RC	17	1	982.5	9954.4	52.5	57.8	東京都 世田谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
882	MNNN - 6877	2012/11/16	BCJ基評-HR0708-03	(仮称)三郷市新三郷らんシティ2丁目計画	三井住友建設	三井住友建設	RC	19	-	1871.4	21851.3	59.7	65.1	埼玉県 三郷市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパー

超高層免震建物一覧表

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要					建設地 (市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)			軒高 (m)	最高高 さ(m)
1	HNNN - 0026	2000/10/25	BCJ基評-HR0016	(仮称)MM21 39街区マンション計画 A棟	三菱地所	三菱地所 前田建設工業	RC	30	-		32136.5	99.8	99.9	神奈川県 横浜市	天然ゴム 鋼棒ダンパー 鉛ダンパー
2	HNNN - 0026	2000/10/25	BCJ基評-HR0016	(仮称)MM21 39街区マンション計画 B棟	三菱地所	三菱地所 前田建設工業	RC	30	-	7957.6	32185.0	99.8	99.9	神奈川県 横浜市	同上
3	HNNN - 0026	2000/10/25	BCJ基評-HR0016	(仮称)MM21 39街区マンション計画 C棟	三菱地所	三菱地所 前田建設工業	RC	30	-		32253.8	99.8	99.9	神奈川県 横浜市	同上
4	HFNB - 0030	2000/10/30	BCJ基評-HR0015	(仮称)日本工業倶楽部会館・永楽ビルディング新築工事	三菱地所	三菱地所	S	30	4	4951.9	110103.6	141.4	148.1	東京都 千代田区	天然ゴム LRB
5	HNNN - 0057	2000/11/20	BCJ基評-HR0034	(仮称)アイビーハイムイーストタワー新築工事	奥村組	奥村組	RC	20	-	1462.7	9313.2	64.2	68.9	北海道 札幌市	LRB 天然ゴム
6	HNNN - 0058	2000/11/20	BCJ基評-HR0035	(仮称)アイビーハイムウエストタワー新築工事	奥村組	奥村組	RC	20	-	1473.1	9313.4	64.2	68.9	北海道 札幌市	LRB 天然ゴム
7	HNNN - 0064	2000/12/7	BCJ基評-HR0036	(仮称)Rプロジェクト C・D棟増築工事 C棟	菅原賢二設計スタジオ	T・R・A	RC	31	-	1382.5	25090.2	100.0	108.5	大阪府 大阪市	天然ゴム すべり支承
8	HNNN - 0064	2000/12/7	BCJ基評-HR0036	(仮称)Rプロジェクト C・D棟増築工事 D棟	菅原賢二設計スタジオ	T・R・A	RC	35	-	1337.2	29709.1	114.2	122.7	大阪府 大阪市	天然ゴム すべり支承
9	HNNN - 83	2001/1/5	GBRC建評-00-11B-03	(仮称)北花田グランアヴェニュー6号棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	26	-	2295.2	15496.4	78.8	84.8	大阪府 堺市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 鋼棒ダンパー
10	HNNN - 0085	2001/1/5	BCJ基評-HR0051	(仮称)船橋本町Project	ティーエムアイ	フジタ	RC	23	1	610.0	9977.2	69.1	74.3	千葉県 船橋市	天然ゴム LRB
11	HNNN - 0101	2002/2/2	BCJ基評-HR0054	(仮称)相模原橋本地区分譲 共同住宅(B棟)新築工事	竹中工務店	竹中工務店	RC	32	-	1024.9	26916.1	99.5	104.3	神奈川県 相模原市	天然ゴム 滑り支承
12	HNNN - 0101	2002/2/2	BCJ基評-HR0054	(仮称)相模原橋本地区分譲 共同住宅(C棟)新築工事	竹中工務店	竹中工務店	RC	32	-	1024.9	26630.4	99.5	104.3	神奈川県 相模原市	天然ゴム 滑り支承
13	HNNN - 103	2001/2/22	GBRC建評-00-11B-04	京阪くずはEブロック集合住宅A棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	24	-	7103.8	12028.4	72.7	76.4	大阪府 枚方市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 鋼棒ダンパー
14	HNNN - 105	2001/2/22	GBRC建評-00-11B-05	京阪くずはEブロック集合住宅T棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	42	1	7103.8	32719.7	133.3	136.8	大阪府 枚方市	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー オイルダンパー
15	HFNN - 0120	2001/2/16	BCJ基評-HR0046	(仮称)藤和神楽坂5丁目マンション新築工事	フジタ	フジタ	RC	26	1	1829.0	30474.5	82.9	89.0	東京都 新宿区	天然ゴム LRB
16	HNNN - 0134	2001/5/29	BCJ基評-HR0047	(仮称)西五軒町再開発計画 住居棟	芦原太郎建築事務所	織本匠構造設計事務所 住友建設	RC	24	2	1066.9	22365.9	75.3	81.0	東京都 新宿区	LRB 直動転がり支承(CLB) 増幅機構付減衰装置(RDT)
17	HNNN - 0138	2001/3/13	BCJ基評-HR0056-01	(仮称)横浜金港町マンション	東海興業 飯島建築設計事務所	東海興業 飯島建築設計事務所	RC	21	1	1383.1	20508.6	65.8	71.3	神奈川県 横浜市	高減衰 オイルダンパー
18	HNNN - 0145	2001/3/28	BCJ基評-HR0078	(仮称)ガーデンヒルズ三河安城タワー	名倉設計	間組	RC	20	-	711.5	9700.0	60.5	66.3	愛知県 安城市	天然ゴム 鋼棒ダンパー 鉛ダンパー
19	HNNN - 0159	2001/4/5	BCJ基評-HR0084	(仮称)東神奈川駅前ハイタワー	山下設計	山下設計	SRC	19	1	1960.9	19675.3	70.5	76.3	神奈川県 横浜市	天然ゴム 鉛ダンパー オイルダンパー
20	HFNN - 0174	2001/4/19	BCJ基評-HR0080	ライオンズタワー仙台台広瀬	INA新建築研究所東北支店	INA新建築研究所 大成建設	RC	32	1	1949.1	47053.5	99.3	109.9	宮城県 仙台市	弾性すべり支承 天然ゴム
21	HNNN - 0198	2001/5/29	BCJ基評-HR0109	日本メナード化粧品本社ビル	大成建設	大成建設	SRC	14		806.4	9550.3	63.4	67.4	愛知県名 古屋市	天然ゴム 弾性すべり支承
22	HFNN - 0219	2001/6/15	BCJ基評-HR0050	(仮称)香春口三萩野地区 F1/ホルボートハウジング事業	内藤 梓 竹中設計	内藤 梓 竹中設計	RC	27	1	3205.3	31527.6	88.8	96.7	福岡県 北九州市	天然ゴム LRB 滑り支承
23	HFNN - 235	2001/6/26	BCJ基評-HR0107	(仮称)東池袋2-38計画	大成建設	大成建設	RC	26	2	1016.0	18367.2	88.4	93.0	東京都 豊島区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
24	HFNB - 0248	2001/7/9	BCJ基評-HR0079	シンボルタワー(仮称) (免震は低層棟)	シンボルタワー設計共同企業 体	シンボルタワー設計共同企業 体	RC	7	2		1087.5			香川県 高松市	LRB 天然ゴム 弾性すべり支承
25	HFNN - 0269	2001/8/8	BCJ基評-HR0041	(仮称)大井一丁目ビル新築工事	熊谷組	熊谷組	SRC	14	2	3684.1	28177.4	62.2	72.0	東京都 品川区	天然ゴム LRB
26	HNNN - 276	2001/8/23	BCJ基評-HR0118	相模原橋本地区分譲共同住宅(D棟)	竹中工務店	竹中工務店	RC	24	-	10349.4	24036.1	76.7	81.7	神奈川県 相模原市	積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 滑り支承
27	HFNN - 0281	2001/8/21	BCJ基評-HR0119	紅谷町九番地区優良建築物等整備事業 施設建物	安宅設計	安宅設計 フジタ	RC	22	1	982.38	14508	69.89	74.89	神奈川県 平塚市	鉛入り積層ゴム 積層ゴム
28	HNNN - 0331	2001/11/7	BCJ基評-HR0028-01	(仮称)新杉田駅前地区市街地再開発	松田平田・シグマ建築企画設計 共同事業体	松田平田・シグマ建築企画設計 共同事業体	RC	30	1	2019.8	37328.7	65.7	105.5	神奈川県 横浜市	天然ゴム LRB オイルダンパー
29	HNNN - 0344	2001/11/28	BCJ基評-HR0144-01	(仮称)大田区蒲田4丁目計画	三井建設	三井建設	RC	23	1	1141.4	17336.8	73.6	78.1	東京都 大田区	LRB オイルダンパー
30	HNNN - 348	2001/12/21	GBRC建評-01-11B-013	関西医科大学枚方新病院	竹中工務店	竹中工務店	RC	13	1	9469.0	71318.0	60.2	70.5	大阪府 枚方市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
31	HNNN - 350	2001/12/21	GBRC建評-01-11B-014	(仮称)大拓メン吉野	竹中工務店	竹中工務店	RC	27	-	1004.7	14765.5	85.4	86.0	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛入り積層ゴム オイルダンパー
32	HFNN - 370	2002/1/18	BCJ基評-HR0046-02	(仮称)藤和神楽坂5丁目マンション	フジタ	フジタ	RC	26	1	1829.0	30474.5	82.9	89.0	東京都 新宿区	鉛入り積層ゴム 積層ゴム
33	HNNN - 397	2002/2/8	BCJ基評-HR0158	(仮称)小田急海老名分譲マンションB街区	鹿島建設 小田急建設	鹿島建設 小田急建設	RC	22	1		20530.0			神奈川県 海老名市	鉛プラグ入り積層ゴム
34	HNNN - 398	2002/2/8	BCJ基評-HR0159	(仮称)小田急海老名分譲マンションC街区	鹿島建設 小田急建設	鹿島建設 小田急建設	RC	23	1		14857.0			神奈川県 海老名市	鉛プラグ入り積層ゴム
35	HFNN - 0408	2002/2/26	BCJ基評-HR0161-01	(仮称)プレステ加茂タワー	ノム建築設計室	T・R・A 太平工業 エスバス建築事務所	RC	20		2607.2	18576.9	62.6	68.7	京都府 相楽郡	天然ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー
36	HFNN - 0417	2002/2/26	BCJ基評-HR0130-02	(仮称)恵比寿1丁目共同ビル	東急設計コンサルタント	新井組	S SRC	18	1	1640.0	28260.1	75.9	85.4	東京都 渋谷区	天然ゴム LRB キ型直動転がり支承
37	HNNN - 419	2002/3/6	ER-評第 01002号	(仮称)ティエグラフォート横浜	戸田建設	戸田建設	RC	21	-	902.2	13702.7	71.4	76.4	神奈川県 横浜市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
38	HFNB - 0436	2002/3/6		(仮称)汐留住友ビル開発計画	日建設計	日建設計	S.SRC RC	27	3		99.400	128.10		東京都 港区	

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要					建設地 (市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)			軒高 (m)	最高高さ (m)
39	HFNN - 437	2002/3/6	BCJ基評- HR0157-01	(仮称)品川駅東口B-4地区計画	大成建設	大成建設	S	19	1	2701.0	39933.0	91.1	92.1	東京都品川区	天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承
40	HNNN - 0446	200/4/5	BCJ基評- HR0170	(仮称)品川区西五反田三丁目集合住宅	東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	RC	23		880.0	13835.0	69.4	75.4	東京都品川区	LRB 転がり支承
41	HFNN - 0509	2002/7/3	BCJ基評- HR0190	パナダイ新本社ビル	大成建設	大成建設	S	14		934.3	13430.0	64.0	64.0	東京都台東区	高減衰 直動転がり支承
42	HNNN - 541	2002/8/22	ERI-評第 02011号	(仮称)幕張ベイタウンSH-3④街区新築工事 (B棟)	UG都市建築 隈研吾建築都市設計事務所	フジタ	RC	22	-	1058.0	15520.3	69.2	73.8	千葉県千葉市	鉛入り積層ゴム
43	HNNN - 554	2002/10/25	GBRC建評- 02-11B-006	(仮称)グランドメゾン大手通一丁目	日建ハウジングシステム 日建設計	日建設計	RC	25	-	873.1	15375.9	81.2	89.5	大阪府大阪市	積層ゴムアイソレータ 転がり支承 オイルダンパー
44	HNNN - 568	2002/10/9	ERI-H02011	シエールタワー小倉	竹中工務店	竹中工務店	RC	33	1	836.5	20786.8	115.7	124.8	福岡県北九州市	天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承 鋼製U型ダンパー
45	HFNN - 0586	2002/10/9	BCJ基評- HR0132-02	(仮称)新宿7丁目計画 住宅棟	フジタ	フジタ	RC	29	1	1172.6	15314.2	89.8	95.1	東京都新宿区	LRB 滑り支承
46	HNNN - 587	2002/11/7	GBRC建評- 02-11B-011	(仮称)ルネJR尼崎駅前	近藤剛生建築設計事務所	アーク 前田建設工業	RC	27	-	3093.2	27730.7	84.3	88.5	兵庫県尼崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鋼棒ダンパー 弾性すべり支承
47	HNNN - 0596	2002/12/5	BCJ基評- HR0201-1	(仮称)品川区平塚3丁目マンション計画	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	24		1161.5	12097.6	71.2	77.9	東京都品川区	天然ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
48	HNNN - 0601	2002/11/7	BCJ基評- HR0208-1	山之口A地区第一種市街地再開発事業	間組	間組	RC	20		1709.8	25498.0	60.3	61.0	大阪府堺市	天然ゴム 高減衰 弾性すべり支承 オイルダンパー
49	HFNN - 0612	2002/11/29	BCJ基評- HR0206-01	(仮称)天王洲計画	日本設計	日本設計	RC	23	1	759.5	12548.4	77.2	81.7	東京都品川区	LRB
50	HFNN - 0621	2002/12/18	BCJ基評- HR0203-01	ひぐらしの里西地区第一種市街地再開発事 業施設建築物	日本設計	日本設計	RC	25	3	1235.1	22618.7	86.9	94.0	東京都荒川区	天然ゴム LRB
51	HNNN - 0639	2002/12/26	GBRC-02- 11B-013	(仮称)ディーグラフォート神戸三宮	竹中工務店	竹中工務店	SRC	43	-	1926.6	40,654	144.6	152.0	兵庫県神戸市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
52	HNNB - 641	2002/12/25	BCJ基評- HR0013	神保町一丁目南部地区第一種市街地再開発 事業棟棟	山下設計	山下設計	S	23	3	4149.6	88647.2	97.0	108.3	東京都千代田区	天然ゴム 鉛ダンパー
53	HFNN - 0644	2003/1/28	BCJ基評- HR0165-02	(仮称)麹町1丁目再開発ビル計画	日建設計	日建設計	S	15	2	1535.6	23879.9	67.1	67.6	東京都千代田区	天然ゴム 鉛ダンパー
54	HNNN - 0658	2003/1/27	BCJ基評- HR0220-01	信濃毎日新聞社本社ビル	日建設計	日建設計	S	12		1593.0	16453.0	60.4	61.0	長野県長野市	天然ゴム 一体型免震U型ダンパー 鉛ダンパー
55	HNNN - 0680	2003/2/28	BCJ基評- HR0222-01	東海大学医学部付属新病院	戸田建設	戸田建設	RC	14	1	9209.2	69142.2	74.3	75.2	神奈川県伊勢原市	天然ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
56	HFNN - 0710	2003/5/14	BCJ基評- HR0227-01	東京工業大学(すずかけ台)総合研究棟	東京工業大学 施設部 松田平田設計	東京工業大学 施設部 松田平田設計	S RC	20		1742.2	15746.3	85.3	94.9	神奈川県横浜市	天然ゴム 一体型免震U型ダンパー オイルダンパー 鋼材ダンパー
57	HNNN - 0714	2003/4/17	BCJ基評- HR0225-01	川口1丁目1番第一種市街地再開発事業分 譲住宅棟	エイアンドティ建築研究所	T・R・A	RC	34		9898.6	91801.8	111.9	113.6	埼玉県川口市	天然ゴム LRB
58	HFNN - 0730	2003/5/14	BCJ基評- HR231-01	三島本町地区優良建築物建設工事 高層棟	ポリテック・エイティディ	ポリテック・エイティディ	RC	21	1	2993.0	32058.3	79.5	89.1	静岡県三島市	LRB
59	HFNN - 0747	2003/5/23	GBRC建評- 03-11B-004	海岸通・エレガノ神戸における超高層建築 物	竹中工務店	竹中工務店	RC	25	1	1728	17,552	83.89	88.29	兵庫県神戸市	FR SSB 鋼製U型ダンパー
60	HFNN - 0770	2003/6/30	BCJ基評- HR238-01	(仮称)スターズ新浦安ホテル	日本設計	日本設計	RC	24		4352.0	28525.1	86.0	87.6	千葉県浦安市	天然ゴム すべり支承 転がり支承 オイルダンパー
61	HNNN - 772	2003/6/30	ERI-H03007	(仮称)大森プロジェクトA棟	東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	RC	25	2	2101.4	34939.9	78.4	78.9	東京都大田区	鉛プラグ挿入型積層ゴム 直動転がり支承
62	HNNN - 773	2003/6/30	ERI-H03008	(仮称)大森プロジェクトB棟	東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	RC	25	1	1788.2	30939.9	78.4	78.9	東京都大田区	鉛プラグ挿入型積層ゴム 直動転がり支承 U型鋼材ダンパー
63	HFNN - 0793	2003/8/27	BCJ基評- HR242-01	紅谷町三番地区優良建築物等整備事業建 築物	安宅設計	T・R・A	RC	23	1	654.4	13218.6	75.6	76.2	神奈川県平塚市	天然ゴム LRB
64	HNNN - 794	2003/8/27	BCJ基評- HR0243-01	(仮称)北堀江1丁目計画	前田建設工業	前田建設工業	RC	32	1	1153.7	22073.6	99.4	109.0	大阪府大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
65	HNNN - 0810	2003/9/1	BCJ基評- HR245-01	(仮称)芝浦工業大学豊洲キャンパス校舎棟	芝浦工業大学新キャンパス 整備設計共同体	(代表)日建設計	S	14	1	8841.6	57355.3	67.3	67.3	東京都江東区	天然ゴム 一体型免震U型ダンパー 鉛ダンパー 弾性すべり支承
66	HNNN - 817	2003/9/19	GBRC建評- 03-11B-006	(仮称)大拓メゾン関目マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	22	-	750.9	10268.6	69.1	74.1	大阪府大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム オイルダンパー
67	HFNN - 839	2003/9/19	GBRC建評- 03-11B-007	(仮称)イトーピア西天満	浅井謙建築研究所	清水建設	RC	24	1	543.6	12003.2	75.2	84.4	大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 U型ダンパー
68	HNNN - 0889	2003/12/3	GBRC-建評 03-11B-008	(仮称)土佐堀パークタワー	熊谷組	熊谷組	RC	35	1	922.45	20592.82	114.56	118.25	大阪府大阪市	
69	HFNN - 899	2003/12/12		武蔵浦和駅第8-1街区第一種市街地再開発 事業	安井・地域計画建築研究所 設計共同企業体	安井・地域計画建築研究所 設計共同企業体	RC-S 一部 SRC	31	2	約12,300	90312.0			埼玉県さいたま市	天然ゴム系積層ゴム 他
70	HNNN - 938	2004/1/23	HP評-03- 001	(仮称)立川錦町プロジェクト	安宅設計	フジタ	RC	21	1	972.6	13072.6	63.6	68.7	東京都立川市	鉛プラグ入り積層ゴム
71	HNNN - 962	2004/3/4	GBRC建評- 03-11B-014	(仮称)天満一丁目	竹中工務店	竹中工務店	RC	26	-	409.6	8911.7	80.2	84.6	大阪府大阪市	積層ゴム オイルダンパー
72	HNNN - 0974	2004/3/1	HP評-04- 001	ライオンズタワー仙台青葉	創建設計	銭高組	RC	22	1	1140.08	16,997	68.95	78	宮城県仙台市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承
73	HNNN - 0982	2004/2/10	BCJ基評- HR272-01	(仮称)東京ミッドタウンプロジェクト C棟	日建設計	日建設計	RC	30	2	2816.2	57532.3	104.4	107.4	東京都港区	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー U型鋼棒ダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要					建設地 (市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)			軒高 (m)	最高高 さ(m)
74	HNNN - 999	2004/3/24	ERI-H03041	(仮称)西区新町マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	33	-	715.3	17622.8	99.5	105.1	大阪府 大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
75	HFNN - 1031	2004/5/10	BCJ基評- HR280-01	大崎駅東口第3地区 第一種市街地再開発事業 賃貸住宅棟	大林組東京本社	大林組東京本社	RC	28	1	2980.2	32950.6	93.7	99.0	東京都 品川区	鉛プラグ挿入型積層ゴム
76	HNNN - 1034	2004/4/14	ERI-H03050	十日町一丁目地区優良建築物等整備事業施 設建築物	アール・アイ・エー 創建設計	アール・アイ・エー 塩見	RC	23	1	1080.9	18242.4	77.1	85.2	山形県 山形市	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
77	HNNN - 1061	2004/5/21	BCJ基評- HR287-01	(仮称)神宮前センチュリーマンション	鹿島建設	鹿島建設	RC	22	2	738.8	12723.7	69.0	74.1	東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
78	HNNN - 1071	2004/6/8	基評- HR0291-01	(仮称)横浜山の内開発C街区計画LS棟	三菱地所設計	三菱地所設計 前田建設工業	RC	32	1	1626	33.207	99.90		神奈川県 横浜市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鋼材ダンパー
79	HNNN - 1072	2004/6/8	基評- HR0292-01	(仮称)横浜山の内開発C街区計画IS棟	三菱地所設計	三菱地所設計 前田建設工業	RC	23	-	1179.74	13.083	70.60		神奈川県 横浜市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
80	HNNN - 1076	2004/6/8	BCJ基評- HR293-01	(仮称)キャピタルマークタワー	日建ハウジングシステム 佐藤総合計画	佐藤総合計画 鹿島建設	RC	47	1	4300.0	99980.0	160.3	167.2	東京都 港区	鉛プラグ入り積層ゴム 滑り支承
81	HNNN - 1100	2004/7/16	ERI-H04012	(仮称)幕張ベイタウンSH-3①街区A棟	UG都市建築 隈研吾建築都市設計事務所 藤本社介建築設計事務所	フジタ	RC	21	-	1008.4	17066.4	65.9	70.6	千葉県 千葉市	鉛入り積層ゴム
82	HNNN - 1107	2004/7/30	GBRC建評- 04-11B-001	(仮称)西梅田超高層マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	50	1	1795.6	52524.6	168.5	177.4	大阪府 大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承
83	HNNN - 1134	2004/8/18	GBRC建評- 04-11B-005	(仮称)阿倍野松崎町マンション	浅井謙建築研究所	浅井謙建築研究所 奥村組	RC	43	1	1695.9	38768.5	151.6	161.8	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー 粘性ダンパー
84	HNNN - 1153	2004/8/31	ERI-H04015	(仮称)みなとみらい1地区40街区開発計画 (1期棟)	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	30	-	5200.0	74040.0	99.8	107.3	神奈川県 横浜市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鋼材ダンパー
85	HNNN - 1154	2004/8/31	ERI-H04016	(仮称)みなとみらい1地区40街区開発計画 (2期棟)	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	30	-	5500.0	74040.0	99.8	107.3	神奈川県 横浜市	同上
86	HNNN - 1160	2004/8/31	GBRC建評- 04-11B-004	(仮称)南堀江タワー	日建ハウジングシステム	竹中工務店	RC	38	1	1531.6	30782.7	135.9	135.9	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 U型ダンパー
87	HFNN - 1174	2004/9/24	ERI-H04019	(仮称)チャミング・スクウェア南声屋	森建築設計事務所	森建築設計事務所 大林組	RC	25	-	9118.1	38967.8	79.3	85.7	兵庫県 芦屋市	鉛入り積層ゴム すべり支承
88	HNNN - 1181	2004/10/6	GBRC建評- 04-11B-007	(仮称)アーバンライフ南本町3丁目	竹中工務店	竹中工務店	RC	33	-	590.9	12467.3	99.7	105.8	大阪府 大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
89	HNNN - 1182	2004/10/6	基評- HR0313-01	(仮称)横浜山の内開発C街区計画LN棟	三菱地所設計	三菱地所設計 前田建設工業	RC	38	1	2838.8	38.765	118.70		神奈川県 横浜市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鋼材ダンパー
90	HNNN - 1183	2004/10/6	基評- HR0314-01	(仮称)横浜山の内開発C街区計画IN棟	三菱地所設計	三菱地所設計 前田建設工業	RC	23	-	1269.03	13.545	70.00		神奈川県 横浜市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
91	HNNN - 1189	2004/10/6	GBRC建評- 04-11B-006	(仮称)大淀南集合住宅	竹中工務店	竹中工務店	RC	44	0	1027.51	32.388	140.25		大阪府 大阪市	RB SSB オイルダンパー 摩擦ダンパー
92	HFNN - 1200	2004/10/20	ERI-H04018	(仮称)甲府北口三丁目センシティタワー II	エイアンドティ建築研究所	T・R・A	RC	25	-	840.1	15924.8	88.5	94.0	山梨県 甲府市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 弾性すべり支承
93	HNNN - 1244	2004/11/24	ERI-H04034	港1丁目タワーマンション	小野設計	ピーエス三菱 構造計画研究所	RC	31	-	814.2	16718.0	92.3	97.3	福岡県 中央区	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
94	HFNN - 1255	2004/12/7		岐阜駅西地区市街地再開発事業	森ビル都市企画・竹中工務店 JV	竹中工務店	RC	43	1	5412	57.600	163		岐阜県 岐阜市	オイルダンパー他
95	HFNN - 1262	2004/12/27	BCJ基評- HR0320-01	(仮称)飯田橋2丁目計画	戸田建設	日建設計	RC	25	2	501.7	11.098	85.50		東京都 千代田区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー 鋼材ダンパー
96	HNNN - 1280	2005/2/8	ERI-H04047	(仮称)南船橋プロジェクト S棟	ゼファー	構造フォルム	RC	22	-	1968.9	37437.4	70.9	75.9	千葉県 船橋市	高減衰積層ゴム すべり支承
97	HNNN - 1281	2005/2/8	ERI-H04046	(仮称)南船橋プロジェクト N棟	ゼファー	構造フォルム	RC	22	-	2753.1	42569.5	70.9	75.9	千葉県 船橋市	高減衰積層ゴム
98	HNNN - 1282	2005/2/8	ERI-H04041	(仮称)南船橋プロジェクト E棟	ゼファー	構造フォルム	RC	22	-	1083.5	19527.1	70.9	75.9	千葉県 船橋市	高減衰積層ゴム
99	HNNN - 1283	2005/2/8	ERI-H04042	(仮称)南船橋プロジェクト W棟	ゼファー	構造フォルム	RC	22	-	1080.5	21112.7	70.9	75.9	千葉県 船橋市	高減衰積層ゴム
100	HFNN - 1295	2005/3/17		小田急相模原駅北口A地区第一種市街地再 開発事業施設建築物	パシフィックコンサルタンツ	織本匠構造設計事務所	RC	20	4		36.190			神奈川県 相模原市	積層ゴム 直動転がり支承
101	HNNN - 1330	2005/3/14	GBRC建評- 04-11B-010	(仮称)上本町分譲住宅	エヌ・ティ・ティ・ファミリアー ズ 清水建設	エヌ・ティ・ティ・ファミリアー ズ 清水建設	RC	41	1		37390.0			大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承
102	HNNN - 1351	2005/4/5	GBRC建評- 04-11B-011	(仮称)神戸市中央区熊内町7丁目マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	21	-	424.3	6090.2	63.4	68.4	兵庫県 神戸市	高減衰ゴム系積層ゴム
103	HNNN - 1370	2005/4/8	GBRC建評- 04-11B-013	(仮称)豊崎分譲マンション	エヌ・ティ・ティ・ファミリアー ズ	エヌ・ティ・ティ・ファミリアー ズ	RC	25	-	772.0	15669.2	80.3	86.3	大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 井型直動転がり支承
104	HFNN - 1455	2005/6/13	BCJ基評- HR0338-01	平成17年度大手町地区第一種市街地再開発 事業施設建築物	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	20	1	4839.8	46573.2	76.9	82.8	静岡県 沼津市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承 流体系減衰材
105	HNNN - 1488	2005/7/11	ERI-H05010	(仮称)くずはW街区マンション建設計画	大林組	大林組	RC	21	-	3443.2	28157.2	69.0	74.5	大阪府 枚方市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
106	HFNN - 1498	2005/7/20	BCJ基評- HR0344-01	代々木ゼナール代々木2丁目プロジェクト	大成建設	大成建設	SRC S(一部) CFT柱) RC	26	3	1213.2	27446.5	131.1	131.1	東京都 渋谷区	天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承 オイルダンパー
107	HNNN - 1585	2005/9/26	ERI-H05021	(仮称)スペースア目黒	イクス・アーク都市設計	イクス・アーク都市設計 奥村組	RC	25	1	805.6	19765.0	82.3	86.6	東京都 目黒区	高減衰積層ゴム オイルダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要						建設地 (市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	軒高 (m)			最高高さ (m)	
108	HNNN - 1593	2005/9/30	GBRC建評-05-11B-009	ジオタワー西宮北口	竹中工務店	竹中工務店	RC	26	1		25091.9	85.0		兵庫県西宮市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム オイルダンパー 鋼製リフトダンパー	
109	HFNN - 1702	2006/1/10	BCJ基評-HR0309-02	高島二丁目地区第一種市街地再開発事業施設建築物	アール・アイ・エー	アール・アイ・エー 織本構造設計	RC	36	2		3967.3	54313.9	131.8	143.0	神奈川県横浜	鉛プラグ挿入型積層ゴム すべり系支承 減衰コマ
110	HNNN - 1721	2006/1/23	BCJ基評-HR0369-01	(仮称)上本町西タワープロジェクト	前田建設工業	前田建設工業	RC	31	-		1317.8	22853.6	99.8	106.8	大阪府大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
111	HNNN - 1758	2006/2/20	ERI-H0537	西区新町プロジェクト	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	25	-		12543.0	76.5		大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー	
112	HFNB - 1783	2006/3/15	BCJ基評-HR0358-02	(仮称)朝日放送新社屋	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	S RC	16	1		6689.0	44838.0	75.3	95.3	大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 転がり系支承 流体系減衰材
113	HNNF - 1804	2006/2/20	BCJ基評-HR0387-01	(仮称)北品川三丁目計画	日建ハウジングシステム	前田建設工業	RC	36	1			26264.0	113.3		東京都品川区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鉛ダンパー
114	HNNN - 1811	2006/3/30	JSSI-構評-05004	中原消防署・ホテル	梓設計	梓設計	SRC, RC	21	-		1350.0	14195.0	77.3	76.2	神奈川県川崎市	天然ゴムすべり支承 転がり支承 オイルダンパー
115	HNNN - 1839	2006/4/28	GBRC建評-05-11B-018	(仮称)大阪西天満タワー	徳岡昌克建築設計事務所	建築構造企画 山田建築構造事務所	RC	23	1		4781.9	71.4		大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承	
116	HNNN - 1848	2006/5/8	BCJ基評-HR0395-02	新本部ビル(仮称)	松田平田設計	松田平田設計	S	14	1		27745.0	78.0		福岡県福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー	
117	HNNN - 1850	2006/4/28	BCJ基評-HR0399-01	(仮称)江東区豊洲1丁目計画A棟	三井住友建設	三井住友建設	RC	23	-		31626.1	72.3		東京都江戸川区	鉛プラグ入り積層ゴム	
118	HNNN - 1852	2006/5/8	GBRC建評-06-11B-004	(仮称)シーエル住居棟	コスモランド	竹中工務店	RC	23	1		9.646	68.85		大阪府大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム	
119	HNNN - 1863	2006/6/16	BCJ基評-HR0397-01	(仮称)五福三丁目マンションA(B棟)	日企設計	前田建設工業	RC	30	-		4117.7	29555.4	97.5	104.6	宮城県仙台市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
120	HNNN - 1864	2006/5/26	BCJ基評-HR0400-01	阪神西宮駅前プロジェクト	西松建設	西松建設	RC	23	-		765.1	11688.5	77.8	84.3	兵庫県西宮市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
121	HNNN - 1866	2006/6/16	BCJ基評-HR0396-01	(仮称)大森共同住宅	日総建	大林組	RC	25	1		837.8	18206.7	84.3	88.2	東京都大田区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム
122	HNNN - 1872	2006/6/8	BCJ基評-HR0403-01	(仮称)アメックス経済ステーションタワー	竹中工務店	竹中工務店	RC S	23	-		652.6	7586.9	74.4	75.2	福岡県福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
123	HNNN - 1883	2006/4/17	BCJ基評-HR0404-01	東静岡タワー	東畑建築事務所	戸田建設	RC	27	-		834.7	16228.0	93.0	95.4	静岡県静岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
124	HFNN - 1908	2006/7/11	UHEC評価-構17010	(仮称)川崎戸手4丁目再開発事業(A敷地)	IAO竹田設計	和田建築技術研究所	RC	22	2		934.6	15070.6	69.2	77.7	神奈川県川崎市	高減衰ゴム系積層ゴム すべり系支承 粘性系ダンパー
125	MNNN - 1918	2006/7/21	GBRC建評-06-11A-005	(仮称)大阪市城東区中央2丁目計画(東棟)	APEX	フジタ	RC	16	0		8.167	47.70		大阪府大阪市	鉛入り積層ゴム 滑り支承	
126	HNNN - 1929	2006/7/11	GBRC建評-06-11B-009	新神戸駅前タワー	清水建設	清水建設	RC	42	1		38600.0		146.0		兵庫県神戸市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
127	HNNN - 1935	2006/8/14	BCJ基評-HR0412-01	(仮称)西参道プロジェクト	前田建設工業	前田建設工業	RC	24	1			13428.6	75.6	81.8	東京都渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鉛ダンパー
128	HNNN - 1939	2006/8/14	GBRC建評-06-11B-010	(仮称)ライオンズタワー六野	竹中工務店	竹中工務店	RC	47	-		49966.9	161.9		愛知県名古屋	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 直動転がり支承	
129	HNNN - 1960	2006/9/11	BCJ基評-HR0425-01	(仮称)サンデュエル長町駅前計画	菅野宏史建築設計事務所	ピーシー建築技術研究所 台合同人設計	RC	20	-		11828.1	64.1		宮城県仙台市	鉛プラグ入り積層ゴム	
130	HFNN - 1964	2006/9/21	BCJ基評-HR0415-02	(仮称)アデニウム萬代橋タワー	浅井謙建築研究所	浅井謙建築研究所 構造地盤研究所(監修) 奥村組(協力)	RC	24	1		16.359	79.89		新潟県新潟市	高減衰ゴム オイルダンパー	
131	HNNN - 1969	2006/9/20		(仮称)ザ・松屋タワー	IAO竹田設計	IAO竹田設計	RC	28	1		17750.0			大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承 オイルダンパー	
132	HNNN - 1970	2006/9/11		(仮称)千里中央ノースタワー	竹中工務店	竹中工務店	RC	49	1		56217.0	157.4		大阪府吹田市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム 弾性滑り支承 減衰コマ	
133	HNNN - 1971	2006/9/20	UHEC評価-構18008	(仮称)戸手4丁目南地区計画	IAO竹田設計	和田建築技術研究所	RC	22	-		1186.9	17346.4	69.2	75.2	神奈川県川崎市	高減衰ゴム系積層ゴム すべり系支承 粘性系ダンパー
134	HNNN - 1972	2006/8/30	UHEC評価-構18007	(仮称)JV東雲1街区プロジェクト	大成建設	大成建設	RC	41	1		3086.0	53235.1	139.6	147.0	東京都江東区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
135	HNNN - 1977	2006/9/21	BCJ基評-HR0424-01	(仮称)中華町マンション計画	三井住友建設	三井住友建設	RC	38	2		47927.0	122.9		神奈川県川崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承	
136	HNNN - 1980	2006/9/20	UHEC評価-構18010	日本赤十字社和歌山医療センター新棟	横河建築設計事務所 戸田建設	横河建築設計事務所 戸田建設	S	13	1		52.490	63.81		和歌山県和歌山市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー	
137	HNNN - 1985	2006/9/20		(仮称)宝塚市武庫川町計画A棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	32			34.985	110.80		兵庫県宝塚市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム	
138	HNNN - 2023	2006/11/7	BCJ基評-HR0433-01	(仮称)船橋市湊町2丁目計画	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	38	1		41196.0	129.8		千葉県船橋市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム	
139	HNNN - 2028	2006/11/7		(仮称)ヴェルパーク東千田町B棟		竹中工務店	RC	32				100.2		広島県広島市	オイルダンパー他	
140	HNNN - 2051	2006/11/16	UHEC評価-構18021	(仮称)細工谷計画	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	RC	35	-		1082.9	21385.6	115.6	122.9	大阪府大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
141	HNNNN - 2054	2006/11/16	BCJ基評-HR0442-01	(仮称)青山プロジェクト	青木洋建築計画事務所	鹿島/A/E	RC+S	9F	B1F		515.51	4.947		東京都渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 剛すべり支承	

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要					建設地 (市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)			軒高 (m)	最高高 さ(m)
142	HNNN - 2075	2006/12/12	UHEC評価- 構18018	(仮称)川崎戸手4丁目再開発事業(B敷地)	IAO竹田設計	和田建築技術研究所	RC	20	-	999.3	16223.8	61.0	64.6	神奈川県 川崎市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰ゴム系積層ゴム 回転機構付すべり系支承 粘性系ダンパー
143	HNNN - 2089	2007/1/10	ERI-H06005	(仮称)あいおい横浜新仙台ビル	ゼファー 安藤建設	ゼファー 安藤建設	S	14	-	1054.1	12824.8	59.6	66.0	宮城県 仙台市	鉛入り積層ゴム
144	HNNN - 2090	2006/12/12	ERI- H06001-01	(仮称)D' グラフォート郡山西口	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	26	-	816.0	12480.2	91.8	92.3	福島県 郡山市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 弾性すべり系支承 鋼材ダンパー
145	HFNN - 2091	2006/11/20		神宮前一丁目民活再生プロジェクト(警察施設)	安井建築事務所	安井建築事務所	RC	15	2		26791.0			東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム
146	HNNN - 2096	2007/1/9	BCJ基評- HR0447-01	(仮称)神戸市須磨区行幸町マンション	浅井謙建築研究所	浅井謙建築研究所 魂池組	RC	36	-	1203.7	23400.3	115.4	120.5	兵庫県 神戸市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり系支承 直動転がり支承 オイルダンパー
147	HFNN - 2128	2007/1/19	BCJ基評- HR0448-01	(仮称)セレストタワー高崎	安宅設計	T・R・A	RC	21	1	895.0	15010.7	67.7	73.0	群馬県 高崎市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり系支承
148	HNNN - 2129	2007/1/22	BCJ基- HR0262-03	(仮称)糸屋町プロジェクト	安井建築事務所	熊谷組	RC	40	2	1621.9	44832.9	126.3	135.5	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり系支承 オイルダンパー
149	HNNN - 2134	2007/1/22	UHEC評価- 構18024	(仮称)グランドメゾン京町堀タワー計画	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	RC	30	-	1454.6	22997.2	98.8	104.9	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり系支承 オイルダンパー
150	HNNN - 2144	2007/1/22	BCJ基- HR0450-01	(仮称)ディークランセ上町台ハイレジデンス	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	28	1		16298.0	92.3		大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり系支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
151	HNNN - 2148	2007/1/22	BCJ基評- HR0456-01	二子玉川東地区第一種市街地再開発事業施設 建築物Ⅲ街区A棟	アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント 日本設計	日本設計	RC	28	1		29608.0	92.7		東京都 世田谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 流体系減衰材
152	HNNN - 2149	2007/1/22	BCJ基評- HR0457-01	二子玉川東地区第一種市街地再開発事業施設 建築物Ⅲ街区B棟	アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント 日本設計	日本設計	RC	42	1		48905.0	144.0		東京都 世田谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 流体系減衰材
153	HNNN - 2150	2007/1/22	BCJ基評- HR0458-01	二子玉川東地区第一種市街地再開発事業施設 建築物Ⅲ街区C棟	アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント 日本設計	日本設計	RC	28	1		29415.0	97.1		東京都 世田谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 流体系減衰材
154	HNNN - 2175	2007/1/15		(仮称)東戸塚西口駅前計画	類設計室	類設計室	RC	26	1		34069.0	99.9		神奈川県 横浜市	
155	HNNN - 2190	2007/3/14	GBRC建評- 06-11B-019	(仮称)宝塚市武庫川町計画B棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	33	0		39.625	108.71		兵庫県 宝塚市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム
156	HNNN - 2206	2007/3/14		(仮称)華ヶ崎タワー	竹中工務店	竹中工務店	RC	37	1	1,246.27	34,026.86	121.65	121.65	大阪府 大阪市	弾性すべり系支承 積層ゴム
157	HFNN - 2209	2007/2/5		(仮称)アデニウム熱海シーサイドタワー	東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	RC	30	3	4,085	74,231	99.1	99.8	静岡県 熱海市	LRB 天然ゴム系積層ゴム すべり系支承
158	HNNN - 2212	2007/3/14		(仮称)ライオンズタワー勾当台通		大林組	RC	29	-		18,410.57			宮城県 仙台市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
159	HFNN - 2240	2007/3/29	BCJ基評- HR0389-01	(仮称)ICタワー計画	竹中工務店	竹中工務店	RC SRC S	41	1	7022.3	53236.1	144.7	145.3	福岡県 福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり系支承 鉛ダンパー オイルダンパー
160	HNNN - 2253	2007/4/3	UHEC評価- 構18027	(仮称)大島2丁目計画	浅沼組	浅沼組	RC	20	1	780.3	12233.2	64.6	70.2	東京都 江東区	天然ゴム系積層ゴム 高減衰ゴム系積層ゴム オイルダンパー
161	HNNN - 2291	2007/4/27	BCJ基評- HR0492-01	レーヴ日進	前田建設工業	前田建設工業	RC	24F	-		19,929	73.6		愛知県 日進市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
162	HNNN - 2298	2007/4/10	BCJ基評- HR0341-02	(仮称)MM21・41街区プロジェクト	東急設計コンサルタント 三井住友建設	東急設計コンサルタント 三井住友建設	RC	31	1	5338.9	81998.8	99.6	106.1	神奈川県 横浜市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
163	HNNN - 2307	2007/4/10	ERI- H06007-01	(仮称)港1丁目14マンション	小野設計	ピーエス三菱	RC	30	1		19,077	90.00		福岡県 中央区	高減衰積層ゴム オイルダンパー
164	HNNN - 2316	2007/5/31		(仮称)TJ八王子プロジェクト	大林組	大林組	RC	21	1	2,073.94	14,451.75			東京都 八王子市	積層ゴム 直動転がり支承
165	HNNN - 2319	2007/5/31		(仮称)阪神御影駅前住宅棟	竹中工務店	竹中工務店	RC+S	47	-		63,100.0	165.5		兵庫県 神戸市	弾性滑り系支承 他
166	HNNN - 2338	2007/6/15		(仮称)茶屋町東地区再開発ビル 商業住宅棟	和田建築研究所 日本設計	和田建築研究所 日本設計	RC	31	1	2,355	約28,700	113.9		大阪府 大阪市	オイルダンパー他
167	HNNN - 2339	2007/6/15		(仮称)西尾市桜木町三丁目	野口建築事務所、浅沼組	野口建築事務所 浅沼組	RC	20	0	2,779	10,816			愛知県 西尾市	
168	HNNN - 2349	2007/6/22		(仮称)千葉中央タワープロジェクト	入江三宅設計事務所	入江三宅設計事務所	RC	43	1	1,964.3	53,592.9			千葉県 千葉市	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鋼棒ダンパー
169	HNNN - 2362	2007/7/3	BCJ基評- HR0505-01	(仮称)クラブオリエントビル№71	山本建築工房	前田建設工業	RC	33F	-		13,034	98.6		福岡県 北九州市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鋼材ダンパー
170	HFNB - 2421	2007/8/23		(仮称)みなとみらいVODKビル	大成建設	大成建設	RC	21	2		95,151	97.70		神奈川県 横浜市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり系支承
171	HNNN - 2434	2007/8/20	ERI-H07003	(仮称)千早タワー A棟	日建ハウジングシステム アール・アイ・エー	日建ハウジングシステム	RC	31	-		28,347.77 (計画全体)	104.40		福岡県 福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり系支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
172	HNNN - 2468	2007/9/27	ERI-H07006	(仮称)グランスイート千種	澤田建築事務所 奥村組	奥村組	RC	30	-	759.31	17,121	99.89	101	愛知県 名古屋	高減衰ゴム オイルダンパー
173	HNNN - 2470	2007/9/27	ERI-H07007	(仮称)安堂寺町計画(住宅棟)	フジタ	フジタ	RC	26	1	887.3	17,860.7	82.5	88.3	大阪府 大阪市	鉛入り積層ゴム
174	HNNN - 2493	2007/10/4	GBRC建評- 07-022A- 012	(仮称)堂島タワー	奥村組 ライフデザイン研究所	奥村組	RC	31	-		20,089	99.57		大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム オイルダンパー
175	HNNN - 2494	2007/10/4	GBRC建評- 07-022A- 007	(仮称)ヴィークタワー南堀江	清水建設	清水建設	RC	32	0		32,200	112.75		大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム オイルダンパー
176	HNNN - 2500	2007/10/10	GBRC建評- 07-022A- 014	(仮称)福島区福島4丁目マンション	LAN設計	フジタ	RC	25	0		14,815	76.19		大阪府 大阪市	鉛入り積層ゴム 滑り系支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要						建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	軒高 (m)			最高高さ (m)
177	HNNN - 2516	2007/10/5		(仮称)つくば研究学園駅前プロジェクト(D4街区)A棟	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	20	1		12866.2	62.5		茨城県 つくば市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
178	HNNN - 2517	2007/10/5		(仮称)つくば研究学園駅前プロジェクト(D4街区)B棟	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	20	1		9424.8	62.5		茨城県 つくば市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
179	HNNN - 2518	2007/10/5		(仮称)つくば研究学園駅前プロジェクト(D4街区)C棟	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	24	1		9424.8	74.5		茨城県 つくば市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
180	HNNN - 2519	2007/10/5		(仮称)つくば研究学園駅前プロジェクト(D2街区)D棟	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	24	1		26226.1	74.5		茨城県 つくば市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
181	HNNN - 2532	2007/11/5	ERI-H07010	(仮称)UV小倉	山本建築工房	アークブレイン	RC	20	-	1742.0	16471.9	61.6	67.4	福岡県 北九州市	鉛入り積層ゴム すべり支承
182	HNNN - 2534	2007/11/5	ERI-H07008	マークス秋葉原	F&N総合設計	ジェーエスディー	PCaPs	25	-	329.9	4824.5	70.7	76.4	東京都 千代田区	天然ゴム積層ゴム 免震U型ダンパー 免震鉛ダンパー
183	HNNN - 2543	2007/11/22	GBRC建評-07-022A-019	JR久留米駅前第一街区第一種市街地再開発事業施設建築物	安井建築設計事務所	安井建築設計事務所	RC	35	1		43.827	115.11		福岡県 久留米市	高減衰積層ゴム 鉛プラグ積層ゴム支承
184	HFNB - 2569	2007/11/28		丸の内2-1地区(丸の内SF計画)	三菱地所設計	三菱地所設計	S	34	4		204786.0	157.1		東京都 千代田区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
185	HNNB - 2579	2007/12/13		(仮称)大阪駅改良・新北ビル・アクティ大阪		安井建築設計	S・RC	29	3		138.537	144.4	約150	大阪府 大阪市	オイルダンパー他
186	HNNN - 2615	2007/12/17	BCJ基評-HR0533-01	(仮称)有明一丁目計画	前田建設工業	前田建設工業	RC	33	-	2719.8	51695.6	113.1	119.0	東京都 江東区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
187	HNNN - 2621	2008/1/11		愛知県中央信用組合新本店	井上建築・青島設計	井上建築・青島設計	RC	5			3.289			愛知県 碧南市	積層ゴム 直動転がり支承
188	HNNN - 2663	2008/1/11	ERI-H07012	(仮称)東静岡駅前計画	清水建設	清水建設	RC	28	0		24,000	98.95		静岡県 東静岡市	天然ゴム系積層ゴム 鉛入り積層ゴム オイルダンパー
189	HNNN - 2697	2008/1/24	ERI-H07013	(仮称)千早タワー B棟	日建ハウジングシステム アール・アイ・エー	日建ハウジングシステム	RC	31	-		28347.77 (計画全体)	104.40		福岡県 福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
190	HNNN - 2700	2008/1/24		ソフトウェア情報開発株式会社本社ビル	松田平田設計	大成建設	S	10	1		3.181			東京都 港区	積層ゴム 直動転がり支承
191	HFNB - 2720	2008/2/12	TBTC基評11A-07001号	(仮称)FXプロジェクト	清水建設	清水建設	RC	20	1	11343.1	135268.6	97.1	105.1	神奈川県 横浜市	高減衰ゴム系積層ゴム すべり系支承 オイルダンパー
192	HNNN - 2732	2008/1/31	BCJ基評-HR0539-02	(仮称)下山手通プロジェクト	IAO竹田設計	前田建設工業	RC	37F	-		24.204	118.9		兵庫県 神戸市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
193	HNNN - 2741	2007/12/3	BCJ基評-HR0541-01	仙台一番町プロジェクト	戸田建設	戸田建設	RC	29	1	1274.0	30337.0	99.3	105.6	宮城県 仙台市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
194	HNNN - 2743	2008/3/31		国立国際医療センター	厚生労働省大臣官房会計課 施設整備室、日建設計	厚生労働省大臣官房会計課 施設整備室、日建設計	SRC	16	2	11,616	78,371	78.15	79	東京都 新宿区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
195	HNNN - 2763	2008/2/5	BCJ基評-HR0529-01	(仮称)タワーザファースト静岡	東畑建築事務所	淺沼組 構造計画研究所	RC	26	-	1227.3	17439.9	94.3	94.5	静岡県 静岡市	高減衰系積層ゴム オイルダンパー
196	HNNN - 2766	2008/2/5	ERI-H07015	(仮称)千葉みなとプロジェクト	ピーエス三菱	ピーエス三菱	RC	22	-	4,450	34,721	67.06		千葉県 千葉市	LRB すべり支承
197	HNNN - 2779	2008/1/29		(仮称)安堂寺2丁目プロジェクト	積水ハウス	積水ハウス	RC	32	1	568.79	15,203.73	99.98	105	大阪府 大阪市	高減衰積層ゴム
198	HNNN - 2914	2008/3/25		(仮称)レクセルマンションみどりの計画	熊谷組	熊谷組	RC	25			23587.05	76.98		茨城県 つくば市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム オイルダンパー
199	HNNN - 2925	2008/4/15		(仮称)勝どき一丁目地区プロジェクト	梓設計	梓設計	RC	45	2	2,244	54,431	154.2	160	東京都 中央区	天然ゴム系積層ゴム 他
200	HNNN - 2933	2008/4/23		(仮称)アデニウム天神橋筋6丁目	奥村組	奥村組	RC	30	1	953	19,786		103	大阪府 大阪市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
201	HNNN - 2934	2008/3/25	GBRC建評-07-022A-016-01B	(仮称)若草町地区市街地再開発事業北街区タワー住宅棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	33	1	576	28,818	109.75		広島県 広島市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
202	HFNB - 2982	2008/7/11		(仮称)汐留浜離宮計画	日建設計	日建設計	S	21	2	2,454	47,969	114.00	120.0	東京都 中央区	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 鋼材ダンパー 鉛ダンパー
203	HNNN - 2991	2008/4/22		(仮称)神戸磯上タワー	アール・アイ・エー熊谷組設計 企業体	アール・アイ・エー熊谷組設計 企業体	RC	29	1	1,222.58	19,967	95.20	95.20	兵庫県 神戸市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 鋼製ダンパー
204	HFNN - 3004	2008/5/7		(仮称)業平橋押上地区開発計画(新タワー計画)	日建設計	日建設計	S、 SRC、 RC	31	3	31,833	229,410	148.00	160	東京都 墨田区	NRB
205	HNNN - 3041	2008/6/2	GBRC建評-08-022A-022	番里園東地区第一種市街地再開発事業 施設建築物(3街区)住宅棟	竹中工務店	竹中工務店	RC・S	37	0		51,039	88.00		大阪府 寝屋川市	天然ゴム系積層ゴム 減衰こま
206	HNNN - 3049	2008/6/9	CIAS基評20-0001	(仮称)クリオ富ヶ谷計画建築物	久米設計	久米設計	RC	27	4	1310.0	29095.0	88.5	92.9	東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
207	HNNN - 3056	2008/5/22		帝京大学医学部附属病院新館	石本建築事務所・山下設計 JV	石本建築事務所・山下設計 JV	RC	19	2	11517.8	111,888	80.00		東京都 板橋区	積層ゴム 直動転がり支承
208	HNNN - 3195	2008/9/24	評価一横-18	日本赤十字和歌山	横河建築設計 戸田建設 共同設計	横河建築設計 戸田建設 共同設計	S	13	1	5020	52490	63.8	68.4	和歌山県 和歌山市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
209	HNNB - 3197	2008/8/19		西新宿八丁目成子地区第一種市街地再開発事業施設建築物	日建設計	日建設計	SRC	40	3	9,827	180,043	188.8	195	東京都 新宿区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり
210	HNNN - 3298	2008/8/6	BCJ基評-HR0454-02	(仮称)アデニウム相模原計画	INA新建築研究所	INA新建築研究所	RC	22	-	1105.6	12940.7	70.0	75.8	神奈川県 相模原市	高減衰系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
211	HNNN - 3329	2008/8/21		(仮称)ディーグラフィート肥後橋	環境開発研究所	竹中工務店	RC	46	1		25,640			大阪府 大阪市	積層ゴム 増幅機構付粘性ダンパー
212	HNNN - 3333	2008/8/26	UHEC評価-横20011	中日新聞社品川開発計画	日建設計	日建設計	S	19	3	3743.6	69396.0	88.1	99.0	東京都 港区	鉛プラグ入り積層ゴム 鋼製U型ダンパー
213	HNNN - 3334	2008/9/4	BCJ基評-HR0564-01	(仮称)東雲2丁目計画	前田建設工業	前田建設工業	RC	31F	-		45,370	104.3		東京都 江東区	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー オイルダンパー
214	HNNN - 3337	2008/9/4	BCJ基評-HR0566-01	(仮称)加納本町計画	前田建設工業	前田建設工業	RC	23F	-		20,974	79.8		岐阜県 岐阜市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要					建設地 (市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)			軒高 (m)	最高高さ (m)
215	HNNN - 3373	2008/9/4		(仮称)レクセルマンション相模原駅前計画	熊谷組	熊谷組	RC	28			17561.72	89.95		神奈川県相模原市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム
216	HNNN - 3489	2008/10/30	GBRC建評-08-022A-007	オリックス西本町1丁目ビル	竹中工務店	竹中工務店	RC・SRC・S	29	3	1,440	41,556	131.1	133	大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
217	HNNN - 3490	2008/10/30		真砂町プラザ第1地区優良建築物等整備事業に伴う施設建築物	佐藤総合計画	構造計画研究所	RC	21			11,884			静岡県静岡市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
218	HNNN - 3523	2008/10/31	ERI-H08014	(仮称)三田台プロジェクト	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	18	1		4,894	61.78		東京都港区	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 鉛ダンパー オイルダンパー
219	HNNN - 3531	2008/10/23		旧大和田小学校跡地施設(仮称)	NTTファシリティーズ	日総建	SRC	12	3	3,013	27,400	65.91		東京都渋谷区	NRB SLR
220	HNNN - 3556	2008/11/13	ERI-H08015	(仮称)東区香椎浜3丁目E棟	アーキスタイル	奥村組	RC	32	-	2139.2	56415.1	104.8	111.1	福岡県福岡市	天然積層ゴム 高減衰ゴム
221	HFNB - 3576	2008/12/22		(仮称)大崎西テクノロジーセンター	日建設計	日建設計	S・RC	25	2	10,772.7	123,877.69	139.2	139.35	東京都品川区	天然ゴム系積層ゴム 鋼製U型ダンパー-体型積層 ゴム 鋼製U型ダンパー オイルダンパー
222	HNNN - 3577	2008/11/20	GBRC建評-08-022A-008	(仮称)ライオンズ浅間町	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	26	-		14,097	86.50		愛知県名古屋	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
223	HNNN - 3642	2008/12/17		(仮称)ライオンズ福岡公園	INA新建築研究所	酒井建築工学研究室	RC	20	1		9,630			宮城県仙台市	高減衰積層ゴム 鋼棒ダンパー
224	HNNN - 3683	2009/1/7	ERI-H08020	(仮称)南砂2丁目計画	戸田建設	戸田建設	RC	25	0		17,071	81.23		東京都東区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー オイルダンパー
225	HNNN - 3695	2009/1/28	ERI-H08022	(仮称)神戸市中央区海岸通マンション計画	LAN設計	フジタ	RC	26	0		23,881	79.64		兵庫県神戸市	鉛入り積層ゴム 天然系積層ゴム 滑り支承
226	HNNN - 3718	2008/12/22		(仮称)都島II計画	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	RC	38		2,157.64	48,500.20	133.53	133.53	大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 他
227	HFNB - 3770	2009/3/9		(仮称)京橋二丁目16地区A棟	清水建設	清水建設	RC	22	3	2,169.07	51,365.24	106.25	106.25	東京都中央区	オイルダンパー他
228	HFNF - 3782	2009/2/26	BCJ基評-HR0352-03	(仮称)仙台共同ビル計画	大成建設	大成建設	S RC	24	2	1977.5	29,384.9	97.3	102.9	宮城県仙台市	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承
229	HNNN - 3854	2009/3/3		(仮称)西浅草三丁目計画	フジタ	フジタ	RC	37	2	2,456	68,912	129.75	134	東京都台東区	LRB ESL
230	HNNN - 3907	2009/4/24	BCJ基評-HR0586-01	武蔵小杉F1地区分譲マンション	日本設計	日本設計・鴻池組東京本店 一級建築士事務所	RC	20	0	893	13,262	66.4		神奈川県川崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 自動転がり系支承 オイルダンパー
231	HNNN - 3995	2009/5/7	UHEC評価-構20045	(仮称)与野上落合住宅建替計画	前田建設工業	前田建設工業	RC	32	-	4998.9	42,799.5	99.5	105.7	埼玉県さいたま市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
232	HNNB - 4161	2009/9/18		(仮称)三田ベルジュビル	竹中工務店	竹中工務店	S・RC・SRC	33	4	2,657.81	55,811		163.95	東京都港区	NRB LRB OD 減衰こま
233	HNNN - 4230	2009/7/30	ERI-H08034	(仮称)麹町二丁目ビル	大建設計	大建設計	RC	14	2	1,838.6	24,244.9	66.5	77.8	東京都千代田区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
234	HNNN - 4366	2009/9/25	GBRC建評-09-022A-008	新関西電力病院	日建設計	日建設計	RC・S・SRC	18	2	4,429	39,286	81		大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー オイルダンパー
235	HNNN - 4376	2009/9/25	ERI-H09005	相模大野駅西側地区第一種市街地再開発事業施設建築物	アール・アイ・エー	織本構造設計	RC	26	1		68,043	95.86		神奈川県相模原市	LRB NRB ESL VD
236	HNNN - 4392	2009/10/15	BCJ基評-HR0600-01	大井町西地区第一種市街地再開発事業施設建築物	協立建築設計事務所	協立建築設計事務所 構造計画研究所	RC	28	2	2,258.0	32,269.7	96.1	101.7	東京都品川区	高減衰系積層ゴム オイルダンパー
237	HFNN - 4435	2009/10/23	BCJ基評-HR0560-03	新阪急大井ビル(仮称)	大林組	大林組	RC	30	-	8249.9	64,211.6	98.8	99.2	東京都品川区	天然ゴム系積層ゴム 転がり系支承 弾塑性系減衰材 オイルダンパー
238	HNNN - 4443	2009/10/28		(仮称)ライオンズタワー定禅寺通	創建設計 大林組	創建設計 大林組	RC	29	-	1,106	6,518	94.96		宮城県仙台市	NRB LRB
239	HNNB - 4511	2009/12/18	GBRC建評-09-022A-009	(仮称)中之島フェスティバルタワー	日建設計	日建設計	S,SRC, RC	39	3		5,725	199.2		大阪府大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム インレータ オイルダンパー
240	HNNN - 4543	2009/11/30	BCJ基評-HR0582-02	(仮称)北堀江4丁目集合住宅	奥村組	奥村組	RC	20	-	774.0	11,934.4	65.6	71.1	大阪府大阪市	高減衰系積層ゴム オイルダンパー
241	HNNN - 4645	2010/2/22	ERI-H09012	旭通4丁目地区第一種市街地再開発事業施設建築物	環境再開発研究所 東急設計コンサルタント	織本構造設計	RC	54	1	5,734.6	73,418.6	175.9	190.0	兵庫県神戸市	鉛入り積層ゴム すべり支承 減衰こま
242	HNNN - 4671	2010/2/22	HR0613-01	武蔵小杉駅南口地区西街区第一種市街地再開発事業施設建築物	日本設計	日本設計	RC・SRC・S	39	2		66,465	148.96		神奈川県川崎市	NRB OD
243	HNNN - 4746	2010/3/15		清水駅西第一地区第一種市街地再開発事業施設建築物	梓設計	梓設計	RC	25	1	2,903.48	31,636.66	94.9		静岡県清水市	天然ゴム系積層ゴム 他
244	HNNN - 4821	2010/5/17	ERI-H09019	(仮称)中央区晴海二丁目マンション計画(C1街区)	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	49	2	5,035	97,836	169	175	東京都中央区	LRB ESL OD
245	HNNN - 4854	2010/6/2	ERI-H09021	(仮称)ウィスティア佐馬町	木内建設	木内建設 構造計画研究所	RC	25	-	566.9	10,505.3	83.9	89.8	静岡県静岡市	高減衰系積層ゴム オイルダンパー
246	HNNN - 4855	2010/6/9		(仮称)神戸東灘区・甲南町計画	日建ハウジングシステム	熊谷組	RC	29	1	596	14,530	99.95	99.95	兵庫県神戸市	NRB
247	HFNN - 4876	2010/6/22	HR0614-01	武蔵小杉駅南口地区東街区第一種市街地再開発事業施設建築物(住宅棟)	武蔵小杉駅南口地区東街区市街地再開発事業設計共同企業体	武蔵小杉駅南口地区東街区市街地再開発事業設計共同企業体	RC	38	2	5,527	75,100		142	神奈川県川崎市	
248	HNNN - 4984	2010/8/3	BCJ基評-HR0618-01	(仮称)北大塚計画	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	23	1		20,258	73.98		東京都豊島区	NRB LRB

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要						建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	軒高 (m)			最高高さ (m)
249	HNNN - 5075	2010/9/13	UHEC評価 構22004	(仮称)津田沼区画整理31街区プロジェクト (B棟)	フジタ	フジタ	RC	24	-	1070.5	22752.4	71.7	78.2	千葉県 習志野市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
250	HNNN - 5084	2010/9/22	ERI-H10002	(仮称)ゼスタタワー浄水駅前	野口建築事務所	野口建築事務所 構造計画研究所	RC	21	-	649.9	8366.9	65.5	66.0	愛知県 豊田市	高減衰積層ゴム 天然積層ゴム
251	HNNN - 5119	2010/10/12	BUJ-BA10- 006	大井町1番南第一種市街地再開発事業	清水建設	清水建設	RC	29	0	2,168	27,144		100	愛知県 名古屋	LRB NRB OD
252	HNNN - 5176	2010/10/29		大阪駅北地区先行開発区域プロジェクト/C ブロック			RC	48	1	3,199.9	73,907.02	174.20		大阪府 大阪市	NRB SL
253	HNNN - 5213	2010/11/19	ERI-H10008	阿倍野B2地区第2種市街地再開発事業D4-1 棟	アール・アイ・エー	西松建設 アール・アイ・エー	RC	27	1	1,224	18,496	87.90	96.30	大阪府 大阪市	LRB NRB OD
254	HNNN - 5368	2011/1/11	BCJ基評- HR0616-02	(仮称)藤枝駅前一丁目計画	三井住友建設	三井住友建設	RC	20	-	1358.0	16422.1	62.8	68.7	静岡県 藤枝市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
255	HFNN - 5399	2011/1/21	BCJ基評- HR0608-02	大崎駅西口南地区第一種市街地再開発事業 施設建築物	協立建築設計事務所 清水建設	協立建築設計事務所 清水建設	RC	25	2	3691.5	58456.6	85.1	86.0	東京都 品川区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり系支承
256	HNNB - 5482	2011/2/23	BCJ基評- HR0604-03	東京電機大学東京千住キャンパス(W棟)	横総合計画事務所	日建設計	S RC	14	1	4666.8	34839.7	59.9	61.0	東京都 足立区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 転がり系支承 弾塑性系減衰材 オイルダンパー
257	HNNN - 5564	2011/5/26	ERI-H10020	静岡県服部第一地区第一種市街地再開発事 業に伴う施設建築物	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	29	1	3721.6	54231.5	99.2	99.8	静岡県 静岡市	天然積層ゴム すべり支承 鋼製ダンパー オイルダンパー 転がり支承
258	HNNN - 5642	2011/6/21	ERI-H10027	(仮称)大阪市北区扇町2丁目計画	熊谷組	熊谷組	RC (一部 S)	31	1	1173.4	26921.7	104.4	114.9	大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承 免震U型ダンパー 減衰こま
259	HNNN - 5848	2011/9/20	ERI-H11003	赤穂町地区優良建築物等整備事業に係る施 設建築物	都市生活研究所	西松建設	RC (一部 S)	21	-	984.4	14417.1	69.4	75.7	広島県 広島市	鉛入り積層ゴム すべり支承
260	HNNN - 5870	2011/9/26	UHEC評価 構23006	二子玉川東第二地区市街地再開発事業(II -a街区)施設建築物	日建設計 アール・アイ・エー	日建設計 アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント	RC	30	2	22438.0	156422.4	128.9	137.0	東京都 世田谷区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
261	HNNN - 5999	2011/11/25	ERI-H11011	(仮称)インプレスト芝浦建築計画	浅井謙建築研究所	浅沼組	RC	25	1	478.9	9997.2	87.6	88.2	東京都 港区	天然ゴム系積層ゴム 高減衰ゴム系積層ゴム オイルダンパー
262	HFNB - 6193	2012/2/23	BCJ基評- HR0595-05	虎ノ門・六本木地区第一種市街地再開発事 業 施設建築物	森ビル	森ビル 山下設計	RC PC	6	2	7346.6	143289.6	27.6	31.7	東京都 港区	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承 弾塑性系減衰材 オイルダンパー

## 委員会の動き

(2012.10.1～2012.12.31)

### 運営委員会

委員長 深澤 義和

運営委員会は10/23、11/13、12/11に開催された。JSSI活動の課題と今後の活動方針を議論している。現在までに、技術者の育成・国際化・制振構造への取り組み強化・会員制度の見直し・倫理規定の制定と運用・20周年行事企画・諸規定の整備などがあげられている。今後、今年度内に解決することは解決し、次期活動方針に盛り込むことは盛り込み、方針をまとめる。

### 技術委員会

委員長 北村 春幸

東日本大震災の教訓をもとに、免震構造の長周期地震動への対応と耐風設計が適切に実施されるための普及活動が、技術委員会の課題となっている。これらの課題に対して、継続時間の長い多数回繰り返し荷重に対して、免震部材の限界性能の確認、安全性判定基準の整備、応答解析技術の開発などが各小委員会で検討されている。これらの成果から、免震建物の供用期間中の強風や地震動を全て考慮した設計法へ向けたスタートを切れることを期待する。

### 免震設計部会

委員長 藤森 智

#### ●設計小委員会

委員長 藤森 智

「免震装置の接合部・取り付け躯体の設計指針」第2版(案)を脱稿し協会に提出した。また津波襲来地域における免震建物設計

に当たっての基礎検討として、解析モデル・解析パラメータを設定し、検討を開始した。

#### ●入力地震動小委員会

委員長 久田 嘉章

2012年11月21日に第75回入力地震動小委員会を開催し、「免震建築物のための設計用入力地震動作成ガイドライン」の原稿案と内部査読の担当者を確認した。次回委員会で査読結果を審議する予定である。

#### ●設計支援ソフト小委員会

委員長 酒井 直己

次の活動テーマを議論し、①変動風力、平均風力による静的な変形およびクリープ変形を算出する簡易風応答解析ソフトを試作し纏め方を検討中。②HPで公開した簡易応答予測法の長周期地震動に対する検証について検討を始めた。

### 耐風設計部会

委員長 大熊 武司

HPにアップする“免震建築物の耐風設計指針についての質問・回答”の内容と新年度の活動方針を確認した。指針の更新準備・英文化を予定している。併せて、今秋予定されている20周年記念国際シンポジウムにおいて指針概要を発表する予定である。

### 施工部会

委員長 原田 直哉

JSSI免震構造施工標準2013年版の編集作業を継続中。全章の見直しが完了したが、エキスパンションジョイントに関する項目が、一部保留となっている。付録とする施工計画書(案)やQC工程表の最終検討作業を実施す

る予定である。

### 免震部材部会

委員長 高山 峯夫

#### ●アイソレータ小委員会

委員長 高山 峯夫

アイソレータ小委員会では、積層ゴムやすべり・転がり支承の規格について議論をすすめている。規格の作成にはまだ時間がかかるものの、結果的に積層ゴムJISや材料認定の基準とそれほど大きく変わらないかもしれない。ただ、この規格により免震部材の性能に関する共通の認識ができるようなものを目指したい。

#### ●ダンパー小委員会

委員長 荻野 伸行

東北地方太平洋沖地震における応答制御建築物調査委員会免震構造設計部会ダンパーWGの課題であるダンパーの変状・維持管理、2方向に関する影響等について、対策案を含め継続して検討中である。また、防耐火部会(オイルダンパー耐火性能WG)で検討しているオイルダンパーの火災時挙動に関する報告書作成についても平行して協力している。

### 応答制御部会

委員長 笠井 和彦

#### パッシブ制振評価小委員会

委員長 笠井 和彦

#### 制振部材品質基準小委員会

委員長 木林 長仁

制振部材の技術開発および制振効果に関する検討を行うための活動を10/26(8名)、11/29(9名)に行った。活動としては、JSSIハンドブックの原稿検討等を行うとともに、「パッシブ制振構造

の設計施工マニュアル・技術データシート」の内容確認を行い、改定に向けた見直しを開始した。また、「最近の免震建築の概要紹介」(担当:木林)に関する議論を行った。

## 防耐火部会

委員長 池田 憲一

地震後の免震装置の耐火被覆の維持管理方法について検討を実施し、維持管理委員会に見解を示した。オイルダンパーの耐火性について、報告書の作成に着手した。

## 普及委員会

委員長 須賀川 勝

例年この時期から検討を始めているフォーラムだが、来年は協会創立20周年記念事業があるため、普及委員会としては従来通りこれに協力していくための準備に入っている。その他の活動については各部会の報告による。

## 教育普及部会

委員長 前林 和彦

会誌2月号に掲載する原稿について討論し、「2011年東北地方太平洋沖地震における免震建物居住者へのアンケート調査」、「個別の免震建物に着目した居住者アンケート調査の分析」の2編にまとめた。協会HPにアンケート集計結果に替えてアンケート概要を掲載することとし、昨年12月に完了した。

## 出版部会

委員長 加藤 晋平

出版部会の全体会議は10月24日(水)に開催された。11月22日(木)発行予定の会誌78号の進行

状況の確認、次の79号の内容及び執筆依頼について検討した。

出版物「考え方進め方免震建築」の改訂内容及び進捗状況の報告もあり、来年の講習会に使用できるように、今年中の原稿完了を目指している。

## 社会環境部会

委員長 久野 雅祥

12月13日に第30回委員会を開催した。最終段階にあった「免震と非免震集合住宅の地震被害想定比較表」を協会HPの「免震入門」に掲載した。

10月16日にビックサイトで開催された不動産ソリューション展で「東日本大震災で実証された免震構造」と題して講演を行った。

## 国際委員会

委員長 斉藤 大樹

国際委員会が中心となり、免震建物の設計基準の国際比較と共通化に向けた取り組みを続けている。基礎免震については、適用範囲に違いはあるものの、各国とも1質点置換と等価線形化法による応答評価法が採用されており、共通点は多い。一方、時刻歴応答解析の方法を詳細に規定しているのは日本のみであり、日本の方法を共通基準として国際会議などを通じて提案していきたいと考えている。また、来年9月に仙台で開催される第13回世界免制震会議および協会20周年記念シンポジウムの準備を進めている。

## 資格制度委員会

委員長 長橋 純男

資格制度委員会(運営幹事会及び6部会で構成)は、当協会が認定する「免震部建築施工管理技術

者」および「免震建物点検技術者」の資格に関わる講習・試験及び更新講習会の実施とその合否判定の事業を担当している。今年度は既に9月30日(日)に「免震部建築施工管理技術者講習・試験」が500名を超える受験者により実施されたが、当該期間(10月?12月)には下記の2回の更新講習会が開催された。何れも約75%の高い更新率で、建築界における当資格のニーズが高いことを示すものと思われる。

11月4日(日) 第8回免震部建築施工管理技術者/更新講習会(会場:東京・砂防会館) 316名受講 更新率75.6%

11月25日(日) 第6回免震建物点検技術者/更新講習会(会場:東京・JA共済ビル) 171名受講 更新率74.7%

なお、今年度内にはこのあと、『第11回免震建物点検技術者講習・試験』が1月26日(土)に東京・ベルサール新宿を会場として予定されているが、昨年度のほぼ2倍に当たる322名から受験申込があった。

## 維持管理委員会

委員長 沢田 研自

東日本大震災から1年半経ても現在までの知見を盛り込んだ「免震建物の維持管理基準-2012-」を10月末に出版した。今回の大震災について、未だ様々な角度から検討が行われており、今後も新しい知見が得られ次第、都度改訂することとしている。

なお、現在の維持管理基準は、点検の負荷が重くなる傾向にあり、今後は、従来から問題が生じていない項目を省くなど、簡略かつポイントを押さえた基準とすべく検討を実施している。

維持管理基準では、点検という狭い範囲について解説しているが、設計や施工時に内在する問題を避けて通れないことから、今後はそれらに関しても積極的に言及した、免震の教科書的な内容にすることも検討している。

#### 原子力関係施設免震構造委員会 委員長 北山 和宏

本委員会では施工維持WG、要求性能WGおよび設計指針WGの三つのワーキング・グループを設置している。各WGでの活動の成果として「原子力関係免震構造建物の施工・維持管理ガイドライン」、「高性能免震装置の開発ロードマップ」および「原子力関係免震構造建物の設計ガイドライン」を2012年度末までに取りまとめることを確認し、それぞれの目次案について審議した。

「維持管理ガイドライン」は本会の「免震建物の維持管理基準2012」を基本として作成し、原子炉施設に適用される使用前検査や高経年化評価に対応した内容とする。「高性能免震装置の開発ロードマップ」の作成に際しては、免震部材の性能やフェールセーフ機構に関する詳細調査に基づき、想定を超える入力地震動に対して免震原子炉施設の損傷シナリオについて議論した。「設計ガイドライン」ではBおよびCクラスの原子炉施設を対象として、免震設計を行う際に留意すべき事項等を取りまとめて示す。そのために、中間貯蔵建屋(Bクラス(Ss))および固体廃棄物貯蔵庫(Bクラス)の試設計を行って、各種の解析に取り組み始めた。

# 委員会活動報告 (2012.10.1~2012.12.31)

日付	委員会名	開催場所	人数
10月2日	資格制度委員会/施工管理技術者試験部会	建築家会館1F大ホール	6
10月2日	技術委員会/防耐火部会/オイルダンパー耐火性能WG	建築家会館3F大会議室	8
10月2日	技術委員会/免震設計部会/設計支援ソフト小委員会	建築家会館3F小会議室	6
10月3日	技術委員会/免震設計部会/入力地震動小委員会	事務局	13
10月4日	表彰委員会	建築家会館3F大会議室	6
10月5日	応答制御建築物調査委員会/免震構造設計部会	建築家会館1F大ホール	23
10月5日	資格制度委員会/施工管理技術者試験部会	建築家会館3F大会議室	7
10月9日	技術委員会/防耐火部会/耐火認定試験体WG	事務局	9
10月9日	技術委員会/免震設計部会/設計小委員会/SWG	〃	4
10月10日	資格制度委員会/施工管理技術者試験部会	建築家会館3F大会議室	5
10月10日	維持管理委員会	事務局	11
10月12日	技術委員会/免震部材部会/ダンパー小委員会	〃	11
10月16日	資格制度委員会/施工管理技術者審査部会	〃	7
10月16日	資格制度委員会/施工管理技術者更新部会	〃	5
10月17日	原子力関係施設免震構造委員会/設計指針WG	食品衛生センター 5階 小会議室	11
10月17日	技術委員会/施工部会	スタジアムプレイス青山 9階 902	10
10月17日	応答制御建築物調査委員会/幹事会	事務局	8
10月18日	資格制度委員会/運営幹事会	〃	8
10月22日	技術委員会/防耐火部会	〃	15
10月22日	「考え方・進め方免震建築」編集委員会/第6章打合せ	〃	3
10月23日	応答制御建築物調査委員会/免震構造設計部会/免震エキスパンションガイドライン作成委員会/SWG	建築家会館3F小会議室	6
10月23日	運営委員会	事務局	11
10月23日	普及委員会/教育普及部会	建築家会館3F大会議室	8
10月24日	原子力関係施設免震構造委員会/要求性能WG	〃	10
10月24日	普及委員会/出版部会/「MENSHIN」78号編集WG	事務局	6
10月24日	普及委員会/出版部会	〃	10
10月24日	「考え方・進め方免震建築」編集委員会/幹事会	〃	7
10月26日	技術委員会/応答制御部会/制振部材品質基準小委員会	〃	8
10月29日	技術委員会/免震設計部会/入力地震動小委員会SWG	〃	3
10月30日	応答制御建築物調査委員会/免震構造設計部会/免震エキスパンションガイドライン作成委員会/本委員会	〃	16
10月31日	技術委員会/基準法改正WG	〃	7
11月6日	運営委員会/会務WG	〃	5
11月6日	技術委員会/免震設計部会/設計支援ソフト小委員会	〃	7
11月7日	「設計者のための免震・制震構造ハンドブック」編集委員会	〃	7
11月7日	技術委員会/基準法改正WG	建築家会館1F大ホール	5
11月9日	近未来問題検討委員会	事務局	3
11月13日	応答制御建築物調査委員会/免震構造設計部会/免震エキスパンションガイドライン作成委員会/SWG	建築家会館3F小会議室	8
11月13日	運営委員会	事務局	15
11月13日	技術委員会/防耐火部会/オイルダンパー耐火性能WG	建築家会館3F小会議室	10
11月16日	原子力関係施設免震構造委員会/施工維持WG	建築家会館1F大ホール	13
11月16日	国際委員会	事務局	7
11月16日	技術委員会/免震部材部会/アイソレータ小委員会	建築家会館3F大会議室	13
11月20日	技術委員会/防耐火部会	事務局	14
11月20日	技術委員会/免震部材部会/ダンパー小委員会	〃	15
11月21日	技術委員会/運営幹事会	〃	15
11月21日	技術委員会/免震設計部会/入力地震動小委員会	〃	16
11月22日	記念事業委員会	〃	10
11月22日	技術委員会/免震設計部会/設計小委員会	建築家会館3F大会議室	10
11月27日	応答制御建築物調査委員会/免震構造設計部会/免震エキスパンションガイドライン作成委員会/本委員会	事務局	14
11月27日	技術委員会/施工部会	スタジアムプレイス青山 9階 902	12
11月28日	応答制御建築物調査委員会/免震構造地震応答評価部会	事務局	11
11月29日	技術委員会/応答制御部会/制振部材品質基準小委員会	〃	9
12月3日	技術委員会/防耐火部会/耐火認定試験体WG	〃	11
12月4日	「考え方・進め方免震建築」編集委員会/幹事会	〃	9
12月5日	原子力関係施設免震構造委員会/設計指針WG	〃	11

日付	委員会名	開催場所	人数
12月6日	技術委員会/基準法改正WG	〃	6
12月6日	普及委員会/教育普及部会	千駄ヶ谷インテス	7
12月11日	運営委員会	事務局	14
12月11日	技術委員会/免震設計部会/設計支援ソフト小委員会	建築家会館3F小会議室	7
12月12日	原子力関係施設免震構造委員会/各WG幹事会	〃	3
12月12日	技術委員会/基準法改正WG	事務局	8
12月13日	資格制度委員会/運営幹事会	〃	5
12月13日	普及委員会/社会環境部会	建築家会館3F小会議室	3
12月14日	近未来問題検討委員会	スタジアムプレイス青山 9階 907	6
12月14日	技術委員会/耐風設計部会	事務局	6
12月18日	技術委員会/防耐火部会	〃	15
12月18日	技術委員会/防耐火部会/オイルダンパー耐火性能WG	〃	8
12月18日	応答制御建築物調査委員会/幹事会	〃	8
12月19日	「考え方・進め方免震建築」編集委員会/幹事会	〃	7
12月20日	原子力関係施設免震構造委員会	建築家会館1F大ホール	27
12月20日	応答制御建築物調査委員会/免震構造設計部会/免震エキスパンションガイドライン作成委員会/本委員会	事務局	13
12月26日	技術委員会/施工部会	〃	12
12月27日	応答制御建築物調査委員会/免震構造設計部会/ LRB小振幅多数回繰返しWG	〃	10

## 入 会

会員種別	会員名	業種または所属
第2種正会員	森田 高市	独立行政法人建築研究所
賛助会員	エニダイン(株)	メーカー/免震材料(アイソレータ、ダンパー)

## 資格喪失

会員種別	会員名	業種または所属
第2種正会員	三浦 賢治	

会員数 (2013年1月31日現在)	名誉会員	1名
	第1種正会員	92社
	第2種正会員	214名
	賛助会員	85社
	特別会員	7団体

## 入会のご案内

入会ご希望の方は、次項の申込書に所定事項をご記入の上、事務局までご郵送下さい。  
入会は、理事会に諮られます。理事会での承認後、入会通知書・請求書・資料をお送りします。

会員種別		入会金	年会費
第1種正会員	免震構造に関する事業を行う者で、本協会の目的に賛同して入会した法人	300,000円	(1口) 300,000円
第2種正会員	免震構造に関する学術経験を有する者で、本協会の目的に賛同して入会した個人 理事の推薦が必要です	5,000円	5,000円
賛助会員	免震構造に関する事業を行う者で、本協会の事業を賛助するために入会した法人	100,000円	100,000円
特別会員	本協会の事業に関係のある団体で入会したもの	別 途	—

## 会員の特典など

	総会での 議決権	委員会 委員長	委員会 委員	会誌送付部数	講習会・書籍等
第1種正会員	有/1票	可	可	4冊/1口 10冊/2口 20冊/3口	会員価格
第2種正会員	有/1票	可	可	1冊	会員価格
賛助会員	無	不可	可	2冊	会員価格

お分かりにならない点などがありましたら、事務局にお尋ねください

一般社団法人日本免震構造協会事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館2階

TEL：03-5775-5432

FAX：03-5775-5434

E-mail：jssi@jssi.or.jp

## 一般社団法人日本免震構造協会 入会申込書〔記入要領〕

第1種正会員・賛助会員・特別会員への入会は、次頁の申込み用紙に記入後、郵便にてお送り下さい。入会の承認は、理事会の承認を得て入会通知書をお送りします。その際に、請求書・資料（協会出版物等）を同封します。

記載事項についてお分かりにならない点などがありましたら、事務局にお尋ねください。

1. 法人名（口数）…口数記入は、第1種正会員のみです。
2. 代表名とは、下記の①または②のいずれかになります  
第1種正会員につきましては、申込み用紙の代表権欄の代表権者または指定代理人の□に✓を入れて下さい。
  - ①代表権者 … 法人（会社）の代表権を有する人  
 例えば、代表権者としての代表取締役・代表取締役社長等
  - ②指定代理人 … 代表権者から、指定を受けた者  
 こちらの場合は、別紙の指定代理人通知（代表者登録）に記入後、申込書と併せて送付して下さい。
3. 担当者は、当協会からの全ての情報・資料着信の窓口になります。  
 例えば……総会の案内・フォーラム・講習会・見学会の案内・会誌「MENSHIN」・会費請求書などの受け取り窓口
4. 建築関連加入団体名  
 3団体までご記入下さい。
5. 業種：該当箇所に○をつけて下さい。{        } 欄にあてはまる場合も○をつけて下さい  
 その他は（        ）内に具体的にお書き下さい。
6. 入会事由…例えば、免震関連の事業展開・○○氏の紹介など。

一般社団法人日本免震構造協会事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館 2階

TEL：03-5775-5432

FAX：03-5775-5434

E-mail：jssi@jssi.or.jp



## 一般社団法人日本免震構造協会「免震普及会」に関する規約

平成11年2月23日  
規約第1号

### 第1（目的）

社団法人日本免震構造協会免震普及会（以下「本会」という。）は、社団法人日本免震構造協会（以下「本協会」という。）の事業目的とする免震構造の調査研究、技術開発等について本協会の会報及び活動状況の情報提供・交流を図る機関誌としての会誌「MENSHIN」及び関連事業によって、免震構造に関する業務の伸展に寄与し、本協会とともに免震建築の普及推進に資することを目的とする。

### 第2（名称）

本会を「(社)日本免震構造協会免震普及会」といい、本会員を「(社)日本免震構造協会免震普及会会員」という。

### 第3（入会手続き）

本会員になろうとする者（個人又は法人）は、所定の入会申込書により申込手続きをするものとする。

### 第4（会費）

会費は、年額1万円とする。会費は、毎年度前に全額前納するものとする。

### 第5（入会金）

会員となる者は、予め、入会金として1万円納付するものとする。

### 第6（納入金不返還）

納入した会費及び入会金は、返却しないものとする。

### 第7（登録）

入会手続きの完了した者は、本会員として名簿に登載し、本会員資格を取得する。

### 第8（資格喪失）

本会の目的違背行為、詐称等及び納入金不履行の場合は、本会会員の資格喪失するものとする。

### 第9（会誌配付）

会誌は、1部発行毎に配付する。

### 第10（会員の特典）

本会員は、本協会の会員に準じて、次のような特典等を楽しむことができる。

- ① 刊行物の特典頒付
- ② 講習会等の特典参加
- ③ 見学会等の特典参加
- ④ その他

### 第11（企画実施）

本会の目的達成のため及び本会員の向上の措置として、セミナー等の企画実施を図るものとする。

### 附則

日本免震構造協会会誌会員は、設立許可日より、この規約に依る「社団法人日本免震構造協会免震普及会」の会員となる。

## 一般社団法人日本免震構造協会「免震普及会」入会申込書

申込書は、郵便にてお送り下さい。

申 込 日 (西暦)		年 月 日	*入会承認日	月 日
*コード				
ふりがな 氏 名		印		
勤 務 先	会 社 名			
	所 属 ・ 役 職			
	住 所	〒 -		
	連 絡 先	TEL ( )	-	
		FAX ( )	-	
自 宅	住 所	〒 -		
	連 絡 先	TEL ( )	-	
		FAX ( )	-	
業 種	該当箇所に○をお付けください	A：建設業 B：設計事務所 C：メーカー ( )		
	業種Cの括弧内には、分野を記入してください	D：コンサルタント E：その他 ( )		
会誌送付先	該当箇所に○をお付けください	A：勤務先	B：自 宅	

\*本協会にて記入します。



## 行事予定表 (2013年3月～2013年5月)

■ は、行事予定日など

### 3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

3/14 理事会(明治記念館)

3/25 第3回審議員会(明治記念館)

### 4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

開催日未定 「免震建築物の耐風設計指針」講習会

開催日未定 「免震エキスパンションジョイント」講習会

### 5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

5/中旬 監事監査(協会会議室)

5/中旬 理事会(明治記念館)

5/27 会誌「menshin」No.80発行

5/下旬 記者懇談会(協会会議室)

## ◇ 講師の御礼

事務局

10月16日「第14回不動産ソリューションフェア」セミナーにおきまして本協会を代表して 普及委員会 社会環境部会 委員長（大成建設株式会社）久野 雅祥 氏にご講演をしていただきました。ありがとうございました。

「第14回不動産ソリューションフェア」セミナー  
日 時：2012年10月16日(火) 11時20分～12時10分  
講 演：「東日本大震災で実証された免震構造」  
会 場：東京ビッグサイト 西4ホール



久野講師

## 平成24年度免震部建築施工管理技術者更新報告

資格制度委員会  
委員長 長橋 純男

平成12年に発足させた、当協会の資格認定制度「免震部建築施工管理技術者」の登録有効期限は5年間で、資格を更新するためには、講習会を受講する・免震工事概要報告書を提出する、二つの方法があります。本年度の更新対象者は、更新一回目255名と更新二回目163名の418名です。

前者の更新講習会は、平成24年11月4日（日）に、砂防会館（東京）にて実施し、316名が受講しました。後者の免震工事概要報告書提出での更新者は17名でした。

更新率は、更新一回目が74%・更新二回目が78%と、二回目の更新者のほうが高い数字となりました。

当日のプログラムは、基調講演を、山下設計の小林信行氏が「意匠設計者から見た免震ディテール」のタイトルで約一時間講演の後、構建設計研究所・中川 理氏が「免震情報の紹介」、アルテス・原田直哉氏が「JSSI免震構造施工標準2009」を講習しました。

今年も昨年に引き続き、免震部建築施工管理技術者試験の受験者も501名と多くあり、資格の更新率も高かったです。

1月18日現在、免震部建築施工管理技術者は、3532名となりました。



主催者挨拶/資格制度委員会 長橋委員長



基調講演/小林信行氏



司会/更新部会 杉崎委員長



講習会受講の様子

## 平成24年度免震建物点検技術者更新報告

資格制度委員会  
委員長 長橋 純男

免震建物点検技術者の登録有効期間は5年間で、今回6度目の更新を迎えました。資格制度委員会/点検技術者/更新部会が中心となり、準備を進めてきました。

更新方法は、「会場で講習を受講する」参加学習型と、「免震点検報告書を提出する」実務経験型があります。どちらかを選択することができます。

前者の更新講習会は、平成24年11月25日(日)に、東京のJA共済ビルカンファレンスホールにて行い、171名の方が受講されました。講演は、普段はあまり触れることのない貴重な内容で、受講者の方も熱心に受講されていました。

プログラムは下記の通りです。

時間割	内 容	講 師
13:05～13:10 (5分)	主催者挨拶	資格制度委員会 委員長 長橋 純男
13:10～14:00 (50分)	基調講演 「維持管理学：他分野における現状」	ANA ラインメンテナンステクニクス(株) 黒木 英昭 氏
14:00～14:10 (10分)	休 憩	
14:10～14:40 (30分)	講 演 「免震建物の維持管理の現状」	ブリヂストン化工品東日本(株) 中塚 實 氏
14:40～15:10 (30分)	講 演 「免震建物の点検時の安全作業」	(株)免震テクノサービス 古畑 雄策 氏
15:10～15:35 (25分)	講 習 「最近の免震事情」	(株)熊谷組 沢田 研自 氏

後者の免震点検報告書提出者は35名で、更新部会にて書類審査を行い、全員を「更新可」と判定いたしました。前者の学習参加型による更新手続者171名を含めて、更新率は約76%でした。



ANAラインメンテナンステクニクス黒木氏



受講者の様子

## 2013年 新年賀詞交歓会報告

一般社団法人日本免震構造協会  
事務局長 佐賀 優子

当協会は1月16日（水）午後6時より、東京・元赤坂の明治記念館・若竹の間にて新年賀詞交歓会を開催しました。今回は、来賓・会員あわせて119人が出席し、新年を祝いました。

はじめに、西川会長より「本日は、お忙しい中、皆様、多数ご来臨いただきまして誠にありがとうございます。皆様方におかれましては、佳き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。一昨年の3.11を経験して、免震は総じて効果を発揮しました。ダンパーとエキスパンションジョイントに多少の課題はありましたが、免震の有効性が発揮出来ました。今後、免震レトロフィットなども進展されると思われますので、免震関係者は腕のふるいどころがあります。安全な建物の発展のため、健全で有効な方法として、免震は今後益々採用されるでしょう。昨年、耐風設計指針なども出版されました。また、今年は協会が創立20周年を迎え、現在、記念事業を検討中です。私ども協会会員一同、免震の発展に真摯に取り組んで参る所存でございますので、皆様方におかれましても、一層のご指導とご高配を賜りますようお願い申し上げます。」と、挨拶しました。

つづいて、来賓の国土交通省住宅局建築指導課 建築物防災対策室 石崎 和志室長が挨拶され、一般社団法人日本建築学会 和田 章会長が、乾杯の音頭をとって、歓談に入りました。和やかな雰囲気の中、歓談の輪があらこちらで見受けられ、丑場副会長の中締めにより、午後7時40分に盛会裏にお開きとなりました。



あいさつする西川会長



あいさつする国土交通省 石崎室長



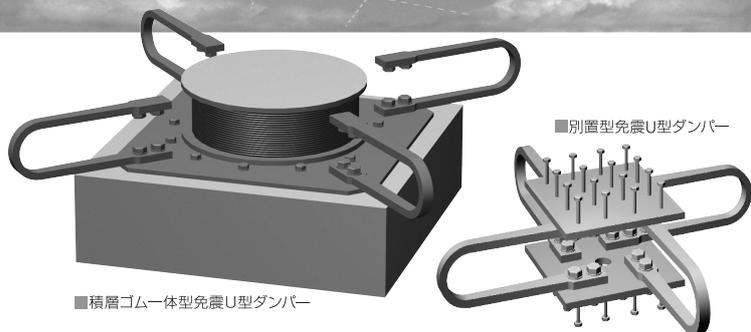
乾杯の音頭 建築学会 和田会長



会場内の様子

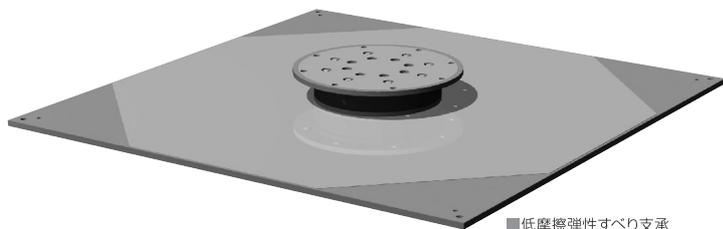


# 新日鉄住金エンジニアリングの 免震シリーズ



■積層ゴム一体型免震U型ダンパー

■別置型免震U型ダンパー



■低摩擦弾性すべり支承

## さまざまな設計・施工ニーズに応える 2タイプの 免震U型ダンパー

## 地震を受け流して建物を守る 高性能・低コストの 低摩擦弾性すべり支承

### 1 高品質

地震時に安定した復元力特性で地震動エネルギーを吸収し揺れを低減します。また、温度や振動数の依存性も少なく、繰り返しに対する疲労特性にも優れています。さらに製造バラツキは±10%以内、安定した性能を誇ります。

### 2 高い設計自由度

免震U型ダンパーのサイズ、本数や配置、組み合わせにより、建物形状に合わせた最適な設計が可能です。

### 3 無方向性

免震U型ダンパーの360度すべての方向に対し、ほぼ同等の履歴特性を示します。

### 4 低コスト

従来の免震鋼棒ダンパーに比べ、降伏せん断力当たりの価格が安く、経済的です。

### 5 点検が容易

地震後の損傷程度を目視にて確認できます。また、万が一の地震後におけるダンパー部分の取り替えも可能です。

### 1 高性能

独自開発の「低摩擦すべり機構」(特許申請中)により、極めて低い動摩擦係数を実現。さまざまな周期の地震でも、安定した性能を発揮します。

### 2 優れた耐久性・メンテナンスフリー

すべり板の表面には耐久性に優れた「特殊表面コート」を採用しました。すべり材には、長期にわたる使用でも極めて安定した性能を発揮する「PTFE材」を使用。高品質の天然ゴムを積層ゴムに採用しています。

### 3 低コスト&省スペース

独自開発の「低摩擦すべり機構」により、低コストを実現。高面圧対応のすべり材及び積層ゴムを使用することで、製品のコンパクト化を実現しました。

### 4 幅広い免震効果

免震建物の長周期化の実現により、低層から高層まで、幅広い建築物の免震効果が向上。免震建築物の最適化が容易です。

確かなアンサーを、あなたへ。 建築・鋼構造事業部 エンジニアリング商品部

東京都品川区大崎一丁目5番1号 大崎センタービル 〒141-8604  
Tel.03-6665-4360 ☎0120-57-7815 <http://www.nsec-steelstructures.jp>

新日鉄住金エンジニアリング株式会社



地震を止めることはできない。でも、地震を伝えないことはできる。



巨大な建物を地震から守るもの。それが「ゴム」と聞いたら、少しびっくりしますか？ その名も「免震（めんしん）ゴム」。薄いゴムと鉄板を、デザートのみルフィーユのように幾層にも積み重ね、地震の力を伝えにくくすることで、建物や人々の安全を守る装置です。ブリヂストンの免震ゴムは世界中の建物で採用され、2012年秋にリニューアルした東京駅の駅舎にも使われています。タイヤで培った最新技術が可能にしたブリヂストンの免震ゴム。今日も、いろんなビルや建物の下から、人々の安心を支えています。



©JR東日本

ブリヂストンの免震ゴム、生まれ変わった東京駅の駅舎にも。  Tokyo Station Marunouchi Bldg.

株式会社ブリヂストン  
 【ブリヂストンお客様相談室】フリーダイヤル0120-39-2936  
 受付時間：月～金（祝日・当社指定休日は除く）9:00～17:00  
[www.bridgestone.co.jp](http://www.bridgestone.co.jp)

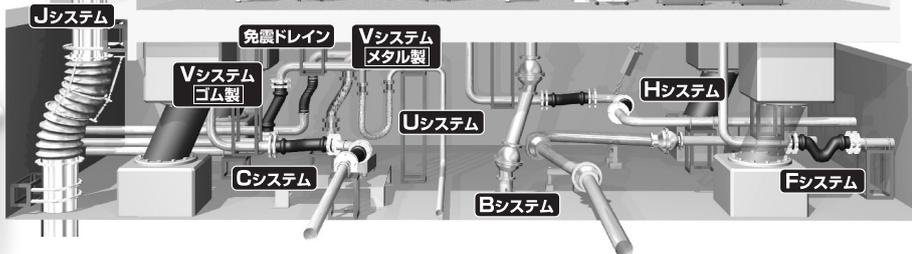
**BRIDGESTONE**

あなたと、つぎの景色へ

TOZEN

# 免震継手システム SQ2

SEQULEX2 セキュレックス2



## 免震・層間・ 変位吸収継手の パイオニア

### Fシステム

大変位性、施工性などに優れた性能を発揮する横引き・斜め配管取付用免震システム。

### Hシステム

サスペンションと継手を組み合わせて高い免震性能を発揮。スプリング内蔵型免震システム。

### Cシステム

国内免震システム第一号の豊富な実績と確かな信頼性のコンローラ、ステージ型、免震システム。

### Vシステム

低コスト化を追求した縦配管・垂直取付け免震システム。

### Uシステム

継手一本で低コスト化を実現。さらに省スペースでも対応可能な免震システム。

### 免震ドレイン

簡易的な施工で変位吸収が可能な排水用免震継手。

### Jシステム

空調・排煙・煙道・煙突用免震システム。

### Bシステム

【縦型】伸縮型ボールジョイントを採用し省スペース化を実現した免震システム。

### Bシステム

【横型】高温、高圧、大口径に適したボールジョイントを採用した免震システム。

#### 住宅免震用配管継手

#### ハウズドレイン (排水用)

短面間で最大免震量500mmまで対応可能な  
縦取付け専用の排水免震継手。



#### ハウズドレインF (排水用)

縦取付けはもちろん、横取付け(水平)も可能(最大免震量700mm)。  
評価方法基準における維持管理対策等級3にも適応。



#### アクトホース (給水用)

「ねじれ」を防止する回転機能付き。  
最大免震量500mmまで対応可能な免震継手。



株式会社 TOZEN

E-mail  
gr.info@tozen.co.jp

URL  
http://www.tozen.info/

★HPからはDXFデータをごダウンロードできます。ISO9001  
各種電子カタログもご覧になれます。 認証取得

東日本事業所 〒110-0008 東京都台東区池之端1-2-18 MG池之端ビル4階  
TEL: 03-3824-2091 (代表) FAX: 03-3824-2115  
仙台出張所 〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井字広瀬前125番地-10  
TEL: 022-288-2701 (代表)  
北海道エリア TEL: 050-3386-1561 (代表)

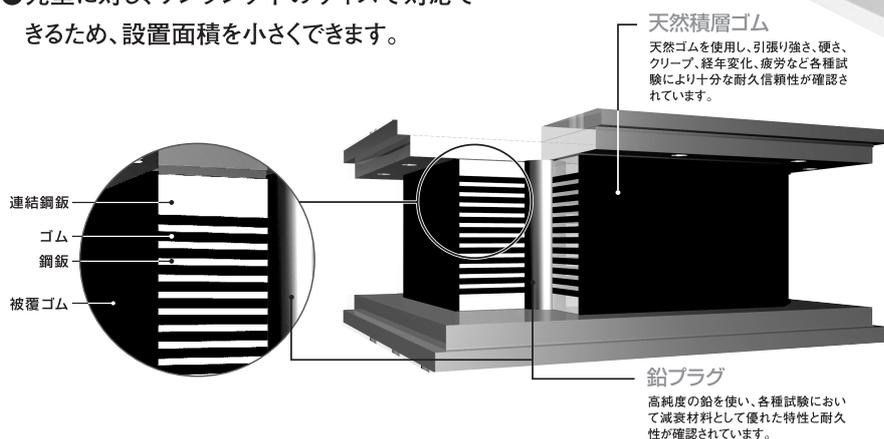
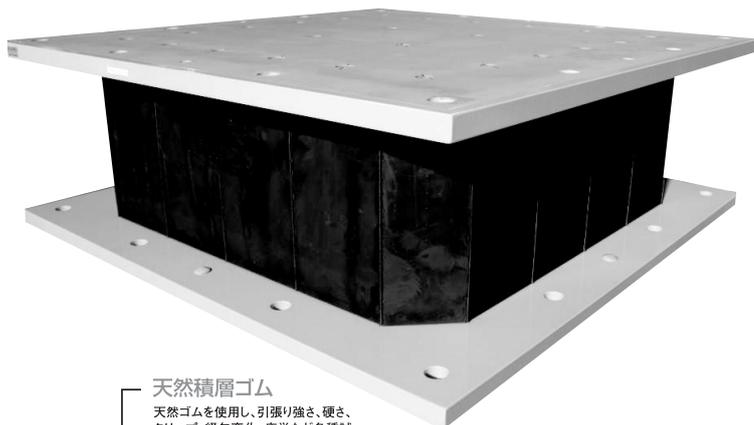
西日本事業所 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-5-14  
TEL: 06-6578-0310 (代表) FAX: 06-6578-0312  
中部エリア TEL: 050-3538-1561 (代表)  
九州エリア TEL: 050-3538-1616 (代表)

# 先進の免震設計に、信頼で応える オイルスの免震装置

〈角型〉鉛プラグ・積層ゴム一体型免震装置

## LRB-S

- 従来のLRBの性能を維持するとともに、躯体と免震装置の経済的な設計が出来るエコノミーデザインです。
- 水平全方向で安定した特性を示し、大変形に対する信頼性も確認されています。
- レトロフィットなどでの柱の収まりが良く、耐火被覆などが容易で、低コスト化できます。
- 丸型に対し、ワンランク下のサイズで対応できるため、設置面積を小さくできます。



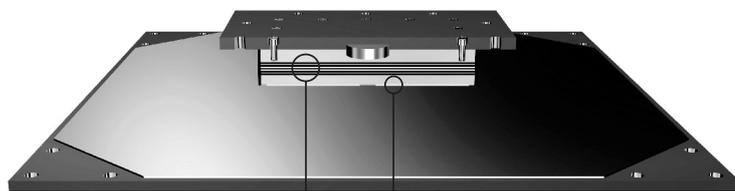
大型試験機によるLRBの大変形性能試験

滑り天然積層ゴム型免震装置

## SSR

長周期化を可能にする、  
オイルス弾性すべり支承

- 摩擦係数 $\mu=0.01$ 、 $\mu=0.03$ 、 $\mu=0.13$ と豊富なバリエーションとサイズをご用意しています。
- 最大鉛直荷重33,500kNまで揃えています。
- 小さな荷重でも変形量を確保し、免震化を可能にします。



天然積層ゴム  
天然ゴムを使用し、引張り強さ、硬さ、クリープ、経年変化、疲労など各種試験により、十分な耐久信頼性が確認されています。

摺動材(オイルス滑り材)  
オイルス滑り材は、耐荷重性、耐磨耗性、摩擦係数、速度特性など各種試験により、十分な耐久信頼性が確認されています。

※SSRはLRBやRBなどの免震装置と組み合わせて使用します。

**OILES** オイルス工業株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-6-34 品川イースト6F <http://www.oiles.co.jp/>  
免震事業部 TEL.03-5781-0314

ADC 免制震デバイス社の

# 慣性付き 粘性制震装置

低速度の揺れでも  
高効率のエネルギー吸収

- ◆超高層建物の長周期地震動対策に有効
- ◆1基あたりの減衰性能が高く、少ない設置数でも効果が大
- ◆小型軽量で、新築にも耐震改修にも対応
- ◆他の制振装置と併用が可能
- ◆想定以上の過大入力に対する安全機構

建物の変形によって生じる装置軸方向の伸縮をボールねじ機構により高速回転運動に変換。

発生する回転慣性力が粘性減衰機構を効率よく駆動して大きなエネルギー吸収力を生み出します。



iRDT (慣性こま)は、従来の粘性制震装置RDT (減衰こま)の回転部分を外側に配置して大きな回転慣性質量を付加した装置。

## *iRDT* 慣性こま inertial Rotary Damping Tube

### ● 転がり免震装置

CLB 直動転がり支承

### ● 積層ゴム免震装置

SnRB 錫プラグ入り積層ゴム

LRI 鉛プラグ入り積層ゴム

NRI 天然ゴム系積層ゴム

### ● すべり支承免震装置

SLR 弾性すべり系積層ゴム

ADC 免制震デバイス社の 免震・制震装置

### ■ 慣性付き粘性制震装置

*iRDT* 慣性こま

### ● 粘性制震装置

RDT 減衰こま

VDW 粘性制震壁

### ● 粘性減衰装置

RDT 減衰こま

# ADC

Aseismic Devices Co., Ltd.

株式会社 免制震デバイス

<http://www.adc21.co.jp>

【本社】〒102-0075 東京都千代田区三番町6番26号

住友不動産三番町ビル5階 TEL:03-3221-3741

【技術センター】〒329-0432 栃木県下野市仁良川1726

超  
高  
層  
ビ  
ル  
は  
も  
ち  
ろ  
ん  
低  
層  
建  
物  
に  
も  
存  
分  
に  
性  
能  
を  
発  
揮  
し  
ま  
す  
。

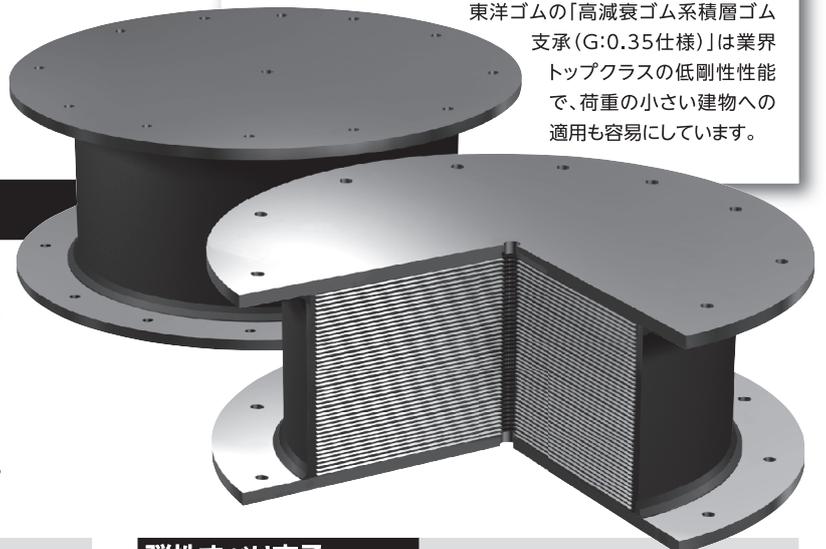
写真:タイヤ技術センター(兵庫県伊丹市)

# 技術の結晶 高減衰と 低剛性の 融合を実現!

## 低層建物にも適応する低剛性性能

適度な荷重を与えることで免震効果を発揮する免震積層ゴム支承は、低層建物や軽量建物では免震化が困難な場合があります。

東洋ゴムの「高減衰ゴム系積層ゴム支承(G:0.35仕様)」は業界トップクラスの低剛性性能で、荷重の小さい建物への適用も容易にしています。



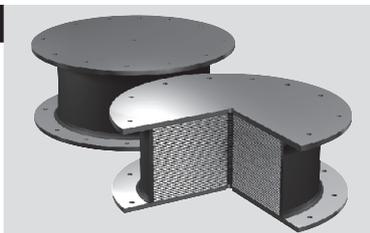
## 高減衰ゴム系積層ゴム支承

ゴム分子間相互のエネルギー吸収能力を高めた特殊配合ゴムを使用した免震積層ゴム支承。揺れ幅の制御に加えて、地震後の敏速な静止機能も優れています。ダンパー機能一体型で維持管理が容易です。

HRBシリーズ せん断弾性係数 G:0.35N/mm<sup>2</sup> 認定番号: MVBR-0437  
SHRBシリーズ せん断弾性係数 G:0.39N/mm<sup>2</sup> 認定番号: MVBR-0438  
SHRBシリーズ せん断弾性係数 G:0.62N/mm<sup>2</sup> 認定番号: MVBR-0439

## 天然ゴム系積層ゴム支承

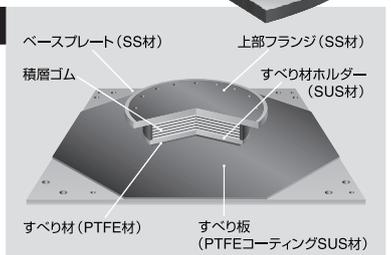
天然ゴムを使用したベーシックな免震積層ゴム支承。地震後の揺れ静止のために、ダンパーが別途必要です。各種ダンパーとの組み合わせにより、幅広い用途要求に対応できます。



NRBシリーズ せん断弾性係数 G:0.34~0.44N/mm<sup>2</sup> 認定番号: MVBR-0342  
(0.29N/mm<sup>2</sup> 開発中)

## 弾性すべり支承

すべり板と組み合わせた免震装置。地震時の小さな変位には、弾性体である積層ゴム支承が変形し、揺れに追従。さらに大きな変位が発生した場合は、すべり材がすべり板の上をスライドするハイブリッドタイプです。



SLBシリーズ 摩擦係数  $\mu$ 0.01 認定番号: MVBR-0236

## 東洋ゴム工業株式会社

お問い合わせ 東洋ゴム化工品販売株式会社

本 社 〒162-8622 東京都新宿区天神町10番地 安村ビル  
TEL:03-3235-1751

大阪支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-5-30 堂島プラザビル11F  
TEL:06-4799-6552

札幌支店 011-747-1040 東北支店 022-292-1855 中部支店 052-973-2900  
中国支店 086-292-5111 四国支店 087-869-1595 九州支店 092-411-8303

※商品の規格・仕様は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

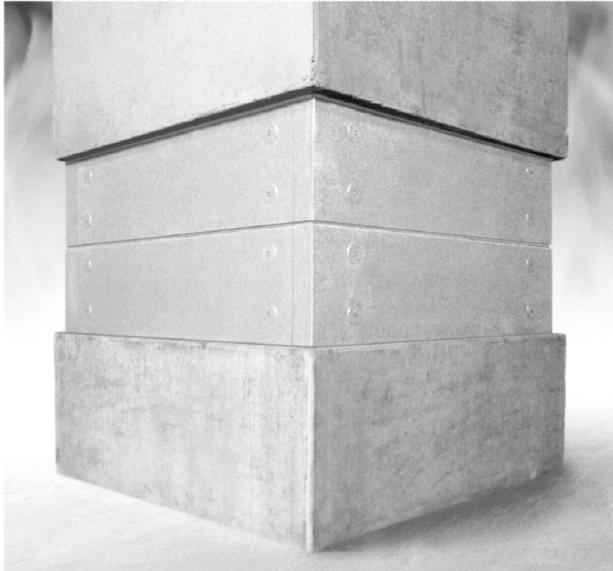
<http://www.toyo-kohan.co.jp/>

**国土交通大臣の柱耐火3時間認定を取得!** 【適合免震装置：天然ゴム系、高減衰ゴム系支承】

免震建築物の積層ゴム用耐火被覆材

# メンシガードS

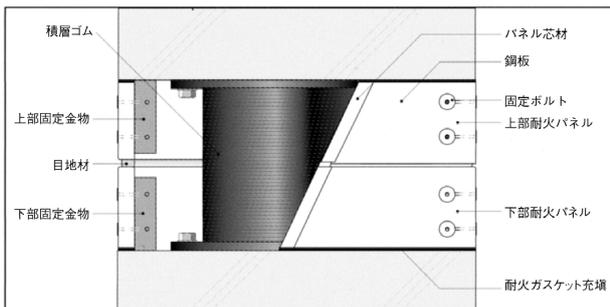
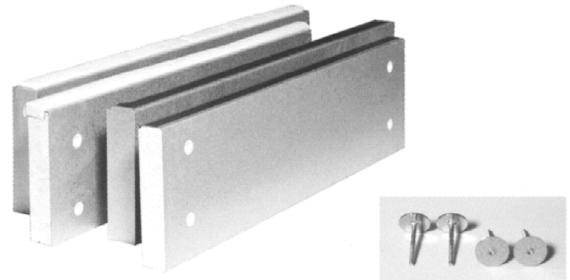
国土交通大臣認定  
天然ゴム系：  
FP180CN-0349  
高減衰ゴム系：  
FP180CN-0350



- 中間層免震の場合、積層ゴムにメンシガードSを施す事により免震層を駐車場や倉庫として有効利用ができます。
- 従来の耐火材に比べ美しくスマートに仕上がります。
- 表面にガルバリウム鋼板を使用しているため、物が当たった時の衝撃に対しても安全です。
- 専用ボルトによる固定のため、簡単に脱着ができ積層ゴムの点検が容易に行えます。

### 性能

- 耐火試験を行い、耐火3時間性能を確認しています。
- 変位追従性能試験を行い、地震時の変位に追従する事を確認しています。



※材質 耐火芯材：けい酸カルシウム板 表裏面鋼板：ガルバリウム鋼板

### 目安寸法

積層ゴム径	変位 (mm)	標準寸法 (仕上がり外寸)
600 φ	±600	1,310×1,310
650~800 φ		1,510×1,510
850~1000 φ		1,710×1,710
1100~1200 φ		1,910×1,910
1300 φ		2,110×2,110

免震建築物の防火区画目地

# メンシンメジ

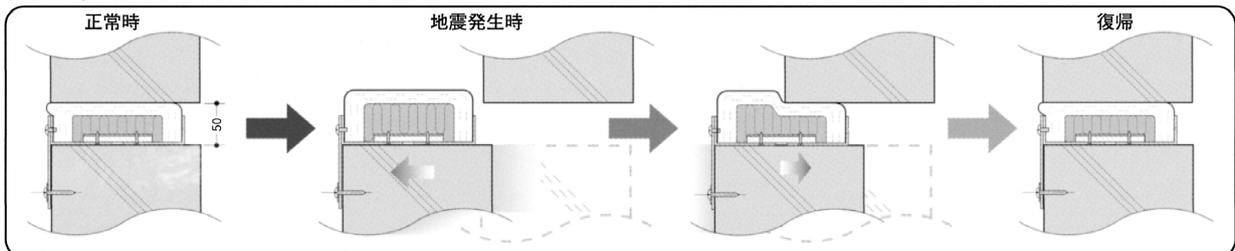


- 耐火1時間性能試験を行い、非加熱面温度（裏面温度）が告示で定める可燃物燃焼温度（建告1432号）以下であることを確認しています。
- 400mm変位試験を行い、変位前後で異常が無い事を確認しています。

(単位：mm)

種類	厚さ	幅	長さ
一般品	62.5	100	1,040

### 変位追従モデル



◎メンシガード S、メンシンメジのご使用に際し、詳細は以下までご相談下さい。

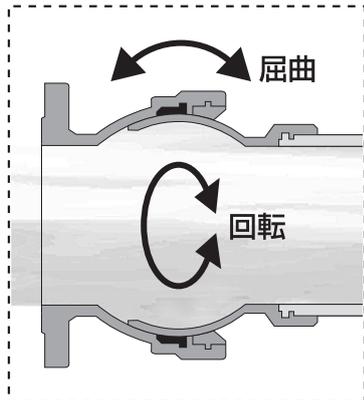
**ニチアス株式会社**

本社 / 〒105-8555 東京都港区芝大門1-1-26  
 建材事業本部 ☎ 03-3433-7256 名古屋営業部 ☎ 052-611-9217  
 設計開発部 ☎ 03-3433-7207 大阪営業部 ☎ 06-6252-1301  
 東京営業部 ☎ 03-3438-9751 九州営業部 ☎ 092-521-5648

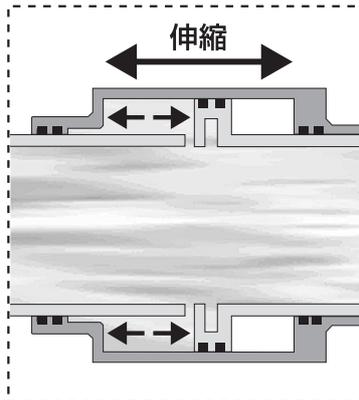
# 省スペース型 新メカニカル免震継手

ボールジョイントと伸縮ジョイントを一体化。  
三次元(X・Y・Z・回転軸)作動。

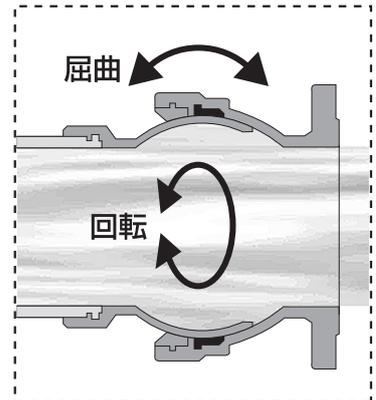
- 摺動タイプで反力はなく作動抵抗がほとんどない。
- 無反動型は圧力変動と水の体積変化を吸収する。
- 金属製で強度、耐久性に優れ、メンテナンスフリー。
- 無反動型は内圧による推力がほとんど発生しない。



ボールジョイント

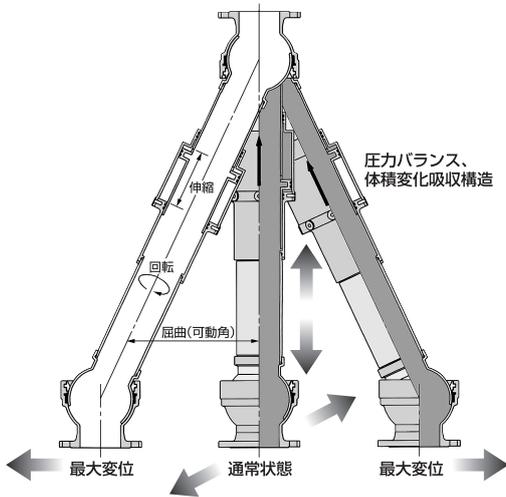


伸縮ジョイント  
(圧力バランス、体積変化吸収構造)

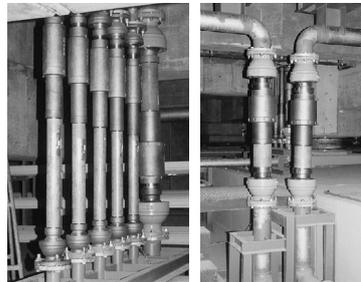


ボールジョイント

## ■作動図



## ■施工例



MB-MK (給水用)

MB-MK (消火用)



MB-HY (排水用)

## ■種類・サイズ・用途 (単位:mm)

### 圧力配管用 縦型[無反動型] (MB-MK)

呼び径	免震量 ±400・±500・±600			伸縮量	可動角(°)
	面間(±400)	面間(±500)	面間(±600)		
25	960	1180	1400	0~150	±25°
32	980	1200	1420		
40	1000	1220	1440		
50	1020	1240	1460		
65	1060	1280	1500		
80	1130	1350	1570		
100	1160	1380	1600		
125	-	1380	1600	0~200	±25°
150	-	1380	1600		
200	-	1430	1620		

### 開放配管用 縦型 (MB-HT)

呼び径	免震量 ±400・±500・±600			伸縮量	可動角(°)
	面間(±400)	面間(±500)	面間(±600)		
25	960	1180	1400	0~200	±25°
32	980	1200	1420		
40	1000	1220	1440		
50	1020	1240	1460		
65	1060	1280	1500		
80	1130	1350	1570		
100	1160	1380	1600		
125	1160	1380	1600	0~200	±25°
150	1160	1380	1600		

### 開放配管用 横型 (MB-HY)

呼び径	免震量 ±400・±500・±600			伸縮量	可動角(°)
	面間(±400)	面間(±500)	面間(±600)		
25	1520	1820	2120	(±400) (±500) (±600)	±25°
32	1550	1850	2150		
40	1560	1860	2160		
50	1630	1930	2230		
65	1700	2000	2300		
80	1920	2220	2520		
100	1990	2290	2590		
125	2000	2300	2600	0~200	±25°
150	2070	2370	2670		

※免震量や呼び径が大きい場合はお問い合わせ下さい。

(財)日本消防設備安全センター 認定番号/PJ-119号 PJ-120号 PJ-121号  
危険物保安技術協会 評価番号/危評第0017号

無反動型免震ジョイント ボール形可とう伸縮継手

# メンミンベンダー

●お問い合わせは本社営業統轄部へ



本社 〒529-1663 滋賀県蒲生郡日野町北脇206-7 TEL(0748)53-8083  
札幌営業所 TEL(011)642-4082 大阪支店 TEL(072)677-3355  
東北営業所 TEL(022)306-3166 中国支店 TEL(082)262-6641  
東京支店 TEL(03)3970-9030 九州支店 TEL(092)501-3631  
名古屋支店 TEL(052)712-5222

■URL <http://www.suiken.jp/> ■E-mail [otoiawase@suiken.jp](mailto:otoiawase@suiken.jp)

GOMENKA

# 護 免 火

## 免震構造用耐火被覆システム

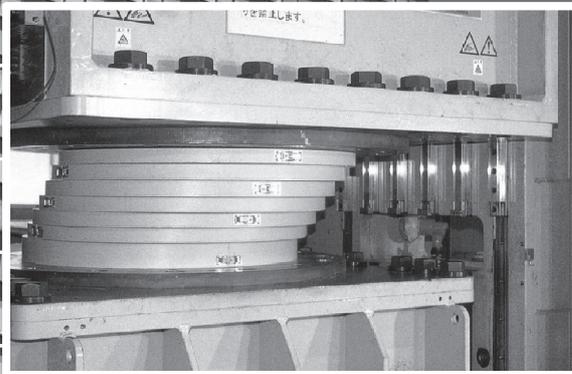
耐火構造認定 柱3時間

- 天然ゴム系積層ゴム支承  
FP180CN-0482 (RC柱)  
FP180CN-0483 (SRC柱)
- 高減衰積層ゴム支承  
FP180CN-0480 (RC柱)  
FP180CN-0481 (SRC柱)

- ◆フレキシブル板とけい酸カルシウム板を主構成材料とした優れた耐火性
- ◆フッ素樹脂のすべり効果により免震装置の水平変形にしっかり追随
- ◆分割されたリング状耐火被覆材をバックルで固定するだけの簡単施工

適用できる構造が増えました。鉄筋コンクリート(RC)柱に加えて、鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)柱への適用が可能となりました。

# 燃やさない技術。 ビル免震構造を火災から護ります。



護免火の変形追随性試験

■角形



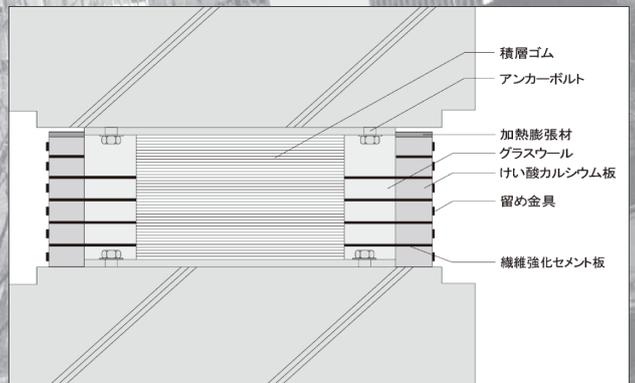
■丸形



■仕上げ形状および寸法

(単位:mm)

積層ゴム支承の種類	仕上げ形状	仕上がり寸法
天然ゴム系積層ゴム支承 (ゴム径:φ500~φ1600)	角形 丸形	フランジ外径(外寸)+210 フランジ外径(外寸)+250
高減衰積層ゴム支承 (ゴム径:φ600~φ1600)	角形 丸形	フランジ外径(外寸)+210



## 優れた免震構造は、地震だけでなく火災にも強い。

「護免火」は免震構造を火災から護るために開発された耐火被覆材です。3時間の加熱において、積層ゴム表面を150℃以下に保ちました。優れた追随性を発揮し、定期点検にも優れた簡単施工です。

**AGAM エーアンドエー 工事株式会社**

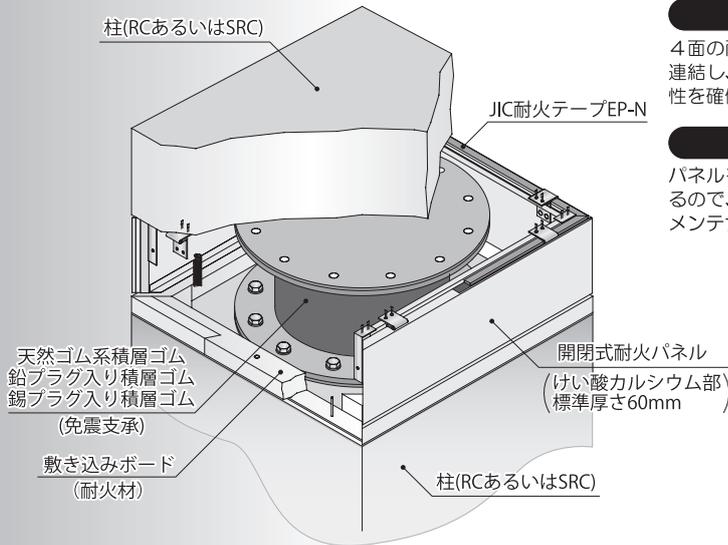
営業部・技術部 〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央2-5-5 電話 045(503)7730

- ◆東日本支店 電話 045(510)3365  
仙台営業所 電話 022(284)4075
- ◆中部支店 電話 052(324)6221
- ◆西日本支店 電話 06(6311)5271  
九州営業所 電話 092(721)5201

開閉式耐火パネル仕様 / 柱・天然ゴム系積層ゴム免震装置耐火被覆システム

# めんしんたすけ-N

耐火3時間  
高層マンションOK



### 変形追従型

4面の耐火パネルをスプリングで連結し、大変形への追従性と復元性を確保しています。

### コンパクト

けい酸カルシウム板を採用し、柱外寸 1155mmというコンパクトサイズにも対応できます。

### メンテナンス

パネルをはずすことなく確認できるので、定期的な点検や地震後のメンテナンスが容易です。

### <実大試験状況>



阪神大震災の際の計測値の1.3倍の地震動を2回与えても、耐火システムは保たれました。

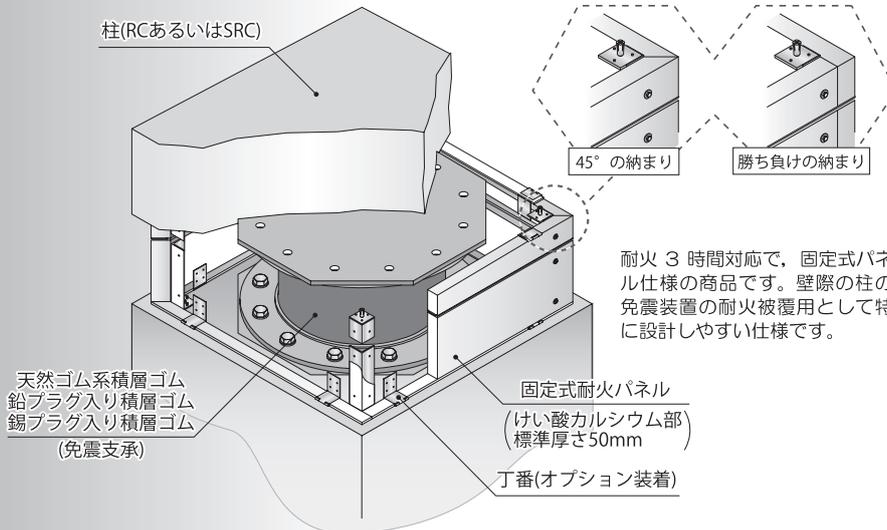


固定式耐火パネル仕様 / 柱・天然ゴム系積層ゴム免震装置耐火被覆システム

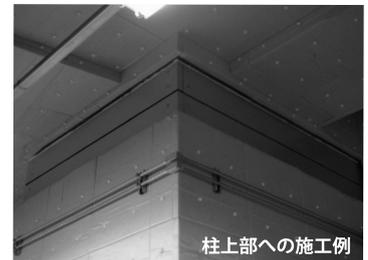
# めんしんたすけ-N<sub>2</sub>

耐火3時間  
高層マンションOK

コーナー形状は2タイプから選べます。



耐火3時間対応で、固定式パネル仕様の商品です。壁際の柱の免震装置の耐火被覆用として特に設計しやすい仕様です。



柱上部への施工例



柱下部への施工例

柱・高減衰ゴム系積層ゴム免震装置用「めんしんたすけ-HD」  
すべり支承免震装置用「めんしんたすけ-S」もあります。

 **JIC**  
日本インシュレーション株式会社  
[www.jic-bestork.co.jp](http://www.jic-bestork.co.jp)

東京 東京都中央区新川1丁目14番5号(金盃第3ビル3F)  
TEL. 03(3553)7531 TEL. 03(3553)4530  
岐阜 TEL. 058(327)5686 大阪 TEL. 06(6633)7322  
仙台 TEL. 022(779)6651 福岡 TEL. 092(452)8651

## 会誌「MENSHIN」 広告掲載のご案内

会誌「MENSHIN」に、広告を掲載しています。貴社の優れた広告をご掲載下さい。

### ●広告料金とサイズなど

- 1) 広告の体裁 A4判(全ページ) 1色刷  
掲載ページ 毎号合計10ページ程度
- 2) 発行日 年4回 2月・5月・8月・11月の25日
- 3) 発行部数 1,200部
- 4) 配布先 社団法人日本免震構造協会会員、官公庁、建築関係団体など
- 5) 掲載料(1回)

スペース	料 金	原稿サイズ
1ページ	¥84,000(税込)	天地 260mm 左右 175mm

※原稿・フィルム代は、別途掲載者負担となります。※通年掲載の場合は、20%引きとなります。正会員以外は年間契約は出来ません。

- 6) 原稿形態 広告原稿・フィルムは、内容(文字・写真・イラスト等)をレイアウトしたものを、郵送して下さい。  
広告原稿・フィルムは、掲載者側で制作していただくこととなりますが、会誌印刷会社(株)大應に有料で委託することも可能です。
- 7) 原稿内容 本会誌は、技術系の読者が多く広告内容としてはできるだけ設計等で活用できるような資料が入っていることが望ましいと考えます。  
出版部会で検討し、不適切なものがあつた場合には訂正、又は掲載をお断りすることもあります。
- 8) 掲載場所 掲載場所につきましては、当会にご一任下さい。
- 9) 申込先 一般社団法人日本免震構造協会 事務局  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館2階  
TEL 03-5775-5432 FAX 03-5775-5434

広告を掲載する会員は、現在のところ正会員としておりますが、賛助会員の方で希望される場合は、事務局へご連絡下さい。

# 大地震に備える

～免震構造の魅力～

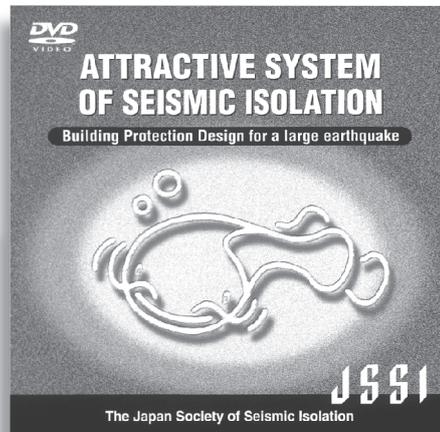
免震建築の普及のため、建築主向けに免震構造を分かり易く解説したもの (約9分)



[日本語版]

価格(税込)：会 員 ￥2,000  
非会員 ￥2,500  
アカデミー ￥1,500

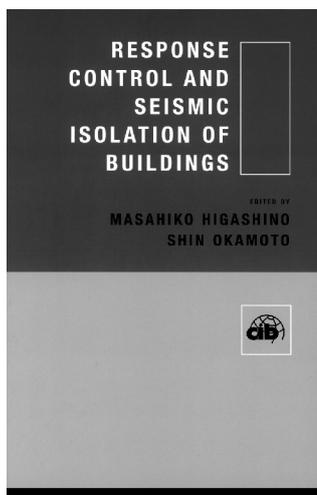
発行日：2005年8月



[英語版]

価格(税込)：会 員 ￥1,500  
非会員 ￥2,000  
アカデミー ￥1,000

発行日：2006年11月



国際委員会は2000年よりCIB(建築研究国際協議会)のTG44(Performance Evaluation of Buildings with Response Control Devices)の活動もしておりますが、今回その成果として免制振に関する世界の現状を記した書籍がTaylor&Francis社より出版されました。各国の技術基準比較と設計・解析方法などの紹介、免震建物の地震応答観測結果、装置の紹介、各国の設計例データシートなどが示されている。(英語版)

発行日：2006年12月

販売：Taylor & Francis

## 編集後記

「アベノミクス」とはなに、ネットで調べてみると、安倍首相が推し進める大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の3つを基本方針とする経済政策のこととある。これから実施されることであるが、その雰囲気は円安・株高となり、経済が好転して皆が浮き浮きしてくるようで、この雰囲気という気は恐ろしいものである。今後実需が伴って免震建築を含め建築界が盛り上がることを期待します。

今回、2011年東北地方太平洋沖地震における免震建物居住者へのアンケート調査が掲載されており、これは地震を体験された方の恐怖感とか安心感とかの生の

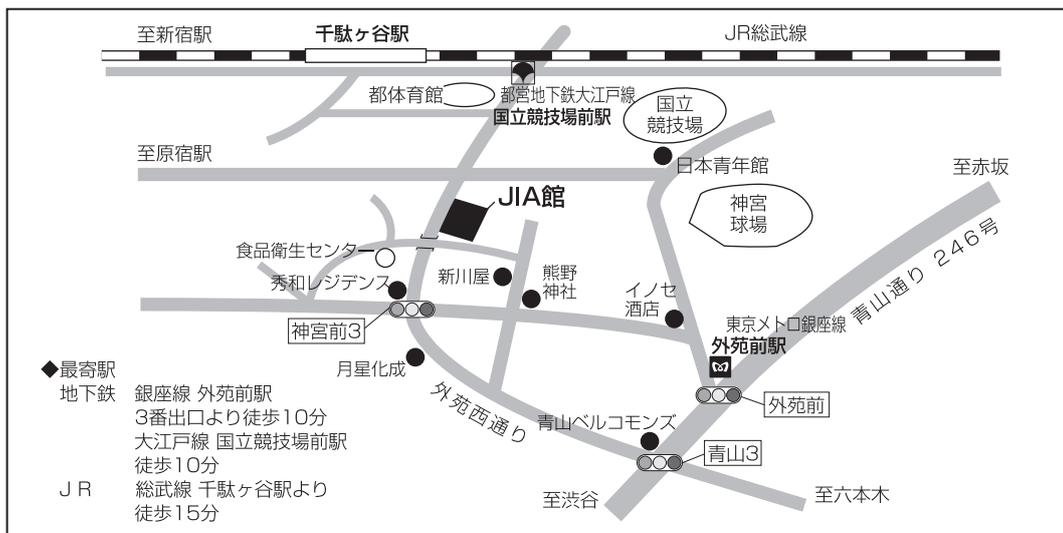
気持ちが出ています。結果として事業・生活の継続性の面で免震建物が大きな効果を発揮し、居住者から高い満足度が得られた半面、はじめて経験する大きくゆっくりとした揺れに居住者が戸惑い、驚いた面もあったので、免震建物特有の揺れ方について事前に十分説明し理解を深めて頂く必要があります。

設計段階で、断層を調査したところ、敷地内に断層が通っていることがわかり、最新の知見のもとに断層を考慮した設計がなされた「知の拠点」を訪問取材した今回の編集WGは、猿田、世良、浜辺、人見、藤波さんの5名の方々でした。御苦勞様でした。

出版部会委員長 加藤 晋平

## 寄贈図書

日本ゴム協会誌	第85巻 第10号	(社) 日本ゴム協会
日本ゴム協会誌	第85巻 第11号	(社) 日本ゴム協会
日本ゴム協会誌	第85巻 第12号	(社) 日本ゴム協会
日事連 建築士事務所の全国ネットワーク	2012.10	(社) 日本建築士事務所協会連合会
日事連 建築士事務所の全国ネットワーク	2012.11	(社) 日本建築士事務所協会連合会
日事連 建築士事務所の全国ネットワーク	2012.12	(社) 日本建築士事務所協会連合会
月刊 鉄鋼技術	2012 10月号	鋼構造出版
月刊 鉄鋼技術	2012 11月号	鋼構造出版
月刊 鉄鋼技術	2012 12月号	鋼構造出版
RE	2012.10 No.176	(財) 建築保全センター



2013 No.79 平成25年2月25日発行

発行所 一般社団法人日本免震構造協会

編集者 普及委員会 出版部会

印刷 (株)大 應

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館2階

一般社団法人日本免震構造協会

Tel : 03-5775-5432

Fax : 03-5775-5434

http : //www.jssi.or.jp/

